

Electone® **STAGEA**®
ELB-02

取扱説明書

ご使用前に必ず6～9ページの「安全上のご注意」をお読みください。
組み立て説明については巻末をご参照ください。

STAGEA

はじめに

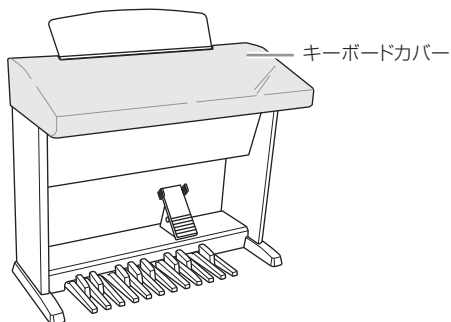
このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、
本書をよくお読みになってからご使用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに
大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)
- 活用ガイド
- 製品ユーザー登録のご案内
ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。ぜひご登録ください。
- 譜面板



- キーボードカバー



- 電源コード
- イス
- 保証書

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

この楽器のさまざまな機能や使い方を説明しています。



活用ガイド

エレクトーンに親しむためのガイドです。エレクトーンを弾く姿勢など、基本的なことを覚えたり、楽器内蔵のレジストレーションメニューを使って、楽譜が演奏できるようになっています。ご自分の演奏をUSBフラッシュメモリーに録音し、聞いてみるまでの簡単な手順も載っていますので、ぜひご活用ください。

電子マニュアル(PDF形式)



iPhone/iPad接続マニュアル

この楽器をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。



MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

上記マニュアルは、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、モデル名を入力して検索してください。

ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

目次

はじめに.....	2
付属品(お確かめください).....	2
取扱説明書について.....	3
安全上のご注意.....	6
注記(ご使用上の注意).....	10
お知らせ.....	10
特長.....	12

各部の名称 13

全体図.....	13
操作パネル.....	14

ご使用前の準備 16

電源の準備.....	16
電源を入れる/切る.....	16
音量を調節する.....	17
画面のコントラスト(明暗)を調整する.....	18
ヘッドフォンを使う.....	19

1 基本操作 20

レジストレーションメニュー.....	20
レジストレーションを選ぶ.....	20
レジストレーションメニューリスト.....	22
画面の操作.....	25
リストから選ぶ.....	25
項目を選んで、値を変更する.....	25
画面のページを切り替える.....	26
基本設定.....	27
画面の表示言語を切り替える.....	27
エレクトーンの初期化.....	27
バージョンを確認する.....	28

2 ボイス(楽器音色) 29

各鍵盤で選べるボイス.....	29
ボイスディスプレイ.....	31
ボイスボタンでボイスを選ぶ.....	33
ボイスセクション1からボイスを選ぶ.....	33
ボイスの音量を変える.....	34
ボイスセクション2からボイスを選ぶ.....	36
ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替え.....	36
ボイスセクション2からボイスを選ぶ.....	37
ユーザーボタンでボイスを選ぶ.....	39
ボイスリスト.....	42

3 コントロールとエフェクト 52

ボイスコンディション画面で設定するもの.....	53
ロータリースピーカー.....	60
パネルボタンで設定するもの.....	61
リバーブ.....	61
サステイン.....	63
エフェクトリスト.....	64

4 リズムとキーボードパーカッション 68

リズムボタンでリズムを選ぶ.....	68
リズムを選んでスタートさせる.....	68
リズムを操作する.....	71
リズムのテンポを変える.....	73
リズムの音量やリバーブを設定する.....	74
ユーザーボタンでリズムを選ぶ.....	75
リズムリスト.....	77
自動伴奏をつける: アカンパニメント.....	79
ベースパターンをつける: オートベースコード(A.B.C.).....	82
メロディーにハーモニーをつける: メロディーオンコード(M.O.C.).....	85
鍵盤で打楽器を演奏する: キーボードパーカッション.....	88
プリセットキーボードパーカッションを使う.....	88
プリセットキーボードパーカッションリスト.....	90
ユーザーキーボードパーカッションを設定する.....	101
ユーザーキーボードパーカッションを呼び出す.....	104
キットアサインリスト.....	105

5 レジストレーションメモリー 111

レジストレーションをナンバーボタンに記録する.....	111
レジストレーションを呼び出す.....	113
バンクを選んでレジストレーションを記録する.....	116
バンクを選んで削除する.....	117
記録したレジストレーションをUSBフラッシュメモリーに保存する.....	118
レジストレーションメモリーの初期化.....	120
演奏中にレジストレーションを切り替える: レジストレーションシフト.....	121

6 ミュージックデータレコーダー(MDR) 127

MDR機能に入る.....	127
MDR画面の操作.....	128
アイコン一覧.....	130
USB機器を接続する.....	132
[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意.....	132
USBフラッシュメモリーの取り扱いについて.....	132
USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)する.....	133
ソングを選ぶ.....	134
演奏を録音する.....	138
演奏を録音する.....	138
録音をやり直す.....	140
パートごとに録音する.....	140
パンチイン録音.....	143
ソング/フォルダーに名前を付ける.....	144
レジストレーションを保存する.....	147
1つのソングに複数のレジストレーションを保存する.....	149
レジストレーションデータを任意のユニットに上書き保存する.....	151
レジストレーションの入ったユニットを削除する.....	152
80種類以上のレジストレーションを続けて再生する: ネクストユニット.....	153
レジストレーションデータを読み込む.....	154
レジストレーションの読み込み.....	154

ソングを再生する	155
特定のパートだけを再生する	157
早戻し/早送り/一時停止	157
再生テンポを変更する	158
リピート再生する	159
XGソングデータの再生	160
コピー / 削除 / 変換、フォルダーの作成	161
コピー	161
ソング/フォルダーの削除	164
フォルダーの作成	165
ELB→EL変換機能	166
EL→ELB変換機能	167
XG変換機能	169
ソングサイズ/USBフラッシュメモリーの残量の確認	171

7 オーディオ 172

演奏を録音する	172
オーディオファイルを再生する	175
早戻し/早送り/一時停止	176
音量、テンポ、ピッチの調節	177
ファイルの削除、名前の変更	179

8 フットスイッチ 180

右フットスイッチ	180
左フットスイッチ	180

9 トランスポーズ/ピッチ 184

10 外部機器との接続 185

付属端子の名称と機能	185
外部機器との接続	187
エレクトーンの音を外部スピーカーから出力する	187
外部オーディオ機器の音をエレクトーンのスピーカーから流す	187
エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす	188
外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする	188
コンピューターとの接続	189
[USB TO HOST]端子を使った接続	189
MIDIに関する基礎知識	190
MIDIとは	190
エレクトーンで扱えるMIDIメッセージ	191
MIDIチャンネル	192
MIDIコントロール	193
iPhone/iPadと接続する	195
無線LAN接続する	195
無線LANの詳細設定	201
無線LAN設定を初期化する	203
インターネット用語辞典	204

11 付録 205

ELB-02の組み立て方	205
困ったときは	209
仕様	212
エレクトーン用語辞典	214
索引	216

	ご使用前の準備
1	基本操作
2	ボイス(楽器音色)
3	コントロールとエフェクト
4	リズム/ キーボードパーカッション
5	レジストレーション メモリー
6	ミュージックデータ レコーダー(MDR)
7	オーディオ
8	フットスイッチ
9	トランスポーズ/ピッチ
10	外部機器との接続
11	付録

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

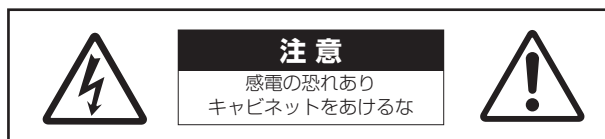
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」



警告

電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

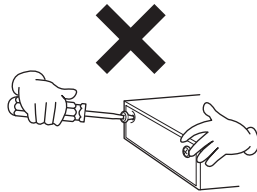
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



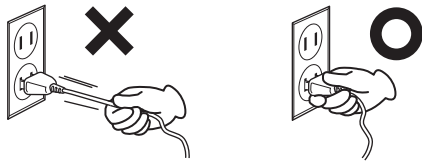
たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。
手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげをしたりする原因になります。



必ず実行

この製品を持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行なう。
この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がかげをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

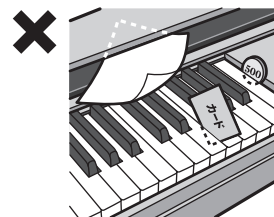
本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がかげををするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



イスには二人以上ですわらない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



本体の背面からエクスペッションペダルやペダルボックスに足を掛けたり、楽器によじ登ったりしない。

禁止



必ず実行

イスのネジを定期的に締め直す。
イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるみ、お客様がけがをする原因になります。ネジがゆるんだ場合は、工具で締め直してください。

イス



不安定な場所に置かない。
イスが転倒して、お客様やほかの方々がかがをする原因になります。

禁止



必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。
背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

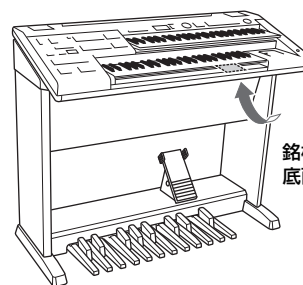
DMI-6 4/4

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号



銘板は、製品の底面にあります。

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意してご使用ください。
イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 極端に温湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

■ データの保存に関する注意

- 保存しておきたいレジストレーションは、レジストレーションメモリーしたあと、MDR機能を使ってUSBフラッシュメモリーに保存してください(118ページ)。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず132ページをお読みください。
- 本体にレジストレーションを記録する場合、記録中は画面の左上に「■」が表示されますので、表示中は電源を切らないでください。「■」が表示中に電源を切ると、設定内容が失われてしまいますので、ご注意ください。
レジストレーションシフトやキーボードパーカッションの設定を変更した場合は、別の画面に移動すると、これらの設定も含めレジストレーションデータが自動的に保存されます。保存中は、移動先の画面の左上に「■」が表示されます。別の画面に移動せずに電源を切ったり、「■」が表示中に電源を切ったりすると、設定内容が失われてしまいますので、ご注意ください。
- 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。
- 本製品には株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- 「エレクトーン」[ELECTONE]「STAGEA」は、ヤマハ(株)が製造販売する電子オルガンであり、ヤマハ(株)の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

対応フォーマット

GMシステムレベル2

「GMシステムレベル1*」を、さらに表現力を高める機能にまで拡張した音源フォーマットです。多くのMIDI機器がGMシステムレベル1に対応しており、市販のミュージックデータの多くがGMシステムレベル1で作られています。GMシステムレベル2に対応したMIDI機器では、GMシステムレベル1で制作されたミュージックデータも再生できます。

* メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列やMIDI機能に関する音源フォーマットです。

XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハが提唱する音源フォーマットです。このフォーマットで制作されたデータは、広く普及しているXG対応機器やPCソフトウェアで再生することができます。

GS

ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハのXGフォーマットと同様、GMシステムレベル1の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています

特長

いつでも簡単に呼び出せる、洗練されたレジストレーションメニュー

20ページ

エレクトーン演奏のための音やリズムなどの組み合わせ(レジストレーション)が、ボタンを押すだけで簡単に選べます。パネル上の6つのボタンにハイクオリティーで使い勝手の良い601種類のレジストレーションが用意されています。それぞれのレジストレーションはジャンル別に分類されており、選んだだけですぐに弾けるようになっています。選んだレジストレーションメニューを出発点として、思いどおりに加工し、自分だけのレジストレーションをつくることもできます。

多彩なボイスとタッチ機能、デジタルエフェクトによる豊かな演奏表現

29、52ページ

アコースティック楽器特有の奏法を、鍵盤のタッチや演奏にあわせて自然に表現してくれるスーパーアーティキュレーションボイスを始め、AWM音源による540種類のボイスを搭載。鍵盤をより強く弾けばそれだけ音量が大きくなり、音質が明るくなるイニシャルタッチ機能と、打鍵後に鍵盤を押さえつける強さによって、立ち上がったあとの音量と音質をコントロールするアフタータッチ機能により、各楽器がもつ音色を表情豊かに奏でることができます。また、演奏音に厚みを与えるコーラスや、うねりを与えるフランジャーなどのエフェクトを、ボイスセクションごとに設定できるので、簡単にいろいろなボイスをつくりだせます。

最先端のリズムとアカンパニメント

68ページ

シンプルで使い勝手のよいリズムパターンや、さまざまな音楽シーンに手軽に対応できるアカンパニメントを豊富に用意しました。それぞれのパターンで、メイン、イントロ、エンディング、フィルインなど15種類のセクションを切り替えることで、感情やその場の雰囲気に合わせて演奏が可能になります。また、5パートに分かれたアカンパニメントを効果的に使って、思いどおりの演出ができます。

キーボードパーカッションサウンド

88ページ

バンドで使うドラムやスネアなどの打楽器音はもちろん、民族音楽で使われる打楽器音まで、さまざまな種類の打楽器音が内蔵されています。これらの音を鍵盤のキー1つ1つに設定できますので、鍵盤を弾いてドラムパートを演奏することもできます。また、動物の鳴き声や人の笑い声、雷、レーザービームなど、ユニークな音も内蔵されていますので、演奏時の効果音として使うこともできます。

データの活用便利なMDR機能

127ページ

自分の演奏を録音したり、レジストレーションデータを保存したりできる便利なMDR(ミュージックデータレコーダー)機能が内蔵されています。保存したデータは、エレクトーン本体で再生したり、読み込むことができます。さらに、保存したデータをコピーしたり、ほかのエレクトーンでつくったデータをこのエレクトーンで使えるように、データ形式を変換することもできます。

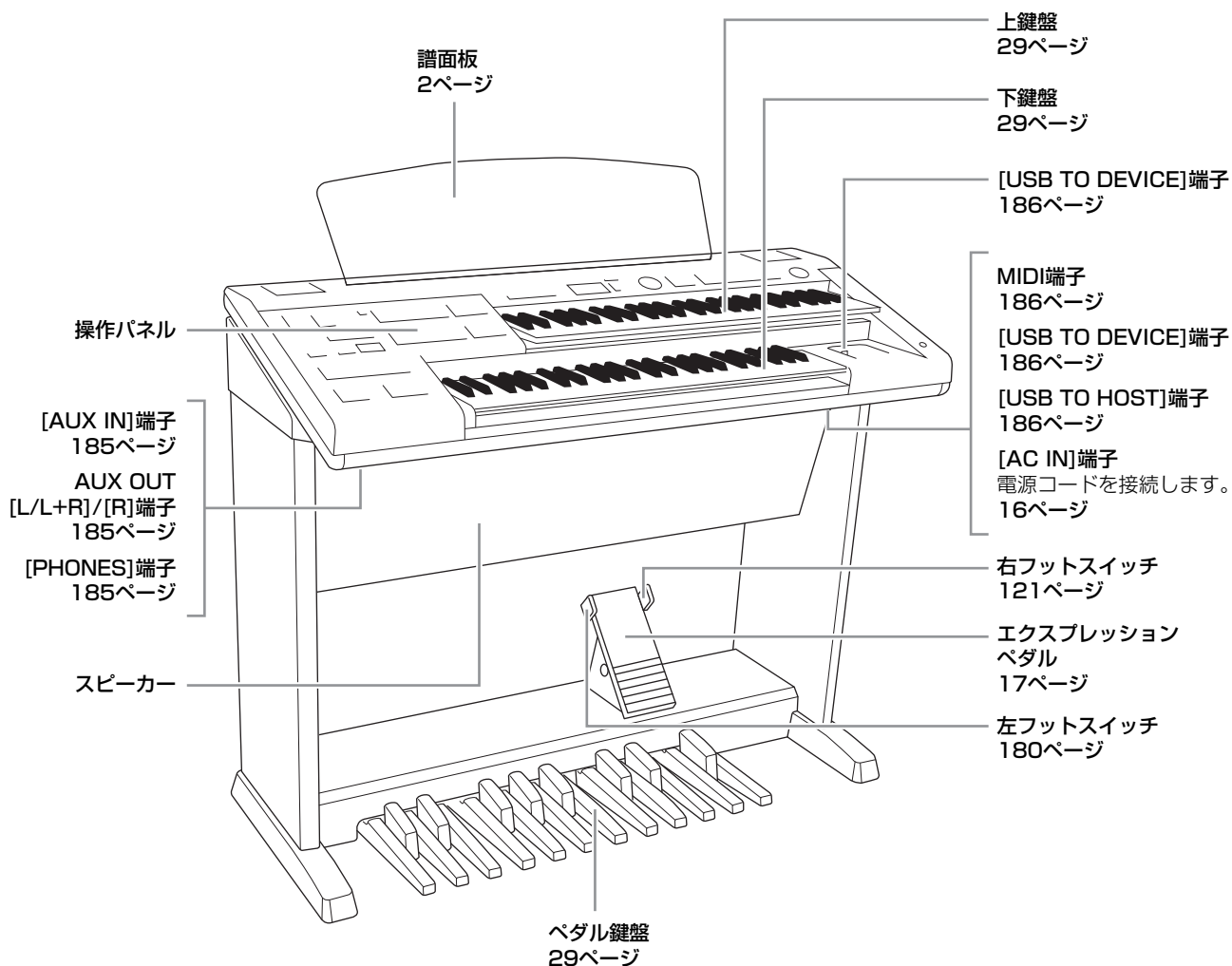
オーディオ録音

172ページ

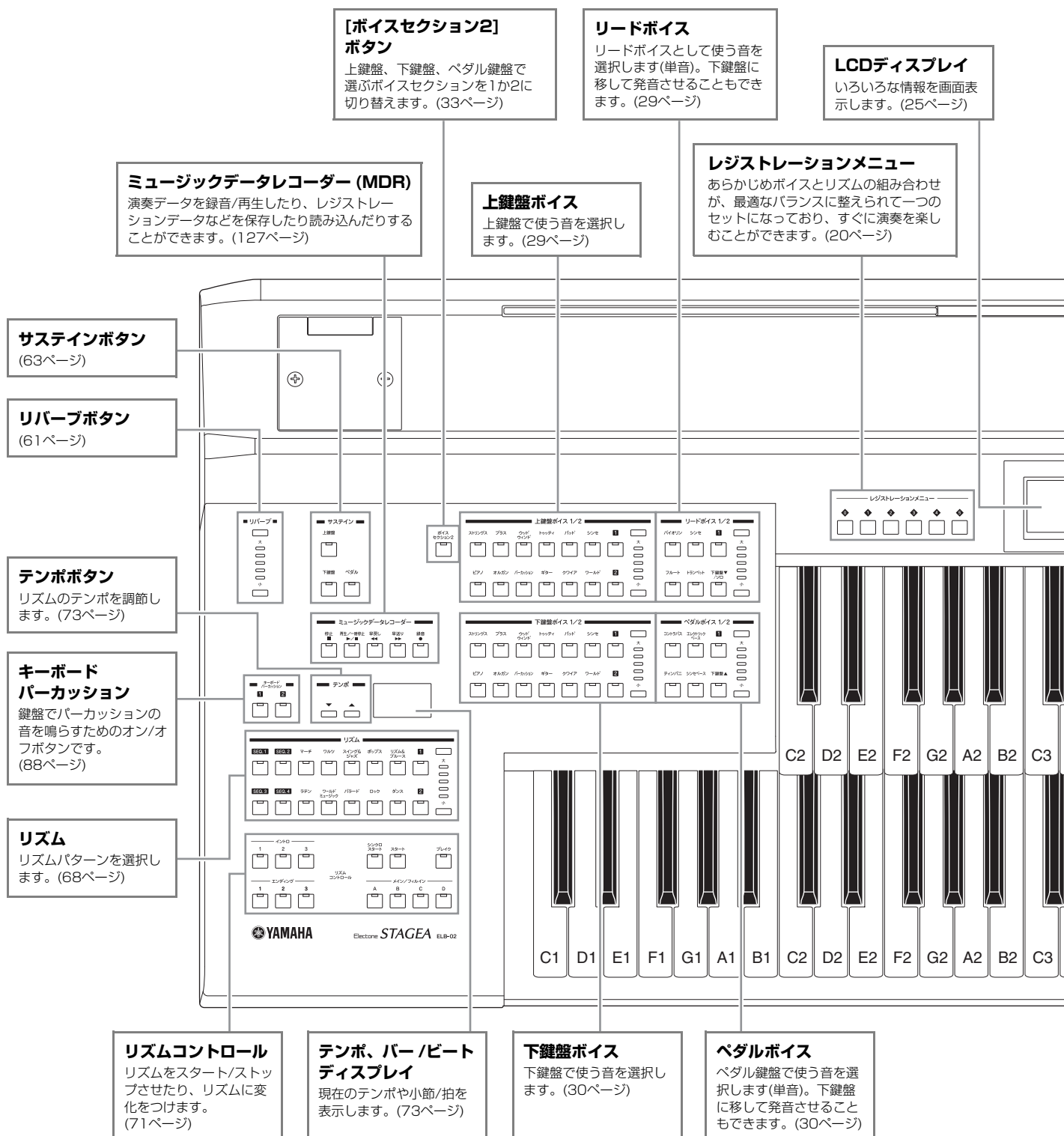
ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリーに録音することができます。一般的なCD音質(44.1kHz/16bit)のステレオWAV形式で保存され、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できますので、知り合いとお互いの演奏データをやりとりするなど、さまざまな用途で楽しめます。

各部の名称

全体図



操作パネル



ページボタン

LCDディスプレイ上の画面ページを選択します。(26ページ)

データコントロールダイヤル

LCDディスプレイ上のデータを選んだり、設定値を変更したりします。(25ページ)

データコントロール [A]~[D]ボタン

LCDディスプレイ上の機能や値を設定/選択します。(25ページ)

[9~16]ボタン

(112ページ)

[メモリー]ボタン

(111ページ)

レジストレーションメモリー

パネル設定を保存したり、呼び出したりします。(111ページ)

[ディスプレイ]ボタン

(114ページ)

[音量]ダイヤル

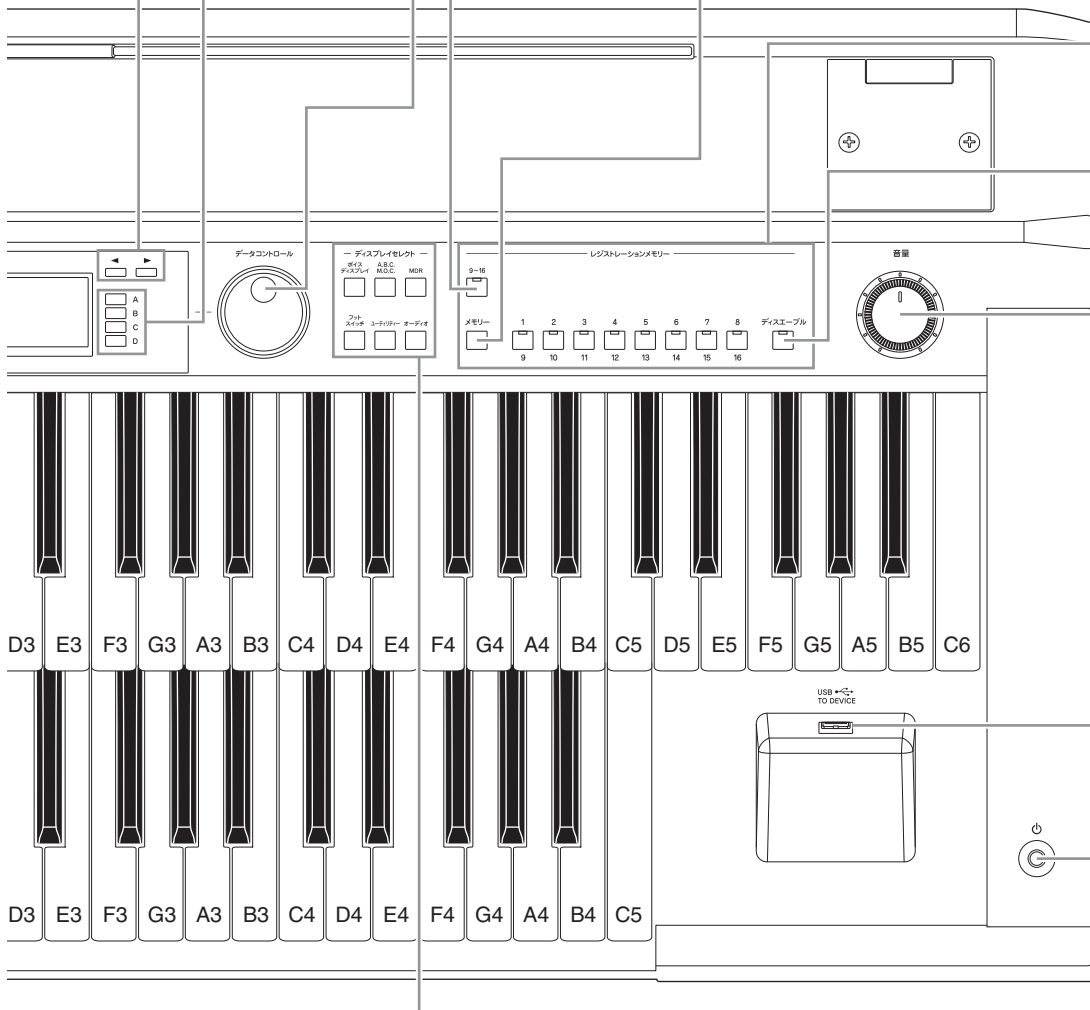
楽器全体の音量を調節します。(17ページ)

[USB TO DEVICE]端子

USBフラッシュメモリーを挿入し、楽器本体とデータのやりとりを行ないます。

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。(16ページ)



ディスプレイセレクト

LCDディスプレイに表示する機能を選択します。

[ボイスディスプレイ]ボタン

(31ページ)

[A.B.C./M.O.C.]ボタン

(82ページ)

[フットスイッチ]ボタン

(180ページ)

— ディスプレイセレクト —

ボイス ディスプレイ A.B.C. M.O.C. MDR

フット スイッチ ユーティリティー オーディオ

[MDR]ボタン(127ページ)

[オーディオ]ボタン

(172ページ)

[ユーティリティー]ボタン

(27ページ)

ご使用前の準備

1 電源の準備

⚠ 警告

電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。

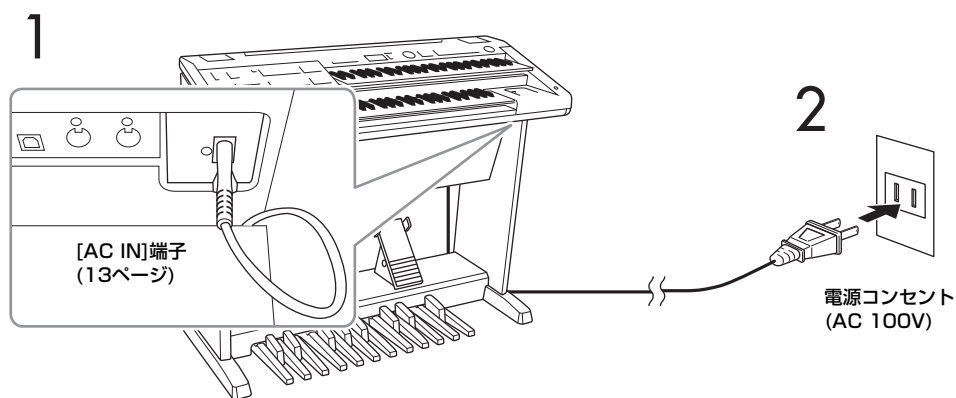
⚠ 注意

本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

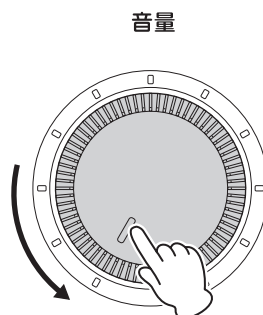
電源コードを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

図の順序で電源コードを接続します。

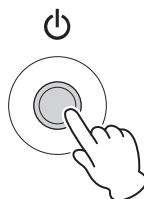


2 電源を入れる/切る

1 [音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。



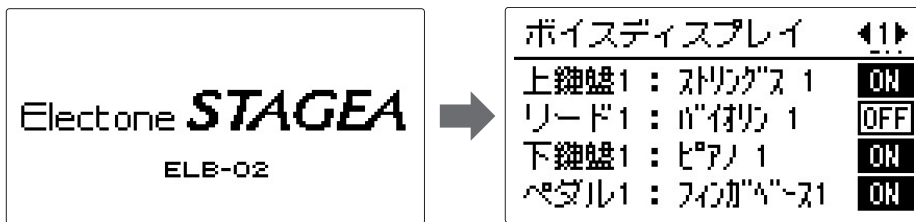
2 [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチを押して電源を入れます。



注記

鍵盤やボタンを押したり、ペダルを踏んだりしたまま電源を入れないでください。楽器が誤動作する原因になります。

エレクトーンの電源を入れると、画面に以下の表示が連続して現れます。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。



最後に表示された画面が、ボイスディスプレイです(31ページ)。

3 電源を切るには、もう一度[0](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。



注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

3 音量を調節する

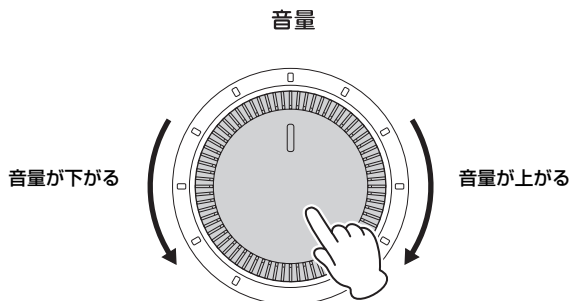
1 音量を調節します。

[音量]ダイヤルでは、エレクトーン全体の音量を調節します。



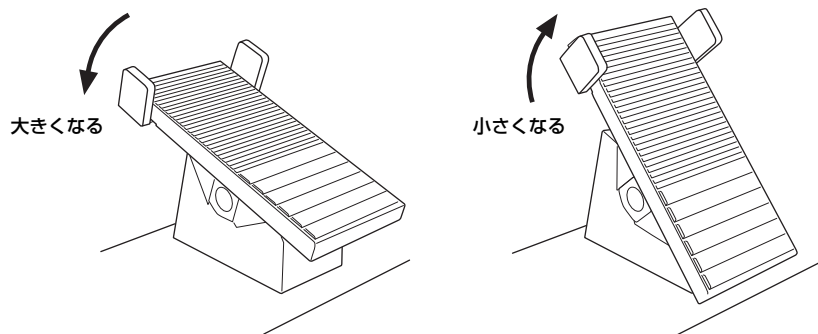
注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



2 エクスプレッションペダルを右足で適度に踏み込みます。

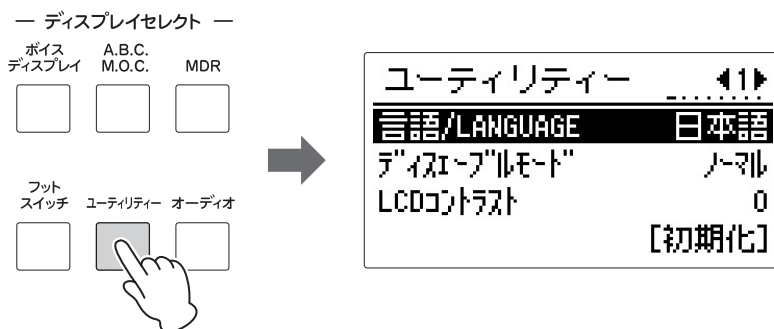
エクスプレッションペダルでは、演奏中の音の強弱を調節します。



4 画面のコントラスト(明暗)を調整する

画面のコントラストを調整します。

- 1 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティ画面を表示させます。
ユーティリティ画面が表示されない場合は、画面右上のページボタンを何度か押して、ユーティリティ画面に切り替えます。



- 2 「LCDコントラスト」と同じ位置にある[C]ボタンを押します。
項目が選択され、反転表示になります。



注記

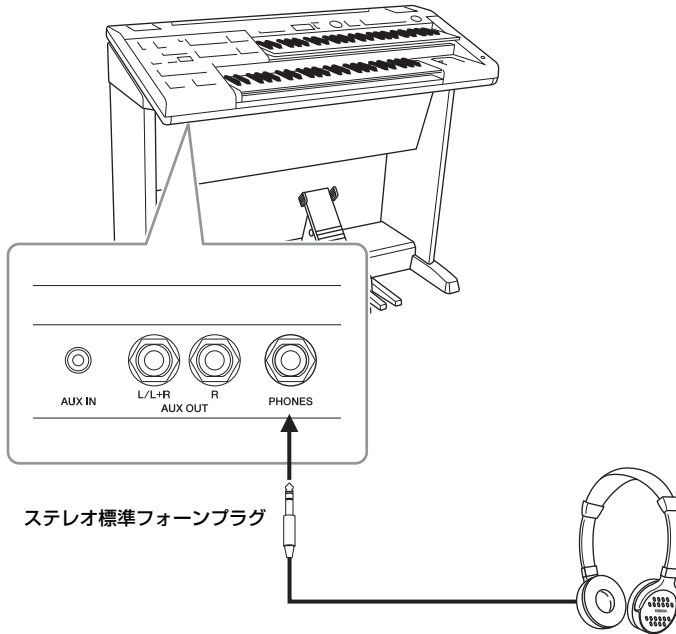
LCDコントラストは別の画面に移動したときに保存されます。LCDコントラストを保存して電源を切る場合は、別の画面に移動してから電源を切ってください。

- 3 そのまま[C]ボタンを何度か押すか、データコントロールダイヤルを回して、LCDコントラストを調整します。

−5～+5まで設定できます。

5 ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンは[PHONES]端子に接続して使います。



⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

1 基本操作

1 レジストレーションメニュー

NOTE

初期設定のレジストレーションメモリーのナンバーボタン1～16にも、基本的なレジストレーションがプリセットされています(116ページ)。

エレクトーンでは、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のボイスやリズムなどの組み合わせのことを「レジストレーション」といいます。レジストレーションメニューには基本的な楽器の組み合わせが用意されている[0]ボタン(ベーシックメニュー)と、さまざまなジャンルの曲をすぐに演奏できる[1]～[5]のボタンがあります。練習する時は[0]ボタンから、気軽に演奏したい時などは[1]～[5]ボタンから選ぶなど、自由にお使いいただけます。

レジストレーションを選ぶ

1 レジストレーションメニューの[0]～[5]ボタンのいずれかを押します。

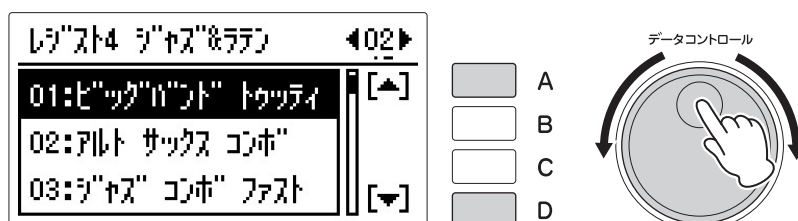
各ボタンには、それぞれ異なったジャンルのレジストレーションが含まれています。演奏したい曲のジャンルにあわせて、それぞれのボタンを使い分けてください。各ボタンにどんなレジストレーションが含まれているかは、22ページのレジストレーションメニューリストをご覧ください。

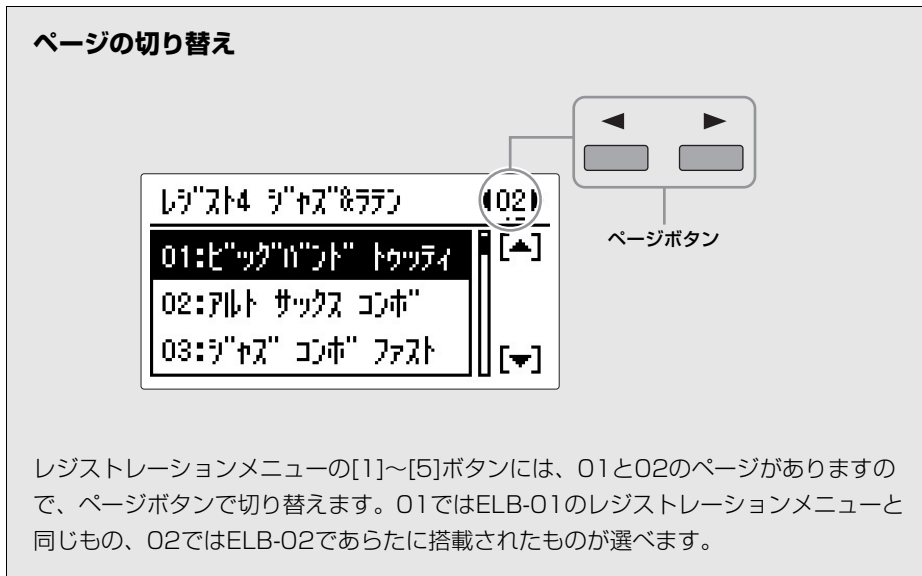


0		ベーシック(基本的な楽器の組み合わせです)
1	01ページ	キッズ(童謡やアニメソングなどに適しています)
	02ページ	シンプル(即興演奏や自由に演奏したいときに使えるレジストレーションです)
2	01、02ページ	ポップス&ロック
3	01、02ページ	ダンス&バラード
4	01、02ページ	ジャズ&ラテン
5	01、02ページ	シンフォニー & ワールド

2 データコントロールダイヤルを回して、使用したいレジストレーションを選びます。

画面右横の[A]または[D]ボタンを押して選ぶこともできます。画面には、選んだジャンルのレジストレーションがリスト表示されます。データコントロールダイヤルを回すと画面がスクロールしますので、好きなレジストレーションを選びます。





3 選んだレジストレーションで、好きな曲を弾いてみましょう。

レジストレーションメニューリスト

[0] ベーシック

01	シンプル 1 St/St
02	シンプル 2 St/Hr
03	シンプル 3 Cl/St
04	シンプル 4 Cl/Hr
05	シンプル 5 Tp/St
06	シンプル 6 Tp/Hr
07	シンプル 7 Ob/St
08	シンプル 8 Ob/Bsn
09	シンプル 9 Fl/St
10	シンプル 10 Fl/Cl
11	シンプル 11 Cl/Cl
12	シンプル 12 Pf/Pf
13	シンプル 13 Cl/Bsn
14	コウカオン 1
15	コウカオン 2
16	コウカオン 3
17	コウカオン 4
18	コウカオン 5
19	コウカオン 6
20	コウカオン 7
21	コウカオン 8
22	コウカオン 9
23	コウカオン 10
24	コウカオン 11
25	コウカオン 12
26	コウカオン 13
27	コウカオン 14
28	コウカオン 15
29	コウカオン 16
30	Stコンビ 1 St/St
31	Stコンビ 2 St/Hr
32	Stコンビ 3 St/Br
33	Stコンビ 4 St/CB
34	Stコンビ 5 Oct Hi
35	Stコンビ 6 Oct Low
36	Stコンビ 7 ソフト
37	Stコンビ 8 ソフトOct
38	Stコンビ 9 ハード
39	Stコンビ 10 ハードOct
40	Stコンビ 11 St+WW
41	Stコンビ 12 St+Br
42	Stコンビ 13 Pizz
43	Stコンビ 14 トレモロ
44	Stコンビ 15 Vn/Vc
45	Stコンビ 16 Vn/Pizz
46	Brコンビ 1 Tp/St
47	Brコンビ 2 Tp/Hr
48	Brコンビ 3 Tp/Tb
49	Brコンビ 4 Br/Hr
50	Brコンビ 5 Br/Br
51	Brコンビ 6 Oct
52	Brコンビ 7 Br/CB
53	Brコンビ 8 Br/Timp
54	Brコンビ 9 Br+Xyl

55	WWコンビ 1 Fl/St
56	WWコンビ 2 Fl/Cl
57	WWコンビ 3 Fl/Hp
58	WWコンビ 4 Ob/St
59	WWコンビ 5 Ob/Bsn
60	WWコンビ 6 Ob/Pizz
61	WWコンビ 7 Cl/St
62	WWコンビ 8 Cl/Hr
63	WWコンビ 9 Cl/Pizz
64	WWコンビ 10 Sax/Pf
65	WWアンサンプル 1
66	WWアンサンプル 2
67	WWアンサンプル 3
68	WWアンサンプル 4
69	WWアンサンプル 5
70	WWアンサンプル 6
71	WWアンサンプル 7
72	ディケイ 1 ピアノ
73	ディケイ 2 ハープシ
74	ディケイ 3 エレピ
75	ディケイ 4 ギター
76	ディケイ 5 エレキギター
77	ディケイ 6 シロフォン
78	ディケイ 7 グロックン
79	ディケイ 8 ハープ
80	ホールド 1 パイプOrg
81	ホールド 2 ジャズOrg
82	ホールド 3 アコーディオン
83	ホールド 4 リコーダー
84	シンセ 1
85	シンセ 2
86	シンセ 3
87	シンセ 4
88	シンセ 5
89	バックング ロック
90	バックング ジャズ 1
91	バックング ジャズ 2
92	バックング クラシック 1
93	バックング クラシック 2
94	バックング クラシック 3
95	バックング クラシック 4

[1] キッズ、シンプル

01ページ キッズ

01	シンプル 8ビート 1
02	シンプル 8ビート 2
03	ライト ステップ
04	サニー ポップ
05	キッズ マーチ 1
06	キッズ マーチ 2
07	キッズ マーチ 3
08	シンセ ロック

09	シンフォニック マーチ 1
10	シンフォニック マーチ 2
11	ブルーグラス
12	シー カーニバル
13	ベーシック ワルツ
14	プラス アンサンプル
15	ピュア ワルツ
16	ロココ アンサンプル
17	ポップ チャチャ
18	コミカル ルンバ
19	コミカル サンバ
20	トイ オーケストラ
21	チャールストン
22	ウィンター スイング
23	スノー ワルツ 1
24	スノー ワルツ 2
25	アルペン ボルカ *A
26	アルペン ボルカ *B
27	アルペン ボルカ *C
28	アルペン ボルカ *D
29	ドリーム バラード *A
30	ドリーム バラード *B
31	ドリーム バラード *C
32	ドリーム バラード *D
33	ポップス オーケストラ *A
34	ポップス オーケストラ *B
35	ポップス オーケストラ *C
36	ポップス オーケストラ *D
37	キッズ オン ステージ *A
38	キッズ オン ステージ *B
39	キッズ オン ステージ *C
40	キッズ オン ステージ *D
41	ギャラクシー マーチ *A
42	ギャラクシー マーチ *B
43	ギャラクシー マーチ *C
44	ギャラクシー マーチ *D
45	SE *A
46	SE *B
47	SE *C
48	SE *D
02ページ シンプル	
01	SR スtringス 1
02	SR スtringス 2
03	SR オーケストラ 1
04	SR オーケストラ 2
05	SR オーケストラ 3
06	SR ポップス 1
07	SR ポップス 2
08	SR ラテン
09	SR ジャズ 1
10	SR ジャズ 2
11	SR ジャズ 3
12	SR オルガン
13	プラスバンド マーチ *A
14	プラスバンド マーチ *B
15	オーケストラ マーチ

16	6/8 マーチングバンド
17	6/8 マーチングキッズ
18	ライト ワルツ
19	オーケストラ ワルツ *A
20	オーケストラ ワルツ *B
21	オーケストラ ワルツ *C
22	オーケストラ ワルツ *D
23	8ビート シンセ ポップ
24	8ビート ポップ
25	ポップ シャッフル
26	R&B シャッフル
27	ロック
28	ロック シャッフル
29	ロック ポップ バラード
30	ファンク
31	ダンス ポップ
32	ディスコ ポップ
33	R&B エレピ バラード
34	R&B ピアノ バラード
35	8ビート バラード
36	8ビート Orchバラード
37	3/4 ポップ バラード
38	6/8 ポップ バラード
39	ビッグバンドキング*A
40	ビッグバンドキング*B
41	ビッグバンドキング*C
42	ビッグバンド スイング
43	ジャズ セッション
44	フュージョン サンバ
45	ポップ サンバ
46	シンプル ボサノバ
47	マンボ
48	ルンバ
49	クラシカルオルガン チャペル
50	クラシカルオルガン ホール
51	ロック オルガン バラード
52	R&B ロック オルガン
53	オルガン コンボ
54	6/8 オルガン バラード
55	ソウル ジャズ オルガン
56	ポップ オルガン 60s
57	トイ オルガン
58	シアター オルガン NY
59	ノスタルジック オルガン

[2] ポップス&ロック

01ページ

01	ダイナミック 8ビート
02	NY バラード
03	ブリティッシュ ポップ
04	8ビート モダン
05	ロック バンド
06	デトロイト ポップ
07	テクノ ポップ
08	シェリフ レゲエ
09	ロックンロール
10	パワー ロック
11	60s ギター ロック
12	アンブラグド
13	モーター シティ
14	ラブリー シャッフル
15	ゴスペル シャッフル
16	ジョイフル ゴスペル
17	フランクリー ソウル
18	ソウル
19	ゴスペル
20	6/8 ソウル
21	ヒット ポップ
22	ニュー カントリー
23	エターナル ポップ
24	グランド ビート
25	バウンス ポップ *A
26	バウンス ポップ *B
27	バウンス ポップ *C
28	バウンス ポップ *D
29	ブルース ジャム *A
30	ブルース ジャム *B
31	ブルース ジャム *C
32	ブルース ジャム *D
33	エバーグリーン ワルツ *A
34	エバーグリーン ワルツ *B
35	エバーグリーン ワルツ *C
36	エバーグリーン ワルツ *D
37	16ビート ポップ *A
38	16ビート ポップ *B
39	16ビート ポップ *C
40	16ビート ポップ *D
41	トップギア ロック *A
42	トップギア ロック *B
43	トップギア ロック *C
44	トップギア ロック *D
45	サザン ポップ *A
46	サザン ポップ *B
47	サザン ポップ *C
48	サザン ポップ *D

02ページ

01	70s イージー ポップ
02	ボーイズギターバラード
03	ソウル ポップ
04	70s トップデュオ
05	デイドリーム シャッフル
06	オールディーズ ポップ
07	ユーロポップ フォルクローレ

08	ディスコティック ロック
09	スロー ハンド バラード
10	スイート AOR バラード
11	70s プライムタイムTV
12	クロスオーバー ファンク
13	ジョイフルゴスペル #2
14	ゴスペル グルーヴ
15	ワッシュ シャッフル
16	ワッシュ 16ビート
17	ソウルフル ワンダー
18	ラブリー & ソウルフル
19	ダンサブル ファンク
20	ブライト ポップロック
21	アメリカン ハード ロック
22	パワー ロック 80s
23	USA ロック スタンダード
24	シーサイド ロック
25	70s フォーク ロック
26	オルタナティブ ロック
27	オルタナティブ 6/8 ロック
28	ハイウェイ ロック
29	ファンキー ロックンロール
30	シンセ ポップロック
31	パワー シンセ ロック
32	ロック ギター バラード
33	ポップ ロックンロール
34	バックトゥザ 60s
35	ダンシング ブギー
36	6/8 シャッフル ロック
37	シャッフル ボーイズ ロック
38	シャッフル ポップロック
39	シャッフル ロック バラード
40	ポップ ロック バンド
41	シャッフル ポップ ピアノ
42	コンテンポラリー カントリー
43	スムース カントリー
44	クリスマス シャッフル
45	スノーウィ クリスマス
46	プリティー ロック
47	ウルトラ ロック
48	ロック グラフィティ
49	カジュアル ロック
50	ルーキー ロック
51	ハッピー ロック
52	J-Pop アイドル ロック
53	J-Pop バンド ロック
54	スピリット ポップ
55	スイート ラブ ポップ
56	サマー ポップ
57	シェイキー ダンス
58	J-Pop ピアノ バンド
59	J-Pop ボーイズ
60	J-Pop シャッフルビート
61	J-Popバンドバラード
62	プリージー バラード
63	ヒーローレンジャー テーマ
64	サンセット ポップ
65	ファンキーパンチ *A
66	ファンキーパンチ *B

67	ギャラクシーバトルシップA
68	ギャラクシーバトルシップB
69	J-Pop アニメ *A
70	J-Pop アニメ *B
71	70s ハニー
72	70s ヒーロー
73	DBZ *A
74	DBZ *B
75	DBZ *C
76	DBZ *D

[3] ダンス&バラード

01ページ

01	オルガン バラード
02	ドラマチック バラード
03	ラブ バラード
04	スムース リード
05	ポップ バラード
06	ギター バラード
07	アコースティック バラード
08	ヒーリング ギター
09	チルアウト
10	スイートハート 1
11	スイートハート 2
12	スロー & イージー
13	ユーロ トランス
14	6/8 トランス
15	クール ヒップ ホップ
16	ラテン 하우스
17	ダンス ビート
18	ユーロ ダンス ポップ
19	UK ポップ
20	ジャイブ
21	ディスコ クイーン
22	ディスコ ソウル
23	ポップ ディスコ
24	ホット ディスコ
25	イビサ *A
26	イビサ *B
27	イビサ *C
28	イビサ *D
29	パワー ハウス *A
30	パワー ハウス *B
31	パワー ハウス *C
32	パワー ハウス *D
33	ダンス ラティーン *A
34	ダンス ラティーン *B
35	ダンス ラティーン *C
36	ダンス ラティーン *D
37	トワイライト ディスコ *A
38	トワイライト ディスコ *B
39	トワイライト ディスコ *C
40	トワイライト ディスコ *D
41	ラブソング *A
42	ラブソング *B
43	ラブソング *C

44	ラブソング *D
45	ムービー バラード *A
46	ムービー バラード *B
47	ムービー バラード *C
48	ムービー バラード *D

02ページ

01	R&B ポップ バラード
02	R&B ソウル バラード
03	R&B クール バラード
04	クール AOR
05	スイート チャート ヒット
06	スイート スロー バラード
07	ユア ピアノ バラード
08	スイート エレビ バラード
09	J-Popイージーバラード
10	スイート サックス バラード
11	スイート R&B バラード
12	ラバース R&B
13	センチメンタル バラード
14	ティアーズ バラード
15	グローリー バラード
16	アンブラグド バラード
17	センチメンタル ムービー
18	ビューティーシネマバラード
19	シネマシンフォニックバラード
20	エンカ バラード
21	6/8 エンカ シャッフル
22	クリスマス バラード
23	ディスコ ヒット 70s
24	70s ディスコナイト
25	ユーロ ポップ ディスコ
26	シンセ ディスコ
27	ボールルーム ディスコ
28	シンセダンスポップ 80s
29	ダーティ ダンス ビート
30	フォーチュン ディスコ
31	ガールズポップ48 *A
32	ガールズポップ48 *B
33	シャイニーガールズポップ
34	シェア ザ ピース
35	ダンス アンド リズム *A
36	ダンス アンド リズム *B
37	ダンス アンド リズム *C
38	ダンス アンド リズム *D
39	ガールズ テクノ
40	キャンディーポップ テクノ
41	ダンシングプラットフォーム
42	ダンス ビート EX.
43	クラブ ビート
44	エレクトロニカ ビート
45	クール ガラージ
46	エレクトロニック ダンス
47	ニュー エイジ チルアウト
48	ユーロビート パーティー
49	イビサ トランス
50	カジュアル トランス
51	トランス パーティー
52	ワンダー トランス シャッフル

[4] ジャズ&ラテン

01ページ

01	ブロー オン サックス
02	サックス アンサンブル
03	ムーンライト
04	ビッグバンド
05	クラリネット スイング
06	ジャズ コンボ
07	ミディアム ジャズ
08	オルガン セッション
09	ギター コンボ
10	テンダー バラード
11	ジャズ ワルツ
12	ファイブフォー
13	ビッグバンド サンバ
14	マンボ プラス
15	マンボ テナー
16	モントゥーノ
17	ボサノバ
18	ポップ ボサ
19	スイート ルンバ
20	ビギン
21	チャチャチャ
22	メロー グルーヴ
23	モダン R&B
24	デキシーランド ジャズ
25	ジャングル ドラム *A
26	ジャングル ドラム *B
27	ジャングル ドラム *C
28	ジャングル ドラム *D
29	ジャズ クラブ *A
30	ジャズ クラブ *B
31	ジャズ クラブ *C
32	ジャズ クラブ *D
33	アフロ セッション *A
34	アフロ セッション *B
35	アフロ セッション *C
36	アフロ セッション *D
37	チャチャ グランディエー *A
38	チャチャ グランディエー *B
39	チャチャ グランディエー *C
40	チャチャ グランディエー *D
41	3/4 ファストジャズ *A
42	3/4 ファストジャズ *B
43	3/4 ファストジャズ *C
44	3/4 ファストジャズ *D
45	トワイライト サックス *A
46	トワイライト サックス *B
47	トワイライト サックス *C
48	トワイライト サックス *D
02ページ	
01	ビッグバンド トゥッティ
02	アルト サックス コンボ
03	ジャズ コンボ ファスト
04	ジャズ コンボ 66
05	ザビッグバンド *A
06	ザビッグバンド *B
07	ギター ジャズ コンボ

08	ザ スイング ジャズ
09	ニュー オーリンズ ジャズ
10	ラグタイム バンド
11	ファンキーキャットグルーヴ
12	アフロ キューバン ジャズ
13	ギター ジャズ ワルツ
14	サックス ジャズ ワルツ
15	スイング ステップ
16	スイング コーラス
17	リラックス スイング
18	アーバン ラウンジ
19	ブロードウェイ タップ
20	ブラジリアン ボサ
21	ラウンジ ボサノバ
22	8ビート ボサノバ
23	ポップ ボサノバ
24	タイニー ボサノバ
25	カフェ サンバ
26	ピター スイート ラテン
27	ラテン ロック
28	ダンス ビート ラテン *A
29	ダンス ビート ラテン *B
30	ポップ アコーディオン
31	スイート ボンバ
32	オルケスタ サルサ
33	ニュー フラメンコ
34	ジャミン レゲエ
35	ルンバ アンドザ シティ
36	フレンチ カリビアン
37	カリビアン シー

[5] シンフォニー&ワールド

01ページ

01	ファンファーレ
02	ストリング オーケストラ
03	ロマンチック バイオリン
04	パロック
05	フルート&ハーブ
06	セレナーデ
07	ファスト マーチ
08	ワイルド ウェスト
09	ウィンナー ワルツ
10	ポルカ
11	シャンソン クラブ
12	シアター オルガン
13	フラメンコ
14	ポップ フラメンコ
15	メキシカン ダンス
16	マリアッチ
17	ケルティック ダンス
18	フォーク ステップ
19	イタリアーノ
20	ミュゼット
21	カントリー
22	ハワイアン
23	チャイニーズ ノクターン

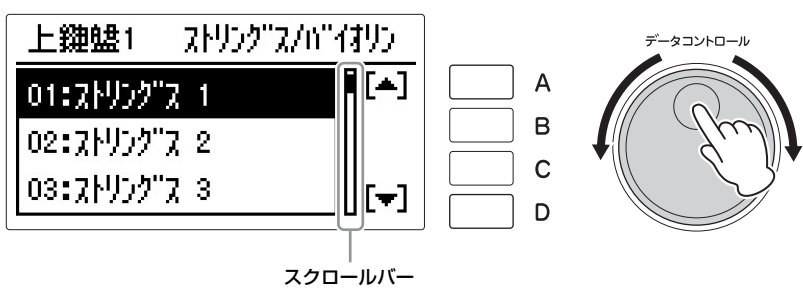
24	ジャパニーズ サウンド
25	オーケストラ マーチ *A
26	オーケストラ マーチ *B
27	オーケストラ マーチ *C
28	オーケストラ マーチ *D
29	バンドブレ *A
30	バンドブレ *B
31	バンドブレ *C
32	バンドブレ *D
33	タンゴ *A
34	タンゴ *B
35	タンゴ *C
36	タンゴ *D
37	ショー タイム *A
38	ショー タイム *B
39	ショー タイム *C
40	ショー タイム *D
41	マジェスティックサウンド *A
42	マジェスティックサウンド *B
43	マジェスティックサウンド *C
44	マジェスティックサウンド *D
45	オーケストラ スイング *A
46	オーケストラ スイング *B
47	オーケストラ スイング *C
48	オーケストラ スイング *D
02ページ	
01	オーケストラ フル ユニット
02	ストリング クラシック
03	スイート ピチカート
04	パロック シンフォニー
05	ノスタルジック グリーン
06	ニュー イヤー マーチ
07	ウィンド オーケストラ
08	プラスバンド バレード
09	コーラル No.9
10	エンジェル ボイス
11	ビート クラシック
12	カンカン ポップ
13	エレガント ワルツ
14	コーラス ワルツ
15	ラブ ワルツ
16	ファンタジー ワールド
17	ムービー パイレーツ
18	コーラス シンフォニー
19	ハリウッド サウンド
20	スーパー ショーチューン
21	TVドラマ トラック *A
22	TVドラマ トラック *B
23	ムービー シンフォニック
24	ムービー サウンドトラック
25	ヤッホー ポルカ
26	ポップ ポルカ
27	ファニー ポルカ
28	カジュアル ポルカ
29	カントリー タウン
30	タンゴ バンド
31	トルコ ポップス
32	オリエンタル ダンス
33	ケルティック ビート
34	ケルティック ワルツ

35	トラッドアイリッシュパイプ
36	アイリッシュ バラード
37	チャイナ スイート バラード
38	チャイナ ロマンチックバラード
39	チャイナ ダンス ビート
40	チャイナ カンファー
41	チャイナ トラッドソング
42	チャイナ トラッドダンス

2 画面の操作

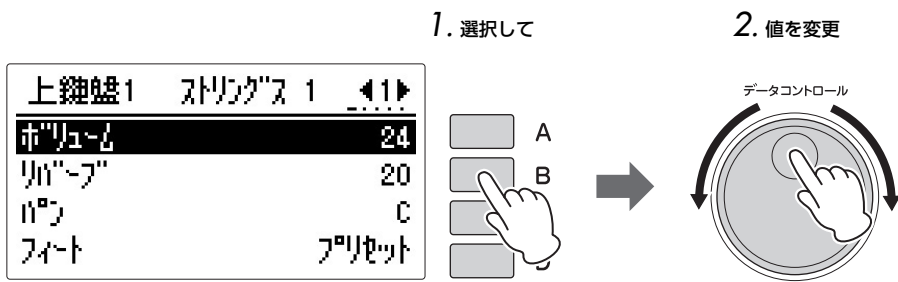
操作は画面を見ながら行ないます。画面の右には、[A]～[D]の4つのボタンと、データコントロールダイヤルがあります。このボタンやダイヤルを使って、画面上に表示されたボイスやリズムを選んだり、ボリュームの数値を変えたりすることができます。ここでは、画面の見方と、画面に応じたボタン/データコントロールダイヤルの操作方法について、主なものを紹介します。

リストから選ぶ



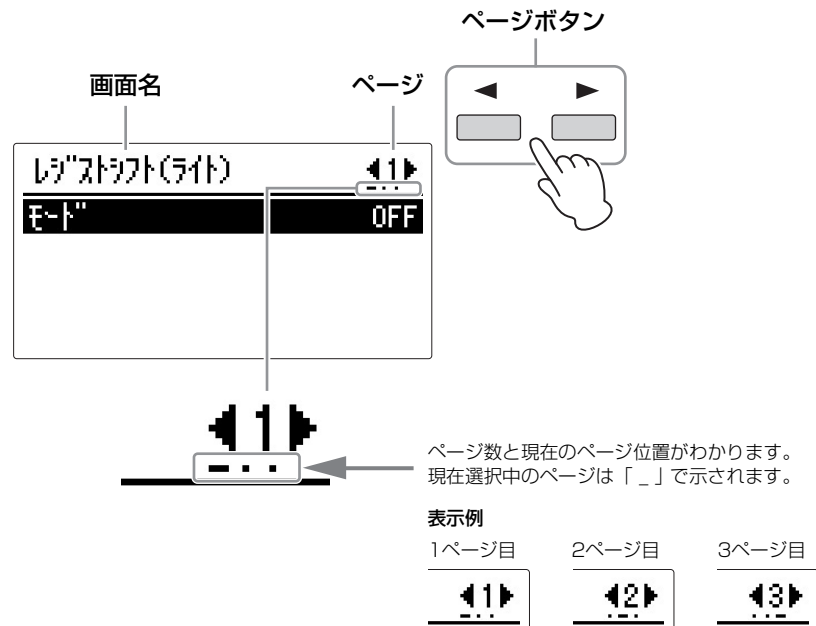
ボイスやリズムのメニューのように、数が多いものはリスト形式で表示されます。リスト形式の画面では、右側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されている場合は、データコントロールダイヤルを回して選びます。スクロールバーのさらに右横に[▲][▼]の表示が出ているときは、画面右横の[A]/[D]ボタンを使って選ぶこともできます。

項目を選んで、値を変更する



リスト以外の多くの画面では、ボリュームやリバーブのように、異なる機能の項目が上下に並んでおり、項目の右端にはそれぞれの値が表示されています。このような画面では、画面右横の[A]～[D]ボタンのうち、選びたい項目と同じ位置にあるボタンを押します。選ばれた項目は反転表示されますので、続けて同じボタンを何度か押すか、データコントロールダイヤルを回すと、値を変更できます。

画面のページを切り替える



画面には、続きのページがある場合があります。画面の右側のページボタンを押すと、画面の次ページや前ページを表示させることができます。現在のページは、画面右上の数字などで確認できます。

両方のボタンを同時に押すと、1ページ目に戻ります。

3 基本設定

画面の表示言語を切り替える

このエレクトーンの画面の表示言語は、初期状態で電源を入れたときには日本語に設定されています。必要に応じて画面の表示言語を英語に切り換えることができます。

1 [ユーティリティー]ボタンを押します。

ユーティリティー画面が表示されます。言語設定はユーティリティー画面で行ないますので、ユーティリティー画面が表示されていない場合は、ページボタンを使ってユーティリティー画面を表示させてください。



2 [A]ボタンを押して「言語/LANGUAGE」を選択したあと、もう一度[A]ボタンを押すと設定が「ENGLISH」になり、表示言語が英語に設定されます。

表示言語を日本語に戻したいときは、もう一度[A]ボタンを押します。[A]ボタンを押すたびに設定が切り替わります。

注記

言語設定は別の画面に移動した時に保存されます。言語設定を保存して電源を切る場合は、別の画面に移動してから電源を切ってください。

エレクトーンの初期化

すべてのデータをリセットして、エレクトーンを初期設定の状態に戻すことができます。レジストレーションメモリーに記録したデータ(5バンクすべて)、画面の言語設定、LCDコントラストを含めたすべての情報をリセットします。楽器にプリセットされているボイスやリズム、レジストレーションメニューなどはなくなりませんが、それ以外のデータはすべて消えてしまいますので、大切なデータはあらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

ただし、無線LAN環境設定だけは、エレクトーンの初期化では初期化されません。詳しくは「無線LAN設定を初期化する」の203ページをご覧ください。

関連ページ

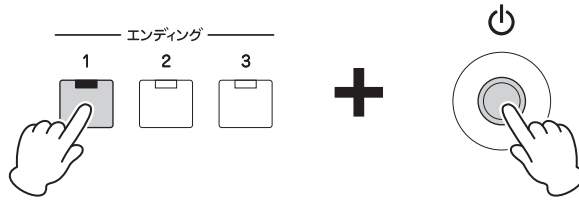
記録したレジストレーションをUSBフラッシュメモリーに保存する(118ページ)

関連ページ

レジストレーションメモリーの初期化(120ページ)

1 いったん、エレクトーンの電源を切ります。

2 パネルの左下にあるエンディング[1]ボタンを押しながら、電源を入れます。

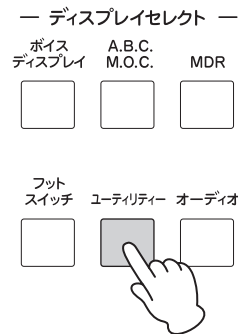


3 ボイスディスプレイが表示されたら、エンディング[1]ボタンから指をはなします。

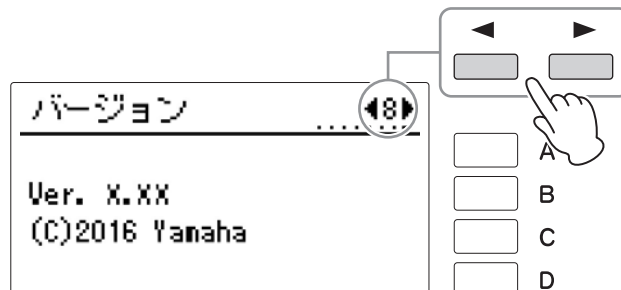
バージョンを確認する

次の手順でエレクトーンのバージョンを確認できます。

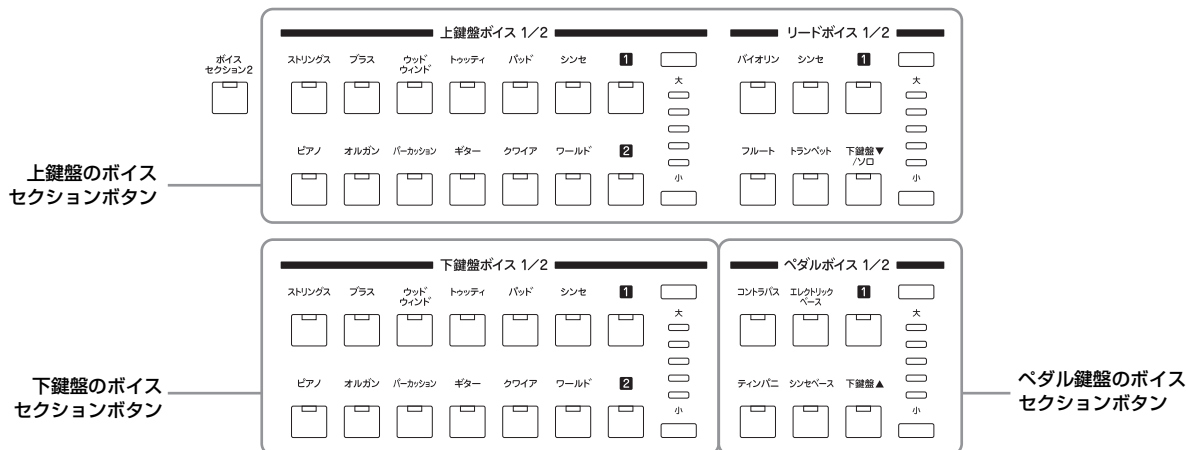
1 [ユーティリティー]ボタンを押します。



2 ページボタンを何度か押して、ページ8を表示させます。
画面にバージョンが表示されます。



このエレトーンには、500種類以上の多彩でリアルな楽器音色が内蔵されており、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の、どの鍵盤にも呼び出して演奏できます。これらの楽器音色のことを、「ボイス」といいます。上鍵盤では4つ、下鍵盤では2つ、ペダル鍵盤では2つのボイスを重ねて鳴らすことができます。



1 各鍵盤で選べるボイス

上鍵盤で選べるボイス

上鍵盤ボイス1、上鍵盤ボイス2、リードボイス1、リードボイス2の4つのボイスセクションがあり、それぞれのボイスセクションで選んだボイスを重ねて鳴らすことができます。

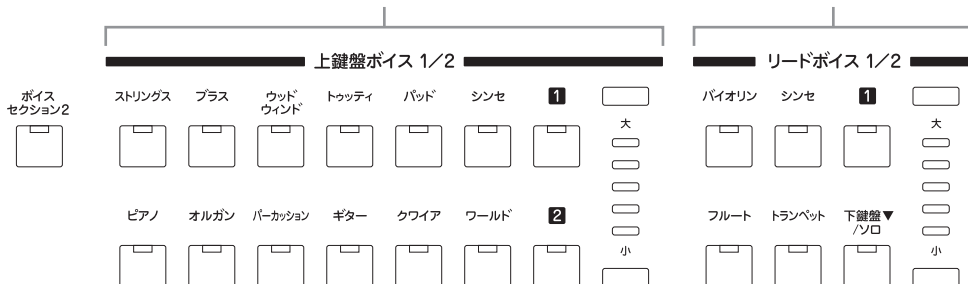
上鍵盤ボイス1と上鍵盤ボイス2は、パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」のボタン群、リードボイス1とリードボイス2は、「リードボイス1/2」のボタン群でボイスを選びます。

📎 関連ページ

- ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替え(36ページ)
- ユーザーボタン(39ページ)
- [下鍵盤▼/ソロ]ボタン(38、39ページ)

上鍵盤ボイス1と上鍵盤ボイス2のボタン群

リードボイス1とリードボイス2のボタン群



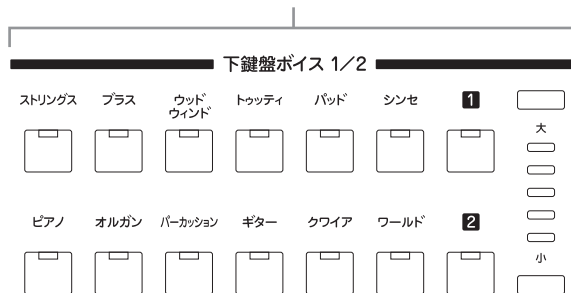
リードボイスとは、オーケストラなどで比較的高音部のメロディー部分を演奏し、他の楽器部分をリードする楽器の音色のことです。そのため4つのボイスセクションのうち、リードボイス1とリードボイス2は、和音を弾いても最高音1音だけしか鳴りません。リードボイスは、トランペットやサクスのような、和音を鳴らすことができない楽器を演奏するのに適したボイスセクションといえます。

初期設定では、電源を入れて最初に上鍵盤を弾いたときに鳴る音は、上鍵盤ボイス1のみです。

下鍵盤で選べるボイス

下鍵盤ボイス1、下鍵盤ボイス2の2つのボイスセクションがあり、それぞれ「下鍵盤ボイス1/2」のボタン群でボイスを選びます。選んだボイスは重ねて鳴らすことができます。

下鍵盤ボイス1と下鍵盤ボイス2のボタン群



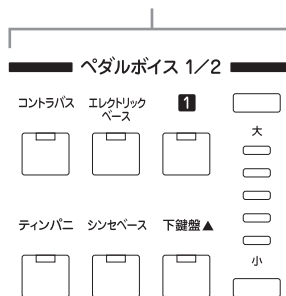
関連ページ

[下鍵盤▲]ボタン(38ページ)

ペダル鍵盤で選べるボイス

ペダルボイス1、ペダルボイス2の2つのボイスセクションがあり、それぞれ「ペダルボイス1/2」のボタン群でボイスを選びます。選んだボイスは重ねて鳴らすことができます。ただし、ペダル鍵盤の演奏では、複数の鍵盤を同時に押しても、押された鍵盤の一番高い音が1つだけ鳴ります。

ペダルボイス1とペダルボイス2のボタン群

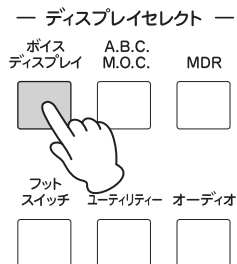


2 ボイスディスプレイ

ボイスディスプレイで、各鍵盤にどのボイス(楽器音色)が設定されているかを確認できます。また、それぞれのボイスのオン/オフを設定することで、音を鳴らしたり/鳴らさなくしたりすることもできます。ここでは、ボイスディスプレイの見方を説明します。

ボイスディスプレイを表示させるには:

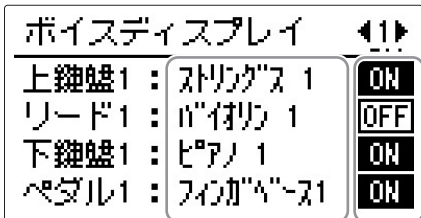
ボイスディスプレイを呼び出すには、パネルの[ボイスディスプレイ]ボタンを押します。(電源オン時には、必ずボイスディスプレイが表示されます。)



ボイスディスプレイには、3つのページがあります。画面右上のページボタンでページを切り替えます。

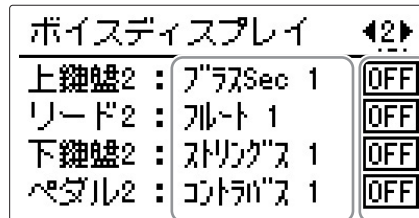
ボイスディスプレイ画面の1ページ目と2ページ目には、各ボイスセクションに現在設定されている音色名とオン(ON) / オフ(OFF)設定が表示されます。

ボイスディスプレイ [ページ1]



音色名 オン/オフ設定

ボイスディスプレイ [ページ2]



音色名 オン/オフ設定

ボイスのオン/オフ設定

鍵盤を押さえたときに音を鳴らすか(ON) / 鳴らさないか(OFF)を、ボイスセクションごとに設定できます。設定したいボイスセクションの右横にある [A]~[D]ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。

ページ1とページ2

このエレクトーンでは、パネル上のボイスセクションを1か2に切り替えて、それぞれから好きなボイスを選べます。そのためボイスディスプレイも、ボイスセクション1で選ばれているボイスを確認するための[ページ1]と、ボイスセクション2で選ばれているボイスを確認するための[ページ2]があります。

パネル左上の[ボイスセクション2]ボタンを押すたびに、ボイスセクションの1と2が切り替わり、対応したページが表示されます。

📎 関連ページ

ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替え(36ページ)

NOTE

ページ1とページ2の表示によっても、ボイスセクションの1と2が切り替わります。

ボイスセクション1のとき

([ボイスセクション2]ボタン消灯)



ボイスディスプレイ		◀1▶
上鍵盤1 : ストリングス 1	ON	上鍵盤ボイス1
リード1 : リード付 1	OFF	リードボイス1
下鍵盤1 : ピアノ 1	ON	下鍵盤ボイス1
ペダル1 : フィンガース 1	ON	ペダルボイス1

ボイスセクション1から選ばれている各ボイス(上鍵盤ボイス1、下鍵盤ボイス1、ペダルボイス1、リードボイス1)が確認できます。

ボイスセクション2のとき

([ボイスセクション2]ボタン点灯)



ボイスディスプレイ		◀2▶
上鍵盤2 : フラズSec 1	OFF	上鍵盤ボイス2
リード2 : フルト 1	OFF	リードボイス2
下鍵盤2 : ストリングス 1	OFF	下鍵盤ボイス2
ペダル2 : コントラバス 1	OFF	ペダルボイス2

ボイスセクション2から選ばれている各ボイス(上鍵盤ボイス2、下鍵盤ボイス2、ペダルボイス2、リードボイス2)が確認できます。

ボイスディスプレイ [ページ3]

レジスト設定		◀3▶
バンク	A	
		[---]

関連ページ

レジストレーションメモリー
(111ページ)

レジストレーションの記録先となるバンクを選んだり、記録したレジストレーションを呼び出すときにバンクを選んだりします。詳しくは116ページをご覧ください。


3 ボイスボタンでボイスを選ぶ

ボイスの選び方は、どの鍵盤でも共通です。ボイスはボイスセクション1とボイスセクション2から選べますが、ここでは上鍵盤ボイス1を選ぶ例を使って、ボイスセクション1から選ぶ手順を説明します。ボイスセクション2から選ぶ方法は37ページにあります。

ボイスセクション1からボイスを選ぶ

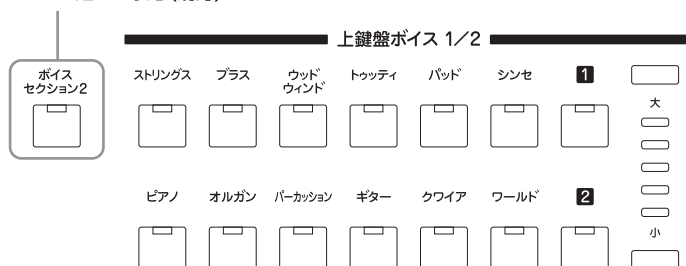
1 [ボイスセクション2]ボタンが消灯していることを確認します。

[ボイスセクション2]ボタンが点灯している場合は、ボタンを押して消灯させます。

 関連ページ

ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替え(36ページ)

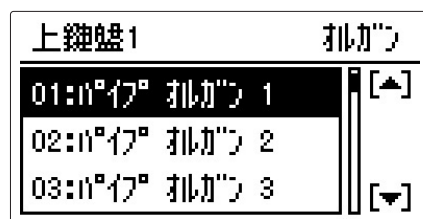
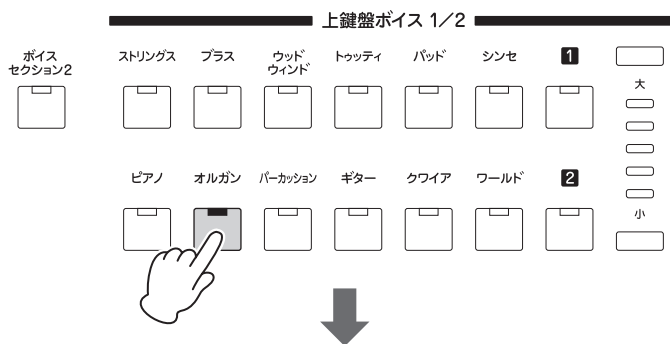
ボイスセクション1が選べる状態(消灯)



[ボイスセクション2]ボタンの消灯時は、パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」のボタン群はボイスセクション1に切り替わり、上鍵盤ボイス1が選べる状態になります。

2 パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」の中のいずれかのボイスボタンを押します。

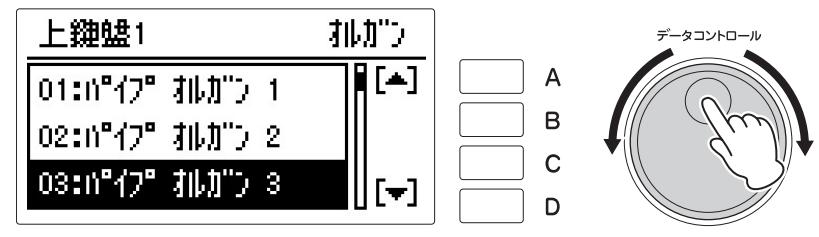
たとえば[オルガン]ボタンを選択した場合、画面に以下の表示が現れます。



画面には、[オルガン]ボタンの中に入っているいろいろな種類のオルガン音色(ボイスメニュー)が表示されます。

3 データコントロールダイヤルを回して、ボイスメニューの中から、使用したいボイスを選びます。

画面右横の[A]または[D]ボタンを押してボイスを選ぶこともできます。



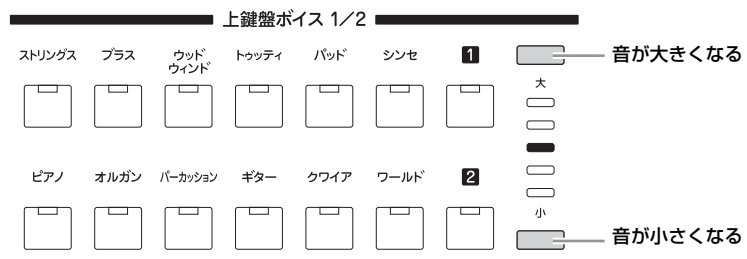
同じ手順で、リードボイス1、下鍵盤ボイス1、ペダルボイス1も選べます。

ボイスの音量を変える

ボイスの音量を設定するには、ボイスセクションのボリュームボタンを使う方法と、画面上で設定する方法があります。画面上で設定する方が、音量を細かく設定できます。

ボリュームボタンでの設定:

それぞれのボイスセクションの右端にあるボリュームボタンを使用します。5段階の設定が可能です。小(一番下)にすると、音は鳴りません。



NOTE

ボイスコンディション画面からボリュームの設定を行なうと、設定値によりパネル上のボリュームボタンが2つ点灯する場合があります。

NOTE

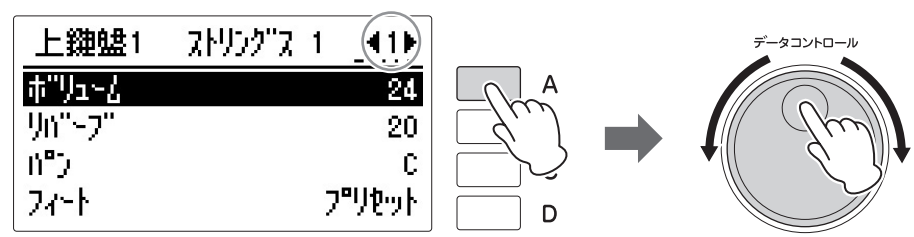
ボイスディスプレイ画面でボイスがオフに設定されているとき、そのボイスセクションの音量は0になっていますが、オフにしたボイスセクション(パネル上のボタン群)の右端にあるボリュームボタンを押して音量を上げたり、ボイスコンディション画面でボリュームを上げると、オンに変わります。

画面上での設定:

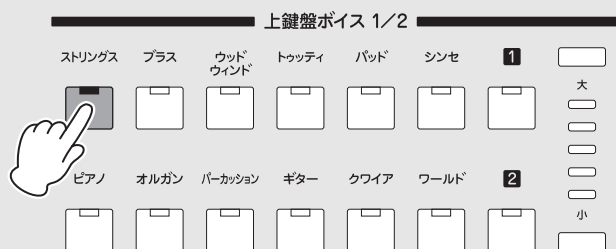
ボイスを選んだあと、同じボイスボタンをもう1度押すと、ボイスコンディション画面が表示されます。

ボイスコンディション画面のページ1を表示させると、ボイスの基本的な設定が表示されます。[A]ボタンを押してボリュームの項目を選び、データコントロールダイヤルで値を調節します。0~24の細かな設定が可能です。

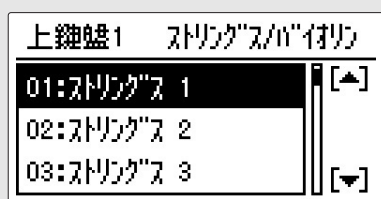
ボイスコンディション画面 [ページ1]



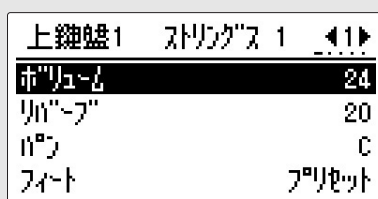
パネル上のボイスボタンを一度押すと、そのボイスメニューが画面上に表示されます。もう一度押すと、ボイスコンディション画面が表示されます。ボタンを繰り返し押すと、ボイスメニュー画面とボイスコンディション画面が交互に表示されます。



ボイスメニュー画面



ボイスコンディション画面



ボイスコンディション画面は、パンやエフェクト、ボリュームなど、ボイスに関する設定を行なう画面です。ボイスコンディション画面については、53ページをご覧ください。

4 ボイスセクション2からボイスを選ぶ

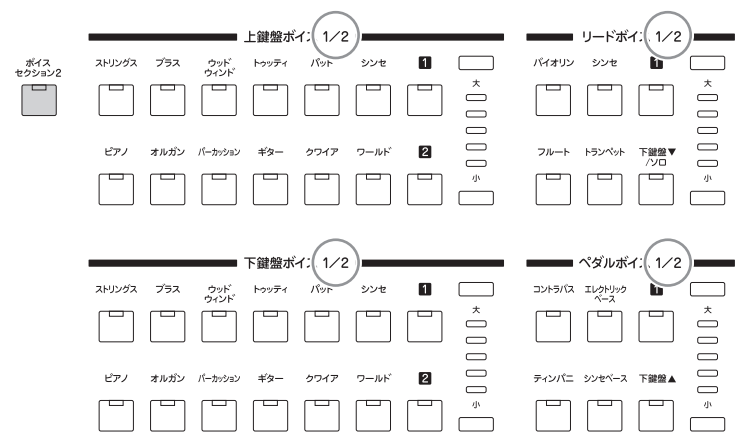
ボイスセクションを1か2に切り替えて、それぞれからボイスを選ぶことで、各鍵盤でボイスを重ねて、音に厚みをつけることができます。ボイスセクション1からボイスを選ぶ方法は、33ページにあります。ここでは上鍵盤ボイス2を選ぶ例を使って、ボイスセクション2からボイスを選ぶ方法を説明します。

ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替え

NOTE
ボイスセクション1とボイスセクション2を切り替えても、鍵盤で鳴る音が切り替わるわけではありません。

ボイスセクション1とボイスセクション2の切り替えは[ボイスセクション2]ボタンで行ないます。

パネル上で「1/2」と表記してあるボイスセクションは、[ボイスセクション2]ボタンを押すことでボイスセクション1とボイスセクション2を切り替えて、それぞれのボイスセクションからボイスを選ぶことができます。



[ボイスセクション2]ボタンを押すたびにパネル上のボイスセクション1とボイスセクション2が切り替わり、セクション1のときはボタンのランプが消灯、セクション2のときはボタンのランプが点灯します。

ボイスセクション1
[ボイスセクション2]消灯

ボイスセクション1に切り替わっていますので、上鍵盤ボイス1、リードボイス1、下鍵盤ボイス1、ペダルボイス1が選べます。



ボイスセクション2
[ボイスセクション2]点灯

ボイスセクション2に切り替わっていますので、上鍵盤ボイス2、リードボイス2、下鍵盤ボイス2、ペダルボイス2が選べます。

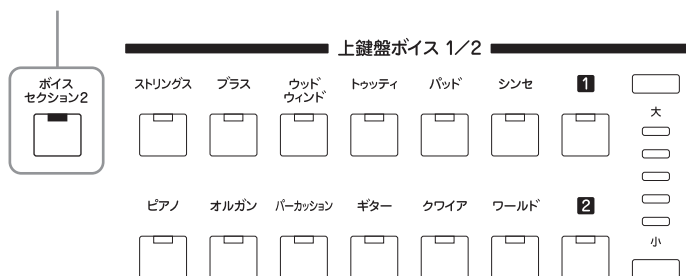
ボイスセクション2からボイスを選ぶ

ボイスセクション2からボイスを選ぶ方法は、どの鍵盤でも同じですので、ここでは上鍵盤を例として、上鍵盤ボイス2を選んでみましょう。

1 [ボイスセクション2]ボタンが点灯していることを確認します。

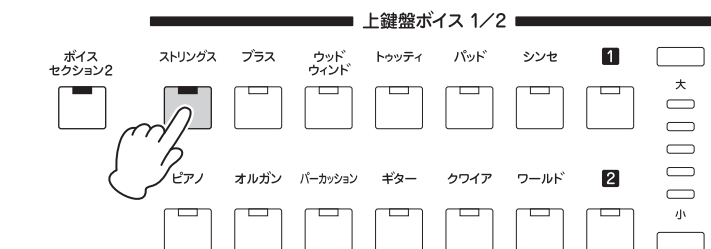
[ボイスセクション2]ボタンが消灯している場合は、ボタンを押して点灯させます。

ボイスセクション2が選べる状態(点灯)



これで、パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」のボタン群で、上鍵盤ボイス2が選べる状態に切り替わりました。

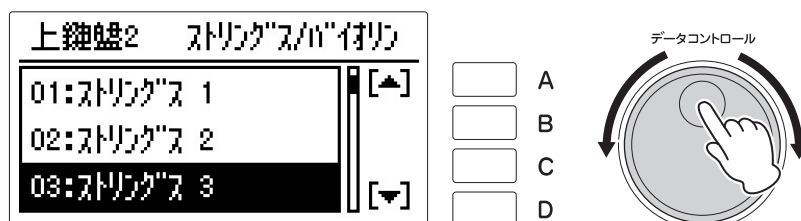
2 パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」の中のいずれかのボイスボタンを押します。



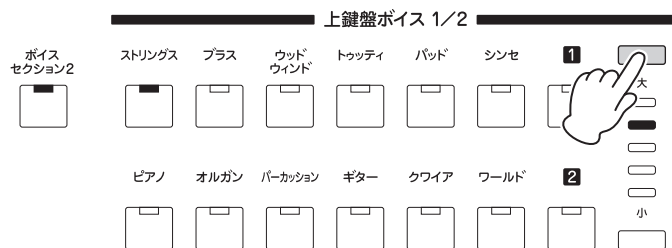
上鍵盤ボイス2を意味します。



3 データコントロールダイヤルを回して、使用したいボイスを選びます。



4 上鍵盤ボイス1/2の右端にあるボリュームボタンを押して、上鍵盤ボイス2の音量を上げます。



電源を入れて最初にボイスセクション2からボイスを選んだときは、上鍵盤ボイス2、リードボイス2、下鍵盤ボイス2、ペダルボイス2の音量は0になっていますので、鍵盤を弾いてもこれらの音は鳴りません。それぞれ選んだボイスセクションの右端にあるボリュームボタンを押して音量を上げてください。ボイスセクション2点灯時、ボリュームボタンは、ボイスセクション2専用の音量コントロールになります。

同様に、リードボイス2、下鍵盤ボイス2、ペダルボイス2の音色を設定することができます。

📎 関連ページ

ボイスのオン/オフ設定(31ページ)

鍵盤を弾いてもボイスセクション2のボイスを鳴らさないようにするには、[ボイスセクション2]点灯時に、選んだボイスセクションの右端にあるボリュームボタンを使って音量を0にするか、ボイスディスプレイ[ページ2]で設定をオフにします。

NOTE

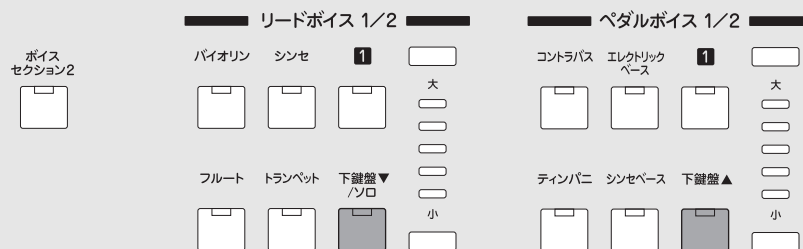
下鍵盤機能がオンのときでも、下鍵盤で演奏されるペダルボイス1、2のサステインはペダルのサステインによってコントロールされます。

NOTE

下鍵盤機能がオンのときでも、下鍵盤で演奏されるリードボイス1、ペダルボイス1、2は単音でしか鳴りません。

下鍵盤(トゥーロー)機能

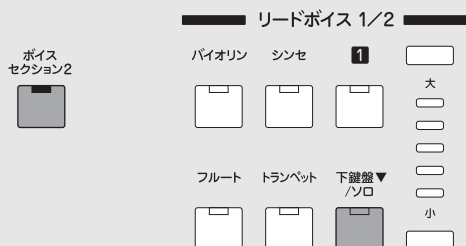
リードボイス1と、ペダルボイス1、2のボイスセクションで選んだボイスは、それぞれのボイスセクション内の[下鍵盤▼/ソロ]または[下鍵盤▲]ボタンを押すと、下鍵盤で演奏できます。



下鍵盤機能は、リードボイス2にはありません。

この機能がオンになっていると、上鍵盤/ペダル鍵盤を弾いても、リードボイス1/ペダルボイスは発音しません。

ソロ機能



ELSシリーズのエレクトーンには、演奏中でも瞬時に上鍵盤をリードボイス2のみのソロ演奏に切り替えることができる、ソロ機能が搭載されています。

このソロ機能を含んだソングをMDR機能で再生できます。再生後、[下鍵盤▼/ソロ]ボタンが点灯している場合は、リードボイス2が発音しない状態になります。その場合は[下鍵盤▼/ソロ]ボタンをオフ(消灯)にしてください。

NOTE

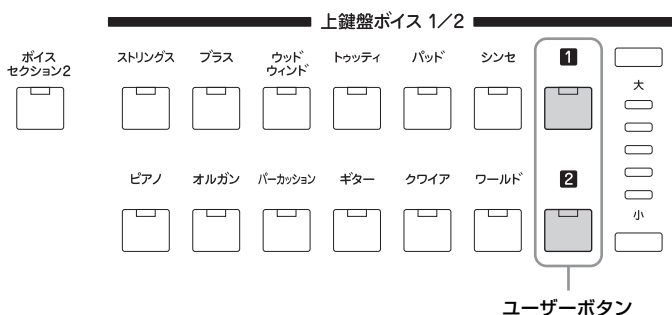
[下鍵盤▼/ソロ]ボタンは、[ボイスセクション2]ボタンが消灯しているときは下鍵盤機能、点灯しているときはソロ機能に切り替わります。

5 ユーザーボタンでボイスを選ぶ

このエレクトーンには、パネル上のボイスボタン数より多くの音色が内蔵されています。今までに、個々のボイスの選択方法を説明しましたが、ここでは、それぞれのボイスセクションの全ボイスを自在に使いこなせる、便利なユーザーボタンについて説明します。個々のボイスセクションには、右端に2つ(または1つ)のユーザーボタンがあります。このユーザーボタンを使うことで、すべてのボイスセクションのボイスを、どのボイスセクションにも呼び出せます。ユーザーボタンには、以下のように2通りの便利な使い方があります。

NOTE

S-バイオリン、S-フルート、S-アルトサクソ、S-アイリッシュパイプの4音色は、リードボイス1/2とペダルボイス1/2のボイスセクションに限り演奏できます。上鍵盤ボイス1/2、下鍵盤ボイス1/2では音色が選べません(リストが表示されません)。



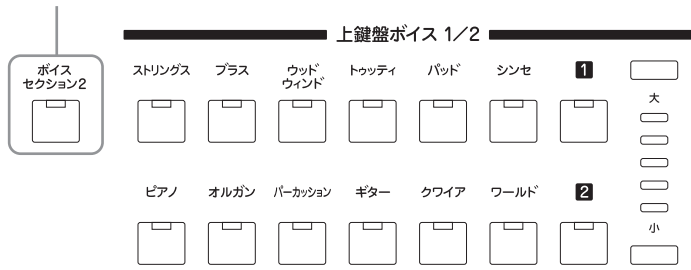
- 内蔵されたすべてのボイスを、上鍵盤でも、下鍵盤でも、ペダル鍵盤でも使用することができます。たとえば、パネル上の「上鍵盤ボイス1/2」には12個のボイスボタン——したがって12種類のボイスカテゴリーがありますが、ユーザーボタンを使うことによって、パネル上のボイスセクションすべてのカテゴリーから、ボイスを選択することが可能になります。
- 演奏の途中でボイスを切り替えたい場合、1つのボイスセクションの2つのユーザーボタンに呼び出しておくことで、あらかじめパネル上にボイスを用意しておけます。

ここでは上鍵盤ボイス1のユーザー [1]ボタンに、ペダル鍵盤ボイスの「コントラバス」ボタンに入っている「コントラバス5」を呼び出してみましょう。

1 [ボイスセクション2]ボタンが消灯していることを確認します。

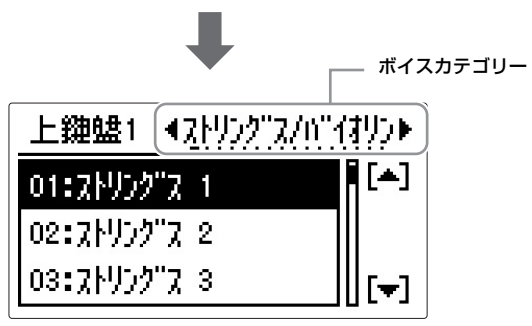
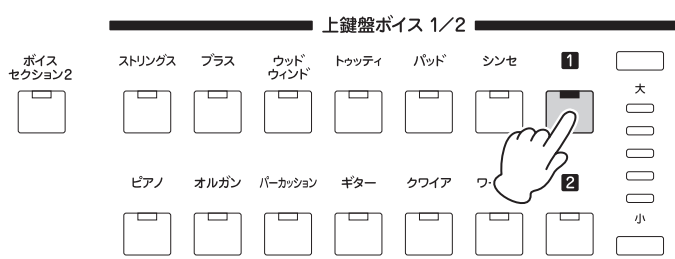
[ボイスセクション2]ボタンが点灯している場合は、ボタンを押して消灯させます。

上鍵盤ボイス1が選べる状態(消灯)



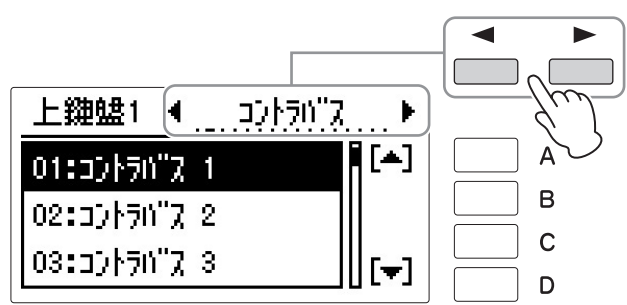
2 使用したいボイスセクションのユーザーボタンを押します。(この場合、上鍵盤ボイス1のユーザー [1]ボタン)

画面に、ボイスカテゴリーが表示されます。



3 画面の右側にあるページボタンを使用して、使用したい音色が属しているカテゴリーを選択します。

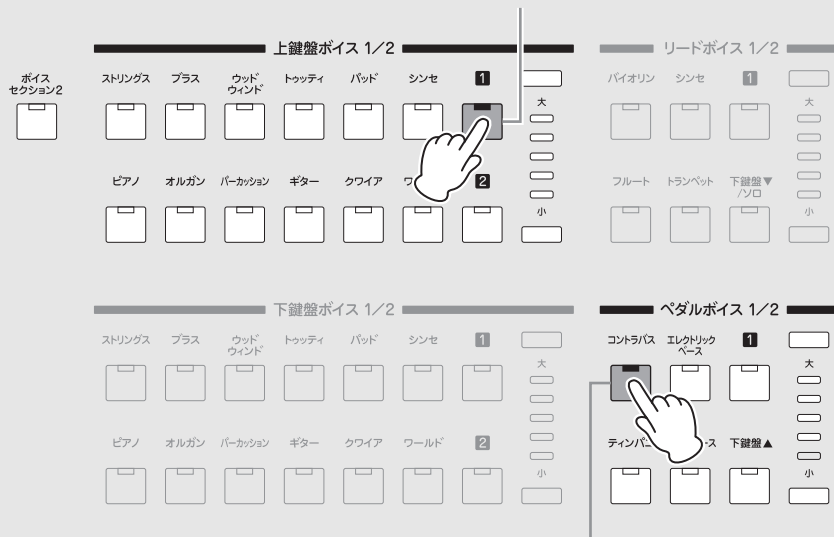
この場合は「コントラバス」を選択します。



カテゴリーをすぐ選ぶには

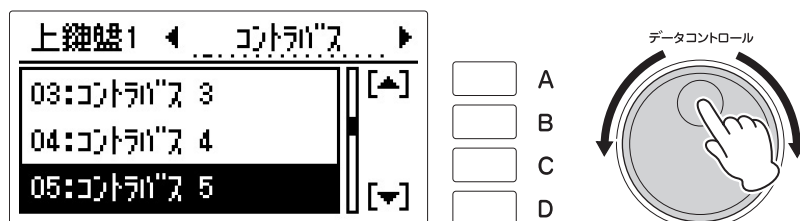
ユーザーボタンを押しながら、自分の使用したいボイスボタンを押すと、他のページを經由しなくても、すぐにそのページが選択できます。

1. ユーザーボタンを押しながら



2. ボイスボタンを押します。

4 データコントロールダイヤルで、「コントラバス5」を選択します。



これで、上鍵盤ボイス1のユーザー[1]ボタンには「コントラバス5」が設定されました。同様に、ほかのボイスセクションのユーザーボタンにも好きなボイスを設定できます。

6 ボイスリスト

内蔵されているボイスの一覧です。

スーパーアーティキュレーションボイス：「S-」で始まるボイスはスーパーアーティキュレーションボイスといいます。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、音色解説の欄をご覧ください。

「AEM」とは、データベースの中から演奏に最適なサンプリングデータをリアルタイムで選び出し、それらを滑らかにつなげて発音させることで、自然なアコースティック楽器の音を再現するヤマハの音源技術の商標です。

オートアーティキュレーションボイス：ボイスコンディション画面のページ6にある「オートアーティキュレーション」(59ページ)をONにしたとき、鍵盤演奏で効果が得られるボイスです。これらのボイスを演奏することでどのような効果が得られるかについては、音色解説の欄をご覧ください。

S-バイオリンまたはS-アルト サックスを使用している場合は、短7度、長7度、オクターブの音程をレガートで演奏をした場合にポルタメントまたはグリッサンドの効果が得られます。

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説
ストリングス/ バイオリン	01	ストリングス 1	オーケストラの弦楽アンサンブル(バイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバス)です。クラシックからポピュラーまで幅広く使えるように、軽めでポップな音色、弦を擦る音までリアルな音色、豊かで深みのある音色など、バリエーションも豊富です。
	02	ストリングス 2	
	03	ストリングス 3	
	04	ストリングス 4	
	05	ストリングス 5	
	06	ストリングス 6	
	07	ストリングス 7	
	08	ストリングス 8	
	09	ストリングス 9	
	10	ストリングス 10	
	11	ストリングス 11	
	12	スロー ストリングス	
	13	チェンバー ストリングス 1	室内楽をイメージした弦楽アンサンブルです。編成の違うバリエーションがあります。
	14	チェンバー ストリングス 2	
	15	チェンバー ストリングス 3	
	16	チェンバー ストリングス 4	
	17	ピチカート ストリングス 1	指で弦を弾くピチカート奏法のストリングスです。響きや鳴り方の違うバリエーションがあります。
	18	ピチカート ストリングス 2	
	19	ピチカート ストリングス 3	
	20	ピチカート ストリングス 4	
	21	トレモロ ストリングス	同じ音を刻んで弾くトレモロ奏法のストリングスです。
	22	スピッカート ストリングス	弓を跳ねさせて演奏するスピッカート奏法のストリングスです。
	23	ストリングス1&6	ストリングス1とストリングス6の合成音です。
	24	ストリングス2&ピオラ	ストリングス2とピオラの合成音です。
	25	ストリングス3&4	ストリングス3とストリングス4の合成音です。
	26	ストリングス6&バイオリン4	ストリングス6とバイオリン4の合成音です。
	27	バイオリン4&チェロ	バイオリン4とチェロの合成音です。
	28	オクターブ ストリングス 1	オクターブで鳴っている弦楽アンサンブルです。
	29	オクターブ ストリングス 2	
	30	オクターブ ストリングス 3	
	31	バイオリン 1	表現力がとても豊かな楽器です。クラシックだけでなく、ジャズやカントリー&ウエスタンでも活躍します。華やかな音色から柔らかな音色などのバリエーションがあります。
	32	バイオリン 2	
	33	バイオリン 3	
	34	バイオリン 4	
	35	バイオリン 5	
	36	バイオリン 6	
	37	ピチカート バイオリン	指で弦を弾くピチカート奏法のバイオリンです。
	38	ピオラ	バイオリンより少し大きな楽器で中音部を受け持つ楽器です。
	39	チェロ 1	あたたかく深みのある音色が特徴の楽器です。
	40	チェロ 2	

カテゴリ名	No.	音色名	音色解説
ストリングス/ バイオリン	41	S-バイオリン	*1 *2 スーパーアーティキュレーションボイスです。AEM技術を用いてレガートやリリース音までリアルに再現します。オートアーティキュレーションをONにすれば、オクターブをレガートで演奏した場合、ポルタメント奏法になり自然な演奏表現が可能です。
コントラバス	01	コントラバス 1	低音域を受け持って、どっしりとした力強い音で音楽を支える楽器です。ホールを包み込むような深い音色から、ソロ音色までのバリエーションがあります。
	02	コントラバス 2	
	03	コントラバス 3	
	04	コントラバス 4	
	05	コントラバス 5	
	06	コントラバス 6	
	07	ピチカート ベース 1	指で弦を弾くピチカート奏法のコントラバスです。
	08	ピチカート ベース 2	
	09	アコースティック ベース 1	ジャズで活躍するアコースティックベースです。アップライトベース、ウッドベースとも呼ばれます。
	10	アコースティック ベース 2	
	11	ベース & シンバル	アコースティックベースにライドシンバルを加えた音色です。
ブラス/ トランペット	01	ブラス セクション 1	トランペット主体のブラスセクションです。クラシック向きの音色から、華やかなビッグバンドサウンド、ポップスに合うタイトな音色までバリエーションがあります。
	02	ブラス セクション 2	
	03	ブラス セクション 3	
	04	ブラス セクション 4	
	05	ブラス セクション 5	
	06	ブラス セクション 6	
	07	パワー ブラス	歯切れのよい、迫力のある、ブラスセクションサウンドです。
	08	ソフト ブラス	伸びのある、柔らかなブラスセクションサウンドです。
	09	トロンボーン セクション 1	トロンボーン主体のブラスセクションです。クラシックに合う味わい深い音色や、ジャズバラードに欠かせない甘めの音色、ポップス向きの明るくライトな音色などバリエーションがあります。
	10	トロンボーン セクション 2	
	11	トロンボーン セクション 3	
	12	トロンボーン セクション 4	
	13	トロンボーン セクション 5	
	14	トロンボーン セクション 6	
	15	ブラス1&トランペット6	ブラスセクション1とトランペット6の合成音です。
	16	ブラス2&トランペット6	ブラスセクション2とトランペット6の合成音です。
	17	ホルン 1&3	ホルン1とホルン3の合成音です。
	18	オクターブ ブラス 1	オクターブで鳴っているブラスセクションです。アタック感の強いインパクトのある音色から、サウンドの厚みを豊かにする柔らかな音色までさまざまなバリエーションがあります。
	19	オクターブ ブラス 2	
	20	オクターブ ブラス 3	
	21	オクターブ ブラス 4	
	22	オクターブ ブラス 5	
	23	オクターブ ブラス 6	
	24	オクターブ ブラス 7	
	25	オクターブ ブラス 8	
	26	トランペット 1	輝きのある明るい音色で、音楽を華やかに彩る楽器です。高らかに響くファンファーレから、クラシック、ジャズ、ポップスまで、いろいろなジャンルで活躍する音色です。
	27	トランペット 2	
	28	トランペット 3	
	29	トランペット 4	
	30	トランペット 5	
	31	トランペット 6	
	32	トランペット 7	
	33	トランペット 8	
	34	トランペット 9	
	35	ミュート トランペット 1	トランペットのベルに、ミュートとよばれる弱音器をさしこんで吹いた音色です。鼻のつまったような弱い音や金属的な音になります。
	36	ミュート トランペット 2	
	37	ミュート トランペット 3	
	38	ミュート トランペット 4	
	39	フリューゲル ホルン 1	トランペットよりも太く柔らかな音の特徴の楽器です。
	40	フリューゲル ホルン 2	
	41	トロンボーン 1	のび縮みするスライドがトロンボーンの特徴です。輝かしくパワフルな音色から柔らかにsweetな音色まで、表現力がとても豊かな楽器です。
	42	トロンボーン 2	
	43	トロンボーン 3	
	44	ミュート トロンボーン 1	音を小さくしたり音色を変えるためにミュートを使用したトロンボーンです。
	45	ミュート トロンボーン 2	

カテゴリ名	No.	音色名	音色解説
ブラス/ トランペット	46	ホルン 1	管が丸く巻かれたユニークな形をしている楽器です。柔らかく温かみのある音色が特徴で、金管、木管問わずあらゆる楽器の音とよく馴染み、オーケストラや吹奏楽には欠かすことのできない楽器です。
	47	ホルン 2	
	48	ホルン 3	
	49	ホルン 4	
	50	ホルン 5	
	51	ホルン 6	
	52	ミュート ホルン	ミュートを使って鋭く金属的な音色にしたホルンです。ベルの中に手を入れて吹いたときと同じような音色になります。
	53	チューバ 1	低音域を受け持ち、吹奏楽やオーケストラサウンドを支える安定した響きのある音色です。時には激しい音色やユーモラスなフレーズも受け持つ、表情豊かな楽器です。
	54	チューバ 2	
55	ユーフォonium	幅のある深い響きが特徴の楽器です。高貴な音でソロ楽器としても使われます。	
56	ブラス ベース 1	低音域を受け持つブラスアンサンブルです。ティンパニとのセット音色もあります。	
57	ブラス ベース 2		
58	ブラス ベース 3		
ウッドウィンド/ フルート	01	フルート 1	鳥のさえずりのように軽やかで透き通った音色が特徴です。速い音の動きも、なめらかなメロディーも、どちらも得意な楽器です。
	02	フルート 2	
	03	フルート 3	
	04	フルート 4	
	05	フルート 5	
	06	ピッコロ	フルートよりも1オクターブ高く、最も高い音域を受け持つ楽器です。
	07	リコーダー 1	学校の授業にも使われる縦笛です。パロック時代の作品にも多く登場し、やや硬質の丸い音が特徴です。
	08	リコーダー 2	
	09	オカリナ	非常に古い歴史を持つ、素朴で暖かい音が特徴の楽器です。息の強さで音程や音質を変化させます。
	10	ホイッスル	口笛の音色です。
	11	クラリネット 1	音域が幅広いことが特徴の楽器で、低音は豊かな響きをもち、高音は明るく鋭さも表現できます。オーケストラ、吹奏楽、室内楽、ジャズなど、幅広いジャンルで活躍する音色がそろっています。
	12	クラリネット 2	
	13	クラリネット 3	
	14	クラリネット 4	
	15	バス クラリネット	太く深みのある音色で、通常のクラリネットよりも1オクターブ低い音域の楽器です。
	16	オーボエ 1	ダブルリードの木管楽器です。少し鼻にかかったような情緒的で甘い音色が魅力で幅広い表現力を持っています。
	17	オーボエ 2	
	18	オーボエ 3	
	19	イングリッシュホルン	オーボエより、ひとまわり大きい楽器で、味わい深い音色が魅力です。コールアングレとも呼ばれます。
	20	バスーン 1	ダブルリードの仲間、低音域を受け持ちユーモラスな音色と表情が特徴的です。ソロでも活躍しますが、歯切れの良い軽やかなスタッカートも得意です。ファゴットとも呼ばれます。
	21	バスーン 2	
	22	バスーン 3	
	23	アルト サックス 1	木管楽器の中では最も大きな音が出せ、ボーカルの役目も果たす楽器とされています。表現の幅が広いのが特徴で、クラシックだけでなくジャズでも活躍します。
	24	アルト サックス 2	
	25	テナー サックス 1	クラシックからジャズ、演歌まで幅広く活躍する音色です。ファンキーなフレーズだけでなく、ムーディなソロも得意な音色がそろっています。
	26	テナー サックス 2	
	27	テナー サックス 3	
	28	ソプラノ サックス	高く、伸びやかな音の特徴で、甘く歌い上げるようなフレーズなども得意です。
	29	バリトン サックス	柔軟でハリのある低音が特徴の音色です。
	30	サックス アンサンブル 1	クラシック向きの柔らかな音色や、ビッグバンドに欠かせない派手な音色など、サックスの表現力の広さを活かしたアンサンブル音色がそろっています。
	31	サックス アンサンブル 2	
	32	サックス アンサンブル 3	
	33	サックス アンサンブル 4	
	34	サックス アンサンブル 5	
	35	サックス アンサンブル 6	
	36	ウッドウィンド 1	木管楽器のアンサンブルです。音域によって楽器の組み合わせが変わったり、さまざまな音の表情が楽しめます。
	37	ウッドウィンド 2	
	38	ウッドウィンド 3	
	39	ウッドウィンド 4	
	40	クラリネット&フルート	クラリネットとフルートのアンサンブルです。
	41	クラリネット&オーボエ	クラリネットとオーボエのアンサンブルです。
	42	フルート&オーボエ	フルートとオーボエのアンサンブルです。
	43	ウッドウィンド&グロッケン	木管楽器アンサンブルにグロッケンシュピールを加えた音色です。
	44	S-フルート	*1 *2 スーパーアーティキュレーションボイスです。AEM技術を用いてレガートやリリース音までリアルに再現します。

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説	
ウッドウィンド/ フルート	45	S-アルト サックス	*1 *2 スーパーアーティキュレーションボイスです。AEM技術を用いてレガートやリリース音までリアルに再現します。オートアーティキュレーションをONにすれば、オクターブをレガートで演奏した場合、グリッサンド奏法になり自然な演奏表現が可能です。	
トゥッティ	01	ストリングス&ウィンズ	ストリングスとウッドウィンドのアンサンブルです。	
	02	ストリングス&プラス 1	ストリングスとプラスセクションのアンサンブルです。	
	03	ストリングス&プラス 2		
	04	ストリングス&プラス 3		
	05	ストリングス&ホルン	ストリングスとホルンのアンサンブルです。	
	06	トランペット&ウィンズ	トランペットとプラスセクションとウッドウィンドのアンサンブルです。	
	07	ホルン&ウィンズ	ホルンとウッドウィンドのアンサンブルです。	
	08	オーケストラ ベース	チューバとコントラバスとティンパニのアンサンブルです。	
	09	プラス&サックス 1	プラスセクションとサックスのアンサンブルです。	
	10	プラス&サックス 2		
	11	プラス&サックス 3		
	12	プラス&ウィンズ	プラスセクションとウッドウィンドのアンサンブルです。	
	13	オーケストラ ヒット 1	オーケストラで一斉に出した音をサンプリング(シミュレート)した音色です。曲中のアクセントとして使われることが多い音色です。	
	14	オーケストラ ヒット 2		
クワイア	01	クワイア 1	複数人で合唱しているイメージの音色です。「アー」や「ウー」など女声、男声コーラスのほか、混声合唱などの音色があります。	
	02	クワイア 2		
	03	クワイア 3		
	04	クワイア 4		
	05	クワイア 5		
	06	クワイア 6		
	07	クワイア 7		
	08	クワイア 8		
	09	クワイア 9		
	10	ボーカル		ソロ・ボーカル「アー」の音色です。
	11	ゴスペル クワイア		複数人で合唱しているイメージの音色です。「フー」の音色です。
	12	ポップボーカル Bee		音域によって、男性女性の声に分かれる音色です。「ビー」「ダー」「ムー」の音色があります。
	13	ポップボーカル Daa		
	14	ポップボーカル Mmh		
パッド	01	スムーズ パッド 1	サウンドを包み込むような滑らかな音の特徴の、シンセ系の持続音です。若干長めの余韻を持ちます。パート間の馴染みを良くする、クセのない音色です。	
	02	スムーズ パッド 2		
	03	スムーズ パッド 3		
	04	スムーズ パッド 4		
	05	スムーズ パッド 5		
	06	スムーズ パッド 6		
	07	スムーズ パッド 7		
	08	レゾナンス パッド 1	個性的な持続音の特徴の音色です。持続音が盛り上がるように強調されており、その速さや、強調の度合いがボイスによって違います。	
	09	レゾナンス パッド 2		
	10	レゾナンス パッド 3		
	11	レゾナンス パッド 4		
	12	レゾナンス パッド 5		
	13	レゾナンス パッド 6		
	14	レゾナンス パッド 7		
	15	レゾナンス パッド 8		
	16	ベル パッド 1	ベル音を含む優しい音の特徴の持続音です。最初にベル音が鳴る音色のほか、動きのあるベル音が持続するタイプなどがあります。	
	17	ベル パッド 2		
	18	ベル パッド 3		
	19	ベル パッド 4		
	20	ベル パッド 5		
	21	ベル パッド 6		
	22	ベル パッド 7		
	23	ベル パッド 8		
	24	ベル パッド 9		
	25	スペース パッド 1	宇宙を思わせるような、神秘的で動きのある音の特徴の持続音です。	
	26	スペース パッド 2		
	27	スペース パッド 3		
	28	スペース パッド 4		
	29	スペース パッド 5		
	30	スペース パッド 6		
	31	スペース パッド 7		
	32	ブライト パッド		きらびやかな音とユニゾンが特徴の持続音です。

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説	
パッド	33	ノイジー パッド 1	個性的でノイジーな、緊張感のある持続音です。	
	34	ノイジー パッド 2		
	35	ノイジー パッド 3		
	36	ノイジー パッド 4		
	37	ウォーム パッド	空間的な広がりを感じさせるような持続音です。	
	38	ダーク パッド	ふわっとした立ち上がりの穏やかな持続音です。	
	39	スウィープ パッド 1	時間的に変化していく音色が特徴の持続音です。	
	40	スウィープ パッド 2		
	41	スウィープ パッド 3		
	42	スウィープ フェーズ	フェーザーのかかった時間的変化のある持続音です。	
	43	スウィープ フランジャー 1	フランジャーのかかった時間的変化のある持続音です。	
	44	スウィープ フランジャー 2		
	シンセ	01	シンセ リード 1	シンセサウンド特有の音色で、ソロにも欠かせない抜けの良い音です。アタックに特徴のある音色や、完全4度下の音が重なった音色など個性ある音色がそろっています。
		02	シンセ リード 2	
03		シンセ リード 3		
04		シンセ リード 4		
05		シンセ リード 5		
06		シンセ リード 6		
07		シンセ リード 7		
08		ファット Saw リード 1	厚みのある明るいシンセリードです。	
09		ファット Saw リード 2		
10		ファット Saw リード 3		
11		フィルター リード	アナログシンセサイザーをイメージしたアタック音が特徴のシンセリードです。タッチによる変化が大きいです。	
12		ソフト リード 1	アナログシンセサイザーをイメージした、ソフトな音色のシンセリードです。	
13		ソフト リード 2		
14		ソフト リード 3		
15		ソフト リード 4		
16		コーラス Saw リード	コーラスのかかった明るいシンセリードです。	
17		ビンテージ リード 1	代表的なアナログシンセサイザーをイメージした抜けのよいシンセリードです。	
18		ビンテージ リード 2		
19		ビンテージ リード 3		
20		ビンテージ リード 4		
21		ダンス コード 1	ダンススタイルに合う、明るいオクターブユニゾンのシンセリードです。	
22		ダンス コード 2		
23		ダンス コード 3		
24		クラブ リード 1	ダンススタイルに合う、デチューンがかかったシンセリードです。	
25		クラブ リード 2		
26		ポップ リード 1		
27		ポップ リード 2	ソロにも適した丸みのある、軽いシンセサウンドです。	
28		ポップ リード 3		
29		ポップ リード 4		
30		ポップ リード 5		
31		ポップ リード 6		
32		シンセ クラリネット 1		明るく丸みのある、爽やかなクラリネットをイメージさせるシンセサウンドです。
33		シンセ クラリネット 2		
34		シンセ クラリネット 3		
35		シンセ クラリネット 4		
36		シンセ クラリネット 5		
37		シンセ クラリネット 6		
38		シンセ クラリネット 7		
39		シンセ サックス	ウィンドシンセの音色です。	
40		シンセ トランペット	明るく張りのあるアナログシンセの音色です。	
41		シンセ プラス 1	ポピュラー系音楽には欠かせない音色です。派手で抜けの良い音の特徴です。オーソドックスな音色から、オクターブユニゾンやコミカルな響きを持つ音色など、多彩な音色が豊富にそろっています。	
42		シンセ プラス 2		
43		シンセ プラス 3		
44		シンセ プラス 4		
45		シンセ プラス 5		
46		シンセ プラス 6		
47		シンセ プラス 7		
48		シンセ プラス 8		
49		シンセ プラス 9		
50		シンセ プラス 10		
51		シンセ プラス 11		

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説
シンセ	52	ファット シンセ プラス	厚みのあるシンセプラスです。
	53	デチューンドSawプラス1	デチューンのかかったパワーのあるシンセプラスです。
	54	デチューンドSawプラス2	
	55	デチューンドSawプラス3	
	56	ソフト シンセ プラス	柔らかい音色のシンセプラスです。
	57	PWM プラス スロー	アフタータッチにより音色の変化が特徴のシンセプラスです。(PWM=パルス・ウィズ・モジュレーション)
	58	PWM プラス ファスト	音色の変化が速いシンセプラスです。(PWM=パルス・ウィズ・モジュレーション)
	59	ファンキー アナログ	立ち上がりの特徴のあるシンセプラスです。
	60	シンセ スtrings 1	ポピュラー系音楽には欠かせない、広がりのあるシンセストリングスサウンドです。
	61	シンセ スtrings 2	サウンド全体を補強したり、動きのあるフレーズを担うこともできます。
	62	シンセ スtrings 3	
	63	シンセ スtrings 4	
	64	シンセ スtrings 5	
	65	シンセ スtrings 6	
	66	シンセ スtrings 7	
	67	シンセ スtrings 8	
	68	シンセ スtrings 9	
	69	シンセ スtrings 10	
	70	ライト シンセストリングス	手軽に使えるシンセストリングスです。
	71	ファットシンセストリングス	厚みのあるシンセストリングスです。
	72	Oct シンセストリングス 1	オクターブで鳴っているシンセストリングスです。
	73	Oct シンセストリングス 2	
	74	シンセ ベル 1	キラキラとしたかわいい音色のほか、クールな響きを持つシンセベルもあります。
	75	シンセ ベル 2	
	76	シンセ ベル 3	
	77	シンセ ベル 4	
	78	シンセ ベル 5	
	79	ボックス ベル	ボイスパッドとシンセベルの合成音です。
	80	ポップ シンセ ベル	明るくきらびやかなシンセベルサウンドです。
	81	シンセ ディケイ 1	個性的な減衰系のシンセサウンドです。
	82	シンセ ディケイ 2	
	83	シンセ ディケイ 3	
	84	シンセ ディケイ 4	
	85	シンセ Seq	シーケンスパターンや、アルペジオなどに向いている、シンセサウンドです。
	86	トランス Seq 1	ダンスミュージックのシーケンスパターンや、アルペジオなどに向いている、シンセサウンドです。
	87	トランス Seq 2	
	88	パーカッシブ シーケンス 1	シーケンスパターンや、アルペジオなどに向いている、パーカッシブなシンセサウンドです。
	89	パーカッシブ シーケンス 2	
	オルガン	01	パイプ オルガン 1
02		パイプ オルガン 2	
03		パイプ オルガン 3	
04		パイプ オルガン 4	
05		パイプ オルガン 5	
06		シアター オルガン 1	アメリカで劇場用オルガンとして誕生した楽器です。バラエティに富んだ楽しい音色は、どこか懐かしさを感じさせます。
07		シアター オルガン 2	
08		シアター オルガン 3	
09		シアター オルガン 4	
10		シアター オルガン 5	
11		シアター オルガン 6	
12		シアター オルガン 7	
13		シアター オルガン 8	
14		シアタートランペット&キヌラ	
15		シアタートランペット 16&8	
16		ハーモニカ 1	叙情的な音楽から、ポップスのソロにも使われる楽器です。
17		ハーモニカ 2	
18		ハーモニカ 3	
19		リード オルガン	パイプを使用しない小型のオルガンで、温かみのある音の特徴です。
20		バンドネオン 1	タンゴでもよく使われる楽器です。音の立ち上がりが特徴的な音色です。
21		バンドネオン 2	
22		アコーディオン 1	シャンソンの爽やかなサウンドや、タンゴの情熱的なフレーズ、はたまた演歌など、ジャンルに合わせたさまざまな音色があります。
23		アコーディオン 2	
24		アコーディオン 3	
25		アコーディオン 4	

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説
オルガン	26	アコーディオン ミュゼット	華やかで独特な調律のミュゼットトーンのアコーディオンです。
	27	ジャズ オルガン 1	電気式のオルガンで、ロータリースピーカーをオン/オフしながら弾くと、独特のニュアンスが加わります。太さのある音の特徴で、ジャズシーンで人気になりました。さまざまなフィートを重ね合わせたバリエーションをそろえています。
	28	ジャズ オルガン 2	
	29	ジャズ オルガン 3	
	30	ジャズ オルガン 4	
	31	ジャズ オルガン 5	
	32	ジャズ オルガン 6	
	33	ジャズ オルガン 7	
	34	ビンテージ オルガン	往年のオルガンをイメージした音色です。
	35	ビンテージオルガンスロー 1	ビンテージ オルガンの音色自体にセットされたロータリースピーカーのスピードを遅くした音色です。
	36	ビンテージオルガンスロー 2	
	37	ビンテージオルガンファスト	
	38	ポップ オルガン 1	ソロに伴奏にとオールマイティーに使える、軽めで落ち着いたオルガンサウンドです。ポサノバやジャズなどにもマルチに活躍します。
	39	ポップ オルガン 2	
	40	ポップ オルガン 3	
	41	ポップ オルガン 4	
	42	ポップ オルガン 5	
	43	ポップ オルガン 6	
	44	ロック オルガン 1	
	45	ロック オルガン 2	
	46	ロック オルガン 3	
	47	ロック オルガン スロー 1	ロックオルガンの音色自体にセットされたロータリースピーカーのスピードを遅くした音色です。
	48	ロック オルガン スロー 2	
	49	ロック オルガン スロー 3	
	50	ロック オルガン スロー 4	
	51	ロック オルガン ファスト	ロックオルガンの音色自体にセットされたロータリースピーカーのスピードを速くした音色です。
	52	オルガン ベース 1	パイプオルガンやジャズオルガンなどの低音部を受け持つ音色です。
	53	オルガン ベース 2	
	54	オルガン ベース 3	
	55	オルガン ベース 4	
ピアノ	01	ピアノ 1	音域も強弱の幅も広く、表現力がとても豊かな楽器です。ソロはもちろん、ほかの楽器や歌の伴奏、室内楽、協奏曲、ジャズやポップスなどあらゆるジャンルで活躍します。
	02	ピアノ 2	
	03	ピアノ 3	
	04	ホンキートンク ピアノ	ジャズやカントリーの軽快な音楽に合う、しばらく調律されていない音程の外れたイメージのピアノです。
	05	オクターブ ピアノ 1	オクターブで鳴っているピアノの音色です。オクターブ下や、2オクターブ上の音を加えた音色です。
	06	オクターブ ピアノ 2	
	07	オクターブ ピアノ 3	
	08	ハーブシコード 1	ハーブシコードは、チェンバロとも呼ばれるバロック時代に多く使われた鍵盤楽器です。タッチではほとんど変化が出ませんが、個性的な音色が特徴です。
	09	ハーブシコード 2	
	10	ハーブシコード 3	
	11	クラビコード	クラビコードは、14世紀頃に誕生した古い楽器で、ハーブシコード、ピアノフォルテの原型となった楽器です。タッチによってビブラートがかかる特徴もあります。
	12	DX エレピ 1	DX7風エレトリックピアノです。
	13	DX エレピ 2	
	14	DX エレピ 3	
	15	DX エレピ 4	
	16	DX エレピ 5	
	17	DX エレピ&パッド 1	DX7風エレトリックピアノとパッドの合成音です。
	18	DX エレピ&パッド 2	
	19	ギャラクシー エレピ	タッチによる変化が大きい華やかな音色です。
	20	ステージ エレピ 1	ハンマー音と太く伸びのある音色が特徴のエレトリックピアノです。独特のアタック音で、エフェクトにも特徴があります。
	21	ステージ エレピ 2	
	22	ステージ エレピ 3	
	23	ステージ エレピ 4	
	24	ステージ エレピ 5	
	25	ステージ エレピ 6	
	26	スタック エレピ 1	鋭いアタック音の特徴の、きらびやかなエレトリックピアノです。
	27	スタック エレピ 2	
	28	クラビ 1	ファンキーなサウンドに欠かせない音色です。
	29	クラビ 2	
	30	クラビ 3	

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説	
ギター	01	ナイロン ギター 1	ナイロン弦を使用したアコースティックギターです。	
	02	ナイロン ギター 2		
	03	ナイロン ギター 3		
	04	S-ナイロン ギター 1	*2	スーパーアーティキュレーションボイスです。短2度～完全4度上の音を、アクセント付けてレガートに弾いた場合のみハンマリング音やスライドになります。(タッチによって)離鍵の際に、ギターの弦と指が擦れるノイズや弦の鳴りを指で止めたノイズも再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	05	S-ナイロン ギター 2	*2	音色はS-ナイロン ギター 1と同じですが、レガートに弾くときの効果と、弦と指が擦れるノイズは得られません。
	06	フラメンコ ギター		フラメンコに合うギターの音色です。
	07	S-フラメンコ ギター	*2	スーパーアーティキュレーションボイスです。短2度～完全4度上の音を、アクセント付けてレガートに弾いた場合のみハンマリング音やスライドになります。(タッチによって)離鍵の際に、ギターの弦と指が擦れるノイズや弦の鳴りを指で止めたノイズも再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	08	スチール ギター 1		スチール弦を使用したアコースティックギターです。
	09	スチール ギター 2		
	10	S-スチール ギター 1	*2	スーパーアーティキュレーションボイスです。短2度～完全4度上の音を、アクセント付けてレガートに弾いた場合のみハンマリング音やスライドになります。(タッチによって)離鍵の際に、ギターの弦と指が擦れるノイズや弦の鳴りを指で止めたノイズも再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	11	S-スチール ギター 2	*2	音色はS-スチール ギター 1と同じですが、レガートに弾くときの効果と、弦と指が擦れるノイズは得られません。
	12	12弦(ゲン) ギター		明るい印象の12弦ギターです。
	13	ジャズ ギター 1		ジャズで演奏されるエレクトリックギターです。ソフトな響きの音色です。
	14	ジャズ ギター 2		
	15	ジャズ ギター Oct		
	16	S-ジャズ ギター	*2	スーパーアーティキュレーションボイスです。短2度～完全4度上の音を、アクセント付けてレガートに弾いた場合のみハンマリング音やスライドになります。(タッチによって)離鍵の際に、弦の鳴りを指で止めたノイズが再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	17	エレクトリック ギター 1		クリーンエレキギターほか、ディストーションやオーバードライブが効いたエレクトリックギターサウンドがそろっています。
	18	エレクトリック ギター 2		
	19	エレクトリック ギター 3		
	20	クリーン ギター 1		バックিংやアルペジオに向けたエレクトリックギターです。
	21	クリーン ギター 2		
	22	クリーン ギター 3		
	23	クリーン ギター 4		
	24	エレキ ギター アンプ 1		エフェクトのアンプシミュレーターをかけたエレクトリックギターです。
	25	エレキ ギター アンプ 2		
	26	エレキ ギター アンプ 3		
	27	ミュート ギター 1		ミュート奏法によるエレクトリックギターです。
	28	ミュート ギター 2		
	29	ミュート ギター 3		
	30	S-クリーン ギター 1	*2	スーパーアーティキュレーションボイスです。(タッチによって)離鍵の際に、弦の鳴りを指で止めたノイズが再現されます。
	31	S-クリーン ギター 2	*2	
	32	ディストーション ギター 1		ロックなどによく合い、ソロにも適した音色です。エフェクトによるノイズが特徴です。タッチで音質を大きく変化させられるボイスもあります。
	33	ディストーション ギター 2		
	34	ディストーション ギター 3		
	35	ディストーション ギター 4		
	36	ディストーション ギター 5		
	37	ディストーション ギター 6		
	38	ディストーション ギター 7		
	39	S-ディスト ソリッド 1	*2	ディストーションのかかったソロに適したエレクトリックギターの音色です。スーパーアーティキュレーションボイスです。短2度～完全4度上の音を、アクセント付けてレガートに弾いた場合のみハンマリング音やスライドになります。(タッチによって)離鍵の際に、ギターの弦と指が擦れるノイズや弦の鳴りを指で止めたノイズも再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	40	S-ディスト ソリッド 2	*2	ディストーションのかかったソロに適したエレクトリックギターの音色です。スーパーアーティキュレーションボイスです。(タッチによって)離鍵の際に、ギターの弦と指が擦れるノイズや弦の鳴りを指で止めたノイズも再現されます。レガート奏により、より自然なレガートの発音が得られます。
	41	バンジョー		カントリーやデキシーランドジャズの古き良き時代のアメリカ音楽に登場する楽器です。

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説
ギター	42	マンドリン	イタリアの楽器で、2本の弦を一度に爪弾く音がリアルな音色です。
	43	ペダル スチールギター 1	ハワイアン音楽には欠かせない楽器です。スライド奏法が特徴です。
	44	ペダル スチールギター 2	
	45	ハーブ 1	ひろがりのある、やさしく美しい音色が特徴の楽器です。さまざまな場面で活躍します。
	46	ハーブ 2	
	47	ハーブ 3	
パーカッション	01	ビブラフォン 1	鉄琴の仲間です。音板下の共鳴管にファンが付いていて、それを回すことによりビブラートを掛けることができます。その特徴を生かして、ジャズのソロにも使います。
	02	ビブラフォン 2	
	03	マリンバ 1	木琴の仲間です。音板の下に共鳴筒がついていて、木ならではの柔らかい音、特に豊かな響きの低音が特徴です。ワイドな音域でソロ楽器としての幅広い表現力も持っています。
	04	マリンバ 2	
	05	シロフォン	マリンバと同じ木琴の仲間です。音板のチューニングを違えることによって、乾いた硬い音色を特徴としています。
	06	グロッケン 1	小さい鉄琴です。やわらかく、きらきらとした音色が特徴です。
	07	グロッケン 2	
	08	チェレスタ 1	チェレスタはピアノに似た構造で、鍵盤を押さえるとハンマーが動いて鉄琴を叩き音が鳴ります。可憐で美しい音色が魅力です。
	09	チェレスタ 2	
	10	ミュージック ボックス 1	オルゴールは日本語で、欧米では、ミュージックボックスまたはミュージカルボックスと呼びます。金属の筒が回るシリンダーオルゴールが一般的ですが、円盤が回るディスクオルゴールが繁栄した時代もありました。
	11	ミュージック ボックス 2	
	12	チャイム 1	チューブラーベルです。もともとは教会の鐘の音を再現するために考案された楽器で、上端をハンマーで叩いて演奏します。
	13	チャイム 2	
	14	チャイム 3	
ティンパニ	01	ティンパニ 1	重厚な音色で演奏を支え、オーケストラの中でも大変重要な役割を持っています。音程のある打楽器です。
	02	ティンパニ 2	
	03	ティンパニ ロール 1	ロール奏法のティンパニです。
	04	ティンパニ ロール 2	
エレクトリックベース	01	フィンガー ベース 1	指で弾いたエレクトリックベースです。フィートやエフェクトの違うバリエーションがあります。
	02	フィンガー ベース 2	
	03	フィンガー ベース 3	
	04	フィンガー ベース 4	
	05	フィンガー ベース 5	
	06	フィンガー ベース 6	
	07	フィンガー ベース 7	
	08	スラップ ベース 1	スラップ奏法を再現したエレクトリックベースです。音の太さや弦の弾き加減の違うバリエーションがあります。
	09	スラップ ベース 2	
	10	スラップ ベース 3	
	11	スラップ ベース 4	
	12	スラップ ベース 5	
	13	ピック ベース 1	ピックで弾いたエレクトリックベースのアタック感や音の太さの違うバリエーションがあります。
	14	ピック ベース 2	
	15	ピック ベース 3	
	16	ピック ベース 4	
	17	ピック ベース 5	
	18	フレットレス ベース 1	フレットがない種類のエレクトリックベースです。ピッチ変化の微妙なニュアンスやスライド奏法が特徴です。
	19	フレットレス ベース 2	
	20	フレットレス ベース 3	
	21	フレットレス ベース 4	
シンセベース	01	ファンク ベース 1	立ち上がりに特徴のあるシンセベースです。
	02	ファンク ベース 2	
	03	ファンク ベース 3	
	04	ファンク ベース 4	
	05	ファンク ベース 5	
	06	ファンク ベース 6	
	07	ファンク ベース 7	
	08	ダンス ベース 1	ダンスミュージックをイメージしたシンセベースのバリエーションです。
	09	ダンス ベース 2	
	10	ダンス ベース 3	
	11	ダンス ベース 4	
	12	ダンス ベース 5	
	13	ダンス ベース 6	
	14	ダンス ベース 7	
	15	ダンス ベース 8	
	16	ダンス ベース 9	
	17	ダンス ベース 10	

カテゴリー名	No.	音色名	音色解説
シンセベース	18	スムーズ ベース 1	持続音に特徴のある、都会的なイメージのシンセベースです。
	19	スムーズ ベース 2	
	20	スムーズ ベース 3	
	21	スムーズ ベース 4	
	22	ファット ベース 1	存在感のあるシンセベースです。
23	ファット ベース 2		
ワールド	1	パンフルート 1	パンフルートは数本の管を一列に並べて作られた素朴な楽器です。ギリシャ神話の牧神パンに由来し、パンの笛とも呼ばれ、吹き渡る風のような美しい音色が魅力です。
	2	パンフルート 2	
	3	バグパイプ	バグパイプは、特にスコットランド、ケルト民族に親しまれた楽器で、皮袋(bag)に空気をためてから、その袋を圧迫して笛を鳴らす仕組みになっています。勇ましく持続する低音(ドローン)の音が印象的です。
	4	ダルシマー	箱型の共鳴体に張られた多くの弦を、ハンマーや槌(つち)で打って奏でます。澄んだ美しい音色が特徴です。
	5	尺八(シャクハチ)	日本の伝統楽器で、竹製の縦笛です。指使いだけでなく、息の使い方、あごの動かし方、唇のあてかたなどによりさまざまな音色を出すことができます。
	6	横笛(ヨコブエ)	日本古来の横笛です。
	7	三味線(シャミセン)	日本の伝統楽器で、皮の張られた胴と長い棹に、3本の絃をかけた楽器です。長唄、津軽、民謡など、音楽によってさまざまな種類があります。
	8	箏(コト)	日本の伝統楽器です。桐の胴体に13本の絃が張られています。右手の親指、人差し指、中指に爪というものはめて演奏します。
	9	大正琴(タイショウコト)	大正時代に誕生した日本の楽器です。邦楽器として扱われていますが、12音階なので演歌、ポップス、童謡、なんでも演奏できます。
	10	二胡(ニコ) 1	日本では胡弓の名で知られる、中国を代表する民族楽器です。二本の弦の間に弓を通し、弓の腹と背で弦を擦って演奏します。バイオリンより微妙で深いビブラートをかけることができ、表現力豊かな音色が楽しめます。
	11	二胡(ニコ) 2	
	12	二胡(ニコ) 3	
	13	板胡(パンコ)	中国の伝統的な胡琴の仲間で、板胡の音色は明瞭、豪放で独奏楽器として使われています。
	14	馬頭琴(バトウキン)	モンゴルの遊牧民の間に伝わる二弦からなる擦弦楽器です。草原のチェロとも呼ばれ、力強く、時に繊細な音色を奏でます。
	15	笛子(ディズ)	中国の横笛。芦の薄皮を張った笛膜を響かせることで独特な音がします。
	16	哨呐(スオナ)	オーボエと同じダブルリード楽器で、にぎやかな音がします。
	17	葫蘆絲(フルス)	中国の民族楽器で、ひょうたんのように三本の竹管とリードが付けられており、中央の管で演奏します。両側の管は共鳴管の役割を果たします。音色はやわらかく優美な音がします。
	18	中国笙(ショウ)	中国大陸で生まれた楽器です。日本へは唐の時代に伝来し雅楽の中で使用されていますが、中国の笙は改良されており、キーが付いていてメロディーが吹けます。
	19	古箏(コソウ) 1	中国の箏を古箏と呼びます。歴史は古く、春秋戦国時代に流行していた13弦の箏から、最近では21弦が主流となり、23弦、25弦などの箏も演奏されています。古箏は華やかな音で、美しい叙情的な曲を表現するのに長けています。
	20	古箏(コソウ) 2	
	21	楊琴(ヤンチン)	チター属の打弦楽器で、弦をスティックで叩いて音を出します。西方から伝わり歴史の新しい中国楽器です。
	22	中国琵琶(ピワ)	中央アジアからシルクロードを通して中国に入ってきた琵琶を、漢民族が独自に完成させた楽器です。独奏、伴奏、合奏など盛んに使われています。
	23	柳琴(リュウチン)	中国琵琶を小さくしたような形で、形がヤナギの葉のようであるため柳琴と呼ばれます。透き通るような高音が魅力です。
	24	三弦(サンゲン)	中国の伝統楽器である三弦は、胴の両面に蛇の皮を張り、指に義甲をはめて弾きます。
	25	スルネイ	リード式の縦笛で、甲高い音色が特徴です。
	26	ウード	アラビア、トルコ周辺の古典弦楽器です。
	27	シタール	インド古典音楽の花形楽器です。幻想的な伴奏弦、共鳴弦の響きや「サフリ」による独特の音色が魅力です。近年でも、民謡、映画音楽でも幅広く用いられています。
	28	スチール ドラム	ドラム缶から生まれた楽器。外観からは想像できないような、きらびやかで美しい音色がします。ソロやアンサンブル(スチールバンド)を組んで演奏をします。
	29	カリンバ	アフリカの楽器です。共鳴箱の上に取り付けた鋼の棒を、左右の親指ではじいて弾きます。
	30	S-アイリッシュ パイプ	*1 *2 スーパーアーティキュレーションボイスです。AEM技術を用いて、アイリッシュパイプの特徴を再現しています。オートアーティキュレーションをONにすれば、ピッチベンドや装飾音の奏法が追加されて、多彩な表現が可能になります。

*1 AEM技術を用いた音色は、リードボイスとペダルボイスのボイスセクションで使うことができます。上鍵盤ボイスや下鍵盤ボイスでは選択することができません。

*2 スーパーアーティキュレーションボイス(Sで始まる音色)は、ボイスコンディション画面のスライド(リードボイスのみ)は設定できません。

3

コントロールとエフェクト

ボイスコンディション画面やパネル上のボタンを使用して、選択したボイスに色々なコントロールやエフェクトを加えて、多彩に変化させることができます。また、ボイスによっては、あらかじめエフェクトが設定されているものもありますが、すべてお好みに応じて変更できます。搭載したエフェクトは、すべてデジタルエフェクトです。下図は個々のボイスセクションに設定可能なコントロールやエフェクトのリストです。コントロール/エフェクトは種類によってかかり方が異なり、ボイスセクションごと、鍵盤ごと、そして楽器全体にかかるものがあります。

コントロール/エフェクト			設定方法	コントロール/エフェクトを設定できるボイスセクション			
				上鍵盤	リードボイス	下鍵盤	ペダル鍵盤
				上鍵盤ボイス1 上鍵盤ボイス2	リードボイス1 リードボイス2	下鍵盤ボイス1 下鍵盤ボイス2	ペダルボイス1 ペダルボイス2
ボイス コン ディ シ ョ ン 画 面 で 設 定	ページ1	ボリューム	54ページ	○	○	○	○
		リバーブ(リバーブセンド)	54ページ	○	○	○	○
		パン	54ページ	○	○	○	○
		フィート	54ページ	○	○	○	○
	ページ2	ブリリアンス	55ページ	○	○	○	○
		イニシャルタッチ	55ページ	○	○	○	—*
		アフタータッチ	55ページ	○	○	○	—*
		タッチビブラート	55ページ	○	○	○	—*
	ページ3	ビブラート	56ページ	○	○	○	○
		ディレイ	56ページ	○	○	○	○
		デプス	56ページ	○	○	○	○
		スピード	56ページ	○	○	○	○
	ページ4	エフェクト	57ページ	○	○	○	○
		タイプ	58ページ	○	○	○	○
		パラメーター	58ページ	○	○	○	○
		値	58ページ	○	○	○	○
	ページ5	トランスポーズ	58ページ	○	○	○	○
		チューン	58ページ	○	○	○	○
	ページ6	スライド	59ページ	—	○	—	—
		スライドタイム	59ページ	—	○	—	—
オートアーティキュレーション		59ページ	—	○	—	—	
プライオリティー		59ページ	—	○**	—	—	
		ロータリースピーカー	60ページ	○	○	○	○
ボタンで設定		リバーブ(デプス)	61ページ	○			
		サステイン	63ページ	○	—	○	○

* イニシャルタッチ、アフタータッチ、タッチビブラートはペダル鍵盤ではコントロールできませんが、下鍵盤機能を使うと、下鍵盤でコントロールできるようになります。

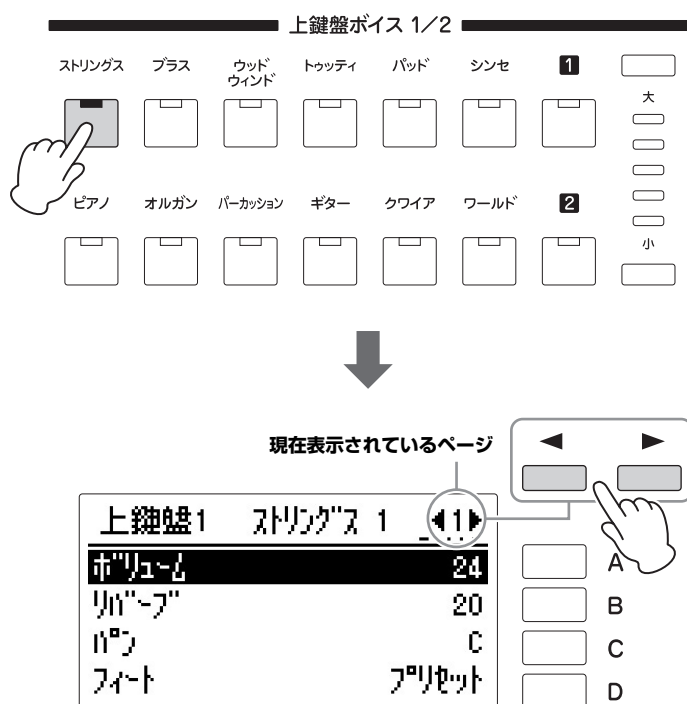
** プライオリティーはリードボイス2のみ設定可能

1 ボイスコンディション画面で設定するもの

ボイスコンディション画面を呼び出すには

パネル上のボイスボタンを2度続けて押すと(画面上に使用したいボイスメニュー画面がすでに表示されている場合は1度だけ押すと)、画面上にボイスコンディション画面が現れます。

ボイスコンディション画面

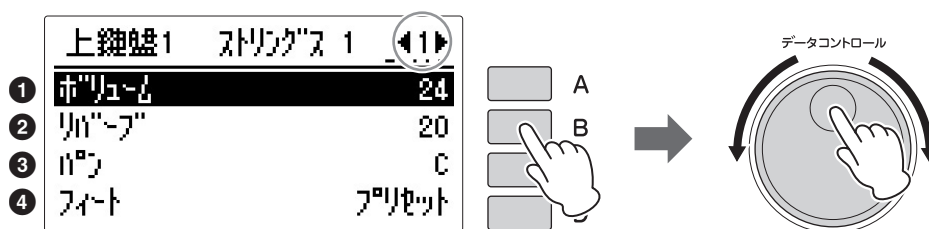


各ボイスにはそれぞれボイスコンディション画面が5ページあり、画面の右上にあるページボタンでページを切り替えます。また、リードボイスには、これらの5ページに1ページ加えた6ページのボイスコンディション画面があります。

設定の方法

画面右横にある[A]～[D]ボタンを使って目的の項目を選び(反転表示します)、さらに同じボタンを押すか、データコントロールダイヤルを回して設定を変更します。

【ページ1】 ボイスコンディショニング画面



ボイスコンディショニング画面のページ1では、ボリュームやリバースなどの、ボイスの基本的な設定を行ないます。

① ボリューム

ボイスの音量の細かな設定を行ないます。34ページをご覧ください。

② リバース

ボイスセクションごとにかけるリバースの量を設定します。

このリバースを最大にしても、パネル上の[リバース]ボタンを押し、リバース全体の量(リバースデプス)を上げないと、リバース効果は得られません。詳しくは61ページをご覧ください。

③ パン

ステレオ出力による楽器音の左右の位置を決定します。ボイスセクションごとに、7か所の位置で設定できます。パンは、左右に7か所の位置、L3(左端)~L2~L1~C(真ん中)~R1~R2~R3(右端)の範囲で設定することができます。

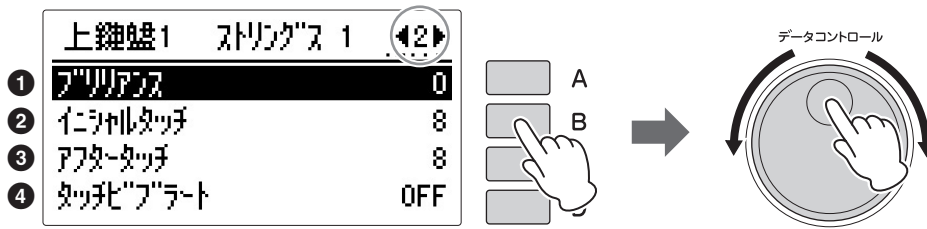
④ フィート

ボイスセクションごとに異なるオクターブに設定でき、1つのボイスを幅広い音域で使用することができます。4'、8'、16'の3種類の設定が選べます。ペダルボイスセクションの場合はさらに2'の設定が追加されます。プリセットを選ぶと、そのボイスにあらかじめ設定された、最適なフィートになります。

📎 関連ページ
リバースデプス(61ページ)

【ページ2】 ボイスコンディション画面

ページボタンでページ2を選びます。



ペダルボイス選択時

ペダル1	コントラスト 1	◀▶
ブリリアンス		0
イニシャルタッチ	(8)	
アフタータッチ	(8)	
タッチビブラート	(OFF)	

ペダルボイス選択時のイニシャルタッチ、アフタータッチ、タッチビブラートの値には、括弧「()」が付きます。これらはペダル鍵盤ではコントロールできませんが下鍵盤機能(38ページ)をオンにすれば下鍵盤でコントロールできます。

① ブリリアンス

ボイスセクションごとに音質を変化させ、音色を明るくしたり暗くしたりします。7段階の設定が可能です。-3が一番暗く、+3が一番明るくなります。

② イニシャルタッチ

鍵盤を押すスピードによって、音量と音質をコントロールします。一般的に、鍵盤をより強く弾けばそれだけ音量は大きくなり、音質は明るくなります。これをイニシャルタッチといいます。レベルを0にするとイニシャルタッチはかからなくなり、レベルを上げると、タッチによる変化が大きくなります。

設定範囲：0～14

③ アフタータッチ

鍵盤を押さえつける強さによって、立ち上がったあとの音量と音質をコントロールします。一般的に、鍵盤をより強く押さえることによって音量は大きくなり、音質は明るくなります。レベルを0にするとアフタータッチはかからなくなり、レベルを上げると、タッチによる変化が大きくなります。

設定範囲：0～14

④ タッチビブラート

タッチビブラートのオン/オフを切り替えます。

タッチビブラートをオン(ON)にすると、演奏中に鍵盤を強く押さえること(アフタータッチ)によって、ビブラートをかけることができます。鍵盤をさらに強く押さえると、ビブラートはより深くなります。タッチビブラートをオフ(OFF)にすると、鍵盤を押さえる強さを変えてもビブラートの深さは変わりません。

NOTE

オルガンなどの一部のボイスでは、イニシャルタッチはかかりません。

NOTE

減衰系の音(ピアノやビブラフォンなど)やパーカッションサウンド、オルガンなどの一部のボイスには、アフタータッチはかかりません。

【ページ3】 ボイスコンディショニング画面

ページボタンでページ3を選びます。

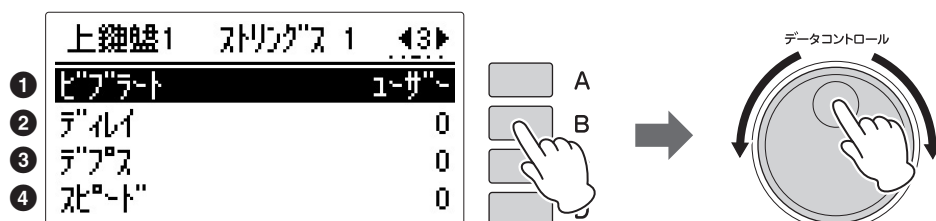
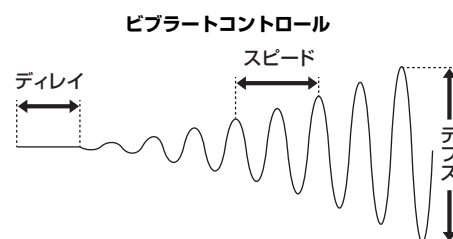


ビブラート

ビブラートは、音色をふるわせてマイルドなイメージにします。ボイスセクションごとに設定できます。ただし、まったくビブラートのかからないボイスや、設定したとおりにビブラートの効果が得られないボイスもあります。

① プリセット/ユーザー

プリセットまたはユーザーを選びます。
プリセットを選択すると、そのボイスにあらかじめ設定された、最適なビブラートになります。この場合、画面上のディレイ、デプス、スピードの各パラメーターは設定できません。
ユーザーを選択すると、画面上のパラメーター(ディレイ、デプス、スピード)を変更して、自分のイメージにあったビブラートを設定できるようになります。



② デレイ

鍵盤を押してからビブラートがかかるまでの時間の長さを決定します。レベルを上げると、ビブラートがかかるまでの時間が長くなります。

設定範囲：0～14

③ デプス

ビブラートの深さを設定します。レベルを上げるとより深い効果が得られます。デプスを0にすると、ビブラートはかかりません。

設定範囲：0～14

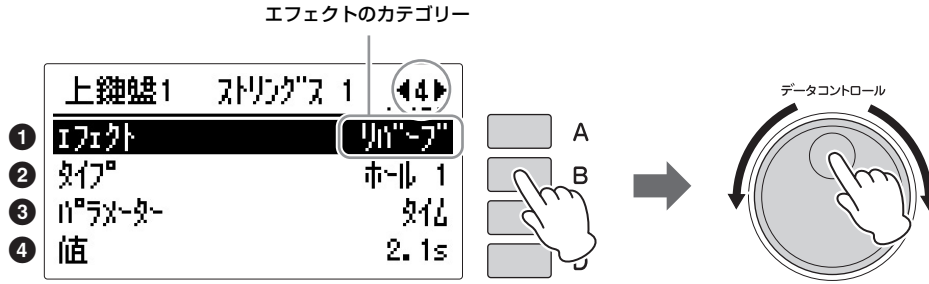
④ スピード

ビブラートの速さを設定します。レベルを上げるとビブラートのスピードが速くなります。

設定範囲：0～14

[ページ4] ボイスコンディション画面

ページボタンでページ4を選びます。



エフェクト

ボイスセクションごとにかかるエフェクトを選択します。

① エフェクトのカテゴリ

ここで、ボイスセクションごとにかかるエフェクトのカテゴリを選択します。

プリセット	現在選ばれている音に最適なエフェクトタイプが自動的に選ばれます。
リバーブ	音に残響感を与え、空間の奥行きを演出するエフェクトです。
ディレイ	音を時間的に遅らせて発音させる、やまびこのような効果を与えるエフェクトです。
アーリー /カラオケ	リバーブから初期反射音だけを取り出したエフェクトや、カラオケのようなエコーを与えるエフェクトです。
コーラス	1つの音が複数鳴っているように聞こえる効果が得られ、多重感や厚みを与えることができるエフェクトです。
フランジャー	音にうねりを与え、コーラスよりも派手な揺れを付けることができるエフェクトです。
フェーザー	音に周期的な揺れを付けることができるエフェクトです。フランジャーとは異なる種類のうねりを与える効果があります。
トレモロ/オートパン	音を前後、左右に移動させたり、音量を周期的に変化させたりするエフェクトです。
ロータリー スピーカー	ロータリースピーカーは、スピーカーを回転させて得られるような、豊かで広がりのある効果(トレモロ効果)をつくり出すエフェクトです。左フットスイッチを使って、演奏中もリアルタイムで効果をオン/オフできます。エフェクトカテゴリにロータリースピーカーを選択している場合、スピードやモードの設定が必要です。詳しくは60ページの「ロータリースピーカー」をご覧ください。
ディストーション	音に歪みを加えるエフェクトです。
ディストーション+	ディストーションとディレイやコンプレッサーを組み合わせたエフェクトです。
アンプ シミュレーター	ギターアンプやマイクアンプをシミュレートするエフェクトです。
ワウ	音色を周期的に変化させるワウフィルターを搭載したエフェクトです。
ダイナミック	音圧を調整するエフェクトです。
EQ/エンハンサー	音の周波数(特定の周波数帯域)ごとの音量を上げ下げし、音質を調整するエフェクトです。高域の倍音を強調させ、音質を調整するエフェクトです。
ピッチ チェンジ	ピッチに変化を与えるエフェクトです。
ミスレーニアス	特殊な効果を持つエフェクトタイプが選べます。
スルー	エフェクトがかからないようにします。

📎 関連ページ
エフェクトリスト(64ページ)

② エフェクトのタイプ

エフェクトのカテゴリに応じたエフェクトのタイプが表示されます。

エフェクトタイプの詳細設定

エフェクトタイプの詳細設定を以下の③と④でできます。通常は、選択しているエフェクトタイプにもっとも合う設定になっていますので、特に設定を変えたい場合以外、③、④の操作は必要ありません。各パラメーターの説明は64ページをご参照ください。エフェクトカテゴリーにロータリースピーカーを選択している場合、スピードやモードの設定が必要です。詳しくは後述の「ロータリースピーカー」をご覧ください。

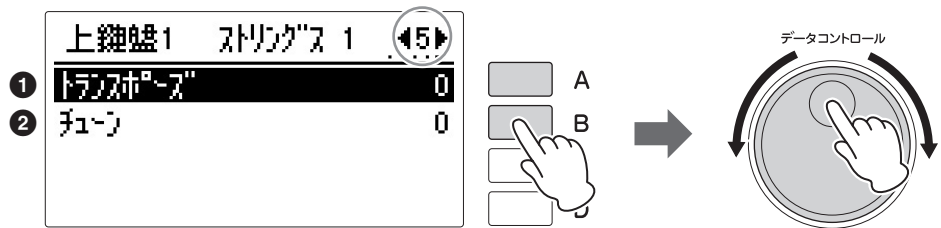
③ パラメーター選択

選択しているエフェクトタイプに応じたパラメーターが表示されます。

④ パラメーターの値を設定

【ページ5】ボイスコンディション画面

ページボタンでページ5を選びます。



📎 関連ページ
トランスポーズ: 楽器全体(184ページ)

① トランスポーズ

ボイスセクションごとに、音程を変える(移調する)ことができます。-6~+6の範囲で、半音ずつ移調できます。

📎 関連ページ
ピッチ: 楽器全体(184ページ)

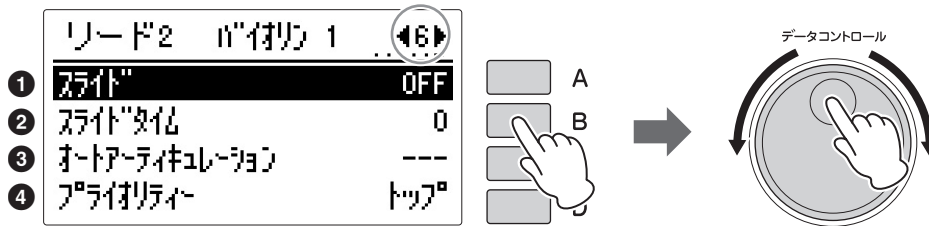
② チューン

より豊かな楽器表現力を得るために、ボイスセクションごとにピッチを少し上げ下げすることで、音の厚みを増します。1セント単位でピッチを変更できます。

設定範囲: -64~+63

[ページ6] ボイスコンディション画面(リードボイスのみ)

ページボタンでページ6を選びます。



このページでは、リードボイスにスライドやオートアーティキュレーションをかけるかかけないかを設定したり、リードボイス2の発音モードを切り替えたりできます。

① スライド

スライドは、レガートで演奏したときに、ポルタメント効果(続けて弾いた2つの音をなめらかにつなげる効果)を加えます。リードボイスに、1オクターブの範囲内でかけることができます。

オンに設定するとスライドし、オフに設定するとスライドしません。

② スライドタイム

スライド(ポルタメント)の速さを設定します。数値を大きくすることで、スライドにかかる時間は長くなり、ピッチはゆっくり変化します。

設定範囲：0～14

③ オートアーティキュレーション

オートアーティキュレーションのオン/オフを切り替えます。

スーパーアーティキュレーションボイスにだけ有効な設定です。ここでの設定により、絶妙なタイミングで楽器独自の効果(ピッチベンドやグリッサンドなど)がかかり、鍵盤演奏にアコースティック楽器のような表現効果を付けることができます。オンにすると、ピッチベンドやグリッサンドなどの効果が自動的にかかります。

④ プライオリティー (リードボイス2のみ)

リードボイス2の発音モードを切り替えます。ラスト、トップの2種類の設定があります。

- ・ **ラスト**：後着優先(2つ以上の鍵盤を弾くとあとから押さえた鍵盤のみが鳴る)にします。
- ・ **トップ**：高音優先(2つ以上の鍵盤を弾くと高い音のみが鳴る)にします。

NOTE

スーパーアーティキュレーションボイスを選択している場合にはスライドの効果は選択できません。

NOTE

「オートアーティキュレーション」をオンにすることで得られる効果については、42ページのボイスリストをご覧ください。リストにあるとおり、一部のボイスでは「オートアーティキュレーション」が効果しないボイスもあります。

NOTE

ソロ機能がオンのときは、プライオリティーは機能しません。

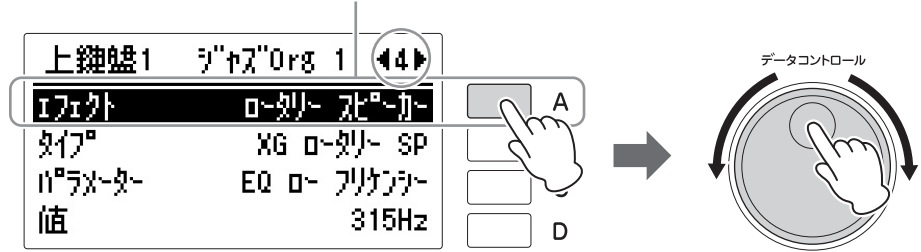
 [関連ページ](#)

ソロ機能(39ページ)

ロータリースピーカー

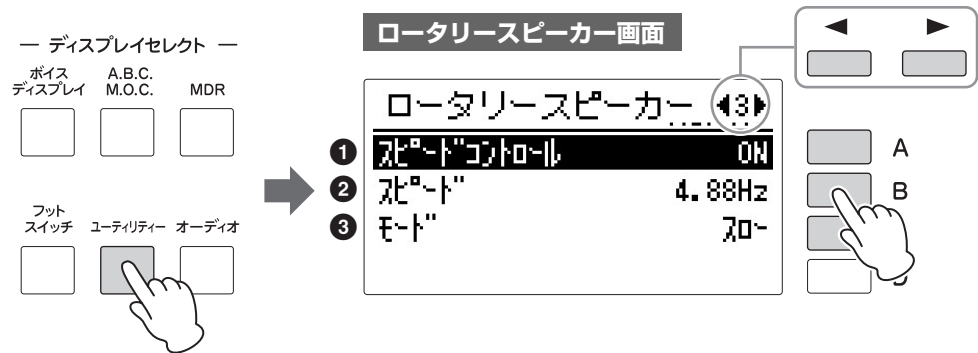
1 エフェクトにロータリースピーカーを選択します。

ここで「ロータリースピーカー」を選択します。



2 ロータリースピーカーのスピードコントロールをオンにして、回転のスピードやモードを設定します。

設定はロータリースピーカー画面で行ないます。ロータリースピーカー画面はユーティリティ画面のページ3にあります。[ユーティリティ]ボタンを押すとユーティリティ画面が表示されますので、ページボタンを使ってページ3を呼び出します。ここでの設定は、全ボイスセクションに共通です。



① スピードコントロール

ロータリースピーカーモードのオン/オフを切り替えます。オンにするとロータリースピーカーの回転スピードが速くなります。スピードは②「スピード」で設定します。オフにするとロータリースピーカーの回転が遅くなる(スロー)、又は回転が止まったような効果(ストップ)が得られます。スローとストップのどちらになるかは③「モード」で設定します。

② スピード

ロータリースピーカーの回転するスピードを調節します。

[B]ボタンで選択し、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：2.69Hz～39.7Hz

③ モード

スピードコントロールがオフのときの、ロータリースピーカーの状態を設定します。スローを選択すると、ロータリースピーカーの回転が遅くなり、コーラスのような効果がかかります。ストップを選択すると、スピーカーの回転が止まったような効果が得られます。

[C]ボタンを押すたびに設定が切り替わります。

これで、ロータリースピーカーをあらかじめ設定し、演奏しながら簡単にロータリースピーカーを切り替える準備が整いました。

3 ①「スピードコントロール」やフットスイッチで、トレモロ効果をオン/オフします。

- ① 「スピードコントロール」をオン/オフしたり、フットスイッチを使ったりして、トレモロ効果をコントロールしてください。(ロータリースピーカーは、あらかじめ設定しておけば、フットスイッチでもコントロールできます。詳しくは、183ページの
- ④ 「ロータリースピーカー」をご覧ください。)

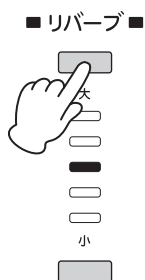
2 パネルボタンで設定するもの

リバーブやサステインは、パネル上のボタンを使って、それぞれの画面を呼び出して設定します。

リバーブ

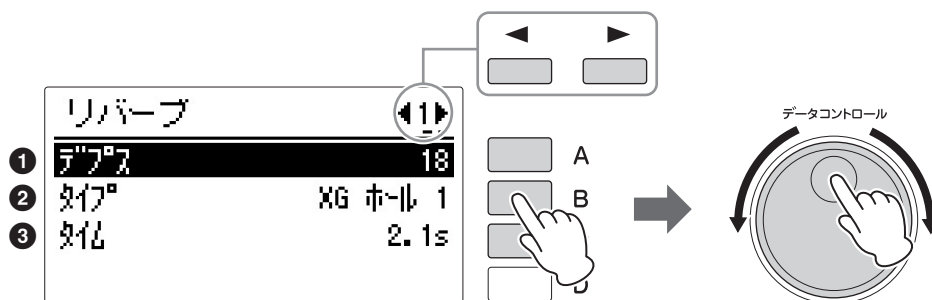
リバーブによって、広い部屋やコンサートホールで演奏しているような、音が響きわたる効果を得ることができます。楽器全体にかかる量を設定できます。

リバーブを設定するには、パネル上の左端にあるリバーブボタンを押します。画面上にリバーブ画面が現れます。



リバーブ画面は2ページで構成されています。

【ページ1】リバーブ画面



NOTE

デプスの値によっては、パネル上のリバーブボタンは2つ点灯します。

📎 関連ページ

ボイスセクションごとのリバーブ量(54ページ)

📎 関連ページ

リズムのリバーブ(74ページ)

📎 関連ページ

エフェクトリスト(64ページ)

① デプス

楽器全体にかかるリバーブの深さを調節します。パネル面のリバーブボタンは、このデプスの程度を表示しているものです。パネル面のリバーブボタンでは5段階の調節ができますが、このページではさらにきめ細かな設定が可能です。

デプスの設定が0もしくはそれに近い状態の場合は、ボイスコンディション画面でボイスセクションごとのリバーブ量を設定したり、リズムコンディション画面でリズムのリバーブ量を設定しても、リバーブ効果は得られません。

設定範囲：0～24

② タイプ

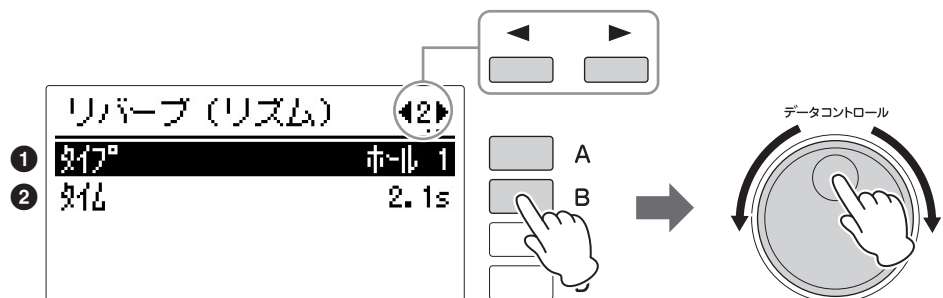
ボイス全体にかかるリバーブの種類を選択します。ホール、ルーム、ステージなどさまざまなタイプのリバーブが選択できます。リバーブタイプを変更すると、以下の「タイム」は自動的に最適な値に変更されます。

③ タイム

ボイス全体にかかるリバーブの長さを設定します。数値を大きくすると、より長い設定となります。

設定範囲：0.3s～30.0s

【ページ2】リバーブ画面



📎 関連ページ

エフェクトリスト(64ページ)

① タイプ

リズムにかかるリバーブの種類を選択します。

② タイム

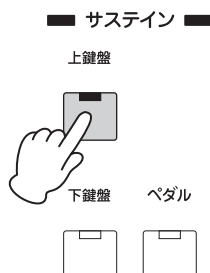
リズムにかかるリバーブの長さを設定します。

設定範囲：0.3s～30.0s

サステイン

サステインは、鍵盤から指をはなしたあとに、音に余韻を与える効果です。上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤ごとにオン/オフしたり、サステインの長さを調節したりできます。サステインはリードボイスにはかかりません。

サステインを設定するには、パネル上の左端にあるサステインボタンを押します。画面上にサステイン画面が現れます。



サステインのオン/オフ

サステインボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、サステインがオンの状態であることを示します。もう一度押すことで、ランプは消え、サステインはオフになります。ランプが消えた状態ではサステインはかかりませんので、演奏前には、サステインをかけたい鍵盤のサステインボタンがオンの状態になっているか、必ず確認しましょう。

サステインの長さ

サステイン画面 [ページ1]

サステイン レンクス	11
上鍵盤1	10
上鍵盤2	10
下鍵盤1	10
下鍵盤2	10

サステイン画面 [ページ2]

サステイン レンクス	12
ペダル1	2
ペダル2	2

各ボイスセクションにかかるサステインの長さを調節できます。ページボタンと[A]~[D]ボタンで目的のボイスセクションを選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0~12

NOTE

サステインのレベルを0にすると、サステインの長さは0になります。サステインをオフにすると、ボイスごとにあらかじめ設定されているサステインの長さになります。

3 エフェクトリスト

3 コントロールとエフェクト

エフェクトタイプ	タイプ解説	
リバーブ		
ホール 1	コンサートホールの響きをシミュレートしたリバーブです。	
ホール 2		
ホール 3		
ホール M		
ホール L		
XG ホール 1		
XG ホール 2		
ルーム 1		部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。
ルーム 2		
ルーム 3		
ルーム 4		
ルーム S		
ルーム M		
ルーム L		
XG ルーム 1		
XG ルーム 2		
XG ルーム 3		
ステージ 1	舞台上の響きをシミュレートしたリバーブです。ソコ楽器に適した設定です。	
ステージ 2		
XG ステージ 1		
XG ステージ 2	鉄板を振動させて得る響きをシミュレートしたリバーブです。	
プレート 1		
プレート 2		
XG プレート		
GM プレート	暖かい雰囲気を持ったショートリバーブです。	
ホワイトルーム		
アトモスフィア ホール		空間的な広がりを感じさせるようなロングリバーブです。
アコースティック ルーム		部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。スタンダードな設定です。
ドラム ルーム		部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。ドラム音色に適した設定です。
パーカッション ルーム		部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。打楽器音色に適した設定です。
トンネル		左右に広がった筒状の空間をシミュレートしたリバーブです。
キャニオン		限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたリバーブです。
ベースメント		独特の響きをもったリバーブです。
ディレイ		
ディレイ LCR	Left (レフト)、Center (センター)、Right (ライト)の3本のディレイ音を発生するエフェクトです。	
XG ディレイ LCR		
ディレイ LR	Left (レフト)、Right (ライト)の2本のディレイ音を発生するエフェクトです。	
エコー	Left (レフト)、Right (ライト)に独立した2本のディレイ音を発生するエフェクトです。古い質感のディレイを演出することもできます。	
クロス ディレイ 1	2本のディレイのフィードバックをクロスさせたエフェクトです。	
クロス ディレイ 2		

エフェクトタイプ	タイプ解説
テンポ ディレイ 1	テンポ同期可能なディレイです。
テンポ ディレイ 2	
テンポ エコー	テンポ同期可能なエコーです。
テンポ クロス 1	テンポ同期可能なクロスディレイです。
テンポ クロス 2	
テンポ クロス 3	
テンポ クロス 4	
アーリー /カラオケ	
アーリー 1	リバーブの初期反射音(アーリーリフレクション)のみを取り出したエフェクトです。
アーリー 2	
ゲート リバーブ1	深めに掛かったリバーブを残響の途中で意図的にカットする、独特な効果のエフェクトです。
ゲート リバーブ2	
リバース ゲート	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたエフェクトです。
カラオケ 1	カラオケエコーをシミュレートしたエフェクトです。フィードバック付きのディレイが効果します。
カラオケ 2	
カラオケ 3	
コーラス	
コーラス 1	音程を周期的に揺らして、音に広がりや奥行き感を与えるエフェクトです。
コーラス 2	
XG コーラス 1	
XG コーラス 2	
XG コーラス 3	
XG コーラス 4	
GM コーラス 1	
GM コーラス 2	
GM コーラス 3	
GM コーラス 4	
FB コーラス	
コーラス ファスト	
コーラス ライト	
アンビエンス コーラス	
セレステ 1	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを加える、より重厚なコーラスです。
セレステ 2	
セレステ 3	
セレステ 4	
アンビエンス セレステ	初期反射音を付加したセレステです。
シンフォニック	セレステの変調をより多重化したコーラスです。
XG シンフォニック	
アンビエンス シンフォ	初期反射音を付加したシンフォニックです。
ENS デチューン 1	ピッチをわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスです。
ENS デチューン 2	
フランジャー	
フランジャー 1	うねるような効果やジェットサウンドを作り出すエフェクトです。
フランジャー 2	
XG フランジャー 1	
XG フランジャー 2	
XG フランジャー 3	
GM フランジャー	

エフェクトタイプ	タイプ解説
V フランジャー	アナログフランジャーをシミュレートしたエフェクトです。不規則なLFO波形も選択できます。
テンポ フランジャー	テンポ同期可能なフランジャーです。
ダイナ フランジャー	フランジャーのディレイタイムが、入力レベルに応じてダイナミックに反応するエフェクトです。
VIN フランジャー 1	アナログフランジャーをシミュレートしたエフェクトです。ピンチ感のある味わい深い音を演出します。
VIN フランジャー 2	
アンビ フランジャー	初期反射音を付加したフランジャーです。
フェーザー	
フェーザー 1	位相(フェーズ)を周期的に変化させ音にうねりを与えるエフェクトです。
フェーザー 2	
フェーザー 3	
エレピフェーザー 1	位相(フェーズ)を周期的に変化させ音にうねりを与えるエフェクトです。エレクトリックピアノに適した設定です。
エレピフェーザー 2	
エレピフェーザー 3	
テンポ フェーザー 1	テンポ同期可能なフェーザーです。
テンポ フェーザー 2	
ダイナ フェーザー	フェーザーのうねりの周波数が、入力レベルに応じてダイナミックに反応するエフェクトです。
VIN フェーザー 1	アナログフェーザーをシミュレートしたエフェクトです。ピンチ感のある味わい深い音を演出します。
VIN フェーザー 2	
VINフェーザー ST1	
VINフェーザー ST2	
VINフェーザー ST3	
VINフェーザー ST4	
VINフェーザー ST4	
トレモロ/オートパン	
トレモロ 1	音量を周期的に変化させるエフェクトです。
トレモロ 2	
XG トレモロ	
エレピ トレモロ	
ギター トレモロ 1	
ギター トレモロ 2	
オルガン トレモロ	
パイプビブラート	ビブラフォンのビブラート効果を与えるエフェクトです。
テンポ トレモロ	テンポ同期可能なトレモロです。
オートパン	音像を左右、前後に周期的に移動させるエフェクトです。
XG オートパン 1	
XG オートパン 2	
エレピ オートパン	
テンポ オートパン1	
テンポ オートパン2	
ロータリー スピーカー	
XG ロータリー SP	ロータリースピーカーをシミュレートしたエフェクトです。
ロータリースピーカー 1	
ロータリースピーカー 2	
ロータリースピーカー 3	
ロータリースピーカー 4	
ロータリースピーカー 5	
2ウェイ ロータリー SP	ロータリースピーカーのホーンとローターをH(ハイ)とL(ロー)の帯域に分けてシミュレートしたエフェクトです。

エフェクトタイプ	タイプ解説
デュアル ロータリー 1	ロータリースピーカーのホーンとローターの独立した回転をより精巧にシミュレートしたエフェクトです。(プライト/ウォーム)
デュアル ロータリー 2	
デュアルローター BRT	
デュアルローター WRM	
ディスト+ロータリー	ディストーションとロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
ドライブ+ロータリー	オーバードライブとロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
アンプ+ロータリー	アンプシミュレーターとロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
ディスト+2ロータリー	ディストーションと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
ドライブ+2ロータリー	オーバードライブと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
アンプ+2ロータリー	アンプシミュレーターと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したエフェクトです。
ディストーション	
ディスト ハード 1	ディストーションは、音にエッジの効いた歪みを与えるエフェクトです。(ハード/ソフト)
ディスト ハード 2	
ディスト ソフト 1	
ディスト ソフト 2	
ステレオ ディスト H	ステレオタイプのディストーションです。(ハード/ソフト)
ステレオ ディスト S	
オーバードライブ	音にマイルドな歪みを与えるエフェクトです。
ステレオ オーバー DR	ステレオタイプのオーバードライブです。
XG ディストーション	音にエッジの効いた歪みを与えるエフェクトです。
XG ST ディスト	ステレオタイプのディストーションです。
V ディスト ハード	ピンチ感(真空管)やファズなどの音をシミュレートしたディストーションです。
V ディスト ソフト	
コンプ+ディスト	前段にコンプレッサーがあるため、入力レベルにかかわらず均等に歪ませることができるディストーションです。
XGコンプ+ディスト	
Vディスト ウォーム	ピンチ感(真空管)やファズなどの音をシミュレートしたディストーションです。(ウォーム/クラシック・ハード/クラシック・ソフト/メタル/クランチ/ブルース/エッジ/ソリッド/クリーン/ツイン/ロカビリ/ジャズクリーン/フュージョン)
Vディスト CLS H	
Vディスト CLS S	
Vディスト メタル	
Vディスト クランチ	
Vディスト ブルース	
Vディスト エッジ	
Vディスト ソリッド	
Vディスト クリーン1	
Vディスト クリーン2	
Vディスト ツイン	
Vディスト ロカビリ	
Vディスト JZCLN	
Vディスト FUSION	
ディストーション+	
ディスト+ディレイ	ディストーションとディレイを直列に接続したエフェクトです。
ドライブ+ディレイ	オーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XG ディスト+DLY	ディストーションとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XG ODRV+DLY	オーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。

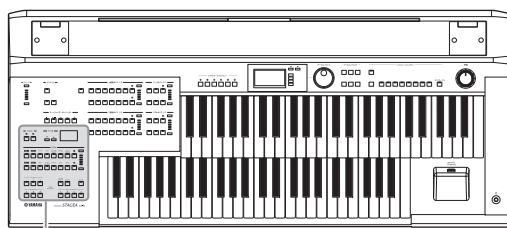
エフェクトタイプ	タイプ解説
CMP+DIST+DLY	コンプレッサーとディストーションとディレイを直列に接続したエフェクトです。
CMP+ODRV+DLY	コンプレッサーとオーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XG CMP+DT+DL	コンプレッサーとディストーションとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XG CMP+OD+DL	コンプレッサーとオーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。
VディストH+DLY	Vディストーション ハードとディレイを直列に接続したエフェクトです。
VディストS+DLY	Vディストーション ソフトとディレイを直列に接続したエフェクトです。
ディスト+Tディレイ	ディストーションとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
ドライブ+Tディレイ	オーバードライブとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
CMP+DST+TDLY	コンプレッサーとディストーションとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
CMP+OD+TDLY1	コンプレッサーとオーバードライブとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
CMP+OD+TDLY2	
CMP+OD+TDLY3	
CMP+OD+TDLY4	
CMP+OD+TDLY5	
CMP+OD+TDLY6	
VDST H+TDLY1	Vディストーション ハードとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
VDST H+TDLY2	
VDST S+TDLY1	Vディストーション ソフトとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
VDST S+TDLY2	
アンプ シミュレーター	
アンプ シミュレーター	ギターアンプをシミュレートしたエフェクトです。
XGアンプシミュレーター	
ステレオ アンプ 1	ステレオタイプのアンプシミュレーターです。
ステレオ アンプ 2	
ステレオ アンプ 3	
ステレオ アンプ 4	
ステレオ アンプ 5	
XG ステレオ アンプ	
ステレオAMPソリッド	
ステレオAMPクランチ	
ステレオAMPブルース	
ステレオAMPクリーン	
ステレオAMPハーブ	
SML ST ディスト	小型のギターアンプをシミュレートしたステレオタイプのエフェクトです。ギターに適したディストーションサウンドが得られます。
SML STドライブ	
SMLSTビンテージ	
SML ST ヘビー	
B コンボ クラシック	プリティッシュコンボアンプをシミュレートしたエフェクトです。クラシカルな設定です。
BコンボトップBST	プリティッシュコンボアンプをシミュレートしたエフェクトです。TOP BOOSTを使用した設定です。
B コンボ カスタム	プリティッシュコンボアンプをシミュレートしたエフェクトです。よく使われる設定です。
B コンボ ヘビー	プリティッシュコンボアンプをシミュレートしたエフェクトです。ヘビーな設定です。
B LGND ブルース	プリティッシュスタックアンプをシミュレートしたエフェクトです。ブルース向けの設定です。

エフェクトタイプ	タイプ解説
B LGND ヘビー 1	プリティッシュスタックアンプをシミュレートしたエフェクトです。ヘビーな設定1です。
B LGND ヘビー 2	プリティッシュスタックアンプをシミュレートしたエフェクトです。ヘビーな設定2です。
B LGND クリーン	プリティッシュスタックアンプをシミュレートしたエフェクトです。クリーンな設定です。
B LGND Dクリーン	プリティッシュスタックアンプをシミュレートしたエフェクトです。少し歪ませた設定(ダーティークリーン)です。
US CMB ツイン	アメリカンコンボアンプを元に、オリジナルアンプをシミュレートしたエフェクトです。
USCMB リッチ クリーン	
USCMB シンクリーン	
US CMB クランチ	
JZCMB ベーシック	ジャズコーラス内蔵のコンボアンプをシミュレートしたエフェクトです。
JZ CMB ウォーム	
US HIGNダーティ	アメリカンハイゲインアンプのサウンドをシミュレートしたエフェクトです。
US HI GN リフ	
US HIGN パーン	
US HI GN ソロ	
Bリード ダーティ	プリティッシュスタックアンプのサウンドをシミュレートしたエフェクトです。
Bリード ドライブ	
Bリード ゲイナー	
Bリード ハード	
ワウ	
オート ワウ	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させて、ワウワウと鳴るサウンドを作るエフェクトです。
XG オート ワウ	
V オート ワウ	アナログワウをシミュレートしたエフェクトです。ビンテージ感のある味わい深い音を演出します。ワウフィルターの中心周波数は周期的に変化します。
タッチ ワウ 1	タッチによってワウの変化をコントロールできるタイプのエフェクトです。
タッチ ワウ 2	
タッチ ワウ 3	
V タッチ ワウ	アナログワウをシミュレートしたエフェクトです。ビンテージ感のある味わい深い音を演出します。タッチによってワウの変化をコントロールできるタイプです。
オートワウ+ディスト	オートワウの出力をディストーションにより歪ませることができるエフェクトです。
XG オートワウ+DST	
オートワウ+DST HD	
オートワウ+DST HV	
オートワウ+DST LT	
オートワウ+ODRV	オートワウの出力をオーバードライブにより歪ませることができるエフェクトです。
XG オートワウ+OD	
オートワウ+OD HD	
オートワウ+OD HV	
オートワウ+OD LT	
タッチワウ+ディスト	タッチワウの出力をディストーションにより歪ませることができるエフェクトです。
XG タッチワウ+DST	
タッチワウ+DST HD	
タッチワウ+DST HV	
タッチワウ+DST LT	

エフェクトタイプ	タイプ解説
タッチワウ+OD	タッチワウの出力をオーバードライブにより歪ませることができるエフェクトです。
XG タッチワウ+OD	
タッチワウ+OD HD	
タッチワウ+OD HV	
タッチワウ+OD LT	
クラビ タッチ ワウ	クラビネットに適したタッチワウです。
エレピ タッチ ワウ	エレピに適したタッチワウです。
ワウ+DST+Tディレイ	ワウとディストーションとテンポディレイを直列に接続したエフェクトです。
ワウ+OD+Tディレイ1	ワウとオーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。
ワウ+OD+Tディレイ2	
ワウ+DST+ディレイ	ワウとディストーションとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XGワウ+DST+DLY	
ワウ+OD+ディレイ	ワウとオーバードライブとディレイを直列に接続したエフェクトです。
XG ワウ+OD+DLY	
テンポ オートワウ	テンポ同期可能なオートワウです。
Tオートワウ+ディスト	テンポ同期可能なオートワウです。オートワウの出力をディストーションにより歪ませることができます。
Tオートワウ+DSTHD	
Tオートワウ+DSTHV	
Tオートワウ+DSTLT	
Tオートワウ+ODRV	テンポ同期可能なオートワウです。オートワウの出力をオーバードライブにより歪ませることができます。
Tオートワウ+OD HD	
Tオートワウ+OD HV	
Tオートワウ+OD LT	
ダイナミック	
マルチバンドコンプ	周波数帯域別に3バンドに分割して制御するコンプレッサーです。
コンプレッサー	設定レベル以上の信号が入力されたときに出力を制御して、音の強弱の差を縮小する効果が得られるエフェクトです。音にアタック感を与えるような使い方もできます。
コンプ ミディアム	若干のコンプレッサー感が得られる設定です。
コンプ ヘビー	強めのコンプレッサー感が得られる設定です。
コンプ メロディ	メロディーパートに適したコンプレッサーです。
コンプ ベース	ベースパートに適したコンプレッサーです。
V コンプレッサー	アナログコンプレッサーをシミュレートしたエフェクトです。ピンチ感のある味わい深い音を演出します。
ノイズ ゲート	原音から必要のない余分な音を取り除く効果が得られます。本来はノイズを除去するためのエフェクトです。
EQ/エンハンサー	
ST 2バンド EQ	LOW (ロー)、HIGH (ハイ)のイコライジングが可能なステレオタイプのイコライザーです。
ST 3バンド EQ	LOW (ロー)、MID (ミドル)、HIGH (ハイ)のイコライジングが可能なステレオタイプのイコライザーです。
XG 3バンド EQ	LOW (ロー)、MID (ミドル)、HIGH (ハイ)のイコライジングが可能なモノラルタイプのイコライザーです。
EQ ディスコ	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られるイコライザーです。
EQ テレフォン	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られるイコライザーです。
ハーモニック エンハンサー	入力信号に新たな倍音を付加して、音を際立たせる効果が得られるエフェクトです。
XG ハーモニ エンハンサ	

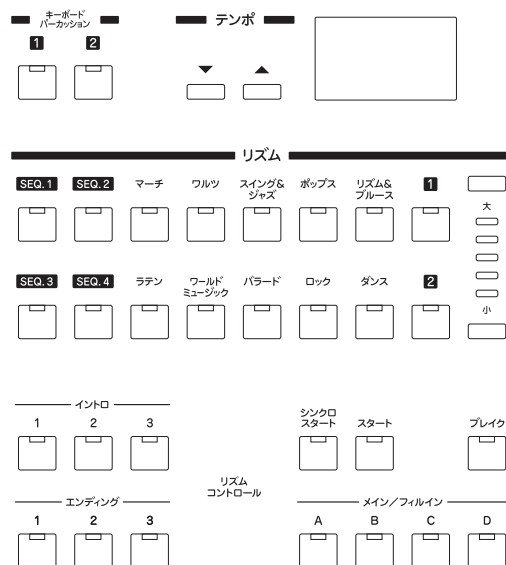
エフェクトタイプ	タイプ解説
ピッチ チェンジ	
ピッチ チェンジ	入力信号のピッチを変えるエフェクトです。
XG ピッチCHG 1	
XG ピッチCHG 2	
ミスレーニアス	
アンビエンス	音の定位をぼかして空間的な広がりを得るエフェクトです。
インパルス EXP	より金属的な響きを加えるインパルスエキスパンダーです。
レゾネーター	木製の胴のような響きを加えるエフェクトです。
ボイス キャンセル	ボーカルパートを減衰させることができるエフェクトです。
トーキング MOD	入力信号に母音をつけるトーキングモジュレーターです。
ローファイ	入力信号を音質を粗くするエフェクトです。
ダイナ フィルター	フィルターのカットオフ周波数が、入力レベルに応じてダイナミックに反応するエフェクトです。
ダイナ リングMOD	リングモジュレーターの掛かり方が、入力レベルに応じダイナミックに反応するエフェクトです。
リングモジュレーター	入力に高周波の振幅変調をかけて音程を変化させるエフェクトです。
アイズレーター	入力信号のうち、特定の帯域のレベルをコントロールできるエフェクトです。
ループ FX1	入力信号の音質を粗くするエフェクトです。
ループ FX2	
ローファイ ドラム 1	入力信号の音質を粗くするエフェクトです。ドラム音に適した設定です。
ローファイ ドラム 2	
ローファイ ドラム 3	
ローファイ ドラム 4	
ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを使用したときの広がりや奥行のある共鳴音を再現するエフェクトです。
スルー	
スルー	エフェクトが掛からないようにバイパスします。

4 リズムとキーボードパーカッション



リズム/キーボードパーカッション

このエレクトーンには、実際のドラムやパーカッションサウンドをサンプリングして作成された300種類以上のリアルなリズムパターンが内蔵されています。そのリズムパターンにアルペジオやコードバックなどの伴奏パターン(アカンパニメント)を付加して、さまざまなリズム伴奏を楽しむことができます。また、鍵盤のひとつひとつのキーに打楽器音を割り当てておき、リアルタイムで打楽器の演奏ができるキーボードパーカッションの機能もあります。

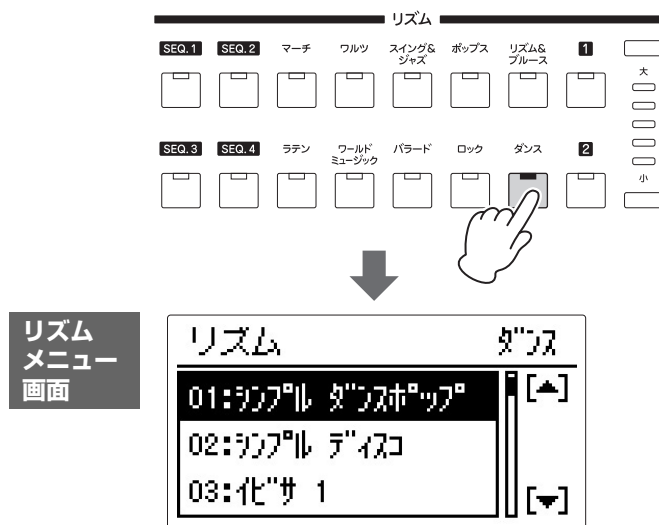


1 リズムボタンでリズムを選ぶ

リズムもボイスと同じように、パネル面のリズムボタンを押して画面にリズムメニューを呼び出すことにより、さまざまなリズムパターンを選択できます。

リズムを選んでスタートさせる

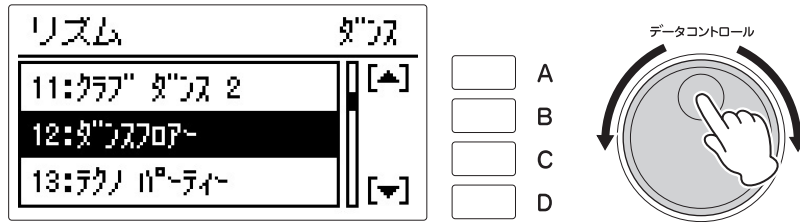
- 1 パネル上のリズムの中の、いずれかのリズムボタンを押します。
たとえば[ダンス]ボタンを選択した場合、画面に以下の表示が現れます。



画面には、[ダンス]ボタンの中に入っている、いろいろなダンスのリズムが表示されます。

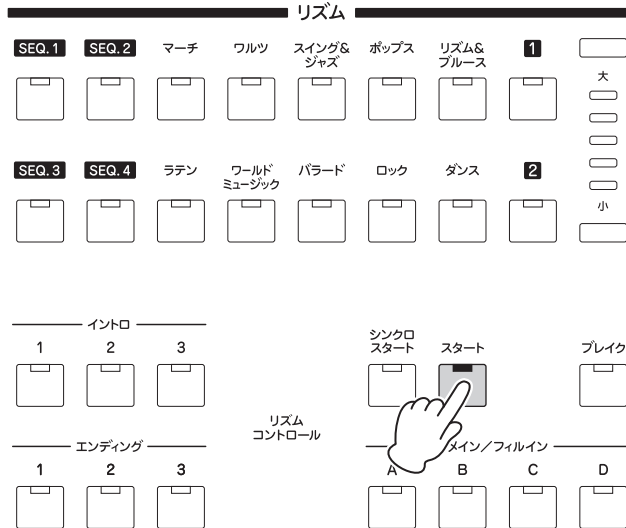
2 データコントロールダイヤルを回して、使用したいリズムを選びます。

画面右横の [A]または[D]ボタンを押して選ぶこともできます。




これでリズムには「12: ダンスフロア〜」が設定されました。


3 リズムボタンの下の[スタート]ボタンを押します。



リズムがスタートします。もう一度[スタート]ボタンを押すと、リズムはストップします。リズムはいろいろな方法でスタート/ストップさせたり、フィルインやブレイクを入れるなどしてアクセントを付けたりできます。

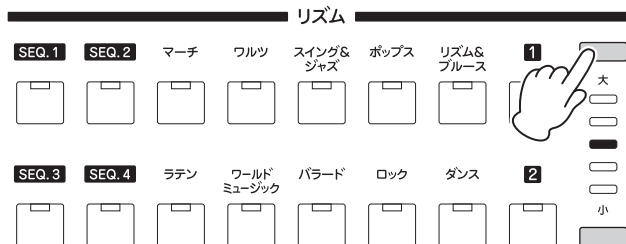
また、リズムに伴奏パターン(アカンパニメント)をつけることもできます。


 **関連ページ**
リズムを操作する(71ページ)

 **関連ページ**
自動伴奏をつける: アカンパニメント(79ページ)

4 リズムの右端にあるボリュームボタンで音量を調節します。

5段階の調節が可能です。小(一番下)にすると、リズムは鳴りません。ボイスと同じように、画面上で音量の細かな設定をすることもできます。



 **関連ページ**
リズムの音量やリバーブを設定する(74ページ)

リズムの構成

演奏を盛り上げるために、ひとつのリズムの中にも「セクション」と呼ばれるリズムパターンのバリエーションが用意されています。セクションはリズムの再生中に自由に切り替えることができます。

イントロ

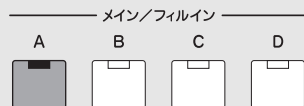
曲の始まりに適したセクションです。3つのイントロセクションがあり、イントロ[1]～[3]ボタンで選びます。小節数はリズムによって違い、イントロの演奏が終了すると自動的にメインに移ります。



選ばれているイントロセクションが点灯

メイン

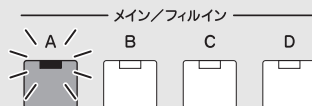
曲のメイン部分の演奏で使う、基本のリズムパターンです。4つのメインセクションがあり、メイン/フィルイン[A]～[D]ボタンで選びます。数小節のリズムパターンをくり返し演奏します。



選ばれているメインセクションが点灯

フィルイン

曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げる、1小節のリズムパターンです。4つのフィルインセクションがあり、点灯しているメイン/フィルイン[A]～[D]ボタンをもう一度押すと、フィルインが再生します。1小節のフィルインパターンを再生したあとは、自動的にメインに移ります。



再生中のフィルセクションが点滅

ブレイク

リズムに一時的な空白部分を入れることでメリハリをつける効果を持つ、1小節のリズムパターンです。[ブレイク]ボタンを押すと、ブレイクが再生します。1小節再生したあとは、自動的にメインに移ります。



ブレイクが選ばれているときに点灯

エンディング

曲の終わりに適したセクションです。小節数はリズムによって違い、エンディングの演奏が終了すると自動的にリズムはストップします。3つのエンディングセクションがあり、エンディング[1]～[3]ボタンで選びます。



選ばれているエンディングセクションが点灯

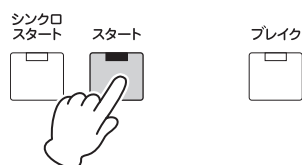
リズムを操作する

パネル上のボタンを使って、リズムをスタート/ストップさせたり、各セクションを切り替えたりします。再生中にフィルインやブレイクを入れてリズムにアクセントをつけるなど、変化に富んだ演奏が可能です。

リズムをスタート/ストップさせるには:

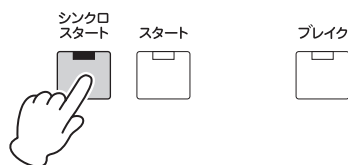
スタート

[スタート]ボタンを押すと、リズムがスタートします。もう一度押すと、リズムはストップします。



シンクロスタート

[シンクロスタート]ボタンを押すと、リズムは待機状態になります。下鍵盤かペダル鍵盤で演奏を始めると同時に、リズムがスタートします。シンクロスタートでリズムを再生した場合は、もう一度[シンクロスタート]ボタンを押すことで、リズムがストップします。



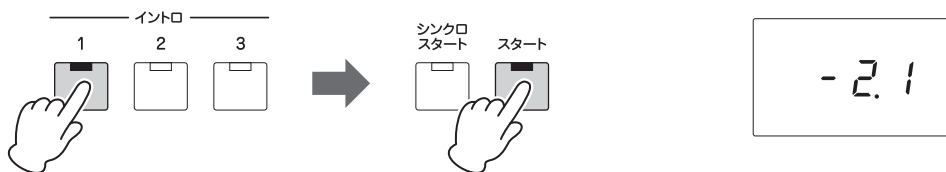
NOTE

オートベースコード(A.B.C.)を使って、リズムをシンクロスタートで始める場合は、A.B.C.の下鍵盤/ペダル鍵盤のメモリーをオンにしてください。メモリーをオンにしないで使用した場合は、演奏中に下鍵盤から手をはなすと、リズムもストップします。(A.B.C.については、82ページをご参照ください。)イントロ[1]~[3]ボタンのいずれかを押したあと、[スタート]または[シンクロスタート]ボタンを押します。

イントロ

自動的に数小節イントロを入れてからリズムをスタートさせます。イントロ[1]~[3]ボタンのいずれかを押したあと、[スタート]または[シンクロスタート]ボタンを押してリズムをスタートさせます。

イントロが演奏されている間、ディスプレイにマイナス表示で逆にカウントします。



イントロ[1]~[3]ボタンのいずれかを押したあと、[スタート]または[シンクロスタート]ボタンを押します。

エンディング

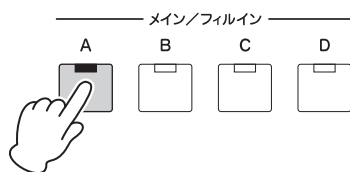
リズムをストップするときに、自動的に数小節エンディングパターンを入れます。リズムを再生しているときにエンディング[1]~[3]ボタンのいずれかを押すと、エンディングパターンが入ったあとで、リズムは自動的に終了します。エンディングが演奏されている間に、再度同じエンディングボタンを押すと、テンポが徐々にゆっくりになります。

NOTE

メインセクション再生中にエンディング[1]ボタンを押すと、エンディング1が鳴る前に自動的に1小節フィルインが入ります。

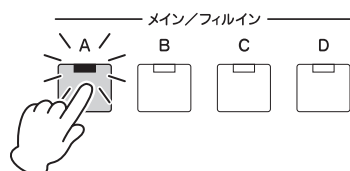
メインセクションを切り替えるには:

メイン/フィルイン[A]~[D]ボタンで、4種類のバリエーション(メインA~メインD)を切り替えます。現在選ばれているメインセクションのボタンが点灯します。



フィルインを入れるには:

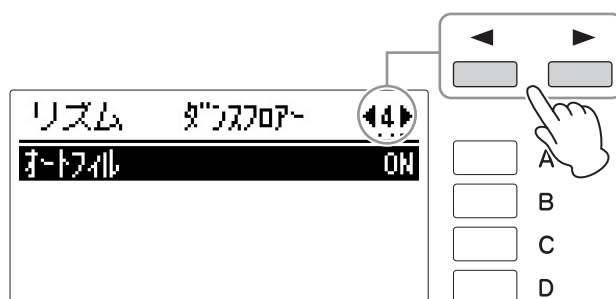
リズムを使用して演奏しながら、フィルインを入れたいところで、現在選ばれているメイン/フィルイン[A]~[D]ボタンをもう一度押すと、1小節のフィルインが入ります。フィルインが鳴っている間は、ボタンのランプは点滅します。



NOTE

選ばれているセクションはレジストレーションメモリーに記録しておくことができます。オートフィルイン機能のオン/オフはレジストレーションメモリーに記録しておくことができません。

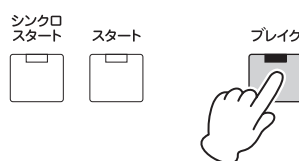
オートフィルイン機能を使って、自動的にフィルインを入れることもできます。オートフィルイン機能は、リズムコンディション画面のページ4で設定します。使用したいリズムを選んで、同じリズムボタンをもう1度押すと、画面上にリズムコンディション画面が現れます。ページボタンを使ってページ4に切り替えます。



画面右横の[A]ボタンを押してオートフィルインをON(オン)にすると、メイン/フィルイン[A]~[D]ボタンでセクションを切り替えるたびに、フィルインが自動的に入ります。

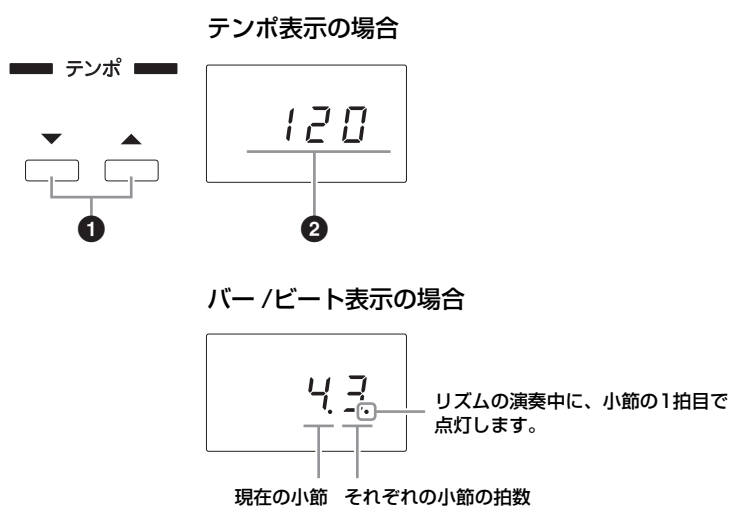
ブレイクを入れるには:

リズムを使用して演奏しながら、ブレイクを入れたいところで[ブレイク]ボタンを押します。



リズムのテンポを変える

テンポボタンを押して、リズムの速さを変更できます。



① テンポボタン

リズムの速さを調節します。右のボタンを押すと速くなり、左のボタンを押すと遅くなります。

それぞれのリズムには、あらかじめリズムごとに設定されたテンポ(プリセットテンポ)があります。プリセットテンポに戻したい場合は、右と左のテンポボタンを同時に押します。

② テンポ表示(バー / ビート表示)

設定されているリズムの速さ(テンポ)を表示します。表示されている数字は、メトロノームと同じように1分間の拍数を表します。

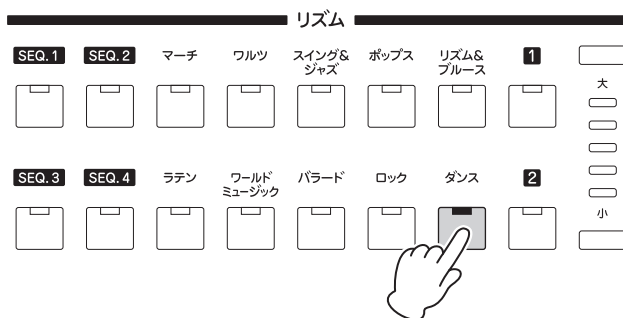
設定範囲：40～240

リズムがスタートすると、自動的にテンポ表示からバー / ビート表示に切り替わります。

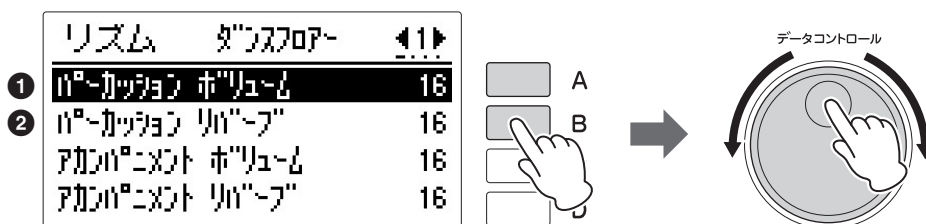
リズムの音量やリバーブを設定する

ボイスメニューのボイスコンディション画面と同じように、リズムにもリズムコンディション画面があります。この画面のページ1で、リズムのパーカッション(打楽器音)の音量やリバーブ量を設定できます。また、画面のページ4では、フィルインを自動的に入れる機能(オートフィル)をオンにすることもできます。

リズムコンディション画面を呼び出すには、使用したいリズムを選択して、そのリズムのボタンをもう一度押します。



[ページ1] リズムコンディション画面



関連ページ
リバーブデプス(61ページ)

ボタンとデータコントロールダイヤルを使って、音量やリバーブなどを設定します。

NOTE

リズムコンディション画面からボリュームの設定を行なうと、設定値によりパネル上のボリュームボタンが2つ点灯する場合があります。

① パーカッション ボリューム

リズムのパーカッション(打楽器音)の音量を調節します。細かな音量の設定が可能です。パネルのリズムボタンの右端にあるボリュームボタンと同じものです。

[A]ボタンで選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0～24

関連ページ
アカンパニメントのボリュームやリバーブを設定するには(81ページ)

② パーカッション リバーブ

リズムのパーカッションのリバーブ量を調節できます。ここでリバーブを最大にしても、楽器全体にかかるリバーブ量(リバーブデプス)の数値を上げないと、リバーブ効果は得られません。

[B]ボタンで選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

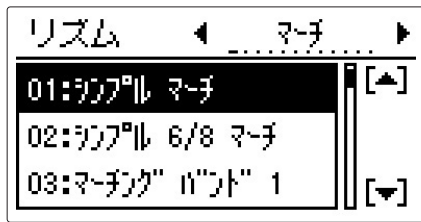
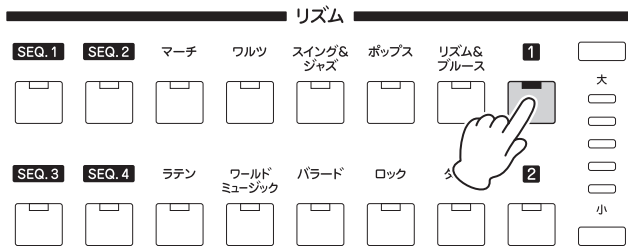
設定範囲：0～24

2 ユーザーボタンでリズムを選ぶ

リズムボタンの右側にあるユーザーボタンを使って、リズムボタン中のすべてのリズムから好きなリズムを選ぶことができます。選んだリズムは同じユーザーボタンを押して呼び出せます。また、ELSシリーズで作成したユーザーリズムも選べますが、その呼び出し方法は次ページをご参照ください。

同一カテゴリ内の異なったリズムをパネル上に呼び出しておきたいときは、1つはリズムボタン、もう1つはユーザーボタンに呼び出しておく、すぐに切り替えられて便利です。ここではユーザー [1] ボタンに、[リズム&ブルース] カテゴリ内のリズム「25: モダンシャッフル」を選んでみましょう。

1 リズムボタンの右側にあるユーザー [1] ボタンを押します。



画面上にリズムカテゴリが表示されます。

2 画面の右側にあるページボタンで、使用したいリズムが属しているカテゴリを選択します。

この場合は「リズム&ブルース」を選択します。



メトロノーム

メトロノームを利用する場合は、カテゴリをメトロノームに変更してください。

3 データコントロールダイヤルで、「25: モダン シャッフル」を選択します。

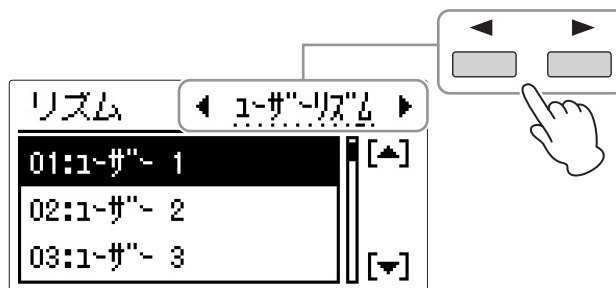
これで、ユーザー [1] ボタンには「25: モダン シャッフル」が設定されました。
設定したリズムを呼び出すときは、ユーザー [1] ボタンを押します。

ユーザーリズムを呼び出すには

ユーザーボタンを押してからユーザーリズムページを選ぶと、リズムパターンプログラム機能を持つエレクトーン、ELSシリーズで作成したリズム(ユーザーリズム)を呼び出すことができます。演奏でユーザーリズムを使用したい場合にこのページを選びます。ユーザーリズムを呼び出すには、ELSシリーズで作成したリズムがレジストレーションの一部として保存されたソングを、このエレクトーンで再生して、レジストレーションを読み込んでおきます。レジストレーションの読み込み方法については、154ページ「レジストレーションデータを読み込む」と155ページ「ソングを再生する」をご覧ください。この読み込みによって、1~48のユーザーナンバーにユーザーリズムが読み込まれます。

1 リズムボタンの右側にあるユーザーボタンを押します。

2 ページボタンでユーザーリズムページを選択します。



3 該当するリズムのユーザーナンバー (ユーザー 1~ユーザー 48) を、データコントロールダイヤルで選択します。

3 リズムリスト

この楽器に搭載されたリズムのリストです。

マーチ		
01	シンプル マーチ	*1
02	シンプル 6/8 マーチ	*1
03	マーチングバンド 1	
04	マーチングバンド 2	*1
05	マーチングバンド 3	
06	ジャーマン マーチ	
07	6/8 マーチ	
08	6/8 キッズ	
09	オーケストラ マーチ	
10	アニメ ファンタジー	
11	ギャラクシー シップ	
12	SF マーチ 1	
13	SF マーチ 2	
14	ブロックバスター	
15	ブロードウェイ	*1
16	ショーチューン	
17	ワイルド ウェスト	
18	ポップ クラシック	*1
19	フレンチ 50s	
20	6/8 オルガン マーチ	*2
21	パブ ピアノ	
22	パロック	*2
23	パロック コンチェルト	*2
24	ストリングス コンチェルト	*2
25	コーラル シンフォニー	*2
26	プラスバンドヒム	*2
ワルツ		
01	ワルツ	*1
02	オーケストラ ワルツ	
03	ウィンナー ワルツ 1	
04	ウィンナー ワルツ 2	
05	ジェントル ワルツ	
06	クラシック ワルツ	
07	ジャズ ワルツ 1	
08	ジャズ ワルツ 2	
09	ジャズ ワルツ 3	
10	ジャズワルツ ミディアム	
11	ジャズワルツ ファスト	
12	マリアッチ	
13	スノー ワルツ	
14	ボーカル ワルツ	
15	ミュゼット	
16	ムービー サウンド トラック	
17	クワイア サウンド トラック	
18	ロマンチック ワルツ	*2

19	クラシカル メヌエット	*2
20	グリーン ファンタジア	*1 *2
21	ギター セレナーデ	*1 *2
スイング&ジャズ		
01	シンプル ビッグバンド	*1
02	シンプル コンボ ジャズ	*1
03	ビッグバンド 1	
04	ビッグバンド 2	
05	ビッグバンド 3	
06	Orch ビッグバンド1	
07	Orch ビッグバンド2	
08	ビッグバンド ジャズ	
09	ビッグバンド ファスト	
10	ビッグバンド パップ	
11	ムービー パンサー	
12	ジャングル ドラム	
13	ミディアム ジャズ 1	
14	ミディアム ジャズ 2	
15	アコースティック ジャズ 1	
16	アコースティック ジャズ 2	
17	コンボ スイング	
18	インストゥルメンタル ジャズ	
19	マンハッタン スイング	
20	ファイブ フォー	
21	トラッドピアノ ジャズ	
22	ジャズバラード 1	
23	ジャズバラード 2	
24	ムーンライト	
25	ウィンター ソング	
26	クリスマス シャッフル	
27	クリスマス バラード	
28	ムービー スイング	
29	アフロキューバン 1	
30	アフロキューバン 2	
31	フォックスロット	
32	スローフォックス	
33	デキシールランド	
34	デキシールランドジャズ 1	
35	デキシールランドジャズ 2	*2
36	ラグタイム	
37	チャールストン	
38	オーケストラ スイング	
39	タップダンス スイング	
40	オルガン グループ	

ポップス		
01	シンプル 8ビートポップ	*1
02	シンプル 3/4 ポップ	*1
03	シンプル シャッフル ポップ	*1
04	8ビート ライト 1	
05	8ビート ライト 2	
06	16ビート	
07	プリティッシュ 16ビート	
08	ギター ポップ	
09	クラシック 16ビート	
10	フュージョン シャッフル	
11	フォーク ロック	
12	イージー ポップ	
13	チャート ギター ポップ	*1
14	ジャズ ポップ	
15	プリティッシュ ポップ	
16	ポップ シャッフル	
17	アンブラグド 1	*1
18	アンブラグド 2	
19	アンブラグド 3	
20	JPN ポップ シャッフル	
21	JPN アイドル ヒッツ	
22	JPN 70s アニメ	
23	JPN サウンドトラック	
24	キュート ポップ	
25	The 3rd ファンク	
26	サンセット デカ	
27	US 70s TV テーマ	
28	アジアン ポップス	
29	スカンジナビアン シャッフル	
30	60s ピンテージポップ	
31	60s チャート スイング	
32	バブルガム ポップ	
33	70s チャート カントリー	*1
34	ユーロ ポップ オルガン	
35	ユーロ フォックス	
36	ユーロ ポップ	
リズム&ブルース		
01	シンプル ファンク	*1
02	シンプル R&B バラード	*1
03	シンプル R&B シャッフル	*1
04	ソウル	
05	16ビート ソウル 1	
06	16ビート ソウル 2	

07	フランクリー ソウル	
08	ライブ ソウル バンド	
09	ソウル スイング	
10	6/8 ソウル	
11	ゴスペル シスターズ	
12	ハリウッド ゴスペル	
13	ゴスペル パーティー	
14	ニュー ゴスペル	
15	ゴスペル シャッフル	
16	ジャズ ファンク	
17	クール ファンク	
18	レッツ ファンク	
19	モーター シティー	
20	デトロイト ポップ	
21	ブルーベリー ブルース	
22	ブルース シャッフル 1	*1
23	ブルース シャッフル 2	
24	ラブリー シャッフル	
25	モダン シャッフル	
26	クール R&B	
27	モダン R&B	
28	ソウル R&B	
29	ワーシップ ファスト	
ラテン		
01	シンプル ボサノバ	*1
02	シンプル サンバ	*1
03	シンプル マンボ	*1
04	シンプル ルンバ	*1
05	ボサノバ 1	
06	ボサノバ 2	
07	ポップ ボサ 1	
08	ポップ ボサ 2	
09	ボサ ブラジル	
10	ラウンジ ボサ	
11	ビッグバンド サンバ	
12	ライト サンバ	
13	ジャズ サンバ	
14	マンボ 1	
15	マンボ 2	
16	ルンバ	
17	ルンバ フラメンコ	
18	チャチャチャ	
19	ビッグバンド チャチャ	
20	ポップ チャチャ 1	
21	ポップ チャチャ 2	
22	サルサ	
23	モントゥーノ	
24	カリブソ	

*1 オートベースパートが入っていないセクションがあります。オートベースパートのないセクションでは、A,B,Cをオンにしてもベース音は鳴りません。
*2 ドラムパートが入っていないセクションがあります。ドラムパートのないセクションでは、アカンパニメントのパートをオンにした状態で使用してください。

25	ダンソン	
26	ボンバ	
27	ポップ ラテン	*1
28	ビギン	
29	タンゴ 1	
30	タンゴ 2	
31	イタリアン タンゴ	
32	ギター ルンバ	
ワールドミュージック		
01	ボレロ	
02	フラメンコ	
03	ポップ フラメンコ	*1
04	バンドブレ	
05	タランテラ	
06	シルタキ	
07	ハワイアン	
08	メキシカン ダンス	*2
09	エンカ	
10	ボルカ 1	
11	ボルカ 2	
12	バンド ボルカ	*2
13	チター ボルカ	
14	パーティー ボルカ	
15	ユーロ ボルカ	
16	アイリッシュ ダンス	
17	アイリッシュ ヒム	*1
18	ケルティック ダンス	
19	ケルティック ダンス 3/4	
20	ケルティック クリスマス	
21	シェリフ レゲエ 1	
22	シェリフ レゲエ 2	
23	カリビアン	
24	ズーク	
25	ホーダウン 1	*2
26	ホーダウン 2	
27	ブルークラス	
28	チャイナポップ バラード1	*1
29	チャイナポップ バラード2	
30	チャイナ ダンス	
31	チャイナ トラッド 1	
32	チャイナ トラッド 2	*1
33	カンフー	
34	エセアリアル ボイス	*1 *2
バラード		
01	シンプル8ビート バラード	*1
02	シンプル ロック バラード	*1
03	アコースティック 8ビートBld	*1
04	8ビート モダン	

05	16ビート バラード 1	
06	16ビート バラード 2	
07	6/8 スロー ロック	
08	シュラガー 6/8	
09	ビッグロック バラード	
10	90s ロック バラード	
11	パワー バラード	
12	イージー バラード	
13	ラブ ソング	
14	ドラマチック バラード	*2
15	アニメーション バラード	
16	70s クール バラード	
17	70s ポップデュオ	
18	70s グラム ピアノ	
19	ムービー バラード	
20	80s ムービーバラード	
21	ビッグスクリーン クラシック	
22	チャート バラード	
23	アナログ バラード	
24	スロー & イージー	
25	チルアウト	*1
26	イージー カントリー	
27	JPN ロマンチック バラード	
28	JPN フォークポップ デュオ	
29	JPN ダンス バラード	*1
30	JPN R&B バラード	
31	JPN TVサウンドトラック	*1
32	ナイト ウォーク	*1 *2
33	オルガン バラード 1	
34	オルガン バラード 2	
35	ギター バラード	
36	ポップギター バラード	
37	エレクトリックピアノ Bld	
38	ポップピアノ バラード	*1
ロック		
01	シンプル ロック	*1
02	シンプル シャッフル ロック	*1
03	ハードロック 1	
04	ハードロック 2	
05	ティアーズ ロック 1	
06	ティアーズ ロック 2	
07	プリティッシュ ロック	*1
08	パワー ロック	
09	スタジアム ロック	
10	コンテンポラリー ロック	
11	スタンダード ロック	
12	アコースティック ロック	
13	ブリット ロックポップ	

14	ファンク ポップロック	
15	チャート ロック シャッフル	
16	チャート ピアノ シャッフル	
17	ビーチ ロック	
18	サーフ ロック	
19	60s ロック	
20	70s ロック	
21	80s パワー ロック	
22	80s ポップ ロック	
23	80s ギター ポップ	
24	00s ボーイ バンド	
25	ロック シャッフル	
26	ロックンロール	
27	6/8 ロック	
28	60s ロックンロール	
29	ジャイブ	
30	スインギン ブギー	
31	サザン ロック	
32	ニュー カントリー	*1
33	カントリー ストラム	
34	ディスコ フォックス ロック	*1
35	JPN ポップロック 1	
36	JPN ポップロック 2	
37	JPN バンドロック 1	
38	JPN バンドロック 2	
39	JPN ライトロック 1	
40	JPN ライトロック 2	
41	JPN ロック デュオ	
42	JPN アイドル ロック	
43	JPN キッズ ヒーロー	
44	ドラゴン ロック	
45	ミラクル ロック	*1
46	プリティー キュート	
47	ハッピー ポップ	
ダンス		
01	シンプル ダンスポップ	*1
02	シンプル ディスコ	*1
03	イビサ 1	
04	イビサ 2	*2
05	トランス ポップ	
06	ユーロ トランス 1	
07	ユーロ トランス 2	*1
08	6/8 トランス 1	
09	6/8 トランス 2	
10	クラブ ダンス 1	*1
11	クラブ ダンス 2	
12	ダンスフロアー	*1
13	テクノ パーティー	
14	80s ダンス	
15	スイング ハウス	
16	ダーティー ポップ	

17	マジョルカ パーティー	*1
18	ディスコ フォックス	
19	ディスコ フィリー	
20	ディスコティーンズ 1	*1
21	ディスコティーンズ 2	
22	ディスコ チョコレート	
23	サタデー ナイト	
24	90s ディスコ	
25	70s ディスコ 1	
26	70s ディスコ 2	
27	チャート ポップ	
28	グランドビート	
29	シンセ ポップ	
30	UK ポップ	
31	ターキッシュ ユーロビート	*1
32	オリエンタル ポップ	
33	ポップビート	
34	ガラージ 1	
35	ガラージ 2	
36	エレクトロニカ	
37	クラブ ラテン	
38	ラテン ディスコ	
39	US ヒップ ホップ	
40	ヒップ ホップ ポップ	
41	JPN アイドルポップ 1	
42	JPN アイドルポップ 2	
43	JPN アイドルポップ 3	
44	JPN ダンス ポップ 1	
45	JPN ダンス ポップ 2	
46	キュート テクノ	
47	ダンス ポリス	
メトロノーム		
01	メトロノーム 2/4	*1
02	メトロノーム 3/4	*1
03	メトロノーム 4/4	*1
04	メトロノーム 6/8	*1
05	メトロノーム 9/8	*1
06	メトロノーム 12/8	*1
07	メトロノーム 5/4	*1
08	メトロノーム 7/4	*1
09	メトロノーム 8/4	*1
10	ウッドブロック 2/4	*1
11	ウッドブロック 3/4	*1
12	ウッドブロック 4/4	*1
13	ウッドブロック 6/8	*1
14	ウッドブロック 9/8	*1
15	ウッドブロック 12/8	*1
16	ウッドブロック 5/4	*1
17	ウッドブロック 7/4	*1
18	ウッドブロック 8/4	*1

*1 オートベースパートが入っていないセクションがあります。オートベースパートのないセクションでは、A.B.C.をオンにしてもベース音は鳴りません。

*2 ドラムパートが入っていないセクションがあります。ドラムパートのないセクションでは、アカンパニメントのパートをオンにした状態で使用してください。

4 自動伴奏をつける: アカンパニメント

アカンパニメントは、多彩な装飾音を施したリズム伴奏のパターンが得られる機能です。アカンパニメントパートを発音させるためには、リズムコンディション画面で設定が必要です。

- 1 使用したいリズムを選んでから、そのリズムのボタンをもう一度押します。
リズムコンディション画面が表示されます。

リズムコンディション画面

リズム	S 8ビートPop	◀▶
パッド	ボリューム	16
パッド	リバーブ	16
アカンパニメント	ボリューム	16
アカンパニメント	リバーブ	16

- 2 鳴らしたいアカンパニメントのパートをオンにします。

アカンパニメントの各パート設定は、ページボタンを使ってページ2、ページ3を表示させ設定します。

鳴らしたいアカンパニメントのパートと同じ位置にある、画面右横の[A]~[D]ボタンを押してオン/オフを設定します。ボタンを押すたびにオンとオフが切り替わります。

[ページ2]

リズム	S 8ビートPop	◀▶
キック	ON	
ドラム	ON	
コード1	OFF	
コード2	OFF	

[ページ3]

リズム	S 8ビートPop	◀▶
パッド	OFF	
フレーズ1	OFF	
フレーズ2	OFF	

アカンパニメント

リズムコンディション画面のページ2とページ3には、リズムを構成する各パートの名称が表示されます。ドラム以外のパートをまとめて「アカンパニメント」といいます。

アカンパニメントはコード1、コード2、パッド、フレーズ1、フレーズ2の5つのパートで構成されており、それぞれのパートをオン/オフさせることができます。すべてのパートをオフにすると、アカンパニメントは鳴りません。

コード1/コード2

コード伴奏を担当する、ピアノやギターなどの演奏を再生するパートです。

パッド

ストリングスやオルガンなどの演奏を再生するパートです。

フレーズ1/フレーズ2

アルペジオや、パンチの効いたブラフフレーズなどを再生するパートです。アカンパニメントの中でひととき華やかなパートです。

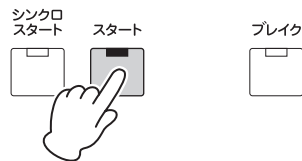
すべてのパートにデータが入っているわけではありません。リズムによって、データの入っているパートは異なります。

メインドラム、アドドラムのパートには、アカンパニメントではなく打楽器音が入っています。メインドラムとアドドラムの両方をオフにすると、打楽器音は鳴らなくなります。一般に、メインドラムに主な打楽器音が入っており、アドドラムにはタンバリンやトライアングルなどの付加的な打楽器音が入っています。

3

[スタート]ボタンを押してリズムをスタートさせ、下鍵盤を演奏します。

これで、リズムパターンや下鍵盤のコードに合った伴奏パターンが自動演奏されます。




アカンパニメントのボリュームやリバーブを調節するには:

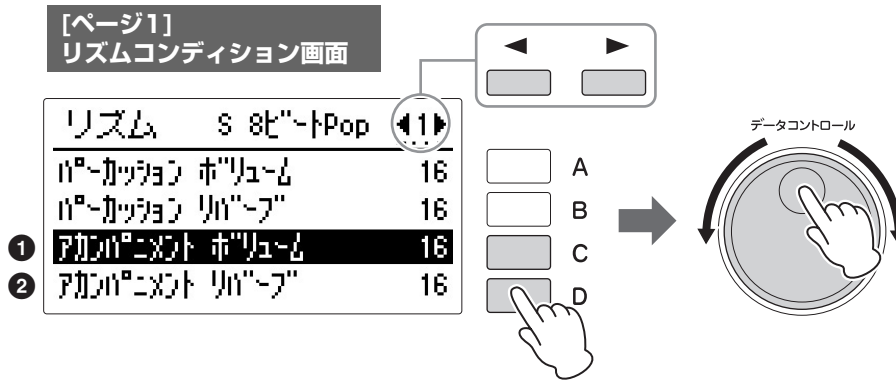
リズムコンディション画面のページ1で設定します。

- 1 使用したいリズムボタンを選んでから、同じリズムのボタンをもう1度押します。

リズムコンディション画面が表示されます。

 関連ページ
リズムコンディション画面(74ページ)

- 2 ページボタンを使って、ページ1を表示させます。




この画面で音量とリバーブの量を設定します。

① アカンパニメント ボリューム

アカンパニメントの音量を設定します。

[C]ボタンで選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0~24


 関連ページ
自動伴奏をつける: アカンパニメント(79ページ)

② アカンパニメント リバーブ

アカンパニメントのリバーブの量を設定します。このリバーブを最大にしても、楽器全体にかかるリバーブ量(リバーブデプス)の数値を上げないと、リバーブ効果は得られません。

[D]ボタンで選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0~24

 関連ページ
リバーブデプス(61ページ)

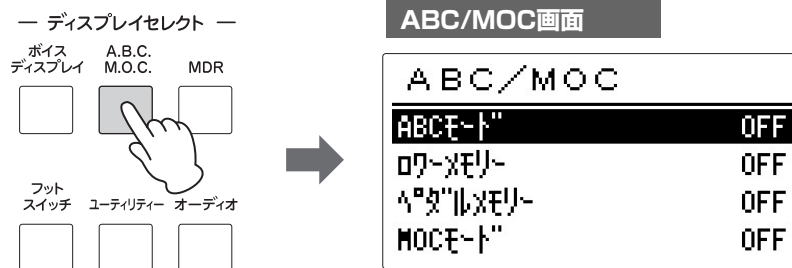
5 ベースパターンをつける： オートベースコード(A.B.C.)

オートベースコード(A.B.C.)は、リズムと連動し、演奏にあわせて自動的にベースの伴奏が得られる機能です。選ばれているリズムに合わせて、ベースのパターンが自動的に選択されます。

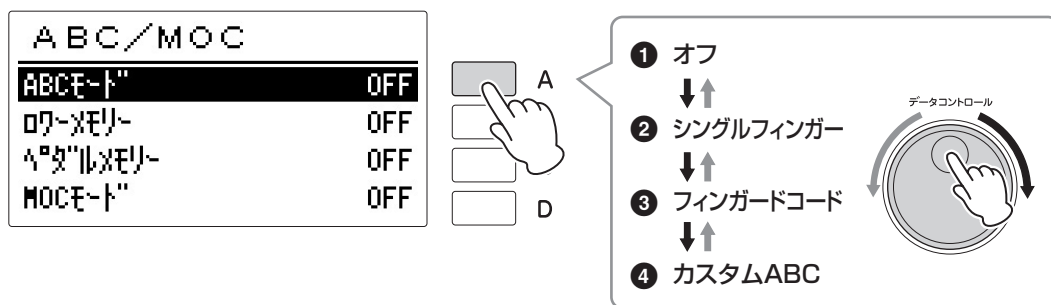
オートベースコードに関する設定は、A.B.C./M.O.C.(オートベースコード/メロディーオンコード)画面で行ないます。

オートベースコードを設定するには:

- 1 [A.B.C./M.O.C.]ボタンを押します。
ABC/MOC画面が表示されます。



- 2 [A]ボタンを押して「ABCモード」を選択し、データコントロールダイヤルを回して、オートベースコードのモードを選択します。



A.B.C.(オートベースコード)モード

データコントロールダイヤルを右に回すと、「オフ」→「シングルフィンガー」→「フィンガードコード」→「カスタムABC」の順番でモードを選ぶことができます。また、左に回すと、逆の順番で選ぶことができます。

オートベースコードを使って、リズムをシンクロスタートで始める場合は、ロー(下鍵盤)メモリ / ペダルメモリをオンにしてください。メモリをオンにしないで使用した場合は、演奏中に下鍵盤とペダル鍵盤から指をはなすと、リズムもストップします。84ページの「メモリ」をご参照ください。

① オフ

オートベースコード機能をキャンセルします。

② シングルフィンガー

下鍵盤を1~3音押さえるだけで、自動的に和音とベースの伴奏が得られます。コードを構成するすべての鍵盤を弾かなくても、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードが演奏できます。どの音域の鍵盤を押さえても、一定のオクターブでのみ音がでます。

NOTE

シングルフィンガー / フィンガーのモードが選ばれているときは、ペダル鍵盤を押さえてもベース音は鳴りません。

コードCの場合



メジャーコード

コードの根音(コード名と同じキー)を押します。



マイナーコード

コードの根音と、それより左のいずれかの黒鍵を同時に押します。



セブンスコード

コードの根音と、それより左のいずれかの白鍵を同時に押します。



マイナーセブンスコード

コードの根音と、それより左の白鍵と黒鍵を同時に押します。

リズムを止めた状態で使うと、和音の持続音を得られます。

③ フィンガードコード

下鍵盤でコードを押さえるだけで、自動的にベースの伴奏が得られます。フィンガードコードのベース伴奏では、メジャーやマイナーなどのコード以外にも、さまざまなコードが検出できるので、下鍵盤で弾いたコードにふさわしいベース伴奏が得られます。鍵盤を2音以下しか押さえなかった場合は、直前に弾いたコードをもとに適切なコードが推定されて鳴ります。フィンガードコードで検出できる代表的なコードは、以下のとおりです。

NOTE

aug, dim7, sus4, 6, m6のコードは、根音が最低音となるように押さえる必要があります。

コードCの場合



リズムを止めた状態で使うと、和音の持続音を得られます。

④ カスタムABC

下鍵盤で弾くコードとは別に、ペダル鍵盤を1音押さえるだけでベース伴奏が得られます。この機能を使うことで、演奏に幅を持たせることができます。

メモリー

メモリー機能は、オートベース(A.B.C.)機能を使った演奏をスムーズに行なうための機能です。メモリー機能をオンにしてリズムをスタートさせ、選んだオートベースコード機能のモード(オフ以外)に従って、下鍵盤やペダル鍵盤を押さえます。このとき鍵盤から指や足をはなしたあとも、オートベースコードは同じコードやベースパターンのまま自動伴奏を続けます。コードやベースパターンを変えたいところで、新たに弾きなおせば、再び指や足をはなしても新しいコードやベースパターンで自動伴奏を続けます。オートベースコード機能がオフのときは、コードやベースパターンの自動伴奏にはなりません、弾いた音の持続音が鳴ります(アカンパニメントがオンで、ローメモリーをオンにした場合は、下鍵盤から指をはなしても、アカンパニメントが鳴り続けます)。

メモリー機能は下鍵盤、ペダル鍵盤ごとにオン/オフできます。

ABC/MOC		
ABCモード"	OFF	<input type="checkbox"/> A
① ローメモリー	OFF	<input type="checkbox"/> B
② ペダルメモリー	ON	<input checked="" type="checkbox"/> C
MOCモード"	OFF	<input type="checkbox"/> D

① ロー (下鍵盤)メモリー

オンにすると、リズムが鳴っている間は、下鍵盤から指をはなしても下鍵盤の音が鳴り続けます。

[B]ボタンを押すたびにオンとオフが切り替わります。

② ペダルメモリー

オンにすると、リズムが鳴っている間は、ペダル鍵盤から足をはなしても、ペダル鍵盤の音が鳴り続けます。

[C]ボタンを押すたびにオンとオフが切り替わります。

シングルフィンガーやフィンガードの場合は、オンにしてリズムをスタートすると、下鍵盤から指をはなしたあともペダル鍵盤の音が鳴り続けます。

6

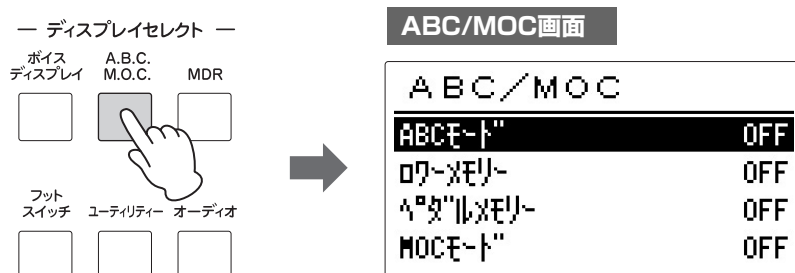
メロディーにハーモニーをつける： メロディーオンコード(M.O.C.)

下鍵盤で弾いたコードによって、上鍵盤で弾くメロディーラインに自動的にハーモニーを付ける機能です。

メロディーオンコードを設定するには:

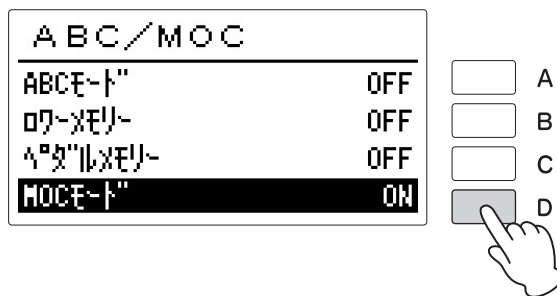
1 [A.B.C./M.O.C.]ボタンを押します。

ABC/MOC画面が表示されます。



2 MOCモード(メロディーオンコードモード)をオンにします。

MOCモードの[D]ボタンを押し、オン/オフを切り替えます。



オン:

メロディーに近い音域で最高2音までの付加音がハーモニーとなって得られます。

オフ:

メロディーオンコード機能をキャンセルします。

上鍵盤ボイス1と上鍵盤ボイス2の音量が共に0の場合は、メロディーオンコードの効果は得られません。また、リードボイスに対してはメロディーオンコードの効果はかかりません。

リズムシーケンスについて

ELSシリーズなどのリズムシーケンスプログラム機能を持つエレクトーンを使って、ユーザーリズムやプリセットリズムの再生順序(シーケンス)を1小節単位でプログラムしたものを、リズムシーケンスと呼びます。

このエレクトーンにはリズムシーケンスのプログラム機能はありませんが、外部のUSBフラッシュメモリーに記録されたリズムシーケンスを、次の手順でリズムの [SEQ. 1]~[SEQ.4]ボタンに読み込み、再生できます。

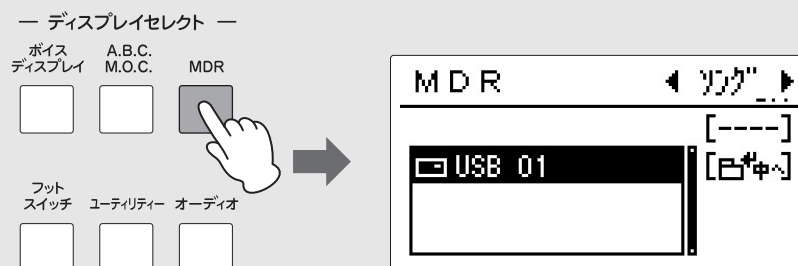
また、リズムシーケンスにレジストレーションシーケンス(「何小節目のどのタイミングで、レジストレーションが何番に切り替わる」という情報)が含まれている場合は、その情報も読み込み、再生できます。ネクストユニットの情報も読み込み、再生できます。

リズムの再生中は、リズムシーケンスを読み込むことはできません。リズムの再生を停止した状態で操作してください。

1 [USB TO DEVICE]端子に、リズムシーケンスのデータが記録された動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

2 [MDR]ボタンを押して、MDR画面で読み込みたいデータが含まれたソングを選択します。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。



リズムシーケンスのデータは、ソングの中のレジストレーションデータ(147ページ)の一部として記録されているためです。

3 目的のレジストレーションデータを読み込みます。

目的のレジストレーションデータがユニット1に入っている場合は、MDRの[再生/一時停止]ボタンを押してユニット1を読み込みます。ユニット1以外に入っている場合は、ユニット番号を指定して読み込んでください。

これで、リズムシーケンスのデータが[SEQ. 1]~[SEQ.4]ボタンに読み込まれました。

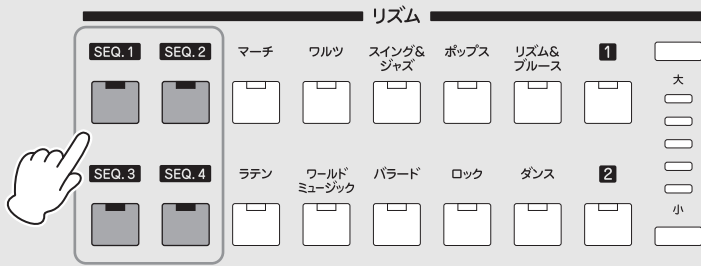
関連ページ

ソングとは? (134ページ)

関連ページ

レジストレーションデータを読み込む(154ページ)

4 再生したい [SEQ.1]～[SEQ.4] ボタンを押してオン(点灯)にします。



NOTE

[SEQ.1]～[SEQ.4]ボタンは同時に複数をおんにできます。

5 リズムセクションの[スタート]ボタンを押して、リズムを再生します。

オンにした[SEQ.1]～[SEQ.4]ボタンのうち、シーケンス番号の小さい方からシーケンスの再生が始まり、番号の大きい方へと連続して再生されます。再生の終わったシーケンスボタンは消灯します。



7 鍵盤で打楽器を演奏する： キーボードパーカッション

ドラム系やラテンパーカッション系、そして和太鼓などのバラエティあふれる打楽器音を鍵盤に呼びだして、リアルタイムでパーカッション演奏が楽しめます。このキーボードパーカッションには、各鍵盤にあらかじめ打楽器音を割り当ててあり、すぐにパーカッション演奏ができるプリセットキーボードパーカッションと、すべての打楽器音をどの鍵盤に割り当てるかを自分で決めることができるユーザーキーボードパーカッションがあります。

プリセットキーボードパーカッションを使う

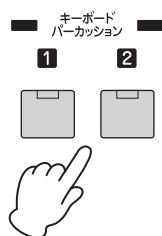
NOTE

ボイスのオン/オフ設定(31ページ)

1 上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤のボイスセクションの音量を0にします。

2 上鍵盤/下鍵盤で打楽器演奏したいときは、パネル左端のキーボードパーカッションの[1]ボタン、ペダル鍵盤で打楽器演奏したいときは[2]ボタンを押します。

キーボードパーカッション画面が表示されます。



キーボードパーカッション画面

KBP1	
メニュー	プリセット 1
キット	ワンダーランド キット
ホーン	16
リム	16

NOTE

キーボードパーカッションボタンの[1]と[2]が両方ともオンの場合、[1]と[2]両方を同時に使用できます。

[1]ボタンを押すとプリセット1が、[2]ボタンを押すとプリセット2が鍵盤に呼び出されます。プリセット1は上鍵盤/下鍵盤で打楽器演奏ができるセット、プリセット2は、ペダル鍵盤で打楽器演奏ができるセットです。

3 パーカッションのキットを選択します。


初期設定ではワンダーランドキットが選ばれていますが、そのほかに21種類のキットが選べます。[B]ボタンを押して「キット」を選択したあと、データコントロールダイヤルで選択します。

KBP1	
メニュー	プリセット 1
キット	ワンダーランド キット
ホーン	16
リム	16



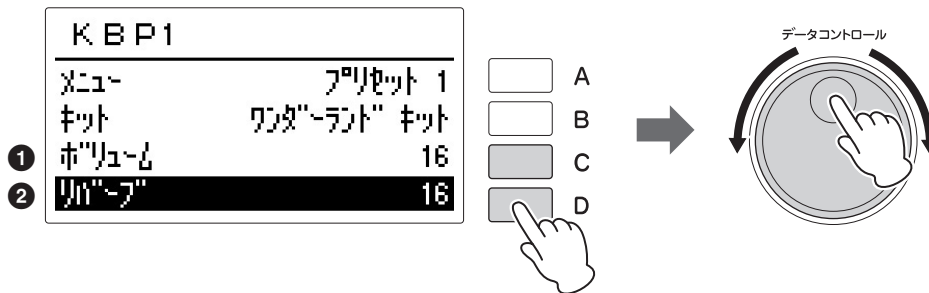
4 上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤の鍵盤をたたいて、キーボードパーカッションを試してみましょう。

プリセットキーボードパーカッションで、どの鍵盤にどんな打楽器が割り当てられているかについては、90ページの表をご参照ください。

 関連ページ

ユーザーキーボードパーカッションを呼び出す(104ページ)

キーボードパーカッションのボリュームやリバーブを設定するには：



NOTE

ボリュームとリバーブの設定はキーボードパーカッション全体で共通の設定です。

① ボリューム

キーボードパーカッションの音量を設定できます。

[C]ボタンを押して「ボリューム」を選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0～24


② リバーブ

キーボードパーカッションのリバーブの量を設定できます。

このリバーブを最大にしても、楽器全体にかかるリバーブ量(リバーブデプス)の数値を上げないと、リバーブ効果は得られません。

[D]ボタンを押して「リバーブ」を選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

設定範囲：0～24

 関連ページ

リバーブデプス(61ページ)

プリセットキーボードパーカッションリスト

	ワンダーランドキット			EL キット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		レーザー ビーム	雷		—	バスドラム ヘビー
	C#1	レーザー ショット	馬		—	スネア ブラッシュ ロール
D1		ウォーター ホーン	バス ドラム		—	スネア ドラム ヘビー
	D#1	泡	足音		クラベス	スネア ブラッシュショット 1
E1		水たまり	スネア ドラム		—	スネアドラム リバープ 1
F1		雷	スネア ロール		—	スネア ドラム ライト
	F#1	雨	足音		シンセ タム 3	タム 3
G1		波	ライオン		コンサート バスドラム	スネア ドラム リム 1
	G#1	せせらぎ	足音		シンセ タム 2	タム 2
A1		足音	牛		バスドラム ヘビー	ハイハット クローズ
	A#1	ドアのきしみ	足音		シンセ タム 1	タム 1
B1		ドアを閉める	ドアを閉める		バスドラム ライト	ハイハット オープン
C2		バス ドラム	バス ドラム	—	スネア ドラム ヘビー	ライドシンバル 1
	C#2	グランカッサ	グランカッサ	—	スネア ブラッシュ ロール	シンセ タム 3
D2		タム 2	タム 2	—	スネア ドラム ヘビー	クラッシュ シンバル 1
	D#2	タム 1	タム 1	—	スネア ブラッシュショット 1	シンセ タム 2
E2		スネア ドラム	スネア ドラム	—	スネアドラム リバープ 1	オーケストラ シンバル
F2		スネア ロール	スネア ロール	—	スネア ドラム ライト	—
	F#2	ハイハット クローズ	ハイハット クローズ	—	タム 3	シンセ タム 1
G2		シンバル	シンバル	—	スネア ドラム リム 1	—
	G#2	ハイハット オープン	ハイハット オープン	—	タム 2	—
A2		タンバリン	タンバリン	—	ハイハット クローズ	—
	A#2	フィンガー スナップ	フィンガー スナップ	—	タム 1	—
B2		カスタネット	カスタネット	—	ハイハット オープン	—
C3		トライアングル ミュート	トライアングル ミュート	—	ライドシンバル 1	—
	C#3	ウッド ブロック L	ウッド ブロック L	—	オーケストラ スネア ドラム	—
D3		トライアングル オープン	トライアングル オープン	—	クラッシュ シンバル 1	—
	D#3	ウッド ブロック H	ウッド ブロック H	—	スネア ドラム ロール	—
E3		ハンド クラップ	ハンド クラップ	—	オーケストラ シンバル	—
F3		ジングル ベル	ジングル ベル	—	オーケストラ シンバル ロール	—
	F#3	ベル ツリー	ベル ツリー	—	トライアングル ミュート	—
G3		アラーム ベル	アラーム ベル	—	タンバリン	—
	G#3	列車	列車	—	トライアングル オープン	—
A3		クラクション 1	クラクション 1	—	カスタネット	—
	A#3	クラクション 2	クラクション 2	—	カウベル 1	—
B3		サイレン	サイレン	—	ティンバル 1 ロー	—
C4		イグニッション	イグニッション	—	ティンバル 1 ハイ	—
	C#4	衝突	衝突	—	ウッド ブロック ロー	—
D4		ヘリコプター	ヘリコプター	—	コンガ ロー	—
	D#4	スターシップ	スターシップ	—	ウッド ブロック ハイ	—
E4		ひつじ	ひつじ	—	コンガ ハイ	—
F4		やぎ	やぎ	—	ボンゴ ロー	—
	F#4	牛	牛	—	アゴゴ ロー	—
G4		いななき	いななき	—	ボンゴ ハイ	—
	G#4	馬	馬	—	アゴゴ ハイ	—
A4		ライオン	ライオン	—	クイーカ ロー	—
	A#4	犬	犬	—	ハンド クラップ	—
B4		猫	猫	—	クイーカ ハイ	—
C5		にわとり	にわとり	—	シェイカー	—
	C#5	ふくろう		—		
D5		虫		—		
	D#5	カエル		—		
E5		さえずり 1		—		
F5		さえずり 2		—		
	F#5	鳩時計		—		
G5		大時計		—		
	G#5	ベル		—		
A5		電話		—		
	A#5	カメラ		—		
B5		かじる		—		
C6		拍手		—		

：鍵盤の位置を表しています。

	スタンダードキット 1			スタンダードキット 2		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック		—	キック ショート
D1	C#1	スルドミュート	サイドスティック		スルドミュート	サイドスティック ライト
E1	D#1	スルドオープン	スネア		スルドオープン	スネア ショート
F1		ハイ Q	ハンドクラップ		ハイ Q	ハンドクラップ
G1	F#1	ウィップスラップ	スネア タイト		ウィップスラップ	スネア タイト H
A1	G#1	スクラッチ H	フロア タム L		スクラッチ H	フロア タム L
B1		スクラッチ L	ハイハット クローズ		スクラッチ L	ハイハット クローズ
C2		フィンガー スナップ	フロア タム H		フィンガー スナップ	フロア タム H
D2	C#2	クリック ノイズ	ハイハット ペダル		クリック ノイズ	ハイハット ペダル
E2	D#2	メトロノーム クリック	ロー タム		メトロノーム クリック	ロー タム
F2	F#2	メトロノーム ベル	ハイハット オープン		メトロノーム ベル	ハイハット オープン
G2	G#2	Seq クリック L	ミドル タム L		Seq クリック L	ミドル タム L
A2	A#2	—	Seq クリック H	—	Seq クリック H	ミドル タム H
B2		—	ブラッシュ タップ	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1
C3	C#3	—	ブラッシュ スワール	—	ブラッシュ スワール	ハイ タム
D3	D#3	—	ブラッシュ スラップ	—	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1
E3		—	ブラッシュ タップ スワール	—	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル
F3	F#3	—	スネア ロール	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ
G3	G#3	—	カスタネット	—	カスタネット	タンバリン
A3	A#3	—	スネア ソフト	—	スネア ソフト 2	スブラッシュ シンバル
B3		—	スティック	—	スティック	
C4	C#4	—	キック ソフト	—	キック ソフト	
D4	D#4	—	オープン リム ショット	—	オープン リム ショット H	
E4		—	キック タイト	—	キック タイト	
F4	F#4	ボンゴ H	キック	ボンゴ H	キック ショート	
G4	G#4	ボンゴ L	サイドスティック	ボンゴ L	サイドスティック ライト	
A4	A#4	コンガ H ミュート	スネア	コンガ H ミュート	スネア ショート	
B4		コンガ H オープン	ハンドクラップ	コンガ H オープン	ハンドクラップ	
C5	C#5	コンガ L	スネア タイト	コンガ L	スネア タイト H	
D5	D#5	ティンバル H	フロア タム L	ティンバル H	フロア タム L	
E5		ティンバル L	ハイハット クローズ	ティンバル L	ハイハット クローズ	
F5	F#5	アゴゴ H	フロア タム H	アゴゴ H	フロア タム H	
G5	G#5	アゴゴ L	ハイハット ペダル	アゴゴ L	ハイハット ペダル	
A5	A#5	カバサ	ロー タム	カバサ	ロー タム	
B5		マラカス	ハイハット オープン	マラカス	ハイハット オープン	
C6	C#6	サンバ ホイッスル H	ミドル タム L	サンバ ホイッスル H	ミドル タム L	
D6	D#6	サンバ ホイッスル L	ミドル タム H	サンバ ホイッスル L	ミドル タム H	
E6		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1	ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1	
F6	F#6	ギロ ロング	ハイ タム	ギロ ロング	ハイ タム	
G6	G#6	クラベス	ライド シンバル 1	クラベス	ライド シンバル 1	
A6	A#6	ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル	ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル	
B6		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	
C7	C#7	クイーカ ミュート	タンバリン	クイーカ ミュート	タンバリン	
D7	D#7	クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル	クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル	
E7		トライアングル ミュート	カウベル	トライアングル ミュート	カウベル	
F7	F#7	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2	
G7	G#7	シェイカー	ビブラスラップ	シェイカー	ビブラスラップ	
A7	A#7	ジングル ベル	ライド シンバル 2	ジングル ベル	ライド シンバル 2	
B7		ベル ツリー	—	ベル ツリー	—	
C8	C#8	—	—	—	—	
D8	D#8	—	—	—	—	
E8		—	—	—	—	
F8	F#8	—	—	—	—	
G8	G#8	—	—	—	—	
A8	A#8	—	—	—	—	
B8		—	—	—	—	
C9	C#9	—	—	—	—	
D9	D#9	—	—	—	—	
E9		—	—	—	—	
F9	F#9	—	—	—	—	
G9	G#9	—	—	—	—	
A9	A#9	—	—	—	—	
B9		—	—	—	—	
C10	C#10	—	—	—	—	

: 鍵盤の位置を表しています。

	ヒットキット			ルームキット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック タイト H		—	キック
D1	C#1	スルドミュート	スティック アンビエント		スルドミュート	サイドスティック
E1		スルドオープン	スネア アンビエント		スルドオープン	スネア スナッピー
F1	D#1	ハイ Q	ハンド クラップ		ハイ Q	ハンド クラップ
G1		ウィップ スラップ	スネア タイト 2		ウィップ スラップ	スネア タイト スナップ
A1	F#1	スクラッチ H	ハイブリッド タム 1		スクラッチ H	タム ルーム 1
B1		スクラッチ L	ハイハット クローズ 2		スクラッチ L	ハイハット クローズ
C2	G#1	フィンガー スナップ	ハイブリッド タム 2		フィンガー スナップ	タム ルーム 2
D2		クリック ノイズ	ハイハット ペダル 2		クリック ノイズ	ハイハット ペダル
E2	A#1	メトロノーム クリック	ハイブリッド タム 3		メトロノーム クリック	タム ルーム 3
F2		メトロノーム ベル	ハイハット オープン 2		メトロノーム ベル	ハイハット オープン
G2	B1	Seq クリック L	ハイブリッド タム 4		Seq クリック L	タム ルーム 4
A2	C#2	—	Seq クリック H	—	Seq クリック H	タム ルーム 5
B2		—	ブラッシュ タップ	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1
C3	D#2	—	ブラッシュ スワール	—	ブラッシュ スワール	タム ルーム 6
D3		—	ブラッシュ スラップ	—	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1
E3	E2	—	ブラッシュ タップ スワール	—	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル
F3	F#2	—	スネア ロール	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ
G3		—	カスタネット	—	カスタネット	タンバリン
A3	G#2	—	スネア エレクトロ	—	スネア ソフト 2	スブラッシュ シンバル
B3	A#2	—	スティック	—	スティック	
C4		—	キック タイト L	—	キック ソフト	
D4	B2	—	スネア ピッチ	—	オープン リム ショット	
E4		—	キック ウェット	—	キック タイト	
F4	C3	ボンゴ H	キック タイト H		ボンゴ H	キック
G4	D#3	ボンゴ L	スティック アンビエント		ボンゴ L	サイドスティック
A4		コンガ H ミュート	スネア アンビエント		コンガ H ミュート	スネア スナッピー
B4	E3	コンガ H オープン	ハンド クラップ		コンガ H オープン	ハンド クラップ
C5	F#3	コンガ L	スネア タイト 2		コンガ L	スネア タイト スナップ
D5		ティンバル H	ハイブリッド タム 1		ティンバル H	タム ルーム 1
E5	G#3	ティンバル L	ハイハット クローズ 2		ティンバル L	ハイハット クローズ
F5		アゴゴ H	ハイブリッド タム 2		アゴゴ H	タム ルーム 2
G5	A#3	アゴゴ L	ハイハット ペダル 2		アゴゴ L	ハイハット ペダル
A5		カバサ	ハイブリッド タム 3		カバサ	タム ルーム 3
B5	B3	マラカス	ハイハット オープン 2		マラカス	ハイハット オープン
C6		サンバ ホイッスル H	ハイブリッド タム 4		サンバ ホイッスル H	タム ルーム 4
D6	C#4	サンバ ホイッスル L	ハイブリッド タム 5		サンバ ホイッスル L	タム ルーム 5
E6		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1
F6	D#4	ギロ ロング	ハイブリッド タム 6		ギロ ロング	タム ルーム 6
G6		クラベス	ライド シンバル 1		クラベス	ライド シンバル 1
A6	E4	ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル		ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル
B6	F#4	ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ
C7		クイーカ ミュート	タンバリン ライト		クイーカ ミュート	タンバリン
D7	G#4	クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル		クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル
E7		トライアングル ミュート	カウベル		トライアングル ミュート	カウベル
F7	A#4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2
G7		シェイカー	ビブラスラップ		シェイカー	ビブラスラップ
A7	B4	ジングル ベル	ライド シンバル 2		ジングル ベル	ライド シンバル 2
B7		ベル ツリー	—		ベル ツリー	—
C8	C#5	—			—	
D8		—			—	
E8	D#5	—			—	
F8		—			—	
G8	F#5	—			—	
A8		—			—	
B8	G#5	—			—	
C9		—			—	
D9	A#5	—			—	
E9		—			—	
F9	B5	—			—	
G9		—			—	
A9	C#5	—			—	
B9		—			—	
C10	D#5	—			—	

□ : 鍵盤の位置を表しています。

	ロックキット			エレクトロキット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック ゲート		—	キック ゲートヘビー
C#1		スルドミュート	サイドスティック		スルドミュート	サイドスティック
D1		スルドオープン	スネア ロック		スルドオープン	スネア ノイジー 2
D#1		ハイ Q	ハンド クラップ		ハイ Q	ハンド クラップ
E1		ウィップ スラップ	スネア ロック タイト		ウィップ スラップ	スネア ノイジー 3
F1		スクラッチ H	タム ロック 1		スクラッチ H	タム エレクトロ 1
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ		スクラッチ L	ハイハット クローズ
G1		フィンガー スナップ	タム ロック 2		フィンガー スナップ	タム エレクトロ 2
G#1		クリック ノイズ	ハイハット ペダル		クリック ノイズ	ハイハット ペダル
A1		メトロノーム クリック	タム ロック 3		メトロノーム クリック	タム エレクトロ 3
A#1		メトロノーム ベル	ハイハット オープン		メトロノーム ベル	ハイハット オープン
B1		Seq クリック L	タム ロック 4		Seq クリック L	タム エレクトロ 4
C2	—	Seq クリック H	タム ロック 5	—	Seq クリック H	タム エレクトロ 5
C#2	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1
D2	—	ブラッシュ スワール	タム ロック 6	—	ブラッシュ スワール	タム エレクトロ 6
D#2	—	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1	—	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1
E2	—	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル	—	リバーズ シンバル	チャイニーズ シンバル
F2	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ
F#2	—	カスタネット	タンバリン	—	ハイ Q 2	タンバリン
G2	—	スネア ノイジー	スブラッシュ シンバル	—	スネア スナップ エレクトロ	スブラッシュ シンバル
G#2	—	スティック		—	スティック	
A2	—	キック ソフト		—	キック 3	
A#2	—	オープン リム ショット		—	オープン リム ショット	
B2	—	キック 2		—	キック ゲート	
C3	ボンゴ H	キック ゲート		ボンゴ H	キック ゲートヘビー	
C#3	ボンゴ L	サイドスティック		ボンゴ L	サイドスティック	
D3	コンガ H ミュート	スネア ロック		コンガ H ミュート	スネア ノイジー 2	
D#3	コンガ H オープン	ハンド クラップ		コンガ H オープン	ハンド クラップ	
E3	コンガ L	スネア ロック タイト		コンガ L	スネア ノイジー 3	
F3	ティンバル H	タム ロック 1		ティンバル H	タム エレクトロ 1	
F#3	ティンバル L	ハイハット クローズ		ティンバル L	ハイハット クローズ	
G3	アゴゴ H	タム ロック 2		アゴゴ H	タム エレクトロ 2	
G#3	アゴゴ L	ハイハット ペダル		アゴゴ L	ハイハット ペダル	
A3	カバサ	タム ロック 3		カバサ	タム エレクトロ 3	
A#3	マラカス	ハイハット オープン		マラカス	ハイハット オープン	
B3	サンバ ホイッスル H	タム ロック 4		サンバ ホイッスル H	タム エレクトロ 4	
C4	サンバ ホイッスル L	タム ロック 5		サンバ ホイッスル L	タム エレクトロ 5	
C#4	ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1	
D4	ギロ ロング	タム ロック 6		ギロ ロング	タム エレクトロ 6	
D#4	クラベス	ライド シンバル 1		クラベス	ライド シンバル 1	
E4	ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル		ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル	
F4	ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	
F#4	クイーカ ミュート	タンバリン		スクラッチ H 2	タンバリン	
G4	クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル		スクラッチ L 2	スブラッシュ シンバル	
G#4	トライアングル ミュート	カウベル		トライアングル ミュート	カウベル	
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2	
A#4	シェイカー	ビブラスラップ		シェイカー	ビブラスラップ	
B4	ジングル ベル	ライド シンバル 2		ジングル ベル	ライド シンバル 2	
C5	ベル ツリー	—		ベル ツリー	—	
C#5	—			—		
D5	—			—		
D#5	—			—		
E5	—			—		
F5	—			—		
F#5	—			—		
G5	—			—		
G#5	—			—		
A5	—			—		
A#5	—			—		
B5	—			—		
C6	—			—		

: 鍵盤の位置を表しています。

	アナログ キット			ダンス キット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック アナログ		—	キック テクノ
C#1		スルドミュート	サイドスティック アナログ		キック ダンス 1	サイドスティック アナログ
D1		スルドオープン	スネア アナログ		キック ダンス 2	スネア クラップ
D#1		ハイ Q	ハンド クラップ		ハイ Q	ダンス クラップ
E1		ウィップ スラップ	スネア アナログ 2		ウィップ スラップ	スネア ドライ
F1		スクラッチ H	タム アナログ 1		スクラッチ ダンス 1	タム ダンス 1
F#1		スクラッチ L	ハット クローズ アナログ		スクラッチ ダンス 2	ハイハット クローズ 3
G1		フィンガー スナップ	タム アナログ 2		フィンガー スナップ	タム ダンス 2
G#1		クリック ノイズ	ハット クローズ アナログ 2		クリック ノイズ	ハット クローズ アナログ 3
A1		メトロノーム クリック	タム アナログ 3		ダンス パーカッション 1	タム ダンス 3
A#1		メトロノーム ベル	ハット オープン アナログ		リバーズ ダンス 1	ハイハット オープン 3
B1		Seq クリック L	タム アナログ 4		ダンス パーカッション 2	タム ダンス 4
C2	—	Seq クリック H	タム アナログ 5	—	ハイ Q ダンス 1	タム ダンス 5
C#2	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ アナログ	—	スネア アナログ 3	クラッシュ アナログ
D2	—	ブラッシュ スワール	タム アナログ 6	—	ピニル ノイズ	タム ダンス 6
D#2	—	ブラッシュ スラップ	ライドシンバル 1	—	スネア アナログ 4	ライドシンバル 1
E2	—	リバーズ シンバル	チャイニーズシンバル	—	リバーズ シンバル	チャイニーズシンバル
F2	—	スネア ロール	ライドシンバル カップ	—	リバーズ ダンス 2	ライドシンバル カップ
F#2	—	ハイ Q 2	タンバリン	—	ハイ Q 2	タンバリン アナログ
G2	—	スネア ノイジー 4	スブラッシュシンバル	—	スネア テクノ	スブラッシュシンバル
G#2	—	スティック		—	スネア ダンス 1	
A2	—	キック 3		—	キック テクノ Q	
A#2	—	オープンリム ショット		—	リム ゲート	
B2	—	キック アナログ ショート		—	キック テクノ L	
C3		ボンゴ H	キック アナログ		ボンゴ アナログ H	キック テクノ
C#3		ボンゴ L	サイドスティック アナログ		ボンゴ アナログ L	サイドスティック アナログ
D3		コンガ アナログ H	スネア アナログ		コンガ アナログ H	スネア クラップ
D#3		コンガ アナログ M	ハンド クラップ		コンガ アナログ M	ダンス クラップ
E3		コンガ アナログ L	スネア アナログ 2		コンガ アナログ L	スネア ドライ
F3		ティンバル H	タム アナログ 1		ティンバル H	タム ダンス 1
F#3		ティンバル L	ハット クローズ アナログ		ティンバル L	ハイハット クローズ 3
G3		アゴゴ H	タム アナログ 2		アゴゴ H	タム ダンス 2
G#3		アゴゴ L	ハット クローズ アナログ 2		アゴゴ L	ハット クローズ アナログ 3
A3		カバサ	タム アナログ 3		カバサ	タム ダンス 3
A#3		マラカス 2	ハット オープン アナログ		マラカス 2	ハイハット オープン 3
B3		サンバ ホイッスル H	タム アナログ 4		サンバ ホイッスル H	タム ダンス 4
C4		サンバ ホイッスル L	タム アナログ 5		サンバ ホイッスル L	タム ダンス 5
C#4		ギロ ショート	クラッシュ アナログ		ギロ ショート	クラッシュ アナログ
D4		ギロ ロング	タム アナログ 6		ギロ ロング	タム ダンス 6
D#4		クラベス 2	ライドシンバル 1		クラベス 2	ライドシンバル 1
E4		ウッド ブロック H	チャイニーズシンバル		ダンス パーカッション 3	チャイニーズシンバル
F4		ウッド ブロック L	ライドシンバル カップ		ダンス パーカッション 4	ライドシンバル カップ
F#4		スクラッチ H 2	タンバリン		ダンス プレス 1	タンバリン アナログ
G4		スクラッチ L 2	スブラッシュシンバル		ダンス プレス 2	スブラッシュシンバル
G#4		トライアングル ミュート	カウベル アナログ		トライアングル ミュート	カウベル ダンス
A4		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2
A#4		シェイカー	ヒブラスラップ		シェイカー	ヒブラスラップ アナログ
B4		ジングル ベル	ライドシンバル 2		ジングル ベル	ライド アナログ
C5		ベル ツリー	—		ベル ツリー	—
C#5		—			—	
D5		—			—	
D#5		—			—	
E5		—			—	
F5		—			—	
F#5		—			—	
G5		—			—	
G#5		—			—	
A5		—			—	
A#5		—			—	
B5		—			—	
C6		—			—	

：鍵盤の位置を表しています。

	ジャズ キット			ブラッシュ キット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック ジャズ		—	キック ジャズ
C#1		スルドミュート	サイドスティックライト		スルドミュート	サイドスティックライト
D1		スルドオープン	スネア ジャズL		スルドオープン	ブラッシュスラップ3
D#1		ハイQ	ハンドクラップ		ハイQ	ハンドクラップ
E1		ウィップスラップ	スネア ジャズM		ウィップスラップ	ブラッシュタップ2
F1		スクラッチH	フロア タムL		スクラッチH	タム ブラッシュ1
F#1		スクラッチL	ハイハットクローズ		スクラッチL	ハイハットクローズ
G1		フィンガー スナップ	フロア タムH		フィンガー スナップ	タム ブラッシュ2
G#1		クリック ノイズ	ハイハットペダル		クリック ノイズ	ハイハットペダル
A1		メトロノーム クリック	ロー タム		メトロノーム クリック	タム ブラッシュ3
A#1		メトロノーム ベル	ハイハットオープン		メトロノーム ベル	ハイハットオープン
B1		Seq クリックL	ミドル タムL		Seq クリックL	タム ブラッシュ4
C2	—	Seq クリックH	ミドル タムH	—	Seq クリックH	タム ブラッシュ5
C#2	—	ブラッシュ タップ	クラッシュシンバル1	—	ブラッシュ タップ	クラッシュシンバル1
D2	—	ブラッシュ スワール	ハイ タム	—	ブラッシュ スワール	タム ブラッシュ6
D#2	—	ブラッシュ スラップ	ライドシンバル1	—	ブラッシュ スラップ	ライドシンバル1
E2	—	ブラッシュタップスワール	チャイニーズシンバル	—	ブラッシュタップスワール	チャイニーズシンバル
F2	—	スネア ロール	ライドシンバルカップ	—	スネア ロール	ライドシンバルカップ
F#2	—	カスタネット	タンバリン	—	カスタネット	タンバリン
G2	—	スネア ジャズH	スブラッシュシンバル	—	ブラッシュスラップ2	スブラッシュシンバル
G#2	—	スティック		—	スティック	
A2	—	キックソフト		—	キックソフト	
A#2	—	オープンリムショット		—	オープンリムショット	
B2	—	キックタイト		—	キックタイト	
C3	ボンゴH	キックジャズ		ボンゴH	キックジャズ	
C#3	ボンゴL	サイドスティックライト		ボンゴL	サイドスティックライト	
D3	コンガHミュート	スネアジャズL		コンガHミュート	ブラッシュスラップ3	
D#3	コンガHオープン	ハンドクラップ		コンガHオープン	ハンドクラップ	
E3	コンガL	スネアジャズM		コンガL	ブラッシュタップ2	
F3	ティンバルH	フロアタムL		ティンバルH	タム ブラッシュ1	
F#3	ティンバルL	ハイハットクローズ		ティンバルL	ハイハットクローズ	
G3	アゴゴH	フロアタムH		アゴゴH	タム ブラッシュ2	
G#3	アゴゴL	ハイハットペダル		アゴゴL	ハイハットペダル	
A3	カバサ	ロータム		カバサ	タム ブラッシュ3	
A#3	マラカス	ハイハットオープン		マラカス	ハイハットオープン	
B3	サンバホイッスルH	ミドルタムL		サンバホイッスルH	タム ブラッシュ4	
C4	サンバホイッスルL	ミドルタムH		サンバホイッスルL	タム ブラッシュ5	
C#4	ギロショート	クラッシュシンバル1		ギロショート	クラッシュシンバル1	
D4	ギロロング	ハイタム		ギロロング	タム ブラッシュ6	
D#4	クラベス	ライドシンバル1		クラベス	ライドシンバル1	
E4	ウッドブロックH	チャイニーズシンバル		ウッドブロックH	チャイニーズシンバル	
F4	ウッドブロックL	ライドシンバルカップ		ウッドブロックL	ライドシンバルカップ	
F#4	クイーカミュート	タンバリン		クイーカミュート	タンバリン	
G4	クイーカオープン	スブラッシュシンバル		クイーカオープン	スブラッシュシンバル	
G#4	トライアングルミュート	カウベル		トライアングルミュート	カウベル	
A4	トライアングルオープン	クラッシュシンバル2		トライアングルオープン	クラッシュシンバル2	
A#4	シェイカー	ビブラスラップ		シェイカー	ビブラスラップ	
B4	ジングルベル	ライドシンバル2		ジングルベル	ライドシンバル2	
C5	ベルツリー	—		ベルツリー	—	
C#5	—			—		
D5	—			—		
D#5	—			—		
E5	—			—		
F5	—			—		
F#5	—			—		
G5	—			—		
G#5	—			—		
A5	—			—		
A#5	—			—		
B5	—			—		
C6	—			—		

：鍵盤の位置を表しています。

	シンフォニー キット			ライブ! スタジオ キット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	グラン カッサ ミュート		—	キック スタジオ
C#1		スルド ミュート	サイド スティック		スルド ミュート	サイド スティック
D1		スルド オープン	バンド スネア		スルド オープン	スネア スタジオ M
D#1		ハイ Q	ハンド クラップ		ハイ Q	ハンド クラップ
E1		ウィップ スラップ	バンド スネア 2		ウィップ スラップ	スネア スタジオ L
F1		スクラッチ H	フロア タム L		スクラッチ H	フロア タム L
F#1		スクラッチ L	ハイハット クローズ		スクラッチ L	ハイハット クローズ
G1		フィンガー スナップ	フロア タム H		フィンガー スナップ	フロア タム H
G#1		クリック ノイズ	ハイハット ペダル		クリック ノイズ	ハイハット ペダル
A1		メトロノーム クリック	ロー タム		メトロノーム クリック	ロー タム
A#1		メトロノーム ベル	ハイハット オープン		メトロノーム ベル	ハイハット オープン
B1		Seq クリック L	ミドル タム L		Seq クリック L	ミドル タム L
C2	—	Seq クリック H	ミドル タム H	—	Seq クリック H	ミドル タム H
C#2	—	ブラッシュ タップ	ハンド シンバル	—	ブラッシュ タップ	クラッシュ シンバル 1
D2	—	ブラッシュ スワール	ハイ タム	—	ブラッシュ スワール	ハイ タム
D#2	—	ブラッシュ スラップ	ハンド シンバル S	—	ブラッシュ スラップ	ライド シンバル 1
E2	—	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル	—	ブラッシュ タップ スワール	チャイニーズ シンバル
F2	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ	—	スネア ロール	ライド シンバル カップ
F#2	—	カスタネット	タンバリン	—	カスタネット	タンバリン
G2	—	スネア ソフト	スブラッシュ シンバル	—	スネア スタジオ 2	スブラッシュ シンバル
G#2	—	スティック		—	スティック	
A2	—	キック ソフト 2		—	キック アンビエンス H	
A#2	—	オープン リム ショット		—	オープン リム ショット	
B2	—	グラン カッサ		—	キック アンビエンス L	
C3		ボンゴ H	グラン カッサ ミュート		ボンゴ H	キック スタジオ
C#3		ボンゴ L	サイド スティック		ボンゴ L	サイド スティック
D3		コンガ H ミュート	バンド スネア		コンガ H ミュート	スネア スタジオ M
D#3		コンガ H オープン	ハンド クラップ		コンガ H オープン	ハンド クラップ
E3		コンガ L	バンド スネア 2		コンガ L	スネア スタジオ L
F3		ティンバル H	フロア タム L		ティンバル H	フロア タム L
F#3		ティンバル L	ハイハット クローズ		ティンバル L	ハイハット クローズ
G3		アゴゴ H	フロア タム H		アゴゴ H	フロア タム H
G#3		アゴゴ L	ハイハット ペダル		アゴゴ L	ハイハット ペダル
A3		カバサ	ロー タム		カバサ	ロー タム
A#3		マラカス	ハイハット オープン		マラカス	ハイハット オープン
B3		サンバ ホイッスル H	ミドル タム L		サンバ ホイッスル H	ミドル タム L
C4		サンバ ホイッスル L	ミドル タム H		サンバ ホイッスル L	ミドル タム H
C#4		ギロ ショート	ハンド シンバル		ギロ ショート	クラッシュ シンバル 1
D4		ギロ ロング	ハイ タム		ギロ ロング	ハイ タム
D#4		クラベス	ハンド シンバル S		クラベス	ライド シンバル 1
E4		ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル		ウッド ブロック H	チャイニーズ シンバル
F4		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ
F#4		クイーカ ミュート	タンバリン		クイーカ ミュート	タンバリン
G4		クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル		クイーカ オープン	スブラッシュ シンバル
G#4		トライアングル ミュート	カウベル		トライアングル ミュート	カウベル
A4		トライアングル オープン	ハンド シンバル 2		トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 2
A#4		シェイカー	ビブラスラップ		シェイカー	ビブラスラップ
B4		ジングル ベル	ハンド シンバル 2 S		ジングル ベル	ライド シンバル 2
C5		ベル ツリー	—		ベル ツリー	—
C#5		—			—	
D5		—			—	
D#5		—			—	
E5		—			—	
F5		—			—	
F#5		—			—	
G5		—			—	
G#5		—			—	
A5		—			—	
A#5		—			—	
B5		—			—	
C6		—			—	

: 鍵盤の位置を表しています。

	ハウス キット			SFX キット 1		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	キック T9 5		—	カッティング ノイズ 1
C#1		ダブルキック	スネア T9 リム		—	カッティング ノイズ 2
D1		ディスコ Fx	スネア T9 1		—	—
D#1		ホワイトノイズ ダウン 1	クラップ T9		—	ストリングスラップ
E1		ピンクノイズ ダウン 1	スネア T9 2		—	—
F1		ホワイトノイズ ダウン 2	タム T9 1		—	—
F#1		ピンクノイズ ダウン 2	ハイハット クローズ T8		—	—
G1		ホワイトノイズ アップ 2	タム T9 2		—	—
G#1		ホワイトノイズ アップ 1	ハイハット ペダル T9		—	—
A1		ピンクノイズ アップ	タム T9 3		—	—
A#1		ホワイトノイズアップリリース	ハイハット オープン T9		—	—
B1		ピンクノイズアップリリース	タム T9 4		—	—
C2	—	キック T9 4	タム T9 5	—	—	—
C#2	—	スネア T8 リム	クラッシュ シンバル T9	—	—	—
D2	—	スネア T8 5	タム T9 6	—	—	—
D#2	—	ハンドクラップ	ライドシンバル T9	—	—	—
E2	—	スネア ガルグル	クラッシュ シンバル 4	—	—	フルートキー クリック
F2	—	スネア ロール	ライドシンバル カップ 2	—	—	—
F#2	—	スネア T9 3	タンバリン ヒット	—	—	—
G2	—	スネア T8 1	スブラッシュ シンバル 2	—	—	—
G#2	—	スネア T9 5	—	—	—	—
A2	—	キック T9 1	—	—	—	—
A#2	—	スネア T9 ゲート	—	—	—	—
B2	—	キック T9 2	—	—	—	—
C3	ボンゴH オープン 1 F	キック T9 5	—	—	カッティング ノイズ 1	—
C#3	ボンゴL オープン 3 F	スネア T9 リム	—	—	カッティング ノイズ 2	—
D3	コンガH チップ	スネア T9 1	—	—	—	—
D#3	コンガH スラップオープン	クラップ T9	—	—	ストリングスラップ	—
E3	コンガH オープン 2	スネア T9 2	—	—	—	—
F3	ティンバールH	タム T9 1	—	—	—	—
F#3	ティンバールL	ハイハット クローズ T8	—	—	—	—
G3	アゴゴH	タム T9 2	—	—	—	—
G#3	アゴゴL	ハイハット ペダル T9	—	—	—	—
A3	カバサ	タム T9 3	—	—	—	—
A#3	マラカス スラー 2	ハイハット オープン T9	—	—	—	—
B3	ボックス ドラム L	タム T9 4	—	—	—	—
C4	ボックス ドラム H	タム T9 5	—	—	—	—
C#4	ギロ ショート	クラッシュ シンバル T9	—	—	—	—
D4	ギロ ロング	タム T9 6	—	—	—	—
D#4	クラベス	ライドシンバル T9	—	—	—	—
E4	ウッド ブロック H	クラッシュ シンバル 4	—	—	フルートキー クリック	—
F4	ウッド ブロック L	ライドシンバル カップ 2	—	—	—	—
F#4	クイーカH	タンバリン ヒット	—	—	—	—
G4	クイーカL	スブラッシュ シンバル 2	—	—	—	—
G#4	トライアングル ミュート	カウベル 1	—	—	—	—
A4	トライアングル オープン	クラッシュ シンバル 1	—	—	—	—
A#4	アナログシェイカー	カウベル T8	—	—	—	—
B4	スレイベル	ライドシンバル 3	—	—	—	—
C5	ウィンドチャイム	—	—	—	—	—
C#5	スネア ブレイク ロール	—	—	—	—	—
D5	ノイズバースト	—	—	—	—	—
D#5	ボックスベル	—	—	—	—	—
E5	スネア R&B 1	—	—	—	—	—
F5	ボックスアーク	—	—	—	—	—
F#5	ウドゥ ハイ	—	—	—	—	—
G5	フィルターキック	—	—	—	—	—
G#5	—	—	—	—	—	—
A5	—	—	—	—	—	—
A#5	—	—	—	—	—	—
B5	—	—	—	—	—	—
C6	—	—	—	—	—	—

：鍵盤の位置を表しています。

	SFX キット 2			ノイズキット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	フォン コール		—	ホワイトノイズ
	C#1		ドアのきしみ		—	ピンクノイズ
D1		—	ドアを開める		—	ホワイトノイズ ダウン 1
	D#1		スクラッチ カット		—	ピンクノイズ ダウン 1
E1		—	スクラッチ スプリット		—	ホワイトノイズ ダウン 2
	E#1		ウィンド チャイム		—	ピンクノイズ ダウン 2
F1		—	電話		—	ホワイトノイズ アップ 2
	F#1		—		—	ホワイトノイズ アップ 1
G1		—	—		—	ピンクノイズ アップ
	G#1		—		—	ホワイトノイズアップリリース
A1		—	—		—	ピンクノイズアップリリース
	A#1		—		—	ホワイトノイズアップ LFO
B1		—	—		—	ピンクノイズアップ LFO
C2		—	—	—	—	—
	C#2		—	—	—	—
D2		—	—	—	—	—
	D#2		—	—	—	—
E2		—	イグニッション	—	—	—
	E#2		タイヤ	—	—	—
F2		—	レーシングカー	—	—	—
	F#2		衝突	—	—	—
G2		—	—	—	—	—
	G#2		—	—	—	—
A2		—	—	—	—	—
	A#2		—	—	—	—
B2		—	—	—	—	—
C3		バースト	フォン コール	—	—	ホワイトノイズ
	C#3	ローラー コースター	ドアのきしみ	—	—	ピンクノイズ
D3		サブマリン	ドアを開める	—	—	ホワイトノイズ ダウン 1
	D#3	—	スクラッチ カット	—	—	ピンクノイズ ダウン 1
E3		—	スクラッチ スプリット	—	—	ホワイトノイズ ダウン 2
	E#3	—	ウィンド チャイム	—	—	ピンクノイズ ダウン 2
F3		—	電話	—	—	ホワイトノイズ アップ 2
	F#3	—	—	—	—	ホワイトノイズ アップ 1
G3		笑い声	—	—	—	ピンクノイズ アップ
	G#3	悲鳴	—	—	—	ホワイトノイズアップリリース
A3		パンチ	—	—	—	ピンクノイズアップリリース
	A#3	心音	—	—	—	ホワイトノイズアップ LFO
B3		足音	—	—	—	ピンクノイズアップ LFO
C4		—	—	—	—	—
	C#4	—	—	—	—	—
D4		—	—	—	—	—
	D#4	—	—	—	—	—
E4		—	イグニッション	—	—	—
	E#4	—	タイヤ	—	—	—
F4		—	レーシングカー	—	—	—
	F#4	—	衝突	—	—	—
G4		—	サイレン	—	—	—
	G#4	—	列車	—	—	—
A4		—	ジェット機	—	—	—
	A#4	—	スターシップ	—	—	—
B4		—	—	—	—	—
C5		マシンガン	—	—	—	—
	C#5	レーザーガン	—	—	—	—
D5		爆発	—	—	—	—
	D#5	花火	—	—	—	—
E5		—	—	—	—	—
	E#5	—	—	—	—	—
F5		—	—	—	—	—
	F#5	—	—	—	—	—
G5		—	—	—	—	—
	G#5	—	—	—	—	—
A5		—	—	—	—	—
	A#5	—	—	—	—	—
B5		—	—	—	—	—
	B#5	—	—	—	—	—
C6		—	—	—	—	—

：鍵盤の位置を表しています。

	ポップラテンキット			アラビック キット		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	ボンゴH Op. 1 f		—	キック ソフト
	C#1	カホンL	ボンゴH Op. 3 f		—	サイドスティック
D1		カホン スラップ	ボンゴHリム		—	スネア ソフト
	D#1	カホン チップ	ボンゴH チップ		—	アラビック ハンドクラップ
E1		クラベスH	ボンゴH ヒール		—	スネア ドラム
F1		クラベスL	ボンゴH スラップ		—	フロア タムL
	F#1	ハンド クラップ	ボンゴL Op. 1 f		—	ハイハット クローズ
G1		—	ボンゴL Op. 3 f		—	フロア タムH
	G#1	フィンガー スナップ	ボンゴLリム		—	ハイハット ペダル
A1		カスタネット	ボンゴL チップ		—	ロー タム
	A#1	コンガH チップ	ボンゴL ヒール		—	ハイハット オープン
B1		コンガH ヒール	ボンゴL スラップ		—	ミドル タムL
C2		—	コンガH オープン	—	ナカラザン ドム	ミドル タムH
	C#2	—	コンガH ミュート	—	カバサ	クラッシュ シンバル 1
D2		—	コンガH スラップOp.	—	ナカラザン エッジ	ハイ タム
	D#2	—	コンガH スラップ	—	ハゲール ドム	ライド シンバル 1
E2		—	コンガH スラップMt.	—	ハゲール エッジ	クラッシュ シンバル 2
F2		—	コンガL チップ	—	ボンゴH	ドゥフーラ ドム
	F#2	—	コンガL ヒール	—	ボンゴL	タンバリン
G2		—	コンガL オープン	—	—	コンガH ミュート
	G#2	—	コンガL ミュート	—	—	コンガH オープン
A2		—	コンガL スラップOp.	—	—	コンガL
	A#2	—	コンガL スラップ	—	—	ザグロウダH
B2		—	コンガL スライド	—	—	ザグロウダL
C3		カウベル トップ	ボンゴH Op. 1 f	カテム ドム	キック ソフト	
	C#3	カウベル 1	ボンゴH Op. 3 f	カテム タク	サイドスティック	
D3		カウベル 2	ボンゴHリム	カテム サク	スネア ソフト	
	D#3	カウベル 3	ボンゴH チップ	カテム タク	アラビック ハンドクラップ	
E3		ギロ ショート	ボンゴH ヒール	ドゥフ タク	スネア ドラム	
F3		ギロ ロング	ボンゴH スラップ	タブラ ドム	フロア タムL	
	F#3	メタル ギロ ショート	ボンゴL Op. 1 f	タブラ タク 1	ハイハット クローズ	
G3		メタル ギロ ロング	ボンゴL Op. 3 f	タブラ ティク	フロア タムH	
	G#3	タンバリン	ボンゴLリム	タブラ タク 2	ハイハット ペダル	
A3		タンバリン オープン	ボンゴL チップ	タブラ サク	ロー タム	
	A#3	タンバリン ミュート	ボンゴL ヒール	タブラ ロー エッジ	ハイハット オープン	
B3		タンバリン チップ	ボンゴL スラップ	タブラ フラム	ミドル タムL	
C4		マラカス	ティンパレルL	サガト 1	ミドル タムH	
	C#4	シェイカー	—	ダブル ドム	クラッシュ シンバル 1	
D4		カバサ	—	サガト 3	ハイ タム	
	D#4	クイーカ ミュート	—	ダブル タク	ライド シンバル 1	
E4		クイーカ オープン	—	サガト 2	クラッシュ シンバル 2	
F4		カウベル H1	バイラL	リク ドム	ドゥフーラ ドム	
	F#4	カウベル H2	ティンパレルH	リク タク 2	タンバリン	
G4		シェケレ	—	リク フィンガー 1	ドゥフーラ タク	
	G#4	シェケレ トーン	—	リク タク 1	カウベル	
A4		トライアングル ミュート	—	リク フィンガー 2	ドゥフーラ サク	
	A#4	トライアングル オープン	—	リク プラス トレモロ	クラベス	
B4		—	バイラH	リク サク	ドゥフ ドム	
C5		ウィンド チャイム	—	リク ティク	—	
	C#5	—	—	—	—	
D5		—	—	—	—	
	D#5	—	—	—	—	
E5		—	—	—	—	
F5		—	—	—	—	
	F#5	—	—	—	—	
G5		—	—	—	—	
	G#5	—	—	—	—	
A5		—	—	—	—	
	A#5	—	—	—	—	
B5		—	—	—	—	
C6		—	—	—	—	

: 鍵盤の位置を表しています。

	チャイナキット			オーケストラパーカッション		
	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)	プリセット1(上鍵盤)	プリセット1(下鍵盤)	プリセット2(ペダル鍵盤)
C1		—	ルオ ハイ 1		—	スネア アンサンブル
	C#1		ゴング バター		シンフォニック ゴング 1	サスペンデッド1 ロールS
D1		—	シン ルオ		シンフォニックゴングロング	サスペンデッドシンバル1
	D#1		ルオ ハイ 2		シンフォニック ゴング 2	サスペンデッド2 ロールL
E1		—	ルオ ミッドロー		ティンパニ E	サスペンデッドシンバル2
F1		—	ルオ		ティンパニ F	コンサート タム 5
	F#1		ジン ルオ ロー		ティンパニ F#	オーケストラシンバル1チョーク
G1		—	ダチャ 1		ティンパニ G	コンサート タム 4
	G#1		ダチャ エフェクト		ティンパニ G#	オーケストラ シンバル 1
A1		—	ゾンチャ		ティンパニ A	コンサート タム 3
	A#1		シャオチャ エフェクト		ティンパニ A#	オーケストラ シンバル 2
B1		ダチャ 2	シャオチャ		ティンパニ B	コンサート タム 2
C2	—	ダグ mp	マン ルオ ロー	—	ティンパニ C	コンサート タム 1
	C#2		ダグ リム	—	ティンパニ C#	フィンガー シンバル
D2	—	ダグ f	クインク	—	ティンパニ D	ゴング
	D#2		ダグ ハンド	—	ティンパニ D#	ライド シンバル チップ
E2	—	ダグ ロール	ルオ ビッグ	—	ティンパニ ハイ E	チャイナ シンバル
F2	—	バイグ 4	ムユ ロー	—	グランカッサ ハード	ライド シンバル カップ
	F#2		バイグ 4 ハイ	—	グランカッサ ソフト	タンバリン
G2	—	バイグ 3	ムユ ミッド	—	グランカッサ ヒット	スブラッシュ シンバル
	G#2		バイグ 3 ハイ	—	グランカッサ クレシェンド	
A2	—	バイグ 2		—	コンサート スネア ドラム	
	A#2		バイグ 2 ハイ	—	スネア ロール	
B2	—	バイグ		—	スネア ドラム ライト	
C3	バン	ルオ ハイ 1		ボンゴ H スティック	スネア アンサンブル	
	C#3	バング ロール	ゴング バター	ボンゴ L スティック	サスペンデッド1 ロールS	
D3	京劇ボイス 1	シン ルオ		コンガ H スティック	サスペンデッドシンバル1	
	D#3	京劇ボイス 2	ルオ ハイ 2	コンガ L スティック	サスペンデッド2 ロールL	
E3	京劇ボイス 3	ルオ ミッドロー		ウィップ	サスペンデッドシンバル2	
F3	ユンルオ F	ルオ		ローテティング タム 5	コンサート タム 5	
	F#3	ユンルオ F#	ジン ルオ ロー	チューブラー ベル L	オーケストラシンバル1チョーク	
G3	ユンルオ G	ダチャ 1		ローテティング タム 4	コンサート タム 4	
	G#3	ユンルオ G#	ダチャ エフェクト	チューブラー ベル M	オーケストラ シンバル 1	
A3	ユンルオ A	ゾンチャ		ローテティング タム 3	コンサート タム 3	
	A#3	ユンルオ A#	シャオチャ エフェクト	チューブラー ベル H	オーケストラ シンバル 2	
B3	ユンルオ B	シャオチャ		ローテティング タム 2	コンサート タム 2	
C4	ユンルオ C	マン ルオ ロー		ローテティング タム 1	コンサート タム 1	
	C#4	ユンルオ C#	マン ルオ ミッド	木魚 H	フィンガー シンバル	
D4	ユンルオ D	クインク		木魚 L	ゴング	
	D#4	ユンルオ D#	フィンガー ベル	クラベス	ライド シンバル チップ	
E4	ユンルオ E	ルオ ビッグ		ウッド ブロック H	チャイナ シンバル	
F4	ユンルオ ハイ F	ムユ ロー		ウッド ブロック L	ライド シンバル カップ	
	F#4	ユンルオ ハイ F#	ムユ ミッドロー	金床	タンバリン	
G4	ユンルオ ハイ G	ムユ ミッド		トライアングル ロール	スブラッシュ シンバル	
	G#4	ユンルオ ハイ G#	ムユ ハイ	トライアングル ミュート	カウベル	
A4	ユンルオ ハイ A	ナンバンジ ロール		トライアングル オープン	ジングル リング	
	A#4	ユンルオ ハイ A#	ナンバンジ	ベル ツリー	カスタネット ロール	
B4	ユンルオ ハイ B	バング		スレイ ベル	テーブル カスタネット	
C5	ユンルオ ハイ C	—		ウィンドチャイム	—	
	C#5	—		—	—	
D5	—	—		—	—	
	D#5	—		—	—	
E5	—	—		—	—	
F5	—	—		—	—	
	F#5	—		—	—	
G5	—	—		—	—	
	G#5	—		—	—	
A5	—	—		—	—	
	A#5	—		—	—	
B5	—	—		—	—	
C6	—	—		—	—	

: 鍵盤の位置を表しています。

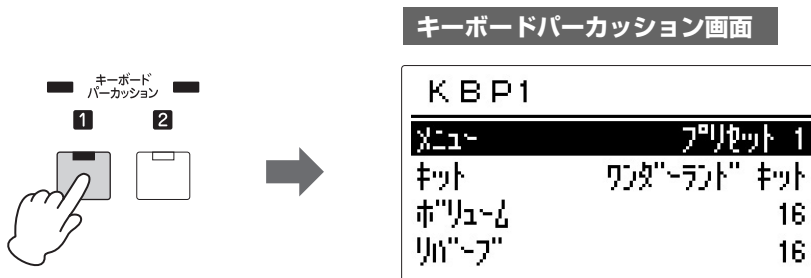
ユーザーキーボードパーカッションを設定する

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のどのキー（鍵）にでも、好きな打楽器を割り当てられます。打楽器を割り当てたセットは、ユーザー 1～ユーザー 40に保存でき、パネル上のキーボードパーカッション[1]または[2]ボタンで呼び出します。ここでは、ユーザー 1に打楽器を割り当て、パネル上の[1]ボタンで呼び出す手順を例として使用します。

NOTE

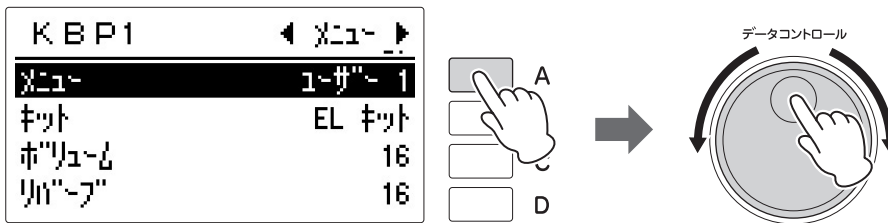
ユーザーキーボードパーカッション1～2には、あらかじめELキットのプリセット1～2と同じデータがそれぞれ保存されています。

- 1 パネル左端のキーボードパーカッションの[1]ボタンを押します。
キーボードパーカッション画面が表示されます。



- 2 「ユーザー 1」を選択します。

[A]ボタンを押すと「ユーザー 1」が表示されます。表示されない場合は、データコントロールダイヤルで「ユーザー 1」を選択します。



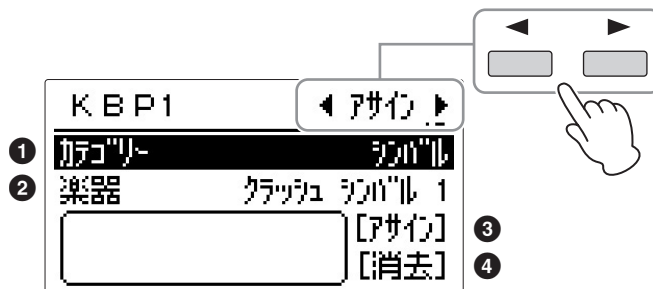
これで、次にキーボードパーカッションの[1]ボタンを押したときには鍵盤に「ユーザー 1」が呼び出せるようになりました。

- 3 キーボードパーカッションのキットを選択します。

[B]ボタンを押して「キット」を選択したあと、データコントロールダイヤルで使用したいキットを選択します。各キットの内容については、105ページの「キットアサインリスト」をご覧ください。

4 ページボタンを使ってアサインページを表示させます。

この画面で、いろいろな打楽器を各鍵盤に割り当てることができます。



① カテゴリー

割り当てたい打楽器が属するカテゴリーを選択します。詳しくは105ページの「キットアサインリスト」をご参照ください。

② 楽器名

選んだカテゴリーに属する打楽器名を選択します。詳しくは105ページの「キットアサインリスト」をご参照ください。

③ アサイン(割り当て)

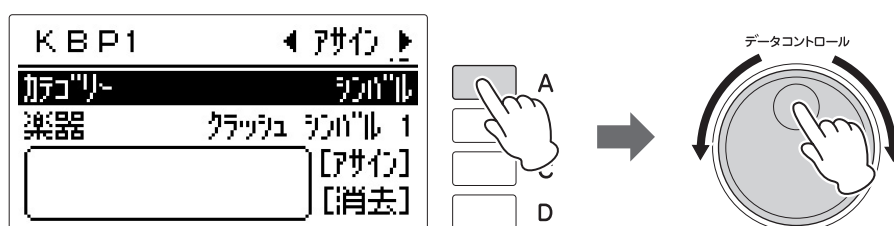
選んだ打楽器名を指定した鍵盤に割り当てます(このあとの説明をご参照ください)。

④ 消去

現在選ばれているユーザー (この場合はユーザー 1)に割り当てられている、打楽器音を消去します。消去には、1音消去と全音消去の2通りがあります(このあとの説明をご参照ください)。

5 使用したい打楽器のカテゴリーを選びます。

[A]ボタンを押して「カテゴリー」を選択したあと、データコントロールダイヤルで、使用したい打楽器が含まれるカテゴリーを選びます。

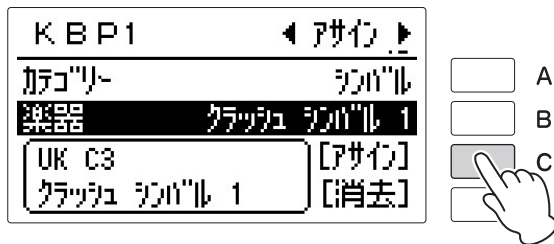


6 鍵盤に割り当てたい楽器を選びます。

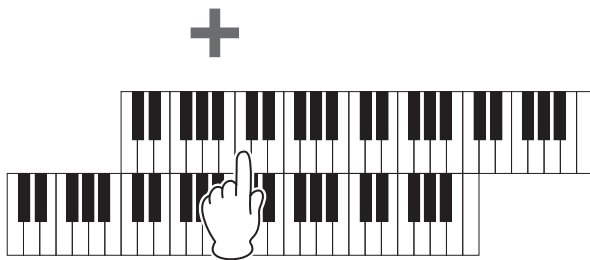
[B]ボタンを押して「楽器」を選択したあと、データコントロールダイヤルで使用したい打楽器を選びます。

7 打楽器を任意の鍵盤に割り当てます。

「アサイン」と同じ位置にある[C]ボタンを押しながら、その打楽器音を割り当てたい鍵盤を押します。



7-1. [C]ボタンを押しながら



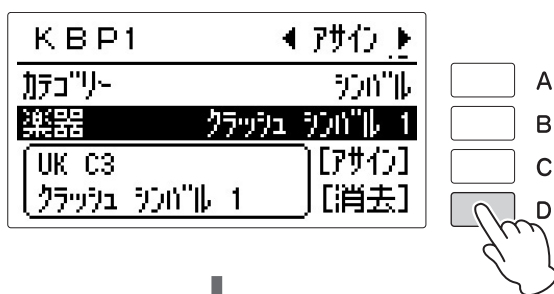
7-2. 鍵盤を押します

これで打楽器音が鍵盤に割り当てられました。割り当てた打楽器は、101ページの手順2で選んだユーザー（ここではユーザー 1）に保存されます。

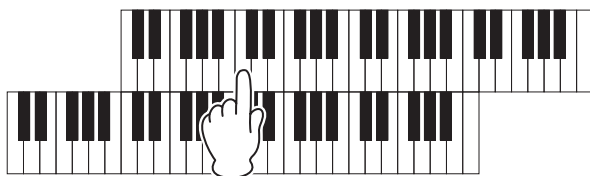
8 手順5～7の操作を繰り返して、必要な打楽器を鍵盤に割り当てます。

入力を間違えたときは(1音消去):

アサインページの「消去」を使って、入力した打楽器音を消去できます。「消去」と同じ位置にある[D]ボタンを押しながら、消去したい打楽器が割り当てられている鍵盤を押します。「ピンポン」という短い音がして、その打楽器音が消去されたことを知らせます。



1. [D]ボタンを押しながら



2. 鍵盤を押します

NOTE

ここで作られたユーザーキーボードパーカッションデータはレジストレーションメモリーに記録されません。レジストレーションメモリーには、パネル上のキーボードパーカッション[1]/[2]のオン/オフの状態と、どのキーボードパーカッション(プリセット1～2/ユーザー1～40)を選択したかの情報のみが記録されます。ユーザーキーボードパーカッションデータをレジストレーションメモリーデータと関連づけて保存しておきたい場合は、USBフラッシュメモリーへの保存操作(147ページ)を行ってください。ユニットごとに40個1セットのユーザーキーボードパーカッションを保存できます。

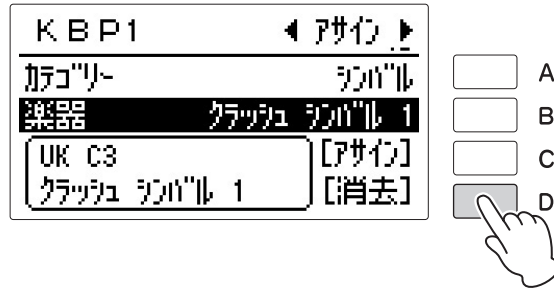
注記

キーボードパーカッションの設定を変更し、別の画面に移動すると、キーボードパーカッションの設定も含めレジストレーションデータが自動的に保存されます。保存中は、画面の左上に「■」が表示されます。別の画面に移動せずに電源を切ったり、「■」が表示中に電源を切ったりすると、設定内容が失われてしまいますので、ご注意ください。

はじめからやり直したいときは(全音消去):

アサインページの「消去」を使って、入力した打楽器音をすべて消去できます。

- 1 [D]「消去」ボタンを押して、すぐにそのボタンから指をはなします。

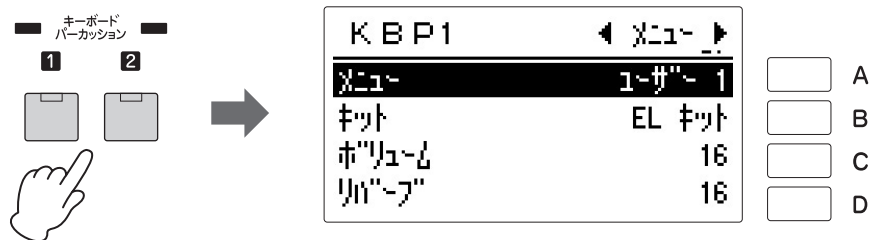


全音消去するかどうか確認をを求めるメッセージが表示されます。[D]ボタンを押すと、操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。

- 2 [C]「消去」ボタンを押すと、画面上に「ユーザー xxのアサインを消去しました」という操作完了のメッセージが一時的に表示され、全音消去されます。

ユーザーキーボードパーカッションを呼び出す

- 1 キーボードパーカッションボタンを押します。



- 2 使用したいユーザーキーボードパーカッションを選択します。

[A]ボタンを押して「メニュー」を選択したあと、データコントロールダイアルで使用したいユーザー番号を選びます。

これでユーザーキーボードパーカッションが呼び出されました。打楽器音を割り当てた鍵盤をたたいて音を鳴らしてみましょう。

キットアサインリスト

EL キット	
シンバル	
クラッシュ シンバル 1	
クラッシュ シンバル 2	
クラッシュシンバル ミュート	
ライド シンバル 1	
ライド シンバル 2	
ライドシンバル カップ	
オーケストラ シンバル	
オーケストラ シンバル ロール	
オーケストラシンバル ミュート	
シンバル マーチ	
シンバル ブラッシュショット	
タム タム	
ハイハット	
ハイハット オープン	
ハイハット クローズ	
ハイハット ペダル 1	
ハイハット ペダル 2	
アナログハイハット オープン	
アナログハイハット クローズ	
スネアドラム	
スネア ドラム ライト	
スネア ドラム ヘビー	
スネア ドラム リム 1	
スネア ドラム リム 2	
スネア ドラム アクセント 1	
スネア ドラム アクセント 2	
スネアドラム リバープ 1	
スネアドラム リバープ 2	
シンセ スネア ドラム	
オーケストラ スネア ドラム	
スネア ドラム ロール	
アナログ スネア ドラム	
スネアブラシ	
スネア ブラッシュショット 1	
スネア ブラッシュショット 2	
スネア ブラッシュ ロール	
タム	
タム 1	
タム 2	
タム 3	
タム 4	
タム ブラッシュ ショット 1	
タム ブラッシュ ショット 2	
タム ブラッシュ ショット 3	
タム ブラッシュ ショット 4	
シンセ タム 1	
シンセ タム 2	
シンセ タム 3	
バスドラム	
バスドラム ライト	
バスドラム ヘビー	
バスドラム アタック	
シンセ バスドラム	
バスドラム マーチ	
コンサートバスドラム	
アナログバスドラムショート	
アナログバスドラムロング	
コンガ/ボンゴ	
コンガ ハイ	
コンガ ロー	
コンガ スラップ	
コンガ モフ	
コンガ スライド	
ボンゴ ハイ	

ボンゴ ロー
ボンゴ スラップ
ボンゴ ミュート
クイーカ/スルド
クイーカ ハイ
クイーカ ミドル
クイーカ ロー
タンボリン オープン
タンボリン ミュート
スルド オープン
スルド ミュート
スルド リム
スルド モフ
ティンパレス/カウベル
ティンパル 1 ハイ
ティンパル 1 ロー
ティンパル 2 ハイ
ティンパル 2 ロー
ティンパル 3 ハイ
ティンパル 3 ロー
ティンパル 4 ハイ
ティンパル 4 ロー
カウベル 1
カウベル 2
カウベル 3
カウベル 4
パーカッション 1
カバサ
シェイカー
マラカス ハイ
マラカス ロー
ギロ ショート
ギロ ロング
ウッド ブロック ハイ
ウッド ブロック ミドル
ウッド ブロック ロー
クラベス
カスタネット
ビブラスラップ
パーカッション 2
アゴゴ ハイ
アゴゴ ロー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウィンド チャイム ダウン
ウィンド チャイム アップ
タンバリン
バンデイロ
ベル
ハンド クラップ
フィンガー スナップ
スクラッチ
ノイズ パーカッション
パーカッション 3
小鼓(コツツミ) 1
小鼓(コツツミ) 2
小鼓(コツツミ) 3
小鼓(コツツミ) 4
大鼓(オオツツミ) 1
大鼓(オオツツミ) 2
太鼓(タイコ) 1
太鼓(タイコ) 2
大太鼓(オオダイコ) 1
大太鼓(オオダイコ) 2
かけ声 1
かけ声 2
かけ声 3

スタンダード キット 1	
シンバル	
クラッシュ シンバル 1	
クラッシュ シンバル 2	
スブラッシュ シンバル	
チェーンズ シンバル	
ライド シンバル 1	
ライド シンバル 2	
ライドシンバル カップ	
ハイハット オープン	
ハイハット クローズ	
ハイハット ペダル	
スネアドラム	
スネア	
スネア タイト	
スネア ソフト	
スネア ロール	
サイドスティック	
オープン リム ショット	
ブラッシュ タップ	
ブラッシュ スラップ	
ブラッシュ スワール	
ブラッシュ タップ スワール	
タム	
フロア タム L	
フロア タム H	
ロー タム	
ミドル タム L	
ミドル タム H	
ハイ タム	
バスドラム	
キック	
キック タイト	
キック ソフト	
パーカッション 1	
コンガ H オープン	
コンガ L	
コンガ H ミュート	
ボンゴ H	
ボンゴ L	
ティンパル H	
ティンパル L	
カウベル	
クラベス	
ギロ ロング	
ギロ ショート	
マラカス	
ビブラスラップ	
パーカッション 2	
スルド ミュート	
スルド オープン	
クイーカ ミュート	
クイーカ オープン	
カバサ	
シェイカー	
アゴゴ H	
アゴゴ L	
サンバ ホイッスル H	
サンバ ホイッスル L	
パーカッション 3	
タンバリン	
カスタネット	
ジングル ベル	
ベル ツリー	
トライアングル オープン	
トライアングル ミュート	

ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

スタンダード キット 2	
シンバル	
クラッシュ シンバル 1	
クラッシュ シンバル 2	
スブラッシュ シンバル	
チェーンズ シンバル	
ライド シンバル 1	
ライド シンバル 2	
ライドシンバル カップ	
ハイハット オープン	
ハイハット クローズ	
ハイハット ペダル	
スネアドラム	
スネア ショート	
スネア タイト H	
スネア ソフト 2	
スネア ロール	
サイドスティック ライト	
オープン リム ショット H	
ブラッシュ タップ	
ブラッシュ スラップ	
ブラッシュ スワール	
ブラッシュ タップ スワール	
タム	
フロア タム L	
フロア タム H	
ロー タム	
ミドル タム L	
ミドル タム H	
ハイ タム	
バスドラム	
キック ショート	
キック タイト	
キック ソフト	
パーカッション 1	
コンガ H オープン	
コンガ L	
コンガ H ミュート	
ボンゴ H	
ボンゴ L	
ティンパル H	
ティンパル L	
カウベル	
クラベス	
ギロ ロング	
ギロ ショート	
マラカス	
ビブラスラップ	
パーカッション 2	
スルド ミュート	
スルド オープン	
クイーカ ミュート	
クイーカ オープン	
カバサ	
シェイカー	
アゴゴ H	
アゴゴ L	
サンバ ホイッスル H	
サンバ ホイッスル L	
パーカッション 3	
タンバリン	
カスタネット	
ジングル ベル	
ベル ツリー	
トライアングル オープン	
トライアングル ミュート	

4
リズムとキーボードパーカッション

パーカッション 2
スルドミュート
スルドオープン
クイーカミュート
クイーカオープン
カバサ
シェイカー
アゴゴH
アゴゴL
サンバホイッスルH
サンバホイッスルL
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングルベル
ベルツリー
トライアングルオープン
トライアングルミュート
ウッドブロックH
ウッドブロックL
スティック
ウィップスラップ
フィンガースナップ
ハンドクラップ
パーカッション 4
ハイQ
クリックノイズ
スクラッチH
スクラッチL
SeqクリックL
SeqクリックH
メトロノームクリック
メトロノームベル

ヒットキット

シンバル
クラッシュシンバル1
クラッシュシンバル2
スブラッシュシンバル
チャイニーズシンバル
ライドシンバル1
ライドシンバル2
ライドシンバルカップ
ハイハットオープン2
ハイハットクローズ2
ハイハットペダル2
スネアドラム
スネアアンビエント
スネアタイト2
スネアエレクトロ
スネアロール
スティックアンビエント
スネアピッチ
ブラッシュタップ
ブラッシュスラップ
ブラッシュスワール
ブラッシュタップスワール
タム
ハイブリッドタム1
ハイブリッドタム2
ハイブリッドタム3
ハイブリッドタム4
ハイブリッドタム5
ハイブリッドタム6
バスドラム
キックタイトH
キックウェット
キックタイトL

パーカッション 1
コンガHオープン
コンガL
コンガHミュート
ボンゴH
ボンゴL
ティンバールH
ティンバールL
カウベル
クラベス
ギロロング
ギロショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルドミュート
スルドオープン
クイーカミュート
クイーカオープン
カバサ
シェイカー
アゴゴH
アゴゴL
サンバホイッスルH
サンバホイッスルL
パーカッション 3
タンバリンライト
カスタネット
ジングルベル
ベルツリー
トライアングルオープン
トライアングルミュート
ウッドブロックH
ウッドブロックL
スティック
ウィップスラップ
フィンガースナップ
ハンドクラップ
パーカッション 4
ハイQ
クリックノイズ
スクラッチH
スクラッチL
SeqクリックL
SeqクリックH
メトロノームクリック
メトロノームベル

ルームキット

シンバル
クラッシュシンバル1
クラッシュシンバル2
スブラッシュシンバル
チャイニーズシンバル
ライドシンバル1
ライドシンバル2
ライドシンバルカップ
ハイハットオープン
ハイハットクローズ
ハイハットペダル
スネアドラム
スネアスナッピー
スネアタイトスナップ
スネアソフト2
スネアロール
サイドスティック
オープンリムショット
ブラッシュタップ
ブラッシュスラップ

ブラッシュスワール
ブラッシュタップスワール
タム
タムルーム1
タムルーム2
タムルーム3
タムルーム4
タムルーム5
タムルーム6
バスドラム
キック
キックタイト
キックソフト
パーカッション 1
コンガHオープン
コンガL
コンガHミュート
ボンゴH
ボンゴL
ティンバールH
ティンバールL
カウベル
クラベス
ギロロング
ギロショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルドミュート
スルドオープン
クイーカミュート
クイーカオープン
カバサ
シェイカー
アゴゴH
アゴゴL
サンバホイッスルH
サンバホイッスルL
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングルベル
ベルツリー
トライアングルオープン
トライアングルミュート
ウッドブロックH
ウッドブロックL
スティック
ウィップスラップ
フィンガースナップ
ハンドクラップ
パーカッション 4
ハイQ
クリックノイズ
スクラッチH
スクラッチL
SeqクリックL
SeqクリックH
メトロノームクリック
メトロノームベル

ロックキット

シンバル
クラッシュシンバル1
クラッシュシンバル2
スブラッシュシンバル
チャイニーズシンバル
ライドシンバル1
ライドシンバル2

ライドシンバルカップ
ハイハットオープン
ハイハットクローズ
ハイハットペダル
スネアドラム
スネアロック
スネアロックタイト
スネアノイズ
スネアロール
サイドスティック
オープンリムショット
ブラッシュタップ
ブラッシュスラップ
ブラッシュスワール
ブラッシュタップスワール
タム
タムロック1
タムロック2
タムロック3
タムロック4
タムロック5
タムロック6
バスドラム
キックゲート
キック2
キックソフト
パーカッション 1
コンガHオープン
コンガL
コンガHミュート
ボンゴH
ボンゴL
ティンバールH
ティンバールL
カウベル
クラベス
ギロロング
ギロショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルドミュート
スルドオープン
クイーカミュート
クイーカオープン
カバサ
シェイカー
アゴゴH
アゴゴL
サンバホイッスルH
サンバホイッスルL
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングルベル
ベルツリー
トライアングルオープン
トライアングルミュート
ウッドブロックH
ウッドブロックL
スティック
ウィップスラップ
フィンガースナップ
ハンドクラップ
パーカッション 4
ハイQ
クリックノイズ
スクラッチH
スクラッチL
SeqクリックL
SeqクリックH

メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

エレクトロ キット

シンバル
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド シンバル 2
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ペダル
スネアドラム
スネア ノイジー 2
スネア ノイジー 3
スネア スナップ エレクトロ
スネア ロール
サイドスティック
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
リバース シンバル
タム
タム エレクトロ 1
タム エレクトロ 2
タム エレクトロ 3
タム エレクトロ 4
タム エレクトロ 5
タム エレクトロ 6
バスドラム
キック ゲート ヘビー
キック ゲート
キック 3
パーカッション 1
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
スクラッチ H 2
スクラッチ L 2
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
ハイ Q 2
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート

ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

アナログ キット

シンバル
クラッシュ アナログ
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド シンバル 2
ライド シンバル カップ
ハット オープン アナログ
ハット クローズ アナログ
ハット クローズ アナログ 2
スネアドラム
スネア アナログ
スネア アナログ 2
スネア ノイジー 4
スネア ロール
サイドスティック アナログ
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
リバース シンバル
タム
タム アナログ 1
タム アナログ 2
タム アナログ 3
タム アナログ 4
タム アナログ 5
タム アナログ 6
バスドラム
キック アナログ
キック アナログ ショート
キック 3
パーカッション 1
コンガ アナログ M
コンガ アナログ L
コンガ アナログ H
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル アナログ
クラベス 2
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス 2
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
スクラッチ H 2
スクラッチ L 2

カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
ハイ Q 2
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

ダンス キット

シンバル
クラッシュ アナログ
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド アナログ
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン 3
ハイハット クローズ 3
ハット クローズ アナログ 3
スネアドラム
スネア クラップ
スネア ドライ
スネア テクノ
リバース ダンス 2
サイドスティック アナログ
リム ゲート
スネア アナログ 3
スネア アナログ 4
ビニル ノイズ
リバース シンバル
タム
タム ダンス 1
タム ダンス 2
タム ダンス 3
タム ダンス 4
タム ダンス 5
タム ダンス 6
バスドラム
キック テクノ
キック テクノ L
キック テクノ Q
パーカッション 1
コンガ アナログ M
コンガ アナログ L
コンガ アナログ H
ボンゴ アナログ H
ボンゴ アナログ L

ティンバール H
ティンバール L
カウベル ダンス
クラベス 2
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス 2
ビブラスラップ アナログ
パーカッション 2
キック ダンス 1
キック ダンス 2
ダンス プレス 1
ダンス プレス 2
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン アナログ
ハイ Q 2
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ダンス パーカッション 3
ダンス パーカッション 4
スネア ダンス 1
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ダンス クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ ダンス 1
スクラッチ ダンス 2
ダンス パーカッション 2
ハイ Q ダンス 1
ダンス パーカッション 1
リバース ダンス 1

ジャズ キット

シンバル
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド シンバル 2
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ペダル
スネアドラム
スネア ジャズ L
スネア ジャズ M
スネア ジャズ H
スネア ロール
サイドスティック ライト
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
ブラッシュ タップ スワール
タム
フロア タム L
フロア タム H
ロー タム

ミドル タム L
ミドル タム H
ハイ タム
バスドラム
キック ジャズ
キック タイト
キック ソフト
パーカッション 1
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
クイーカ ミュート
クイーカ オープン
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

ブラッシュ キット

シンバル
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド シンバル 2
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ペダル
スネアドラム
ブラッシュ スラップ 3

ブラッシュ タップ 2
ブラッシュ スラップ 2
スネア ロール
サイドスティック ライト
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
ブラッシュ タップ スワール
タム
タム ブラッシュ 1
タム ブラッシュ 2
タム ブラッシュ 3
タム ブラッシュ 4
タム ブラッシュ 5
タム ブラッシュ 6
バスドラム
キック ジャズ
キック タイト
キック ソフト
パーカッション 1
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
クイーカ ミュート
クイーカ オープン
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

シンフォニー キット

シンバル
ハンド シンバル
ハンド シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ハンド シンバル S
ハンド シンバル 2 S
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ペダル
スネアドラム
バンド スネア
バンド スネア 2
スネア ソフト
スネア ロール
サイドスティック
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
ブラッシュ タップ スワール
タム
フロア タム L
フロア タム H
ロー タム
ミドル タム L
ミドル タム H
ハイ タム
バスドラム
グラン カッサ ミュート
グラン カッサ
キック ソフト 2
パーカッション 1
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
クイーカ ミュート
クイーカ オープン
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

ライブ! スタジオキット

シンバル
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 2
スブラッシュ シンバル
チャイニーズ シンバル
ライド シンバル 1
ライド シンバル 2
ライド シンバル カップ
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ペダル
スネアドラム
スネア スタジオ M
スネア スタジオ L
スネア スタジオ 2
スネア ロール
サイドスティック
オープン リム ショット
ブラッシュ タップ
ブラッシュ スラップ
ブラッシュ スワール
ブラッシュ タップ スワール
タム
フロア タム L
フロア タム H
ロー タム
ミドル タム L
ミドル タム H
ハイ タム
バスドラム
キック スタジオ
キック アンビエンス L
キック アンビエンス H
パーカッション 1
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
ティンバール H
ティンバール L
カウベル
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス
ビブラスラップ
パーカッション 2
スルド ミュート
スルド オープン
クイーカ ミュート
クイーカ オープン
カバサ
シェイカー
アゴゴ H
アゴゴ L
サンバ ホイッスル H
サンバ ホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

サンバホイッスル H
サンバホイッスル L
パーカッション 3
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
スティック
ウィップ スラップ
フィンガー スナップ
ハンド クラップ
パーカッション 4
ハイ Q
クリック ノイズ
スクラッチ H
スクラッチ L
Seq クリック L
Seq クリック H
メトロノーム クリック
メトロノーム ベル

ハウス キット

シンバル
クラッシュ シンバル T9
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 4
スブラッシュ シンバル 2
ライド シンバル T9
ライド シンバル 3
ライドシンバル カップ 2
ハイハット オープン T9
ハイハット クローズ T8
ハイハット ペダル T9
スネアドラム
スネア T9 1
スネア T9 2
スネア T9 3
スネア T9 5
スネア T9 ゲート
スネア T9 リム
スネア T8 1
スネア T8 5
スネア T8 リム
スネア ガルゲル
スネア R&B 1
スネア ロール
スネア ブレイク ロール
タム
タム T9 1
タム T9 2
タム T9 3
タム T9 4
タム T9 5
タム T9 6
バスドラム
キック T9 1
キック T9 2
キック T9 4
キック T9 5
ダブル キック
フィルタール キック
ノイズ
ピンクノイズ ダウン 1
ピンクノイズ ダウン 2
ピンクノイズ アップ

ピンクノイズアップリリース
ホワイトノイズ ダウン 1
ホワイトノイズ ダウン 2
ホワイトノイズ アップ 1
ホワイトノイズ アップ 2
ホワイトノイズアップリリース
ノイズ パースト
ディスコ Fx
パーカッション 1
コンガ H オープン 2
コンガ H スラップオープン
コンガ H チップ
ボンゴ H オープン 1 F
ボンゴ L オープン 3 F
ティンバール H
ティンバール L
カウベル 1
カウベル T8
クラベス
ギロ ロング
ギロ ショート
マラカス スラー 2
パーカッション 2
クイーカ H
クイーカ L
カバサ
アゴゴ H
アゴゴ L
アナログ シェイカー
ウドゥ ハイ
パーカッション 3
タンバリン ヒット
スレイ ベル
ウィンドチャイム
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
クラップ T9
ハンド クラップ
ボックス ドラム H
ボックス ドラム L
ボックス アーク
ボックス ベル

SFX キット 1

SFX
カッチング ノイズ 1
カッチング ノイズ 2
ストリング スラップ
フルート キー クリック
雨
雷
風
せせらぎ
泡
フィード
ゴースト
マオウ
犬
馬
鳥のさえずり

SFX キット 2

SFX 1
フォーン コール
電話

ウィンドチャイム
ドアのきしみ
ドアを開める
スクラッチ カット
スクラッチ スプリット
笑い声
悲鳴
パンチ
心音
足音
SFX 2
イグニッション
タイヤ
レーシングカー
衝突
サイレン
列車
ジェット機
スターシップ
パースト
ローラー コースター
サブマリン
マシンガン
レーザーガン
爆発
花火

ノイズ キット

ノイズ
ホワイトノイズ
ホワイトノイズ ダウン 1
ホワイトノイズ ダウン 2
ホワイトノイズ アップ 1
ホワイトノイズ アップ 2
ホワイトノイズアップリリース
ホワイトノイズアップ LFO
ピンクノイズ
ピンクノイズ ダウン 1
ピンクノイズ ダウン 2
ピンクノイズ アップ
ピンクノイズアップリリース
ピンクノイズアップ LFO

ワンダーランドキット

サウンドエフェクト
レーザー ビーム
レーザー ショット
ウォーター ホーン
泡
水たまり
自然
雷
雨
波
せせらぎ
日常
足音
ドアのきしみ
ドアを開める
アラーム ベル
鳩時計
大時計
ベル
電話
カメラ
かじる
拍手

乗り物
列車
クラクション 1
クラクション 2
サイレン
イグニッション
衝突
ヘリコプター
スターシップ
動物
ひつじ
やぎ
牛
いななき
馬
ライオン
犬
猫
にわとり
ふくろう
虫
カエル
さえずり 1
さえずり 2
パーカッション 1
シンバル
スネア ドラム
スネア ロール
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
タム 1
タム 2
バス ドラム
グランカッサ
パーカッション 2
タンバリン
カスタネット
ジングル ベル
ベル ツリー
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
フィンガー スナップ
ハンド クラップ

ポップラテン キット

コンガ
コンガ H チップ
コンガ H ヒール
コンガ H オープン
コンガ H ミュート
コンガ H スラップ Op.
コンガ H スラップ
コンガ H スラップ Mt.
コンガ L チップ
コンガ L ヒール
コンガ L オープン
コンガ L ミュート
コンガ L スラップ Op.
コンガ L スラップ
コンガ L スライド
ボンゴ
ボンゴ H Op. 1 f
ボンゴ H Op. 3 f
ボンゴ H リム
ボンゴ H チップ
ボンゴ H ヒール
ボンゴ H スラップ

ボンゴL Op. 1 f
ボンゴL Op. 3 f
ボンゴL リム
ボンゴL チップ
ボンゴL ヒール
ボンゴL スラップ
パーカッション 1
ティンバレル H
ティンバレル L
パイラ H
パイラ L
カウベル トップ
カウベル 1
カウベル 2
カウベル 3
カウベル H 1
カウベル H 2
クラベス H
クラベス L
ギロ ロング
ギロ ショート
メタル ギロ ロング
メタル ギロ ショート
パーカッション 2
マラカス
クイーカ オープン
クイーカ ミュート
カバサ
シェイカー
タンバリン
タンボリン チップ
タンボリン オープン
タンボリン ミュート
カスタネット
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
ウインドチャイム
パーカッション 3
ハンドクラップ
フィンガー スナップ
シェケレ
シェケレ トーン
カホン L
カホン スラップ
カホン チップ

アラビック キット

アラビック 1
ナカラザン ドム
ナカラザン エッジ
ハゲール ドム
ハゲール エッジ
ザグロウダ H
ザグロウダ L
アラビック ハンドクラップ
ドゥフーラ ドム
ドゥフーラ タク
ドゥフーラ サク
ドゥフ ドム
ドゥフ タク
アラビック 2
カテム ドム
カテム タク
カテム サク
タブラ ドム
タブラ タク 1
タブラ タク 2
タブラ サク
タブラ ティク

タブラ ロール エッジ
タブラ フラム
ダブル ドム
ダブル タク
アラビック 3
サガト 1
サガト 2
サガト 3
リク ドム
リク タク 1
リク タク 2
リク サク
リク ティク
リク フィンガー 1
リク フィンガー 2
リク プラス トレモロ
シンバル/スネアドラム
クラッシュ シンバル 1
クラッシュ シンバル 2
ライド シンバル 1
ハイハット オープン
ハイハット クローズ
ハイハット ベダル
スネア ドラム
スネア ソフト
サイドスティック
タム/バスドラム
フロア タム L
フロア タム H
ロー タム
ミドル タム L
ミドル タム H
ハイ タム
キック ソフト
パーカッション
コンガ H オープン
コンガ L
コンガ H ミュート
ボンゴ H
ボンゴ L
カウベル
クラベス
カバサ
タンバリン

チャイナ キット

シンバル
ダチャ 1
ダチャ 2
ダチャ エフェクト
ゾンチャ
シャオチャ
シャオチャ エフェクト
ゴング バター
ルオ ビッグ
ルオ
ルオ ミッドロー
ルオ ハイ 1
ルオ ハイ 2
ジンルオ
ジンルオ ロー
マンルオ ロー
マンルオ ミッド
タイコ
ダグ f
ダグ mp
ダグ リム
ダグ ロール
ダグ ハンド

パイグ
パイグ 2 ハイ
パイグ 2
パイグ 3 ハイ
パイグ 3
パイグ 4 ハイ
パイグ 4
ドラ 1
ユルオ F
ユルオ F#
ユルオ G
ユルオ G#
ユルオ A
ユルオ A#
ユルオ B
ユルオ C
ユルオ C#
ユルオ D
ユルオ D#
ユルオ E
ユルオ ハイ F
ユルオ ハイ F#
ユルオ ハイ G
ユルオ ハイ G#
ドラ 2
ユルオ ハイ A
ユルオ ハイ A#
ユルオ ハイ B
ユルオ ハイ C
パーカッション
ムユ ロー
ムユ ミッドロー
ムユ ミッド
ムユ ハイ
パン
バング
バングロール
ナンバンジ
ナンバンジ ロール
クインク
フィンガー ベル
京劇ボイス 1
京劇ボイス 2
京劇ボイス 3

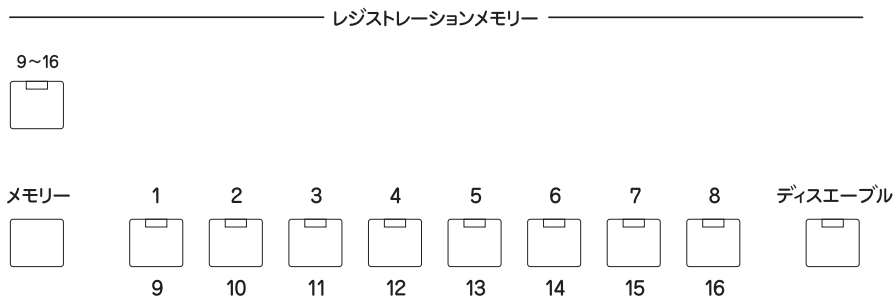
オーケストラ パーカッション

シンバル
チャイナ シンバル
フィンガー シンバル
オーケストラ シンバル 1
オーケストラシンバル1 チョーク
オーケストラ シンバル 2
ライド シンバル チップ
ライド シンバル カップ
スプラッシュ シンバル
サスペンデッドシンバル1
サスペンデッド1 ロールS
サスペンデッドシンバル2
サスペンデッド2 ロールL
スネアドラム
コンサート スネア ドラム
スネア ドラム ライト
スネア アンサンブル
スネア ロール
タム
コンサート タム 1
コンサート タム 2
コンサート タム 3
コンサート タム 4

コンサート タム 5
ローディング タム 1
ローディング タム 2
ローディング タム 3
ローディング タム 4
ローディング タム 5
バスドラム
グランカッサ ハード
グランカッサ ソフト
グランカッサ ヒット
グランカッサ クレシェンド
ドラ
ゴング
シンフォニック ゴング 1
シンフォニック ゴング 2
シンフォニックゴングロング
ティンパニ
ティンパニ E
ティンパニ F
ティンパニ F#
ティンパニ G
ティンパニ G#
ティンパニ A
ティンパニ A#
ティンパニ B
ティンパニ C
ティンパニ C#
ティンパニ D
ティンパニ D#
ティンパニ ハイ E
パーカッション 1
コンガ H スティック
コンガ L スティック
ボンゴ H スティック
ボンゴ L スティック
カウベル
クラベス
ベル ツリー
スレイ ベル
チューブラー ベル H
チューブラー ベル M
チューブラー ベル L
ウインドチャイム
シングル リング
タンバリン
カスタネット ロール
テーブル カスタネット
パーカッション 2
トライアングル オープン
トライアングル ミュート
トライアングル ロール
ウッド ブロック H
ウッド ブロック L
木魚 H
木魚 L
金床
ウィップ

5 レジストレーションメモリー

エレクトーンのパネル上、または画面上で設定したボイスやリズムなどの組み合わせ(=レジストレーション)は、パネル右上にある1～16までのナンバーボタンに記録できます。記録したレジストレーションは簡単に呼び出すことができます。この機能を「レジストレーションメモリー」と呼びます。記録したレジストレーションは、演奏中にナンバーボタンを押して呼び出すだけでなく、あらかじめプログラムしておいてフットスイッチを使って呼び出すことも可能です。



1

レジストレーションをナンバーボタンに記録する

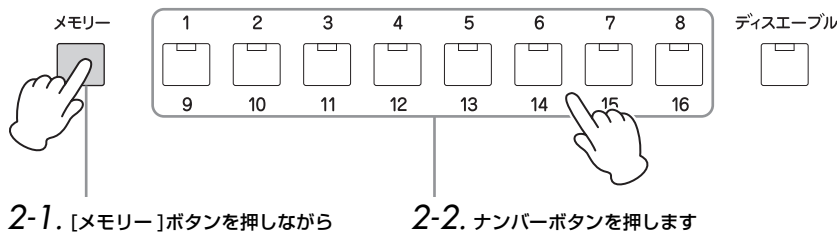
新しくつくったレジストレーションを、レジストレーションメモリーのナンバーボタンに記録します。レジストレーションメモリーに記録されたレジストレーションは、USBフラッシュメモリーに保存することもできます。

1

記録したいレジストレーションをつくります。

2

レジストレーションメモリーボタンの左端にある[メモリー]ボタンを押しながら、記録したいナンバーボタンを押します。



2-1. [メモリー]ボタンを押しながら

2-2. ナンバーボタンを押します

レジストレーションが記録されると、ナンバーボタンのランプが一時的に点滅します。点滅が終わると、レジストレーションがナンバーボタンに記録されました。

関連ページ

- リズムを選ぶ(68ページ)
- ボイスボタンでボイスを選ぶ(33ページ)
- コントロールとエフェクト(52ページ)

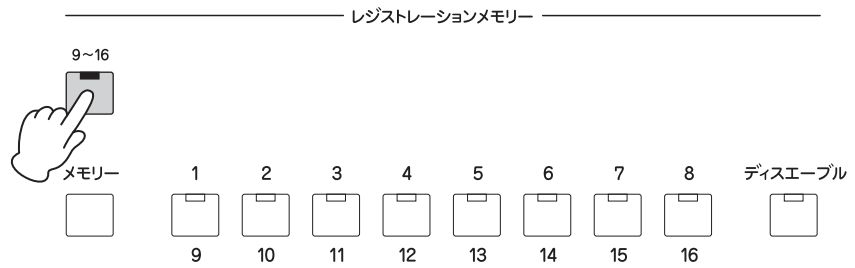
NOTE

初期設定では、バンクAの1～16が呼び出されていますので、バンクAに記録されます。バンクについては116ページをご覧ください。

注記

レジストレーションを記録すると、画面の左上に「■」が表示され、レジストレーションデータを保存中であることを示します。「■」が表示中は電源を切らないでください。「■」が表示中に電源を切るとレジストレーションデータが保存されません。

9～16に記録するには：



このエレクトーンのナンバーボタンは8個ですが、[9～16]ボタンを押して点灯させることで、ナンバーボタンを9～16に切り替えることができます。ナンバーボタンを1～8に戻したいときは、[9～16]ボタンを消灯させます。あとは手順2のとおり、[メモリー]ボタンを押しながら、記録したいナンバーボタンを押します。

📎 関連ページ

レジストレーションを保存する
(147ページ)

メモリーできない機能

以下の設定は、楽器全体に関する設定なので、レジストレーションメモリーに記録しておくことはできません。また、USBフラッシュメモリーに保存することもできません。

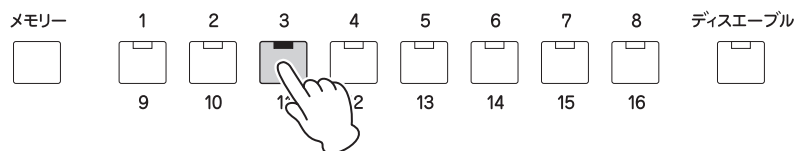
- ピッチの設定(184ページ)
- MIDIコントロール(193ページ)
- 言語設定(27ページ)
- LCDコントラスト
- 無線LAN設定

以下の設定は、レジストレーションナンバーごとに違う設定にすることはできません。ソングのレジストレーションデータとして、USBフラッシュメモリーに保存できます。

- トランスポーズ(184ページ)
- レジストレーションシフト(121ページ)
- オートフィル(72ページ)
- リバートタイプ(62ページ)
- キーボードパーカッションのキットとアサイン(101ページ)
- ユーザーリズム(76ページ)
- リズムシーケンス(86ページ)
- ディスエーブル(114ページ)
- ディスエーブルモード(114ページ)

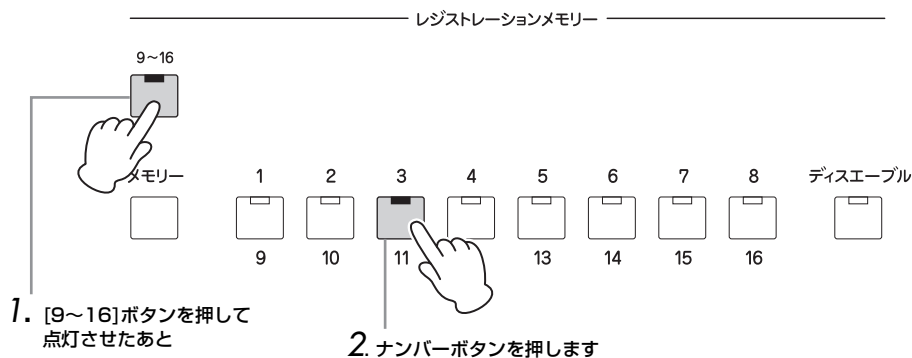
2 レジストレーションを呼び出す

呼び出したいナンバーボタンを押すだけで、記録したレジストレーションをパネル上に呼び出せます。



記録した9～16のレジストレーションを呼び出すには、[9～16]ボタンを押して点灯させたあと、呼び出したい番号のボタンを押します。

例: レジストレーション11を呼び出す場合



別のバンクに記録したレジストレーションを呼び出すには：

116ページで説明するように、バンクを選んでレジストレーションを記録した場合は、呼び出すときも同じバンクを選ぶ必要があります。ボイスディスプレイのページ3でバンクを選んでから、呼び出したいナンバーボタンを押してください。バンクの選び方については116ページをご覧ください。

手でボタンを押すのではなく、フットスイッチを使ってレジストレーションを呼び出す方法(レジストレーションシフト)もあります。レジストレーションシフトについては121ページをご覧ください。

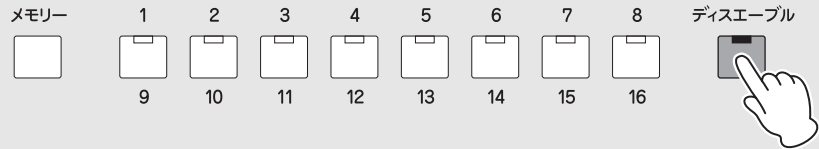
NOTE

ディスエーブル機能は、バンクを切り替えた後も有効となります。

ディスエーブルボタンについて

ナンバーボタンを押してレジストレーションを切り替えると、リズムの種類やテンポも同時に変わります。

しかし、レジストレーションメモリー右端の[ディスエーブル]ボタンをオンにすることで、リズムの種類やテンポなどは変えずに、レジストレーションメモリー機能でボイスを切り替えながら演奏することができます。一定のテンポで演奏を練習したいときなどに便利です。



ディスエーブルボタンをオンにしたときには、レジストレーションメモリーを切り替えても以下の機能は変わりません。

- リズムの種類、セクション、テンポ、ボリューム、リバーブ
- リズムのリバーブタイム
- アカンパニメントのボリューム、リバーブ、パートのオン/オフ
- オートベースコードのモード、メモリー
- メロディーオンコードのモード

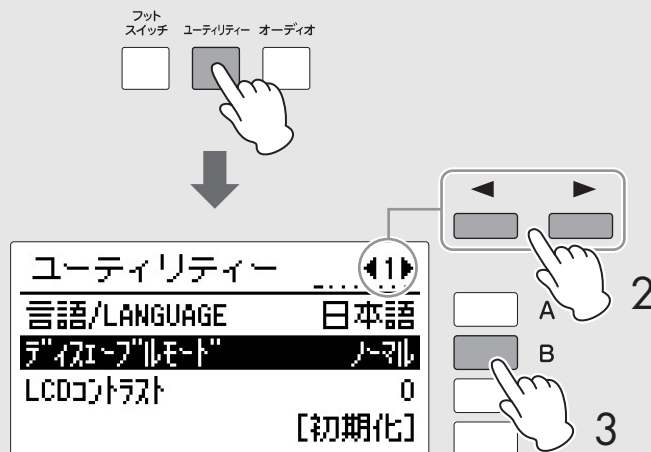
[ディスエーブル]ボタンをオンにしたときの動作は、ディスエーブルモードによって異なります。ディスエーブルモードについては次の「ディスエーブルモードを選ぶには」をご覧ください。

ディスエーブルモードを選ぶには：

ディスエーブルモードで、[ディスエーブル]ボタンをオンにしたときの対象となる機能を選びます。ディスエーブルモードには、ノーマル(リズムの種類やテンポなどが対象)とテンポ(テンポのみが対象)の2種類があります。

1 [ユーティリティー]ボタンを押します。

ユーティリティー画面が表示されます。



2 ページボタンでページ1を表示させます。

3 [B]ボタンで、「ディスエーブルモード」を「ノーマル」または「テンポ」に設定します。

ノーマル

このモードのときに、[ディスエーブル]ボタンをオンにすると、レジストレーションメモリーを切り替えても以下の機能は変わりません。

- リズムの種類、セクション、テンポ、ボリューム、リバーブ
- リズムのリバーブタイム
- アカンパニメントのボリューム、リバーブ、パートのオン/オフ
- オートベースコードのモード、メモリー
- メロディーオンコードのモード

テンポ

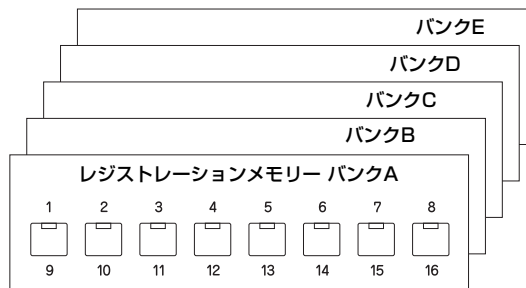
このモードのときに、[ディスエーブル]ボタンをオンにすると、レジストレーションメモリーを切り替えてもリズムのテンポが変わりません。

3

バンクを選んでレジストレーションを記録する

レジストレーションメモリーとバンク

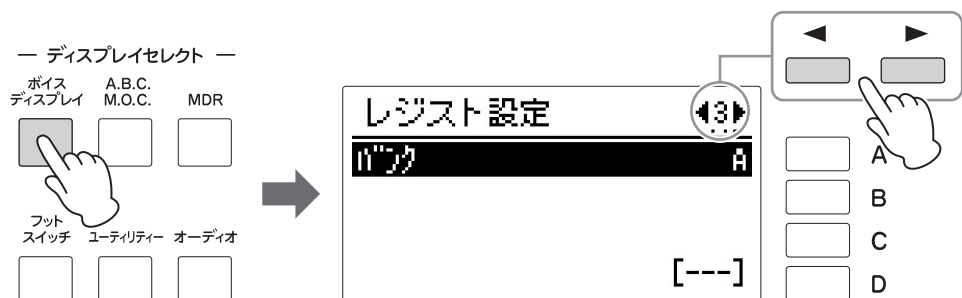
ELB-02では、1～16のレジストレーションメモリーを1バンクとして、A～Eの最大5バンクのレジストレーションデータを作ることができます。そのうちバンクAの1～16ナンバーボタンには、あらかじめ用意されたさまざまなレジストレーションがセットされていますが、自分で設定したレジストレーションを記録することで書き換えが可能です。またバンクB～Eにも、同様に自分で設定したレジストレーションを記録することができ、最大で合計80個のレジストレーションを記録できます。レジストレーションメモリーの初期化(120ページ)を実行すると、バンクAの1～16が元の設定に戻り、バンクB～Eの1～16が空の状態に戻ります。



初期状態の、レジストレーションメモリーのバンクAが選択されている状態では、バンクAだけでなくバンクBにもレジストレーションの記録ができます。バンクBに記録されればバンクCまで、バンクCに記録されればバンクDまで、バンクDに記録されればバンクEまでレジストレーションが記録できるようになり、最大でバンクA～Eに記録ができます。

バンクを選ぶには：

- 1 ボイスディスプレイで、ページボタンを使ってページ3を表示させます。
現在選ばれているバンクが表示されます。



2 データコントロールダイヤルでバンクを選びます。

バンクAを先頭として、レジストレーションが記録されているバンクの次のバンク(空)まで選択可能です。たとえば、バンクAとBにレジストレーションが記録されていれば、バンクCまで選択可能です。選択されたバンクにレジストレーションが記録されているかどうかは、メッセージの有無で判別できます。データのあるバンクを選ぶとメッセージは表示されませんが、空のバンクを選んだ場合は「レジストレーションは記録されていません」と表示されます。

レジストレーションを記録するには：

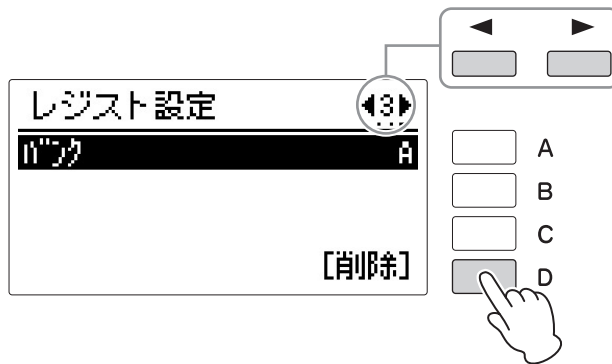
3 111ページ「レジストレーションをナンバーボタンに記録する」の手順1～2の操作を行ないます。

NOTE

レジストレーションの呼び出し後、バンクを変えてからレジストレーションを記録しようとすると、選択されているバンクに記録するかを確認するダイアログが表示されます。記録先のバンクが正しいかご確認ください。記録したい場合は、「OK」と同じ位置にある[C]ボタンを押します。キャンセルしたい場合は[D]ボタンを押します。

4 バンクを選んで削除する

ボイスディスプレイのページ3で削除したいバンクを選び、[D]「削除」ボタンを押します。「バンクxxを削除しますか？」というメッセージが表示されますので、削除したいときは[C]「削除」ボタン、キャンセルしたいときは[D]「キャンセル」ボタンを押します。バンクAのデータは、A以外のバンクにデータが保存されている場合のみ削除できます。



選択したバンクを削除した場合、以降のバンクに記録されている内容は1つ前のバンクに繰り上げになります。たとえばバンクAを削除すると、バンクBの内容がバンクAに、バンクCの内容がバンクBに、バンクDの内容がバンクCに、バンクEの内容がバンクDに移動します。

5 記録したレジストレーションを USBフラッシュメモリーに保存する

📎 関連ページ
ソングとは? (134ページ)

📎 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

楽器本体に記録したレジストレーションメモリー最大5バンク分を、USBフラッシュメモリーに1つのソングデータとして保存できます。詳細は第6章で説明しますが、ここでは、USBフラッシュメモリーにレジストレーションを保存する手順を、簡単に説明します。

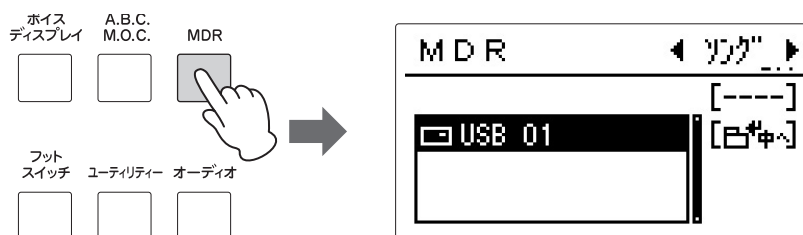
USBフラッシュメモリーは必ず動作確認済みのものをお使いください。それ以外のものを使うと、データが保存できない場合があります。動作確認済みのUSBフラッシュメモリーは以下のヤマハサイトでご確認いただけます。

<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>
また、ご使用前に132ページの「USB機器を接続する」をお読みください。

1 [USB TO DEVICE]端子に、USBフラッシュメモリーを差し込みます。

2 [MDR]ボタンを押します。

MDR画面が表示されます。

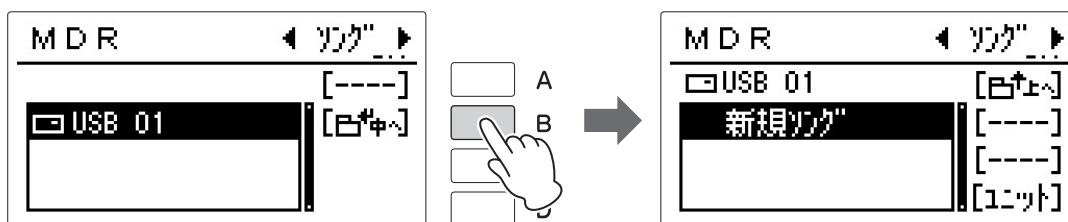


3 ソング画面が表示されているか確認します。

画面右上に「ソング」と表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、ページボタンを両方同時に押し、ソング画面が表示されます。

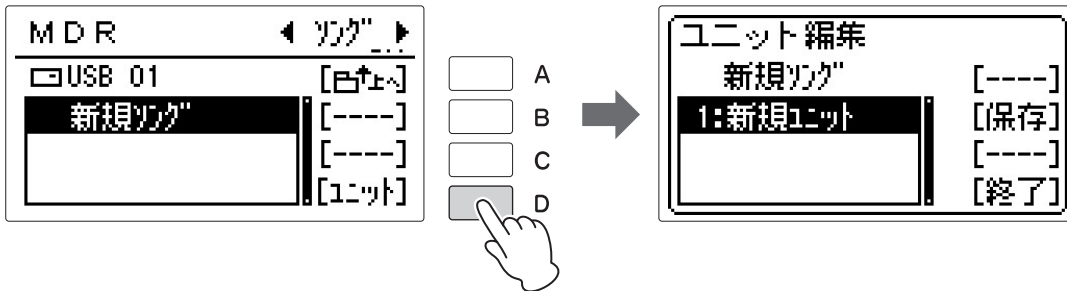
4 レジストレーションを保存する新規ソングを選択します。

「[BANK]」と同じ位置にある[B]ボタンを押すと、画面に「新規ソング」(空のソング)が表示されます。「新規ソング」が表示されない場合は、データコントロールダイヤルを回して「新規ソング」を選びます。



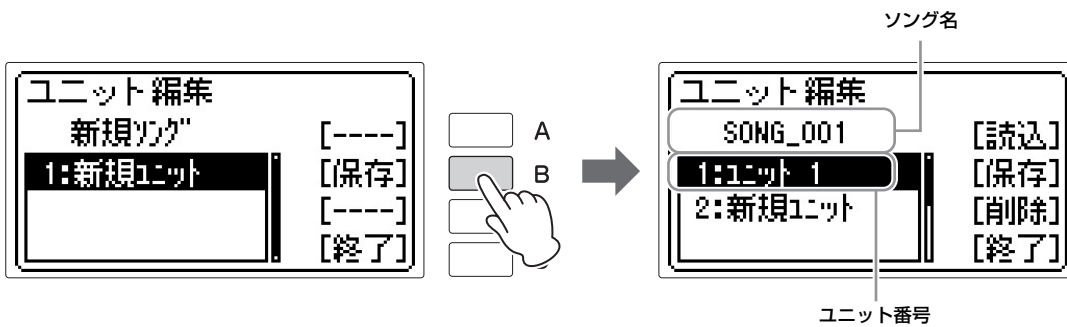
5 [D] 「ユニット」 ボタンを押します。

ユニット編集画面が表示されます。



6 [B] 「保存」 ボタンを押します。

保存中であるメッセージが短い時間表示され、その後、保存されたソング名とユニット番号が表示されます。これで、本体のレジストレーションメモリー (A~Eバンク) に記録されているレジストレーションが、一つのユニットとしてUSBフラッシュメモリーに保存されました。



7 [D] 「終了」 ボタンを押します。

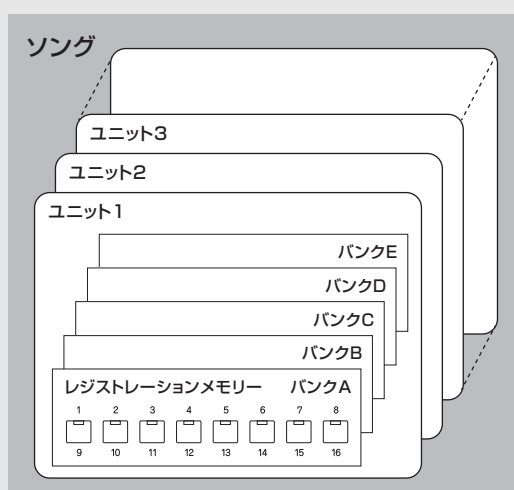
ソング画面に戻ります。

関連ページ
レジストレーションデータを読み込む(154ページ)

関連ページ
ソング/フォルダーに名前を付ける(144ページ)

バンクとユニット

楽器本体に記録されたレジストレーションメモリー (16×最大5バンク) をまとめて「ユニット」といいます。1つのソング内で、レジストレーションメモリーが16×最大5バンクだけでは足りなくなった場合は、別の「ユニット」を追加することにより、さらに多くのレジストレーションを活用できます。ユニットについては、MDR機能の中で編集ができます。147ページをご覧ください。



6 レジストレーションメモリーの初期化

レジストレーションメモリーに記録されたレジストレーションを消去し、レジストレーションメモリーを初期設定の状態に戻すことができます。この場合、すべてのバンクのレジストレーションデータが消去されてしまいます。大切なデータは、あらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

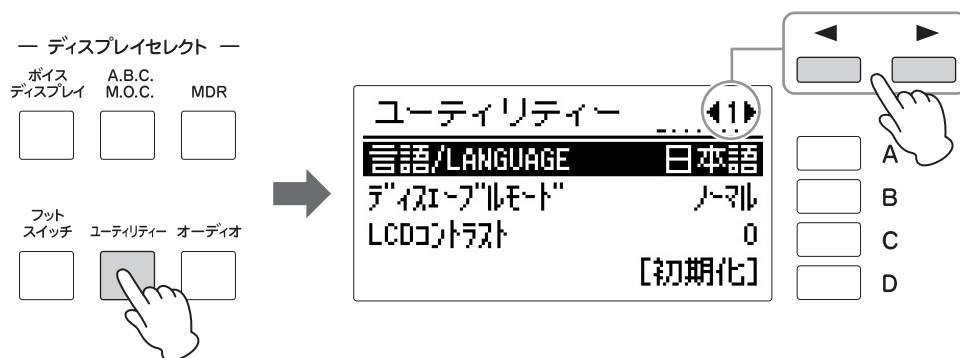
これとは別に、バンクを選択して削除する方法もあります。

NOTE

バンクを選んで削除する(117ページ)

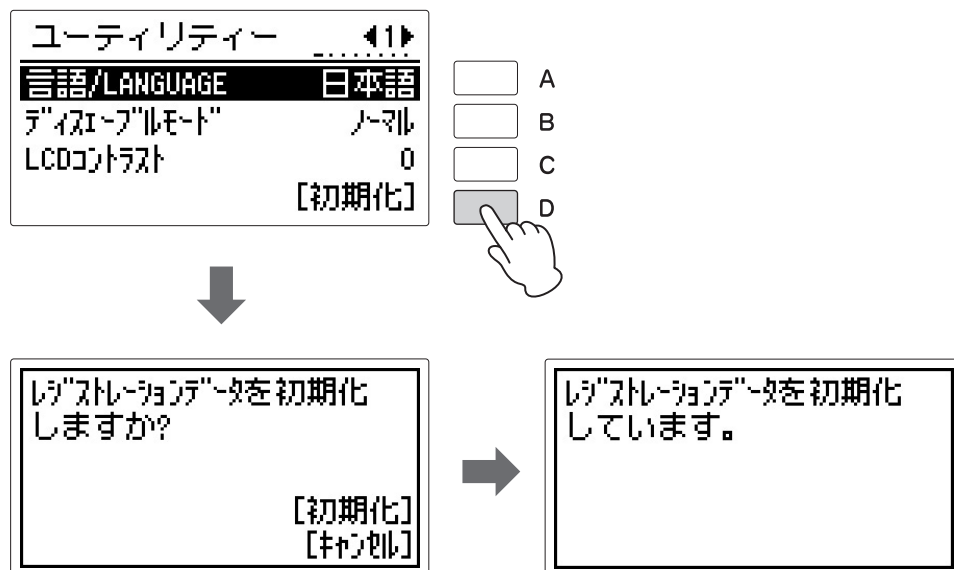
1 [ユーティリティー]ボタンを押して、ユーティリティー画面のページ1を表示させます。

ページ1が表示されていない場合は、ページボタンでページ1を表示させます。



2 [D]「初期化」ボタンを押します。

「レジストレーションデータを初期化しますか?」という表示が現れます。[C]「初期化」ボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が終了すると、いったん画面が暗くなったあと、電源を入れたときの画面が自動的に表示されます(再起動)。
[D]「キャンセル」ボタンを押すと、初期化せずに手順1の画面に戻ります。

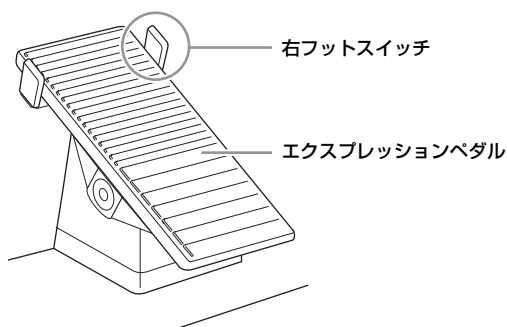


関連ページ

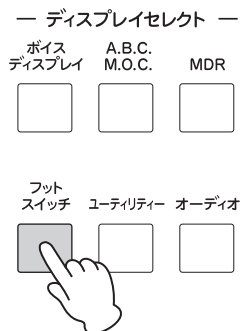
エレクトーンの初期化(27ページ)

7 演奏中にレジストレーションを切り替える: レジストレーションシフト

レジストレーションシフトは、エクスプレッションペダルの右側についているフットスイッチを使って、パネル上のナンバーボタンに記録したレジストレーションを切り替える機能です。演奏中に手を使わずにレジストレーションの変更ができ、演奏に専念できます。ある特定のレジストレーションを選択したり、ナンバー順に、または自分で設定した順序で、レジストレーションを選択したりできます。レジストレーションシフトには、オフ、シフト、ジャンプ、ユーザーの4つのモードがあり、レジストシフト(ライト)画面で設定します。



- 1 使いたいレジストレーションの入ったバンクを選択しておきます。
- 2 [フットスイッチ]ボタンを押します。

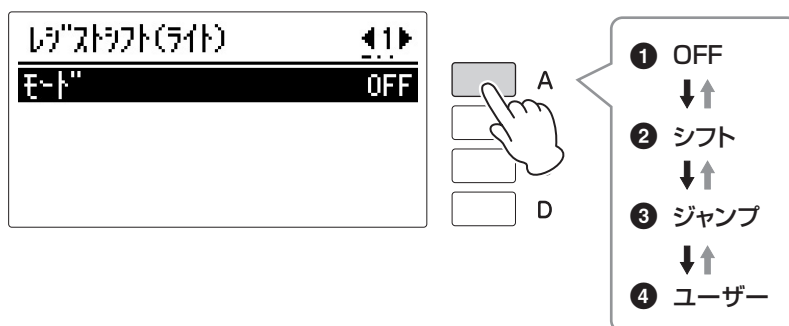


- 3 ページボタンでページ1を表示させます。
レジストシフト(ライト)画面が表示されます。



4 [A]ボタンを使って、レジストレーションシフトのモードを選びます。

[A]ボタンを押すたびに、「オフ(OFF)」→「シフト」→「ジャンプ」→「ユーザー」の順にモードが切り替わります。

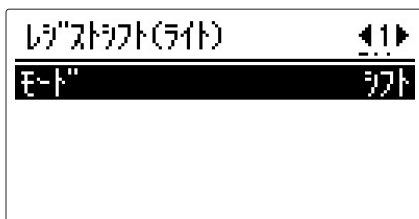


① オフ

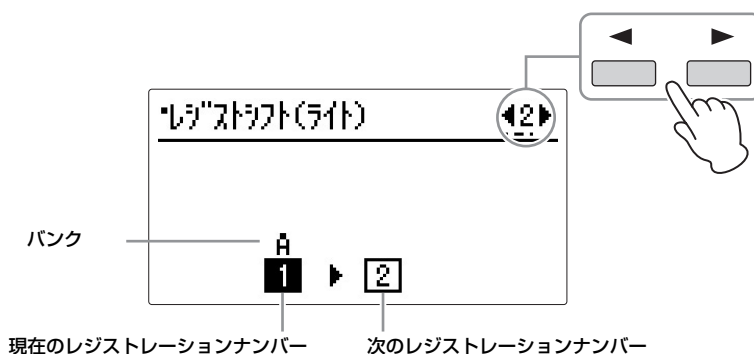
レジストレーションシフトの機能をキャンセルします。右フットスイッチを使ってレジストレーションを切り替えることはできません。

② シフト

右フットスイッチを押すたびにレジストレーションナンバーがひとつずつ進み、1から16までのナンバー順にレジストレーションが選択されていきます。16の次は1に戻ります。選択されたナンバーボタンは点灯します。9～16までのナンバーボタンが選択されたときは、[9～16]ボタンと選択されたナンバーボタンが点灯します。



ページ2で実際のシフトの状態を確認できます。



NOTE

シフトでは他のバンクのレジストレーションは選択できません。

③ ジャンプ

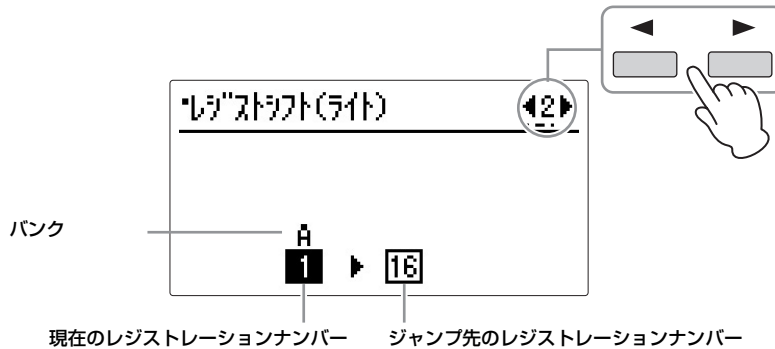
右フットスイッチを押すと、指定したナンバーのレジストレーションへジャンプ(移動)します。
[B]ボタンでジャンプ先のナンバーを選びます。

NOTE

ジャンプでは他のバンクのレジストレーションは選択できません。

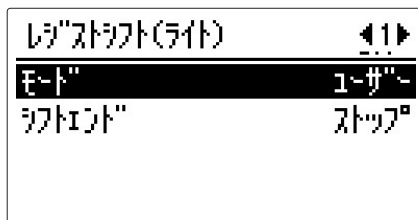


ページ2で実際のシフトの状態を確認できます。



④ ユーザー

レジストレーションメモリーを切り替える順番をあらかじめ設定しておき、右フットスイッチを押すたびに、設定した順にレジストレーションを呼び出します。レジストレーションシフトが最後まで進んだときの動作(シフトエンド)も設定できます。レジストレーションメモリーを切り替える順番はレジストシフト(ライト)画面のページ2で、シフトエンドはページ1で設定します。

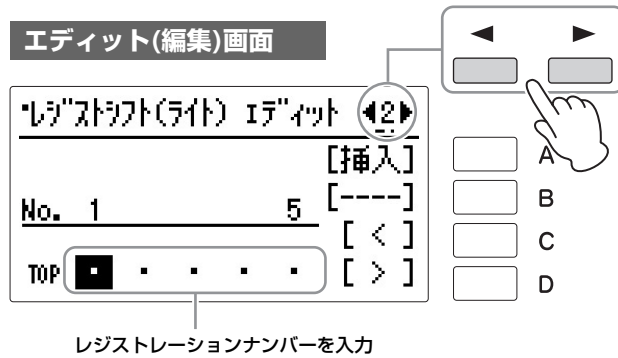


レジストレーションメモリーの順番を設定するには:

モードは ④ ユーザーに設定しておきます。

- 1 呼び出したいレジストレーションが記録されているバンクを選択します。
バンクの選択は116ページをご覧ください。

2 レジストシフト(ライト)画面のページ2を表示させます。

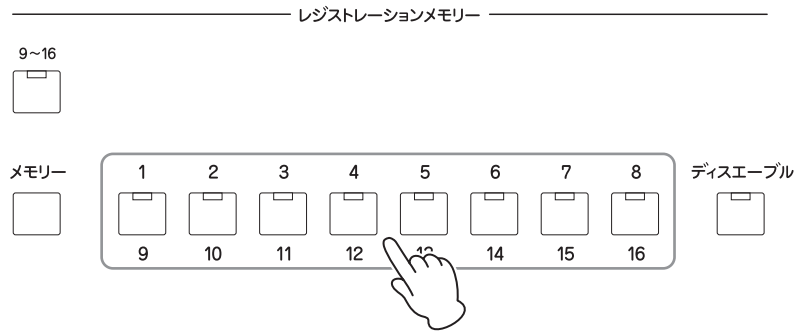


NOTE

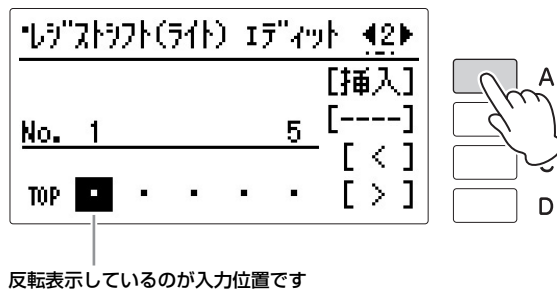
他のバンクのレジストレーションを選びたいときは、ボイスディスプレイ画面のページ3で選びます(116ページ)。編集画面に戻るには、[フットスイッチ]ボタンを押します。

3 入力したいレジストレーションメモリーのナンバーボタンを押します。

ナンバー 9~16を入力したいときは、[9~16]ボタンを押して点灯させたあと、ナンバーボタンを押します。



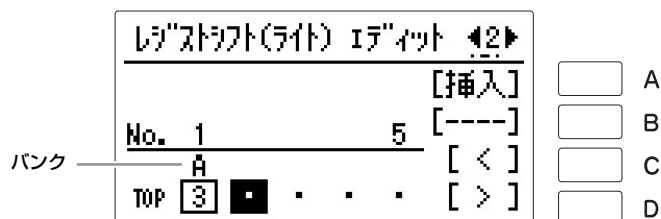
4 [A] 「挿入」 ボタンを押します。



NOTE

前のデータのバンクと同じ場合はバンク番号を表示しません。

5 レジストレーションが入力され、画面上にバンクとナンバーが表示されます。



6 上記の手順1~4をくり返して、レジストレーションメモリの順番を設定します。

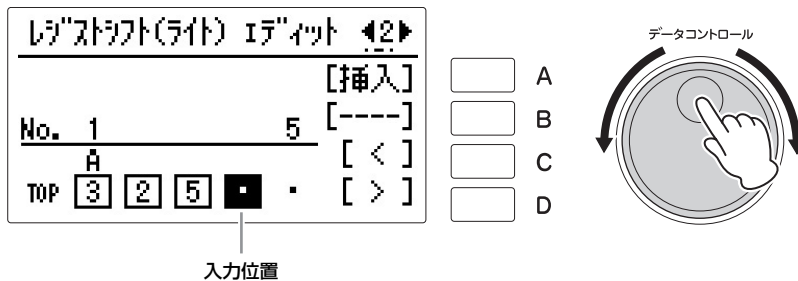
最高80種類のレジストレーション(16個 x 5バンク)を400まで設定できます。

7 編集が終わったら、データコントロールダイヤルを左に回してカーソルを先頭に戻し、右フットスイッチでナンバーを切り替えます。

入力後に間違っただけで2度シフトしてしまい、1つ戻りたいときは、編集画面でデータコントロールダイヤルを左に回して1つ戻ります。

レジストレーションメモリの順番は、一度設定したあとで変更することもできます。

[C]/[D]ボタンやデータコントロールダイヤルで変更したいナンバーに入力位置を合わせ、[A]ボタンや[B]ボタンでナンバーの追加/削除を行ないます。



入力位置の移動: 反転表示している部分が入力位置です。

入力位置を左に移動させたいときは、データコントロールダイヤルを左に回します。入力位置を右に移動させたいときは、データコントロールダイヤルを右に回します。[C]ボタンや[D]ボタンでも移動できます。

ナンバーの追加: [A]ボタンを使って入力します。

初めてユーザーレジストレーションシフトを設定する場合は、入力したいレジストレーションメモリのナンバーボタンを押したあと、[A]「挿入」ボタンを押すと、入力されたレジストレーションナンバーが、画面左下に表示されます。入力後、入力位置は右に移動します。

レジストレーションシフトを組んだあとや途中で、別のレジストレーションを挿入する場合は、入力位置を、挿入したいところの次のレジストレーションの位置に合わせます。挿入したいレジストレーションをナンバーボタンで選択したあと、[A]「挿入」ボタンを押します。入力位置に、挿入するナンバーが表示され、入力位置以降のレジストレーションが、1つずつ右にずれます。

ユーザーレジストレーションシフトの限度である400を超えて、入力することはできません。挿入操作によって400を超えてしまう場合には、[挿入]が[---]になり、挿入は実行できません。

ナンバーの削除: [B]ボタンを使って削除します。

削除したいレジストレーションに入力位置をあわせて、[B]「削除」ボタンを押します。

注記

レジストレーションシフトの設定を変更し、別の画面に移動すると、レジストレーションシフトの設定も含めレジストレーションデータが自動的に保存されます。保存中は、画面の左上に「■」が表示されます。別の画面に移動せずに電源を切ったり、「■」が表示中に電源を切ったりすると、設定内容が失われてしまいますので、ご注意ください。

NOTE

ナンバーを入力したあと、入力位置が画面の左下にある「TOP(トップ)」の位置にあるときは、レジストレーションデータの追加や削除はできません。データコントロールダイヤルを右に回して入力位置を移動させてから、データの追加や削除を行なってください。

NOTE

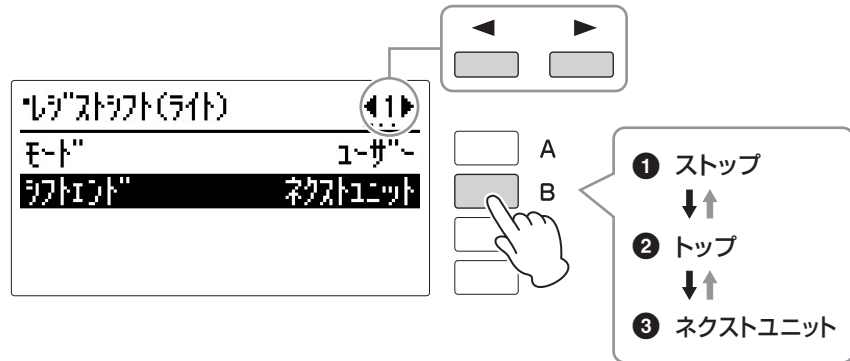
画面で一度に表示できるレジストレーションデータ数は最大5つですが、4つ以上入力すると、画面が右にスクロールされます。スクロールを戻したいときは、データコントロールダイヤルを左に回します。

シフトエンドを設定するには:

レジストレーションシフトが最後まで進んだときの動作を、「ストップ」→「トップ」→「ネクストユニット」の3つの中から選びます。

ページボタンを押してページ1を表示させます。

[B]ボタンでシフトエンドを設定します。



① ストップ



最後のレジストレーションを選択して、レジストレーションシフトは終了します(右フットスイッチを押してもレジストレーションは移動しません)。

② トップ

最後のレジストレーションを選択したあと、TOPに戻り、最初のレジストレーションから繰り返しシフトします。

③ ネクストユニット

最後のレジストレーションを選択したあと、MDRのソングに入っている次のユニットを自動的に読み込みます。一つのソング内に、再生の順番を設定したレジストレーションのユニットを複数保存した場合に有効な設定です。

トップまたはネクストユニットを選ぶと、編集画面で最後のレジストレーションのあとに、選択したシフトエンドのマーク「 (トップ)」 「 (ネクストユニット)」が表示されません。

📎 関連ページ

80種類以上のレジストレーションを続けて再生する: ネクストユニット(153ページ)

NOTE

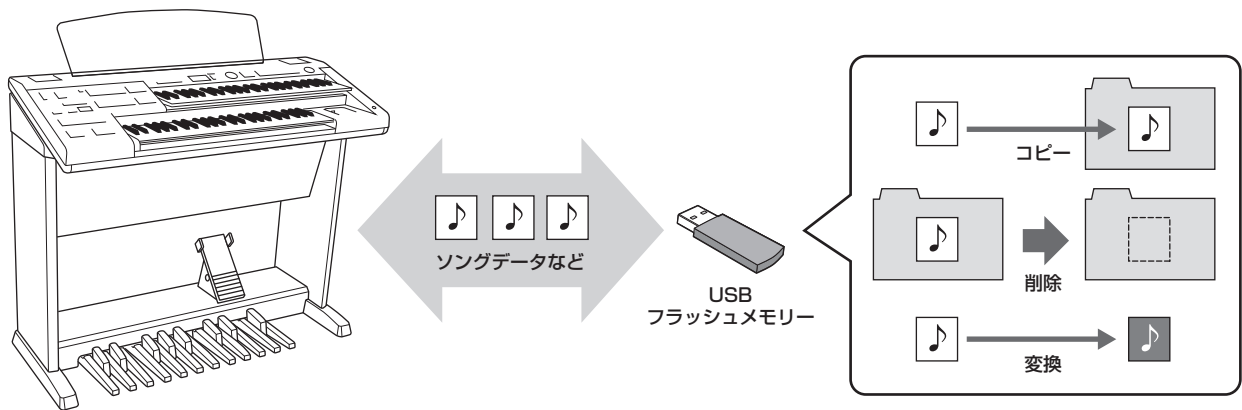
- ネクストユニットを使用した曲をMDRで再生するためには、カスタムプレイ(156ページ)がオフの状態での再生してください。
- リズム再生中にネクストユニットを読み込んでも、シーケンスデータやユーザーリズムは切り替わりません。

MDR(ミュージックデータレコーダー)は、USBフラッシュメモリに、レジストレーションや演奏データを録音したり、録音したデータを再生したりする機能です。また、保存したデータを、コピーしたり、削除したり、ほかのエレクトーンで使える形式に変換する機能もあります。

動作確認済みのUSBフラッシュメモリ

USBフラッシュメモリは「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください

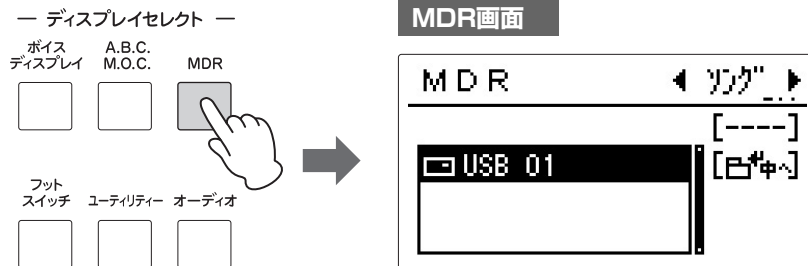
インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページ<<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>>に掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。それ以外のものを使うと、データの保存/呼び出しができない場合があります。また、ご使用前に132ページの注意事項をお読みください。



1 MDR機能に入る

レジストレーションや演奏データを録音したり、再生したりする場合は、MDR画面で行ないます。動作確認済みのUSBフラッシュメモリを挿入して[MDR]ボタンを押すと、MDR画面が表示されます。

関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリ (127ページ)



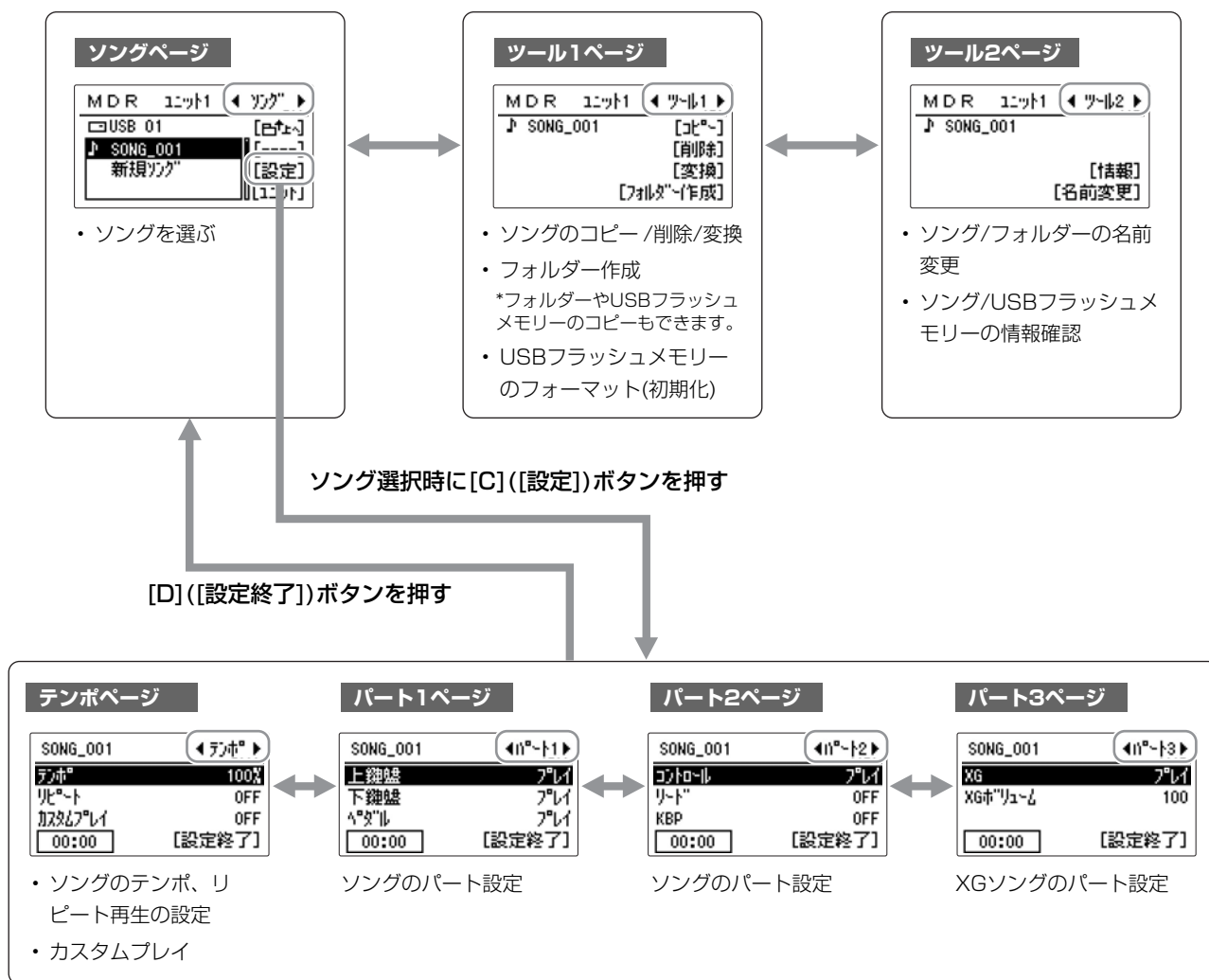
MDR操作中(ソングの再生中など)でも、パネル上の別のボタンを押すと、MDR画面から抜けてしまいます。その場合は、もう一度[MDR]ボタンを押すと、もとのMDR画面に戻ります。

2 MDR画面の操作

MDR画面は全部で7ページあります。ページごとに機能が違いますので、最初にソングページでソングを選んだあと、コピー/変換/削除したい場合はツール1ページ、リピート再生の設定をしたい場合はテンポページというように、目的に合ったページを開いて操作します。

ページの切り替えは、画面右上のページボタンを使います。テンポページとパートページは、ソングページでソングを選んでいるときに[設定]ボタンを押すことで表示できます。

ページの構成



NOTE

フォルダーやUSBフラッシュメモリーを選択している場合と、ソングを選択している場合で、ツール1/ツール2ページに表示される機能名は一部異なります。

ソングページの操作:



① 現在の位置

選択されているUSBフラッシュメモリー/フォルダーが表示されます。①の中身が②にリスト表示されます。

② USBフラッシュメモリー/フォルダー/ソングリスト

選択できるUSBフラッシュメモリー/フォルダー/ソングが表示されます。

③ スクロール表示

選択可能なUSBフラッシュメモリー/フォルダー/ソングが多い場合、画面外に隠れていることがあります。その場合はデータコントロールダイヤルを回して、隠れているUSBフラッシュメモリー/フォルダー/ソングを選ぶことができます。

④ 上へ移動

[A]ボタンを押すことで、ひとつ上の階層へ移動します。

⑤ 中へ入る

[B]ボタンを押すことで、選択されているUSBフラッシュメモリーまたはフォルダーの中に入ります。

⑥ ページ名

画面内に複数のページがある場合、ページボタンで切り替えられます。



⑦ ユニット名

最後に再生/保存したユニット名です(再生/保存を実行するまでは空欄)。

USBフラッシュメモリーが見つからないときは：







ソングページで、[A]が[----]になるまで、[A]ボタンを数回押します。
USBフラッシュメモリーがリスト表示されます。データコントロールダイヤルを使って、目的のUSBフラッシュメモリーを選びます。

ソングが見つからないときは：

- 1 現在の位置(129ページ ❶)を確認します。
- 2 目的のソングが、現在表示されているフォルダー内にある場合は、データコントロールダイヤルを使って画面をスクロールさせると、隠れているソングを選べます。
目的のソングが別のフォルダー内にある場合は、データコントロールダイヤルや、
[]や[]と同じ位置にある[A]ボタンまたは[B]ボタンを使って、目的のソングが入っているフォルダーまで移動します。

アイコン一覧

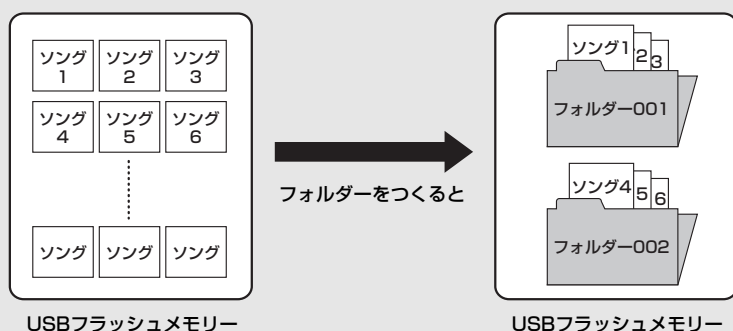
ソングを選ぶときに表示される画面で使われているアイコンです。それぞれのアイコンの意味は次のようになっています。

	メディアであることを示します。
	フォルダーであることを示します。
	演奏データが入っていることを示します。
	プロテクトオリジナルソングであることを示します。詳しくは163ページをご覧ください。
	プロテクト編集ソングであることを示します。詳しくは163ページをご覧ください。
	XGソングであることを示します。

USBフラッシュメモリー内の構成：フォルダー/ソング/ファイル

フォルダーとは

フォルダーとは、USBフラッシュメモリー内のソングを整理するための保管場所です。USBフラッシュメモリーには数百ものソングを保存することができるので、多くのソングを保存した場合には、呼び出したいソングを探すのが大変になります。そこで、フォルダーをつくり、ソングをフォルダーの中に入れて整理することで、USBフラッシュメモリー内のソングを管理しやすくします。



ソングとは

本来は「曲」という意味ですが、エレクトーンでは、メディアに1曲分の曲データを保存するときの、「入れもの」を指します。この入れものには、自分の演奏やレジストレーションを保存できます。何もデータが入っていない空のソングは、「新規ソング」と表示されます。演奏データの入っているソングには、画面上に音符(♪)アイコンが表示されます。

ファイルとは

エレクトーンでは、ソングを構成するデータのひとつひとつを「ファイル」と呼びます。つまり、ひとつのソングにはレジストレーション情報のファイル、演奏情報のファイルといった複数のファイルが入っているのです。MDR機能を使って保存されたソング内には、以下のファイルがあります。(拡張子とは、コンピューターがファイル形式を識別するための識別子です。拡張子は、エレクトーンの画面上には表示されません。)

ソングに保存されるファイルの種類

保存されるファイル	ファイルの内容	拡張子
演奏データ	エレクトーンで録音した演奏が入っているファイルです。	.mid
レジストレーションなどのデータ	レジストレーションだけでなく、レジストレーションシフトなどのデータが含まれているファイルです。	.b00
XG変換後のデータ	演奏を録音したデータを、XG機器で再生できる形式に変換したファイルです。	.mid

このほかに、USBフラッシュメモリーにどんなファイルが入っているか、また、各フォルダーにどんなデータが入っているかを管理するための管理ファイル(拡張子：.nam)があります。管理ファイルは、各フォルダーに1つ、自動的に作成されます。(管理ファイルは、エレクトーンの画面上には表示されません。)

NOTE

オーディオ機能を使って録音したオーディオファイルは、ソングには保存されません。

USB機器を接続する

[USB TO DEVICE]端子に別売品のUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器上で設定した内容や制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存できます(118、147ページ)。また、別売品のUSB無線LANアダプターを使って、iPadなどと無線通信(195ページ)したりできます。

[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機には[USB TO DEVICE]端子があります。[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー
- USBハブ
- USB無線LANアダプター

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。

<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

本機では、USB1.1～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

NOTE

[USB TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

注記

- 別売品のキーカバーを取り付けている場合は、トップパネルの[USB TO DEVICE]端子に接続しているUSB機器を、キーカバーを閉める前に外してください。USB機器を接続したままキーカバーを閉じると、USB機器がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/コピー/削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行わないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。

NOTE

- 1つの[USB TO DEVICE]端子に2台以上のUSB機器を同時に接続したい場合は、USBハブを使います。USBハブをセルフパワーでお使いください。USBハブは1台まで使用可能です。USBハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、本機からUSBハブを抜き、本機の電源を入れ直した上で、再度USBハブを接続してください。
- USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルをご使用ください。
- [USB TO DEVEICE]端子と接続するUSB機器の間をケーブルなどで延長することはできません。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、2個までです。(USBハブを使用した場合は、同時に認識できるUSBフラッシュメモリーは4個までです。)

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(133ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。特に複数のUSBフラッシュメモリーを接続しているときは、ご注意ください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。


■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

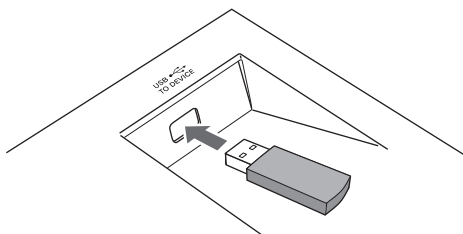
電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/コピー/削除/フォーマットなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

3 USBフラッシュメモリーを初期化(フォーマット)する

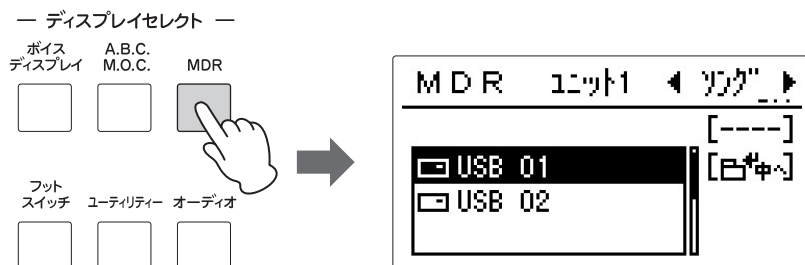
新しいUSBフラッシュメモリーは、そのままでは使えない場合があります。この場合、USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットとは、USBフラッシュメモリーをエレクトーンで使用できる形式にする作業です。フォーマットを実行すると、USBフラッシュメモリーの中のすべてのデータは消去され、新たにデータが記録できる状態になります。消去されたデータは永久に失われてしまいます。フォーマットを実行する前に、重要なデータが入っていないかどうか、よくご確認ください。

- 1 向きを間違えないようにして、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子にしっかりと挿入します。

 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー(127ページ)




- 2 [MDR]ボタンを押して、MDR画面を表示させます。



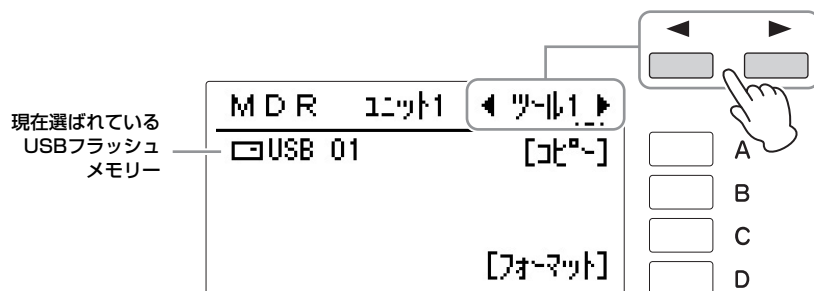
- 3 フォーマットしたいUSBフラッシュメモリーを選びます。

USBフラッシュメモリーを1個だけ接続している場合は「USB 01」のみが表示されます。2個目を差すと、「USB 02」と表示されます。目的のUSBフラッシュメモリーが選択されていない場合は、データコントロールダイヤルを回して選びます。

 関連ページ
USBフラッシュメモリーが見つからないときは(129ページ)

NOTE
両方の[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続しておき、楽器の電源を立ちあげると、どちらがUSB 01/USB 02として表示されるかは、その都度異なります。

- 4 ページボタンを押してツール1ページを表示させます。



5 [D] 「フォーマット」 ボタンを押します。

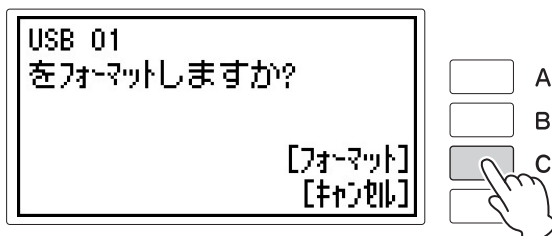
画面にフォーマットするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。
[D] 「キャンセル」 ボタンを押すとフォーマットせずに元の画面に戻ります。

注記

フォーマット中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。

6 [C] 「フォーマット」 ボタンを押してフォーマットを開始します。

フォーマットが終了するとソングページに戻ります。



4 ソングを選ぶ

関連ページ

USBフラッシュメモリー内の構成：フォルダー/ソング/ファイル(131ページ)

注記

アクセス中はUSBフラッシュメモリーを抜かないでください(ランプ付きのUSBフラッシュメモリーの場合、アクセス中はランプが点滅します)。

ここでは、自分の演奏をUSBフラッシュメモリーに録音するときや、USBフラッシュメモリーのデータをエレクトーン本体に読み込むときなどに、必ず行なわなければならない「ソングの選択」操作を説明します。

ソングとは？

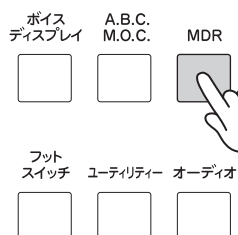
本来は「曲」という意味ですが、エレクトーンでは、USBフラッシュメモリーに1曲分のデータを保存するときの「入れもの」と考えてください。この「入れもの」に、自分の演奏やレジストレーションを保存できます。

関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入し、[MDR]ボタンを押します。

— ディスプレイセレクト —



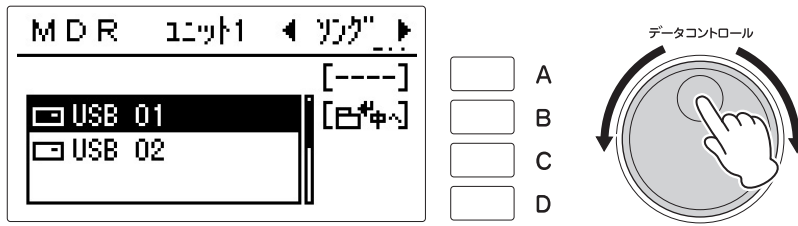
MDR画面 ソングページ



現在選ばれているUSBフラッシュメモリー

MDR画面のソングページが表示されます。ソングはこのページで選びます。

2 USBフラッシュメモリーを選びます。



USBフラッシュメモリーを1個だけ接続している場合は「USB 01」のみが表示されます。2個目を指すと、「USB 02」と表示されます。目的のUSBフラッシュメモリーが選択されていない場合は、データコントロールダイヤルを回して選びます。

関連ページ

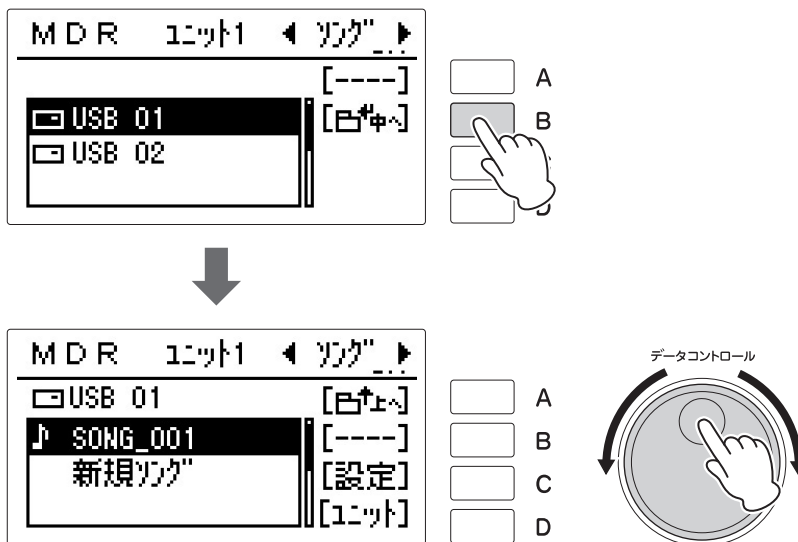
USBフラッシュメモリーが見つからないときは(129ページ)

NOTE

両方の[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続しておき、楽器の電源を入れると、どちらがUSB 01/USB 02として表示されるかは、その都度異なります。

3 ソングを選びます。

[]と同じ位置にある[B]ボタンを押すと、USBフラッシュメモリーの中にあるソングやフォルダーがリスト表示されますので、データコントロールダイヤルを回して目的のソングを選びます。



これからデータを録音したい場合は、「新規ソング」を選びます。「新規ソング」はリストの最後に表示されます。

すでにデータの入っているソングを選んで再生したい場合は、ソング名やアイコンを参考にして、目的のソングを選びます。



目的のソングがフォルダーの中にある場合の選び方は、136ページの「目的のソングを選ぶには」をご参照ください。

NOTE

「新規ソング」は何もデータが入っていない空のソング(入れもの)です。USBフラッシュメモリー内/フォルダー内のソングの数が100未満の場合、自動的に作られます。

関連ページ

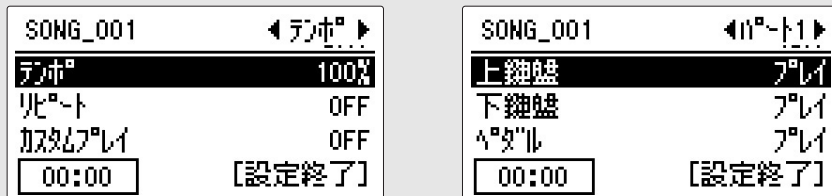
- ・ソング/フォルダーに名前を付ける(144ページ)
- ・アイコン一覧(130ページ)

関連ページ

- 特定のパートだけを再生する (157ページ)
- 再生テンポを変更する(158ページ)

ソングの演奏設定

ソングページで、ソングを選択した状態で[C]「設定」ボタンを押すと、テンポページまたはパート1、2、3ページのいずれかが表示されます。テンポページではそのソングを再生したときのテンポとリピート設定、パートページでは各パートの再生設定ができます。テンポページとパート1、2、3ページは、ページボタンで切り替えます。



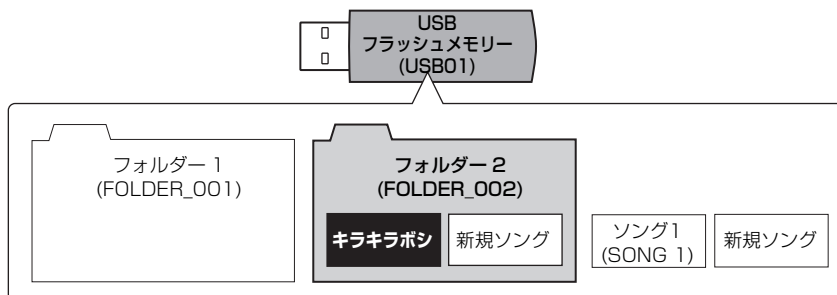
パネル上の[再生/一時停止]ボタンを押したときには、この画面で「プレイ」になっているパートだけが、表示されているテンポ(録音されたときの50%~200%の範囲)で再生されます。演奏データの入っていないソングの場合は、すべてのパートが「OFF」になっています。

NOTE

「新規ソング」は何もデータが入っていない空のソング(入れもの)です。USBフラッシュメモリ内/フォルダー内のソングの数が100未満の場合、自動的に作られます。

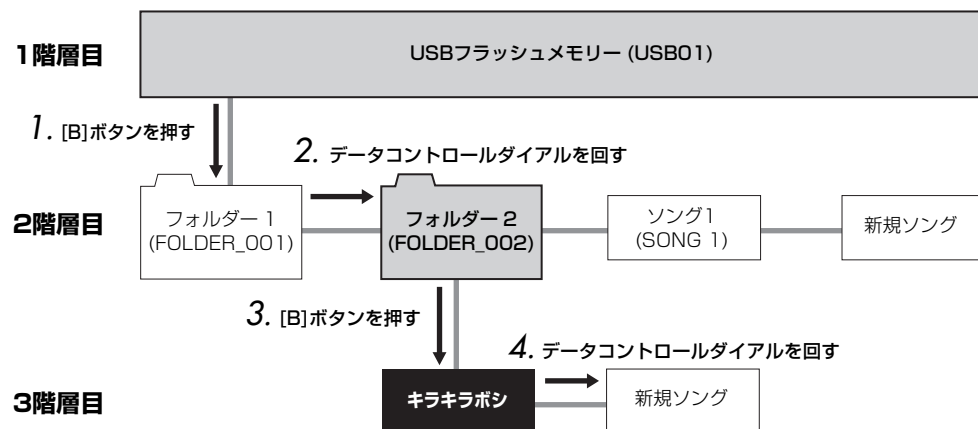
目的のソングを選ぶには：

目的のソングがUSBフラッシュメモリ内のフォルダーに入っていると、そのフォルダーの中に入らない限り、ソングリストからは見えません。そこで、以下のような場合の、目的のソング(この場合キラキラボシ)を選ぶまでの流れと、ボタン操作について説明します。



上のイラストを階層化したのが下図です。

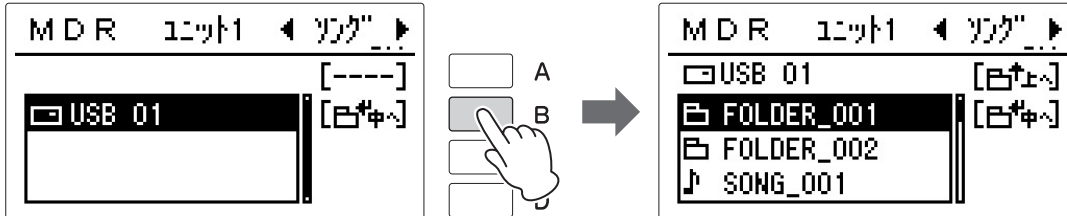
目的のソング「キラキラボシ」を選ぶには、矢印をたどります。



同じ階層内にあるソングやフォルダーは、データコントロールダイヤルを回すことで1つずつ順番に選べます。

実際のボタン操作は以下のように行ないます。

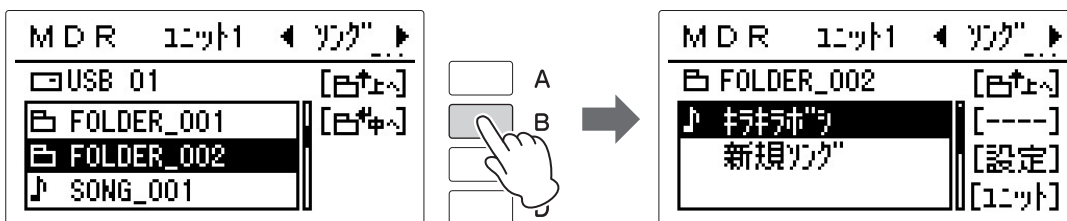
- 1 USBフラッシュメモリーを選んだ状態で、[戻る]と同じ位置にある[B]ボタンを押して、USBフラッシュメモリー内の中身を表示させます。



フォルダー 1 (FOLDER_001) とフォルダー 2 (FOLDER_002)、ソング 1 (SONG_001)が表示されます。

- 2 データコントロールダイヤルを回して、フォルダー 2 (FOLDER_002)を選びます。

- 3 [戻る]と同じ位置にある[B]ボタンを押して、フォルダー 2の中身を表示させます。



この例ではすでにキラキラボシが選択された状態です。

- 4 データコントロールダイヤルを回して、目的のソング「キラキラボシ」を選びます。

5 演奏を録音する

MDR録音

演奏をソングとしてUSBフラッシュメモリーに録音(記録)します。鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録します。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報を記録し、音そのものは記録しません。記録された演奏情報にもとづいて、楽器が鳴ることではじめて音になります。楽器上で選ばれているボイスやエフェクトの設定(レジストレーション)も一緒に記録します。また、鍵盤パートごとに録音したり、録音後に部分的に録音し直したりできます。

MDR録音では、エレクトーンで再生するためのデータとして録音するため、録音したソングを携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生することはできません。携帯音楽プレーヤーなどで再生したい場合は、7章「オーディオ」の172ページ「演奏を録音する」の方法で録音してください。

演奏を録音する

演奏を録音する前に、あらかじめ、レジストレーションメモリーの設定など、録音したい曲の演奏の準備をしておきましょう。

関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

NOTE

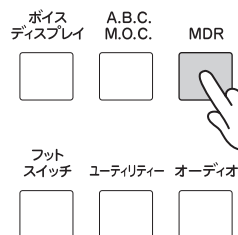
ネクストユニットを使ったソングを録音するときは、[録音]ボタンを押す前に必ず[再生/一時停止]ボタンを押します。詳しくは154ページをご参照ください。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

2 [MDR]ボタンを押して、演奏を録音するための、何も入っていないソング(新規ソング)を選択します。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

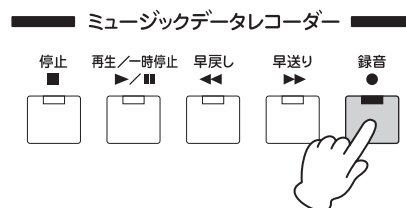
— ディスプレイセレクト —



3 パネル左の[録音]ボタンを押します。


[録音]ボタンのランプが点灯し、録音待機状態になります。

このとき[停止]ボタンを押すと、録音待機状態はキャンセルされます。



4 パネル左の[再生/一時停止]ボタンを押して、録音を開始します。

現在のエレクトーンの設定(レジストレーションデータ)がユニットとしてソングに書き込まれます。

 [関連ページ](#)
ユニット(119ページ)

5 画面の左下の表示が「-----」から「00:00」になったことを確認してから、演奏を開始します。

6 演奏が終わったら、パネル左の[停止]ボタンを押します。

録音を終了し、演奏データをソングに書き込みます。録音したソングには、「SONG_001」などと表示され、そのソングにデータが録音されたことを示します。録音したソングには、名前をつける(変更する)ことができます。ソング名の変更については、144ページをご覧ください。

注記
書き込み中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。

7 [再生/一時停止]ボタンを押して、録音した演奏を聞いてみます。

再生を開始するまでは、レジストレーションなどの読み込みのため、1~2秒かかります。(再生については、155ページをご参照ください。)

MDR の概要

MDR は、演奏データだけではなくパネル面のレジストレーションデータや音量の加減などのコントロールデータをデジタル信号として記録します。MDR が記録するデータは、大きく分けて以下の3種類に分類できます。

1. レジストレーションデータ


パネル上のレジストレーションだけでなく、前もってレジストレーションメモリーボタンに記録されているデータも、演奏を録音する前に記録されます。またレジストレーションシフトの設定や、リズムパターン(ユーザーリズム)やリズムシーケンスデータ、そしてユーザー音色などを含めたデータも記録されます。

2. 演奏データ

演奏データを、フォルティシモからピアノシモまで、演奏の微妙な変化も逃さず録音します。上鍵盤、下鍵盤、ペダル、リード、キーボードパーカッションをそれぞれ別々に記録しますので、ほかのパートに影響を与えることなく変更できます。

3. コントロールデータ

演奏中のエレクトーン上の設定変更をすべて記録します。LCD ディスプレイ上での各種設定の変更操作やエクスプレッションペダル、フットスイッチの情報もすべて記録されます。

 [関連ページ](#)
レジストレーションを保存する
(147ページ)

6

ミュージックデータレコーダー(MDR)

録音をやり直す

NOTE

[停止]ボタンを押して録音モードから出てしまったあと、同じレジストレーションを使って演奏だけやり直したい場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 演奏をやり直したいソングを選んで、演奏データのみ削除します。

ソング選択後、ページボタンでツール1ページを表示させ、[B]「削除」ボタンを押します。ソング全体を削除するか、演奏データのみを削除するか確認するメッセージが表示されますので、[C]「演奏のみ」ボタンを押して、演奏データのみ削除します。

- 2 ソングのユニットを楽器に読み込みます。(154ページ)

- 3 「録音のやり直し」ではなく、通常の録音操作をしてください。

録音中に演奏をミスした場合には、はじめから録音をやり直すことができます。

- 1 録音中に、[録音]ボタンを押します。

録音が中止され、曲の頭に戻ります。[再生/一時停止]ボタンのランプが点滅を始め、再度録音が可能になったことを知らせます。

- 2 もう一度[再生/一時停止]ボタンを押します。

ふたたび録音が始まります。さきほど録音したデータは、すべて新しいデータに置き換わります。

- 3 [停止]ボタンを押します。

パートごとに録音する

NOTE

コントロールデータとは、画面上での各種設定の変更操作やエクスプレッションペダル、フットスイッチの情報など、演奏中のエレクトーン上の設定変更をすべて記録したものです。

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の、それぞれのパートの演奏や、レジストレーションの変更やエクスプレッションペダルの操作といったコントロールデータを、個別に記録できます。また、リードボイス1とキーボードパーカッションは、上鍵盤/下鍵盤の演奏と独立して録音することもできます。ここでは、はじめに下鍵盤とペダル鍵盤の演奏を録音し、次に上鍵盤の演奏を録音する手順を例に説明します。

- 1 138ページの「演奏を録音する」、手順1～3の操作を行いません。



- 2 ページボタンで、パート1ページまたはパート2ページに切り替えます。

3 パートページ上で、録音したいパートを選択します。

ここでは下鍵盤とペダル鍵盤を「レコード」にし、それ以外は「オフ」にします。



NOTE

演奏中のレジストレーションの変更やエクスペリションペダルの操作も一緒に録音するために、コントロールも「レコード」に設定しておくことをおすすめします。

各パートに対応した[A]～[C]ボタンを押すたびに、そのパートの状態が「プレイ」→「オフ」→「レコード」の順番で切り替わります。録音したいパートを「レコード」にし、録音したくないパートを「オフ」または「プレイ」にします。

NOTE

キーボードパーカッションを録音する場合は、パネル上のキーボードパーカッション [1] ボタンがオンになっていることを確認してください。

プレイ：すでに録音してあるパートを再生します。

オフ：録音や再生を行ないません。

レコード：録音します。

上鍵盤を「レコード」にすると、上鍵盤のボイスセクション(リードボイス1も含む)の演奏が録音されますが、リードを「レコード」にすると、リードボイス1の演奏だけを録音することもできます(リード分離)。上鍵盤とリードを同時に「レコード」にすることはできません。下鍵盤とキーボードパーカッションも同様です。

4 [再生/一時停止]ボタンを押し、画面左下の表示が「-----」から「00:00」に変わったら演奏を開始します。

5 (下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏が終了したら、[停止]ボタンを押します。

これで(下鍵盤とペダル鍵盤の)パート録音ができました。

次に、録音しなかった(上鍵盤)パートの録音を行ないます。

6 [録音]ボタンを押します。

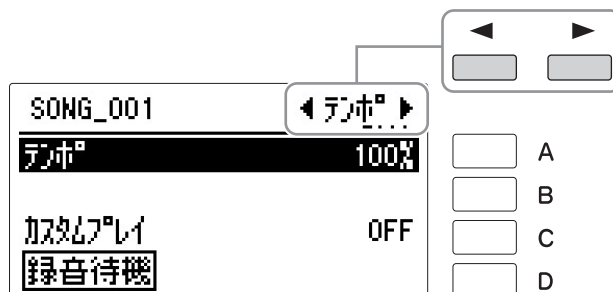
上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]と同じ位置にある[C]ボタンを押します。

7 ページボタンでパートページに切り替えて、録音したいパートを選択します。

新たに録音したいパート(ここでは上鍵盤)を「レコード」にします。また、手順2で録音したパート(ここでは下鍵盤とペダル鍵盤)を「プレイ」にすると、さきほど録音したデータが再生され、再生音を聞きながらほかのパートを録音できます。

テンポを変更したい場合は、手順8と9を行なってください。テンポを変更しない場合は、手順10へ進んでください。

8 ページボタンでテンポページに切り替えます。



9 再生テンポを変更します。

再生テンポは50%~200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。

[A]ボタンでテンポを選択し、データコントロールダイヤルで設定します。

10 新しいパートを録音するために、[C]ボタンを押して「カスタムプレイ」を「オン」にします。

11 パネル左の[再生/一時停止]ボタンを押すと録音が始まりますので、演奏します。

すでに録音したパート(下鍵盤とペダル鍵盤)の再生が始まりますので、それにあわせて新規のパート(上鍵盤)の演奏を始めます。「カスタムプレイ」は、レジストレーションデータ以外のデータを録音/再生する場合に使います。レジストレーションデータは手順3ですすでに記録されていますので、すぐに録音できる状態になります。

前回録音したソングの最後まで行くと、MDRは自動的にストップします。重ねて録音するパートの長さは、その前に録音したパートの長さ以上にはなりません。

12 演奏が終わったらパネル左の[停止]ボタンを押します。

パンチイン録音

録音したソングの一部だけを録音し直すことができます。パートを選択することによって特定のパートだけをパンチイン録音することもできます。

NOTE

休符と休符ではさまれたフレーズごとに、パンチイン録音すると便利です。

- 1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。
- 2 [MDR]ボタンを押して、パンチイン録音したいソングを選びます。
ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。
- 3 [再生/一時停止]ボタンを押して、ソングを再生します。
- 4 録音し直したい位置で、[再生/一時停止]ボタンを押します。
ソング再生が一時停止状態になります。
- 5 [録音]ボタンを押します。
[録音]ボタンのランプが点灯し、録音待機状態になったことを示します。
- 6 録音をやり直したいパートを「レコード」に設定し、それ以外のパートは「プレイ」に設定します。
設定はパートページで行ないます。ページボタンでパート1ページまたはパート2ページに切り替えます。
このとき[停止]ボタンを押すと、録音待機状態はキャンセルされます。
- 7 [再生/一時停止]ボタンを押して録音を開始します。変更したい部分だけを演奏します。
- 8 録音し直したい部分の演奏が終わったら、速やかに[停止]ボタンを押して録音を終了します。



関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)



関連ページ

パートごとに録音する (140ページ)

6

ミュージックデータレコーダー (MDR)

6 ソング/フォルダーに名前を付ける

NOTE

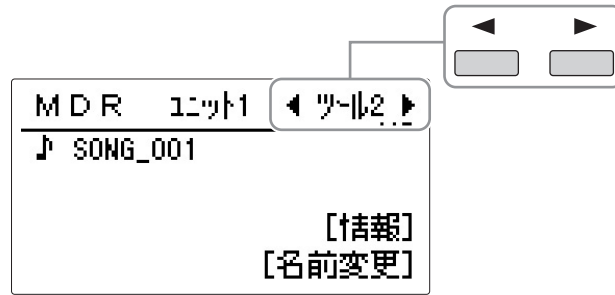
EL-900などのELシリーズで作成したソングの名前を変更することはできません。

演奏やレジストレーションを録音したソングに名前を付けることができます。曲名や、録音した日付などをソング名にしておくとう便利です。ソングもフォルダーも名前の付け方は同じですので、ここではソングを例に説明します。

関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

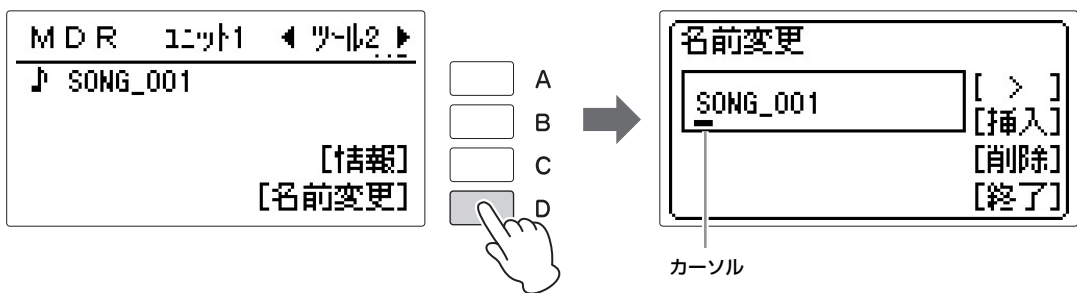
- 1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。
- 2 [MDR]ボタンを押して、名前を変更したいソングを選びます。
ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。
- 3 ページボタンを押して、ツール2ページを表示させます。



NOTE

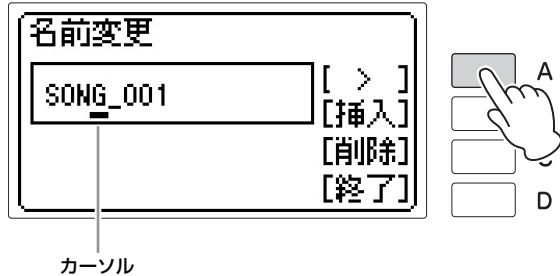
データが入っていない空のソング「新規ソング」のままでは名前の変更できません。演奏の録音など操作を行ってから変更します。

- 4 [D]「名前変更」ボタンを押します。
名前変更画面が表示されます。



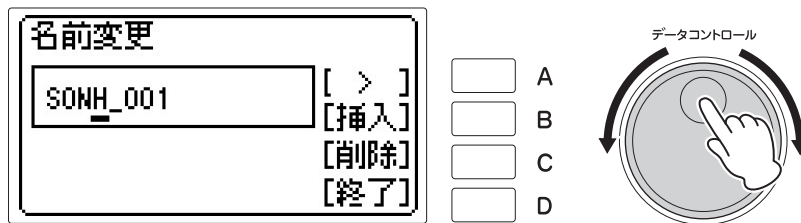
5 [A]ボタンを使って、文字を入力したい位置にカーソルを移動します。

[A]ボタンを押すたびに、カーソルは右に1つずつ移動します。[A]ボタンを押しているあいだ、カーソルは移動し続けます。文字列の右端まで来たら、カーソルは左端に戻ります。

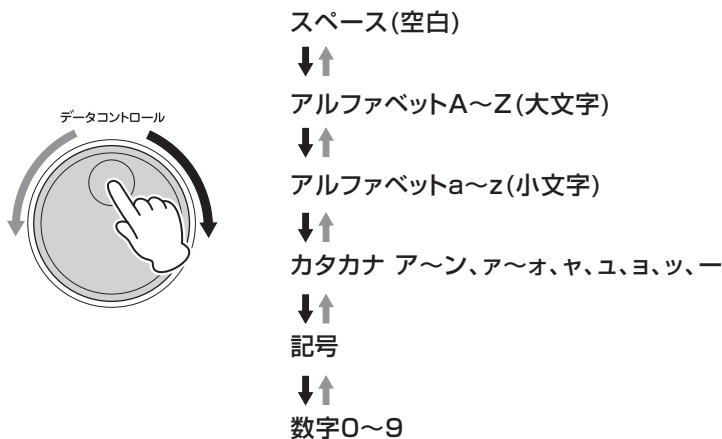


6 カーソル位置にある文字を変更します。

データコントロールダイヤルを右に1つ回すと、カーソルを合わせた文字の次の文字が表示されます。たとえばイラストの場合、アルファベットの大文字「G」の次の文字、「H」が表示されます。



データコントロールダイヤルを右に回すと、文字は以下の順番で表示されます。左に回すとその逆の順番で表示されます。



文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせ、[C]ボタンを押します。
文字が削除されると、削除位置より右側の文字が左側へ移動します。

文字を挿入するには

文字を挿入したい位置の1つ右側の文字にカーソルを合わせ、[B]ボタンを押し、データコントロールダイヤルを回します。

NOTE

言語設定(27ページ)を「ENGLISH」(英語)にしている場合、カタカナは入力できません。

NOTE

漢字の入力はできません。

NOTE

XGソングのソング名は最大で全角23文字です。

7 手順5～6をくり返して、ソング名を入力します。

最大で25文字(半角文字の場合は50文字)まで入力できます。

8 名前を決めたら[D]「終了」ボタンを押します。

名前を変更するかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[D]ボタンを押すと名前を変更せずに元の画面に戻ります。

9 [C]「変更」ボタンを押して、名前を確定します。

確定した名前が表示されます。

ソング名やフォルダー名を付けて画面上の[変更]と同じ位置にある[C]ボタンを押すと、「入力された名前は使用できません」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、別の名前を入力し直してください。

また、コンピューターでファイル名を編集するときには、以下のファイル名は使用しないでください。エレクトーンの動作が不安定になったり、ファイルが自動的に削除されたりします(xxには数字が入ります)。

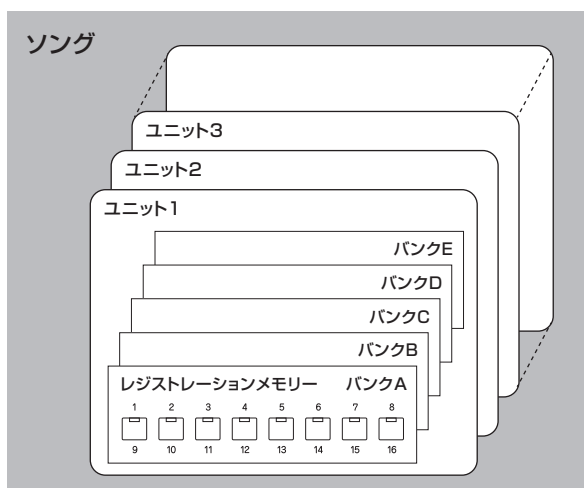
MDR_xx.EVT	ELS_SONG.NAM	MDR_xxx.TMP	TMP
MDR_xx.MID	MDR_xxx.MID	REG_xxx.TMP	TMP.E02
MDR_xx.Bxx	REG_xxx.B00	ELS_SONG.TMP	MDR_xx.Vxx
SONG_xxx.C02	SONG.NAM		

7 レジストレーションを保存する

演奏データを録音せずに、レジストレーションメモリーなどのデータだけを保存することもできます。楽器に記録したレジストレーションメモリー 16個×5バンク分など、下記データをひとまとめにして、ソングのユニットに保存できます。

ユニットに保存されるデータ

- レジストレーションメモリー 16個× 5バンク
- レジストレーションシフト
- リバーブタイプ、ディスエーブルモード、[ディスエーブル]ボタンのオン/オフ
- ユーザーキーボードパーカッション
- (ELSシリーズで作られたデータをこの楽器に読み込んだ場合) ユーザーリズム、リズムシーケンスデータ、ユーザーボイス、ボイスリンクデータ



NOTE

ナンバーボタン16個のうち[1]と[2]にしか記録してなくても、ユニットに保存する際には必ず16個分のレジストレーションメモリーがまとめて保存されます。ナンバーボタンが何も記録されていない初期設定の状態の場合は、ナンバーボタンにプリセットされている基本的なレジストレーションが保存されます。

NOTE

ユニットを保存できるのはELS、ELBシリーズで作ったソングのみです。ELソング(EL-900などELシリーズで作ったソング)にはユニットの保存はできません。

関連ページ

バンクとユニット(119ページ)

関連ページ

メモリーできない機能(112ページ)

記録する方法は以下の2通りがあります。

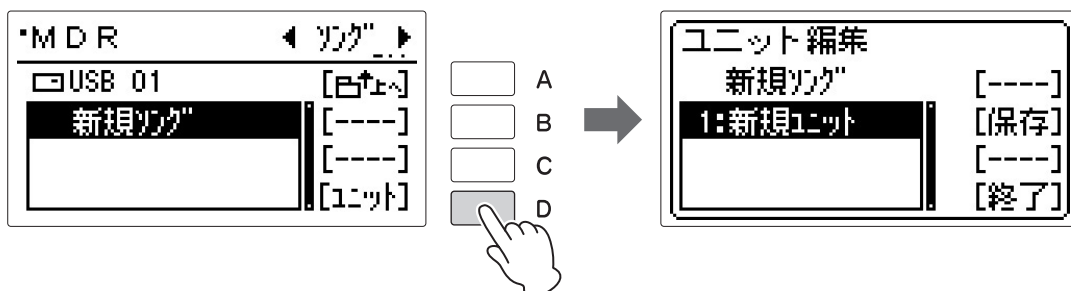
方法1

- 1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。
- 2 保存したいレジストレーションなどのデータを設定します。
- 3 [MDR]ボタンを押して、保存先となる空のソングを選択します。
何もデータが入っていないソング(新規ソング)を選びます。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

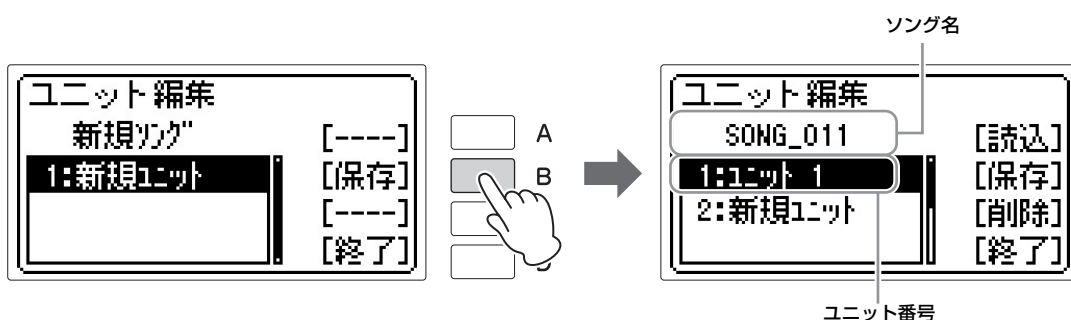
関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

- 4** [D] 「ユニット」 ボタンを押してユニット編集画面を表示させます。
新規ユニット(何も入っていないユニット)が選ばれます。



- 5** [B] 「保存」 ボタンを押します。
レジストレーションデータを保存中であることを示すメッセージが、画面上に表示されます。メッセージが消えたあと、レジストレーションが保存されたユニットは「ユニット 1」などと名前が自動的に付けられます。[D] 「終了」 ボタンを押すとソングページに戻り、ソング名が「SONG xxx」(xxxには数字が入ります)になります。



関連ページ
ソング/フォルダーに名前を付ける(144ページ)

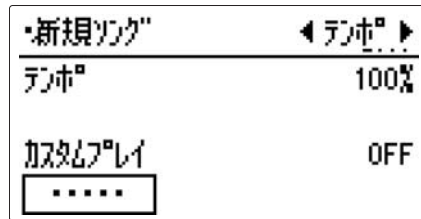
- 6** [D] 「終了」 ボタンを押して、ユニット編集画面から抜けます。

方法2

- 1** 方法1の手順1~3と同じ手順で、保存したいレジストレーションなどのデータを設定し、保存先となる、何もデータが入っていないソング(新規ソング)を選びます。
- 2** パネルの[録音]ボタンを押して、録音待機状態にします。

3 パネルの[再生/一時停止]ボタンを押して、画面左下の表示が「----」から「00:00」になる前に、すぐに[停止]ボタンを押します。

この操作は演奏を録音するときと同じです。MDRが演奏データの録音を始める前に、レジストレーションなどのデータを読み込んだところで、録音を中断して、レジストレーションなどのデータだけを保存するものです。

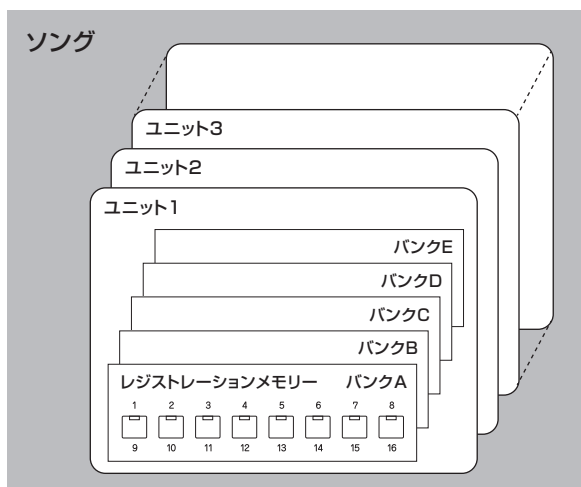


1つのソングに複数のレジストレーションを保存する

1つのソングで5バンク(=1ユニット)を超えるレジストレーションを使用したい場合などに、1つのソングに複数のユニットを保存します。ここでは、すでに1ユニットのレジストレーションが保存されているソングに、さらにユニットを追加する方法を説明します。ユニットは最大50まで保存できます。

NOTE

最大50ユニットまで保存できますが、バンク数の合計は最大50までのため、1つのユニットで5バンク使用していると、最大10ユニットまでになります。



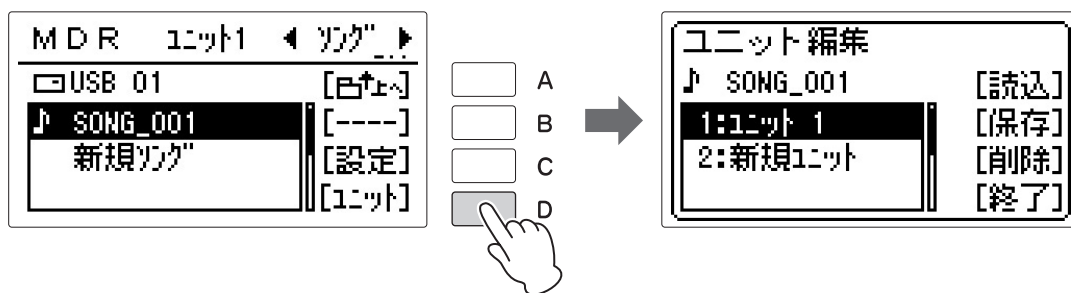
1 保存したいレジストレーションなどのデータを設定します。

2 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。


3 [MDR]ボタンを押して、保存先となるソングを選択します。

すでにユニットが保存されているソングを選択します。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

4 [D]「ユニット」ボタンを押して、ユニット編集画面を表示させます。



ユニット編集画面には、すでに保存されているレジストレーションが、ユニットとして(ユニット1、ユニット2、など)表示されています。

 **関連ページ**
ファイルとは(131ページ)

5 データコントロールダイヤルを回して、表示されているユニットの一番下にある、「新規ユニット」を選びます。

「新規ユニット」は何もレジストレーションデータが入っていない空のユニットです。ここに追加データを保存します。

6 [B]「保存」ボタンを押します。

すでに保存されていたユニットの下に、新しくユニットが追加されます。

7 [D]「終了」ボタンを押して、ユニット編集画面から抜けます。

このソングを再生したい場合は、[D]「終了」ボタンを押してソングページまで戻ってから、[再生/一時停止]ボタンを押してください。ソングが再生されると「ユニット1」のレジストレーションが読み込まれます。ただしソングを再生しただけでは、次のユニットが自動で呼び出されることはありません。次のユニットを自動で呼び出す方法については、「80種類以上のレジストレーションを続けて再生する: ネクストユニット」(153ページ)をご覧ください。

NOTE

ネクストソングを設定したELソング(EL-900などELシリーズで作ったソング)を再生した場合、現在選択されているソングの次のソングのユニットデータを再生します。


レジストレーションデータを任意のユニットに上書き保存する

演奏データを変えずに、録音されているソングのレジストレーションデータだけをユニット単位で差し替え、保存ができます

1 保存したいレジストレーションなどのデータを設定します。

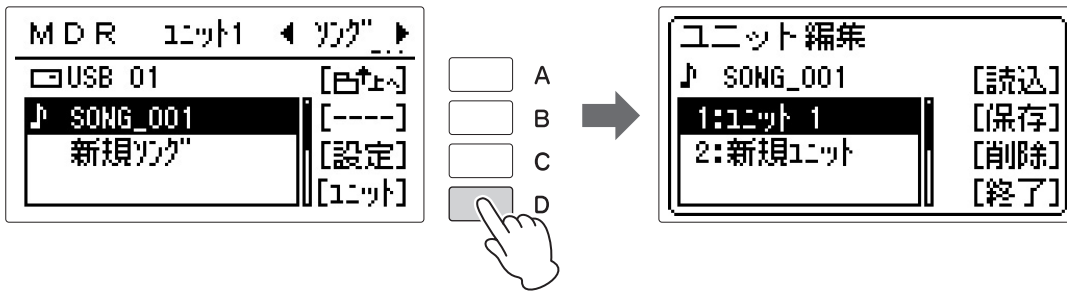
2 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

3 [MDR]ボタンを押して、レジストレーションの入っているソングを選択します。

 関連ページ
アイコン一覧(130ページ)

演奏データの入っているソングには、音符(♪)アイコンがついています。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

4 [D]ボタンを押して、ユニット編集画面を表示させます。



ユニット編集画面には、すでに保存されているレジストレーションが、ユニットとして(ユニット1、ユニット2、など)表示されています。

5 ユニット編集画面で、データコントロールダイヤルを回して、上書きしたいユニットを選びます。

6 [B]「保存」ボタンを押します。

上書きをするかどうか確認を求めメッセージが表示されます。[D]「キャンセル」ボタンを押すと上書きせずに、元の画面に戻ります。

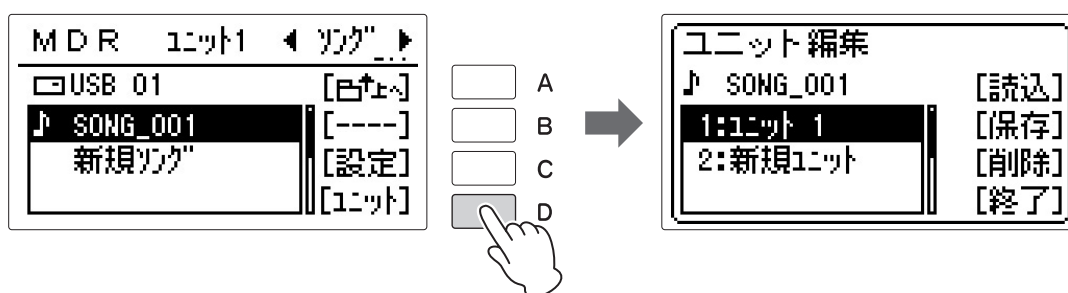
7 [C]「上書き」ボタンを押すと、ユニットが上書きされます。

8 [D]「終了」ボタンを押して、ユニット編集画面から抜けます。

レジストレーションの入ったユニットを削除する

ソングに保存したレジストレーションを削除できます。

- 1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。
- 2 [MDR]ボタンを押して、削除したいレジストレーションの入っているソングを選択します。
ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。
- 3 [D]「ユニット」ボタンを押して、ユニット編集画面を表示させます。



ユニット編集画面には、すでに保存されているレジストレーションが、ユニットとして(ユニット1、ユニット2、など)表示されています。

- 4 データコントロールダイヤルを回して、削除したいユニットを選びます。
- 5 [C]「削除」ボタンを押します。
レジストレーションを削除するかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。
[D]「キャンセル」ボタンを押すと削除せずに元の画面に戻ります。
- 6 [C]「削除」ボタンを押すと、ユニットが削除されます。
- 7 [D]「終了」ボタンを押して、ユニット編集画面から抜けます。

NOTE

演奏データがなく、ユニット(レジストレーション)のみのソングからすべてのユニットを削除すると、ソング自体が削除されます。

80種類以上のレジストレーションを続けて再生する: ネクストユニット

楽器に記録した16個×5バンク=80種類のレジストレーションを使って、再生させる順番を400まで設定できることはすでに123ページ「レジストレーションメモリーの順番を設定するには」でご説明しました。80種類を超えてレジストレーションを使用する曲を演奏する場合は、1つのソング内にユニットを複数保存し、必要な設定をすることで、ユニットを次々に呼び出して再生します。これをネクストユニット機能といいます。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

2 再生の順番を設定したレジストレーションをつくります。

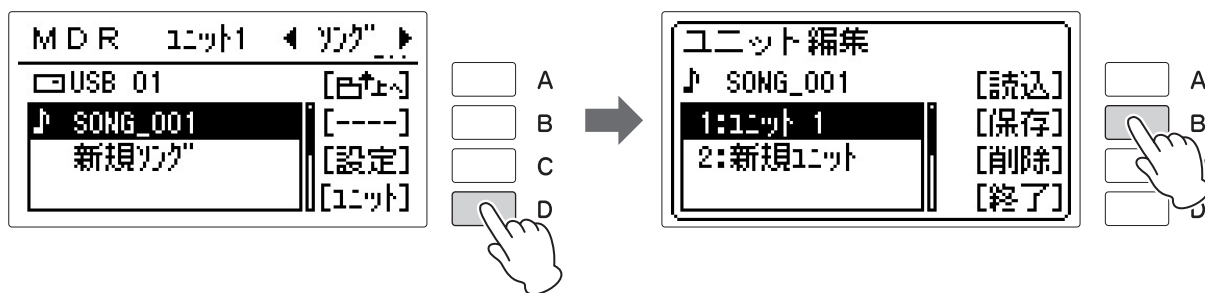
レジストシフト(ライト)画面のページ1でモードを「ユーザー」、シフトエンドを「ネクスト」に設定し、同じ画面のページ2で、レジストレーションメモリーの順番を設定します。

123ページの「レジストレーションメモリーの順番を設定するには」をご参照ください。

3 [MDR] ボタンを押して、保存先となるソングを選択します。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

4 ユニット編集画面を呼び出して、レジストレーションを新規ユニットに保存します。



5 [D]「終了」ボタンを押してユニット編集画面から抜けます。

6 手順2～5を繰り返して、使用したいユニットを複数、使用する順に1つのソングに保存します。

149ページの「1つのソングに複数のレジストレーションを保存する」をご参照ください。

NOTE

手順2で再生の順番を設定するときは、前に設定した順番を削除してから行なってください。

これでネクストユニット機能を使って演奏する準備が整いました。以下の手順で演奏できます。

7 ネクストユニットを設定したソングを選びます。

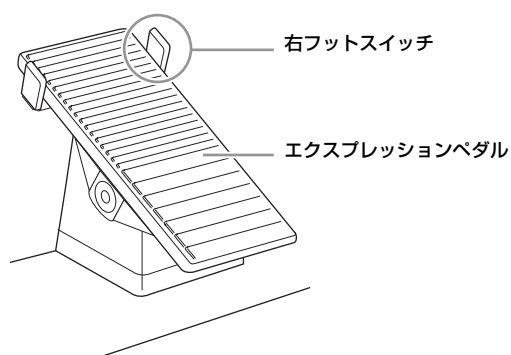
ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

8 [再生/一時停止]ボタンを押します。

保存した複数のユニットのうち最初のユニットがエレクトーンに読み込まれます。

9 演奏しながら、右フットスイッチを押します。

右フットスイッチを押すたびに、レジストレーションデータが切り替わります。最初のユニットの最後のレジストレーションで右フットスイッチを押すと、自動的に次のユニットが読み込まれ、ふたたび右フットスイッチを押すたびにレジストレーションが切り替わります。



注記

ネクストユニットを使用するソングで、録音をしたい場合は、ソングを選んだあと必ず[再生/一時停止]ボタンを押して、先頭のユニットをエレクトーンに読み込んでおきます。録音の場合、先頭以外のユニットがエレクトーンに読み込まれている状態で録音操作を行なうと、「楽器上に読み込まれているデータはユニット xx です。ユニット1に保存しますか?」というメッセージが出ます。「OK」を選ぶと、次のユニットのレジストレーションがソングの先頭のユニットに書き込まれてしまい、もとのレジストレーションが消えてしまいますので、ご注意ください。

NOTE

リズムの再生中にレジストレーションを読み込むと、ELSシリーズで作成したユーザーリズムとシーケンスデータは読み込まれません。

8 レジストレーションデータを読み込む

ソングに保存されたレジストレーションデータは、簡単にエレクトーンに戻すことができます。

レジストレーションの読み込み

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

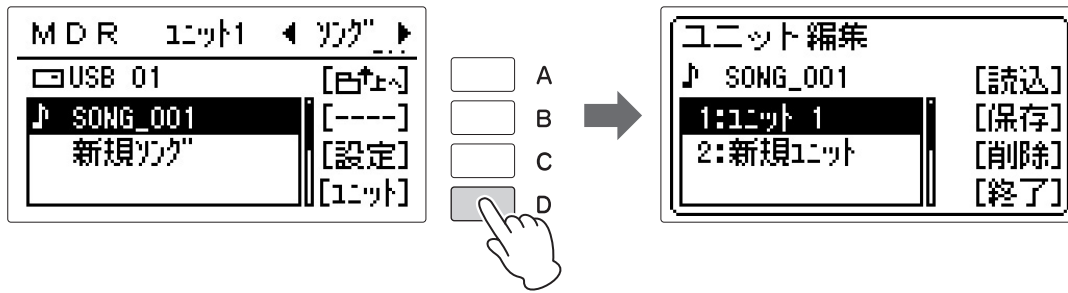
2 [MDR]ボタンを押して、読み込みたいデータが入っているソングを選択します。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

3 [D] 「ユニット」 ボタンを押して、ユニット編集画面を表示させます。



4 ユニット編集画面で、読み込みたいレジストレーションが入っているユニットを、データコントロールダイヤルを回して選択します。

5 [A] 「読み込み」 ボタンを押します。

ユニットを読み込むかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。

[D] 「キャンセル」 ボタンを押すと読み込まずに元の画面に戻ります。

6 [C] 「読込」 ボタンを押すと、ユニットが読み込まれます。

ユニットに保存されていた、ナンバーボタン16個×5バンクなどの設定が、エレクトーン本体に読み込まれます。

NOTE

リズムの再生中にレジストレーションを読み込むと、ELSシリーズで作成したユーザーリズムとシーケンスデータは読み込まれません。

7 [D] 「終了」 ボタンを押して、ユニット編集画面から抜けます。

9 ソングを再生する

MDRで録音したソングの再生方法を説明します。MDRでは市販のソングデータも再生できるので、合わせて説明します。

エレクトーンでソングを再生すると、演奏を聞いて楽しむだけでなく、曲に保存されたレジストレーションがエレクトーン本体に読み込まれるため、そのレジストレーションを使って演奏できます。

注記

ソングを再生すると、ソングの先頭のユニットに保存されているレジストレーションデータがエレクトーン本体に読み込まれるため、エレクトーン本体に記録していたレジストレーションデータはユニットごと上書きされ、消えてしまいます。大切なデータはあらかじめ「レジストレーションを保存する」を参考にソングに保存してください。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

関連ページ


動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

2 [MDR] ボタンを押して、再生させたいソングを選択します。


ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

NOTE

USBフラッシュメモリーの中にオーディオファイルが入っていても、MDR画面にオーディオファイルは表示されません。


 関連ページ

80種類以上のレジストレーションを続けて再生する: ネクストユニット(153ページ)

 関連ページ

市販のXGソングなど、エレクトーン以外で作られたソングにレジストレーションデータは含まれていません。


3 [再生/一時停止]ボタンを押して、再生を開始します。

ソングにレジストレーションデータがある場合は、画面の左下に「----」が表示され、そのソングのレジストレーションデータを読み込んでいることを示します。1つのソングに複数のユニットを保存していた場合は、先頭のユニットが読み込まれます。演奏データの入っていない( アイコンがない)ソングの場合、レジストレーションの読み込みが終了すると、ソングページに戻ります。音は鳴りません。

4 演奏データがある場合、レジストレーションデータの読み込みが終了すると、再生が自動的に始まります(演奏データがない場合、音は鳴りません)。

画面左下には、時間の経過を表す数字が表示されます。通常は、ソングに録音してあるすべてのパートが再生されますが、特定のパートだけを再生したり、ミュートしたりすることもできます。詳しくは157ページをご覧ください。
曲の最後まで再生されると自動的にストップします。曲の途中で[停止]ボタンを押して、再生を中止することもできます。

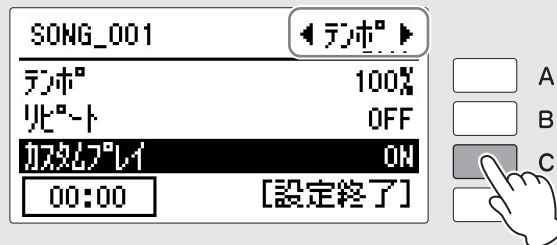
ELSシリーズなど、ほかのエレクトーンで作成したデータも再生できますが、音などがもとのデータと異なって聞こえる場合があります。

 関連ページ

ソングの演奏設定(136ページ)

カスタムプレイ

レジストレーションやほかのデータを読み込まないで、演奏データだけを再生したい場合は、カスタムプレイを行ないます。[再生/一時停止]ボタンをそのまま押すのではなく、テンポページで「カスタムプレイ」をON(オン)にしてから、パネルの[再生/一時停止]ボタンを押します。すぐに再生がスタートします。



ネクストユニット機能を使った曲を再生する場合には、「カスタムプレイ」をOFF(オフ)にしてから、[再生/一時停止]ボタンで再生をスタートさせてください。


特定のパートだけを再生する

MDRでは、演奏データの特定のパートだけを再生することもできます。特定のパートの練習をする場合などに便利です。

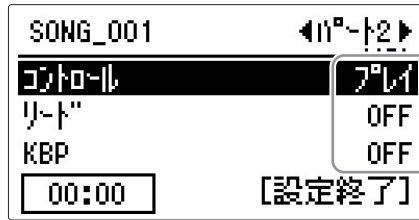
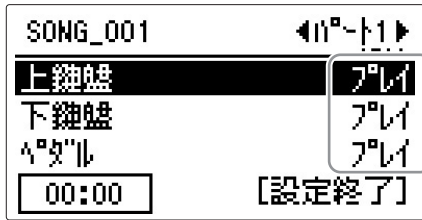
特定のパートだけを再生するには:

ソングの再生前または再生中に、[A]~[C]ボタンを使って、再生したいパートは「プレイ」、再生したくないパートは「OFF」に設定します。[A]~[C]ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

XGパートの再生設定はパート3ページで設定します。

 関連ページ

ソングの演奏設定(136ページ)



早戻し/早送り/一時停止

ソングの再生中に、早戻しや早送り、一時停止ができます。



早戻し/早送りをするには:

[早戻し]または[早送り]ボタンを押したままにします。ソングの再生は中断され、画面の時間表示も、早戻し/早送りに従って変化します。ボタンをはなしても、再生は中断されたままです。早戻し/早送りをしたところから再生をスタートするには、[再生/一時停止]ボタンを押してください。

一時停止するには:

ソングの再生中に、[再生/一時停止]ボタンを押すと、再生が一時停止します。[再生/一時停止]ボタンをもう一度押すと、一時停止したところから再生がスタートします。

再生テンポを変更する

USBフラッシュメモリーに録音されているソングの再生テンポの変更方法をご紹介します。ソング名に **♪** マークがあるかどうかによって操作が異なりますので、最初に **♪** マークの有無を確認してください。

♪ マーク付きの場合：

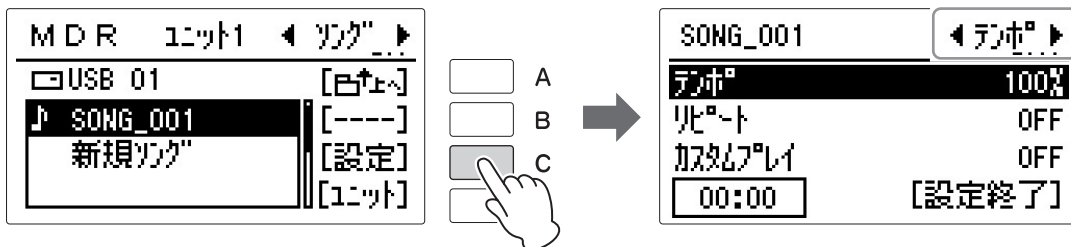
以下の手順でご紹介している方法で変更できます。ソングの再生中でも停止中でも、テンポを変更できます。

♪ マークが付いていない場合：

レジストレーションメモリーのテンポ情報を記録し直すことで、テンポ変更が可能です。新たなテンポのソングデータを作成するためには、テンポ変更をしたいソングをソングコピーをし、編集ソングを作成します。編集ソングを再生し(レジストを読み込む)、テンポ変更したいレジストレーションナンバーボタンを押し、テンポボタンでテンポを変更したのちにレジストレーションナンバーボタンに記録します。テンポ変更したいすべてのレジストレーションナンバーボタンのテンポ変更完了後、編集ソングに上書き保存をしてください。

1 [MDR]ボタンを押して、再生させたい **♪** マーク付きのソングを選択します。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

2 [C]「設定」ボタンを押したあと、ページボタンを使ってテンポページを表示させます。



3 テンポページで、再生テンポを設定します。

[A]ボタンでテンポを選び、そのまま[A]ボタンを続けて押すか、データコントロールダイヤルを回して、再生テンポを変更します。50%~200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。

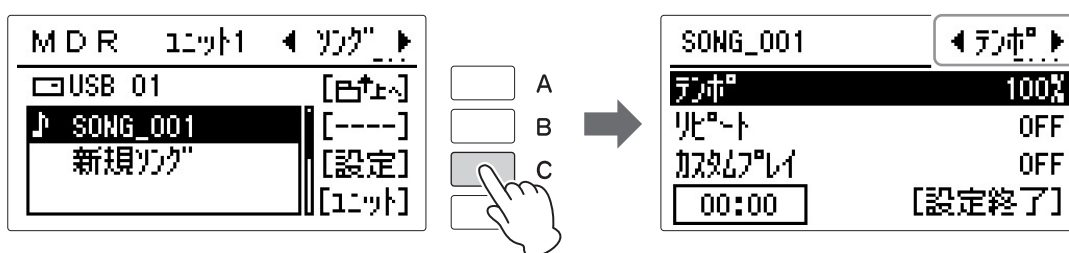
リピート再生する

特定の曲だけを繰り返し再生したり、同じフォルダーに録音されている全部の曲を繰り返し再生したりできます。

1 [MDR]ボタンを押して、リピート再生したいソングを選択します。

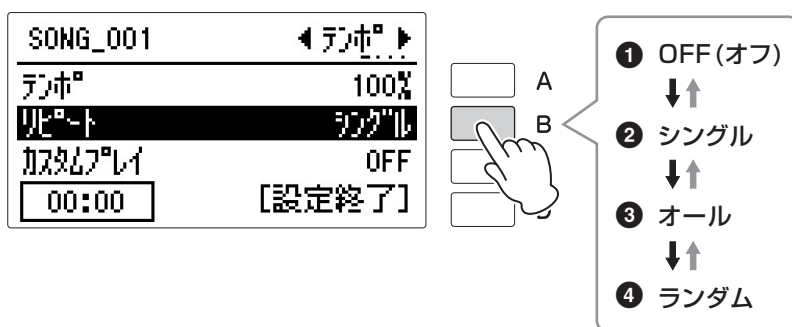
フォルダー内の全曲をリピート再生したい場合は、1曲目に再生したい曲を選択します。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

2 [C]ボタンを押したあと、ページボタンを使ってテンポページを表示させます。



3 リピート再生の方法を選びます。

[B]ボタンを押して「リピート」を選択し、そのまま同じボタンを続けて押すか、データコントロールダイヤルを回してリピートの設定を選びます。



① OFF (オフ)

リピート再生しません。

② シングル

現在選ばれている曲を繰り返し再生します。

③ オール

現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、順番に繰り返し再生します。

④ ランダム

現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、無作為の順番で繰り返し再生します。

4 [再生/一時停止]ボタンを押すと、上で選んだ方法でソングのリPEAT再生がスタートします。

リPEAT設定を解除するには、設定をOFF(オフ)に戻します。

XGソングデータの再生

📎 関連ページ
XG変換機能(169ページ)

市販のXGソングデータや、コンピューターを使って作ったMIDIデータを再生できます。また、エレクトーンで演奏したデータ(録音したソング)をXG変換機能でXGデータに変えた場合も、以下の手順で再生できます。エレクトーンで作成したソングと同じように、再生中の早送り、早戻し、一時停止ができます。

1 XGソングデータの入ったUSBフラッシュメモリーを挿入します。

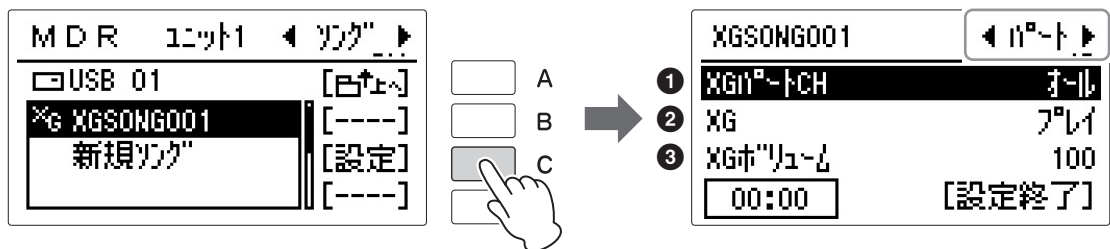
2 [MDR]ボタンを押して、XGソングを選択します。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

📎 関連ページ
ソングの演奏設定(136ページ)

3 [C]「設定」ボタンを押したあと、ページボタンを使ってパートページを表示させます。

各パートのミュート(消音)設定や音量バランスの設定ができます。



① パート選択

再生/ミュートさせるパートや、ボリュームを変更したいパートを選びます。CH1～CH16まで選べます。オールを選ぶとすべてのパートが選ばれます。

[A]ボタンを押して選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

② 再生/ミュート設定

①で設定したパートの再生/ミュートを切り替えます。[B]ボタンを押すたびに、プレイ/オフが切り替わります。再生したいパートを「プレイ」に、再生したくないパートを「オフ」に設定します。

③ ボリューム

①で設定したパートのボリュームを、0～100の範囲で調節します。[C]ボタンを押して選択したあと、データコントロールダイヤルで設定します。

エレクトーンで使える形式のソングでも、XGパートがある場合は、XGパートのボリュームを調節できます。157ページ「特定のパートだけを再生するには」をご覧ください。

10 コピー / 削除 / 変換、フォルダーの作成

ソングをコピーしたり削除したり、あるいはソングの容量を確認したりなどさまざまな機能があります。MDR画面のツールページで設定します。

コピー

1つのソングをコピーしたり、ソングが入ったフォルダーやUSBフラッシュメモリごとコピーしたりする機能です。同じUSBフラッシュメモリ内でも、異なるUSBフラッシュメモリ間でもコピーできます(EL-900などのELシリーズのソングはコピーできません)。USBフラッシュメモリの空き容量が足りない場合や、フォルダー内に100曲のソングが存在している場合は、コピーは実行されません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)ので、あらかじめ空き容量が十分あることをご確認ください。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

異なるUSBフラッシュメモリ間でコピーする場合は、コピーするデータの保存先にするUSBフラッシュメモリも挿入する必要があります。



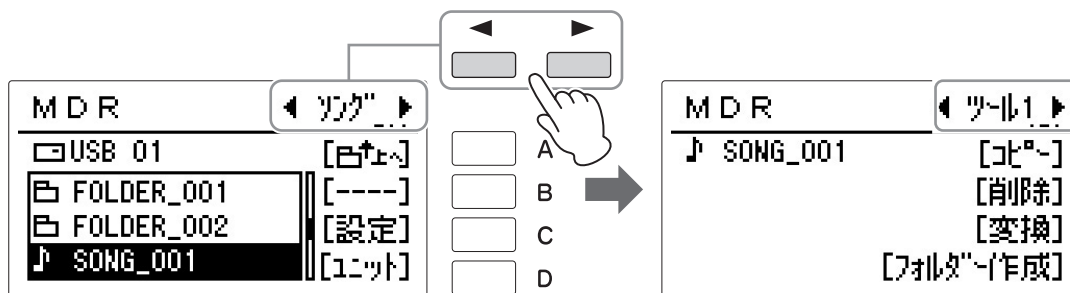
関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

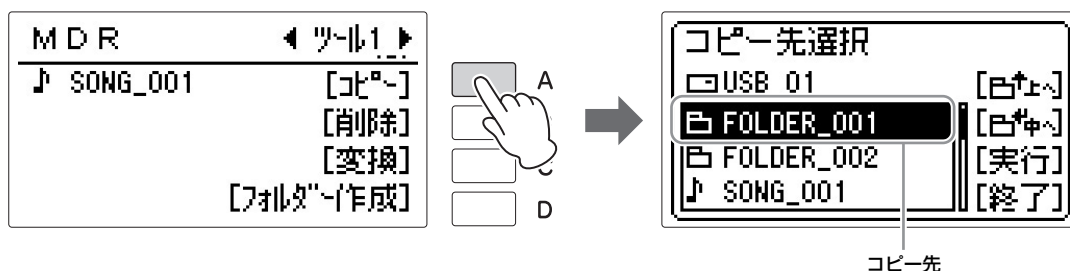
2 [MDR]ボタンを押して、コピーしたいソング、フォルダーまたはUSBフラッシュメモリーを選択します。

ソング、フォルダーまたはUSBフラッシュメモリーの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

3 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。




4 [A]「コピー」ボタンを押して、コピー先選択画面を表示させます。



5 必要に応じて、コピー先(反転表示)を変更します。

コピー先には、フォルダーかUSBフラッシュメモリーを指定します。別のUSBフラッシュメモリーも指定できます。

コピー先の変更については、135ページの手順2、3をご覧ください。

ソングやフォルダーをコピー元のソングやフォルダーと同じ場所にコピーしたいときは、コピー先選択画面が表示されたとき[]で階層を1つ上げてください。

関連ページ

プロテクトソングについて(163ページ)

プロテクトソングの移動

コピー元のソングがプロテクトオリジナルソングまたはプロテクト編集ソングの場合、コピー先に同一フォルダー内を選ぶとコピーできます。コピー先に別のフォルダーを選ぶと「xx(ソング名)を移動します」というメッセージが表示されることがあります。このとき[C]ボタンを押すと、プロテクトオリジナルソングと、プロテクトオリジナルソングからつくられた同一フォルダー内のすべてのプロテクト編集ソングと一緒にコピー先に移動しますので、元のフォルダー内からはなくなります。この場合コピーではなく、移動となります。

NOTE

- USBフラッシュメモリーごとコピーする場合、コピー先のフォルダー名は"#MEDIA"になります。
- 「パス名が長すぎます」などのメッセージが表示されたら、コピー元フォルダーの階層を下げる、コピー先フォルダーの階層を上げる、フォルダー名やファイル名を短くするなどしてください。
- フォルダー内に正常に読み書きできないデータがある場合、コピーの途中で終了します。

注記

コピー中(またはプロテクトソングの移動中)は、絶対に電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データが失われるおそれがあります。

6 コピー先の指定が終わったら、[C]「実行」ボタンを押して、コピーを実行します。

コピーが終了すると、ソングページに戻ります。

コピー先のソング/フォルダー名は、もとの名前と同じになります。コピー先に、同名のソング/フォルダー名がある場合、コピーしたソング/フォルダー名は「元の名前_xxx」(xxxは数字が入ります)になります。XGソングは、コピー先にもとのソングと同名のソングがある場合、上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されません。[上書き]を選ぶと、コピー先のXGソングが上書きされます。[キャンセル]を選ぶとコピーはキャンセルされます。

ソング/フォルダー名を変更したい場合は、144ページをご覧ください。

7 フォルダーまたはUSBフラッシュメモリーのコピー時は、コピー時間とコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されますので、メッセージに従って進めます。

[D]ボタンを押すとコピーはキャンセルされ、[C]ボタンを押すとコピーが実行されます。実際のコピー時間は長くなる場合がありますのでご注意ください。

実行中にやむを得ず、中断したい場合は[D](中断)ボタンを押してください。コピーが実際に中断されるのは、現在実行中のフォルダーをコピーしたあとになりますので、中断されるまでに時間がかかる場合があります。

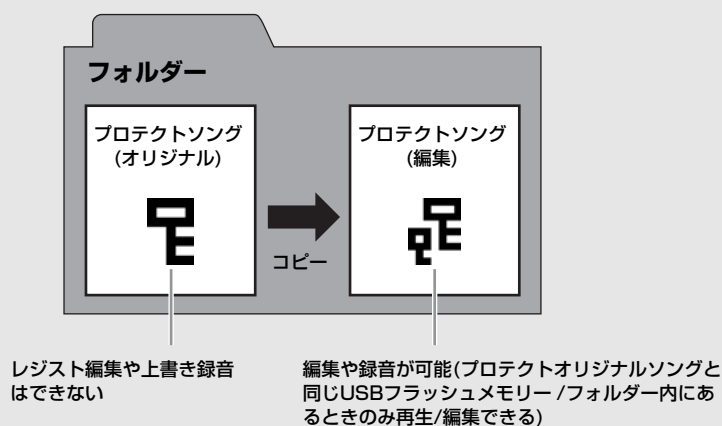
中断後は、フォルダーやソングがどこまでコピーされたかを確認してください

プロテクトソングについて

市販のソングデータの中には、誤消去防止、または著作権保護のため、上書きやコピーができないようにプロテクトがかけられているものがあります。このようなソングデータのことを「プロテクトソング」といいます。

プロテクトソングも、自分で作成したソングと同じように再生できますが、XG変換やELB→EL変換はできません。また、プロテクトソングのレジストレーションを編集したり、上書き録音したりすることもできません。

プロテクトソングのレジストレーションを自分で変更したり、プロテクトソングのレジストレーションを使って演奏を録音したりするには、プロテクトソングを同じUSBフラッシュメモリー/フォルダー内にコピーして、コピーしたソングを編集します(別のUSBフラッシュメモリーや別のフォルダーにはコピーできません)。こうしてプロテクトソングをコピーした場合、もとのプロテクトソング(プロテクトオリジナルソング)を削除すると、コピーしたプロテクトソング(プロテクト編集ソング)も使用できなくなりますので、プロテクトオリジナルソングを削除してしまわないようご注意ください。



注記

プロテクトソングをコンピューター上で直接コピー/移動すると再生できなくなります。コンピューター上でプロテクトソングを移動する場合は、必ずミュージックソフトダウンローダーをお使いください。ミュージックソフトダウンローダーについては、インターネットホームページ< <http://download.yamaha.com/jp/>>をご覧ください。

注記

プロテクトソングを編集する場合、一旦電源を入れなおしたあと、編集したいソングを選んでください。(この操作により、以前のプロテクトソングのレジストレーションが初期化されます。)この操作を行なわないと、編集後のソングが保存できない場合があります。

注記

削除する同一フォルダー内にオーディオファイルが入っている場合、ソングと同時に削除されます。

事前に管理するフォルダーを別々にするか、別々のUSBフラッシュメモリーで管理することをお勧めします。

ソング/フォルダーの削除

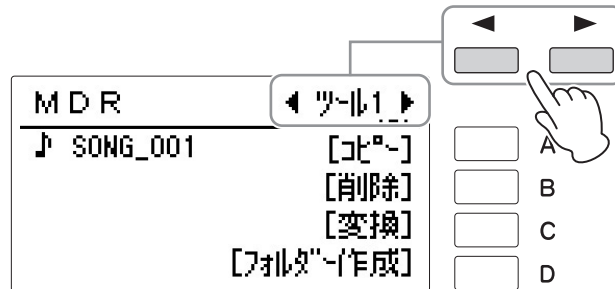
ソングを削除します。ソングの入ったフォルダーごと削除することもできます。ソングの削除もフォルダーの削除も操作方法は同じです(EL-900などのELシリーズのソングは、削除できません)。

オーディオ録音したファイルはMDR画面では表示されません。フォルダー削除の際にはオーディオ画面でもフォルダー内を確認してください。

関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)


- 1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。
- 2 [MDR]ボタンを押して、削除したいソングまたはフォルダーを選択します。
ソング/フォルダーの選択については135ページの手順2、3をご覧ください。
- 3 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。



- 4 [B]「削除」ボタンを押します。
ソング/フォルダーを削除するかどうか確認を求める画面が表示されます。[D]ボタンを押すとソング/フォルダーは削除されずに元の画面に戻ります。
- 5 [A]～[D]ボタンのうち、[削除]と同じ位置にあるボタンを押すと、ソング/フォルダーを削除します。[演奏のみ]と同じ位置にあるボタンを押すと、ソング内の演奏データだけ削除します。
削除が終わると、ソングページに戻ります。

フォルダーの作成

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

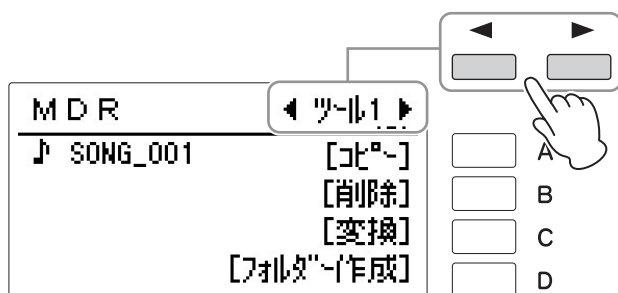
 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

2 [MDR]ボタンを押して、フォルダーを作成したいUSBフラッシュメモリーまたはフォルダーを選びます。

ソング/フォルダーの選択については135ページの手順2、3をご覧ください。

3 [B]ボタンを押して中に入ります。

4 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。



5 [D]「フォルダー作成」ボタンを押します。

フォルダーを作成するかどうか確認を求め画面が表示されます。[D]「キャンセル」ボタンを押すとフォルダーは作成されずに元の画面に戻ります。

6 [C]「フォルダー作成」ボタンを押すと、FOLDER_001などのフォルダー名のフォルダーが作成されます

作成されたフォルダーは、ソングページで選択されています。フォルダーは120個まで作成できます。

ソング/フォルダー名を変更したい場合は、144ページをご覧ください。

6

ミュージックデータレコーダー(MDR)

📎 関連ページ

プロテクトソングについて(163ページ)

NOTE

ELBソングをELSシリーズのエレクトーンで読み込む場合は、ソングを変換する必要はありません。

NOTE

ELシリーズでEL変換後のデータを再生するには、MDR-5(生産完了品)が必要です。MDR-5を使用できるエレクトーンは以下の通りです。MDR-5の使い方は、MDR-5に付属の取扱説明書をお読みください。

- ELX-1/1m
- EL-900m/900B/900/700/500/400/200/100
- EL-90/87/70/57/50/37/30/27/20/17

📎 関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

NOTE

ユーザーボイス、ユーザーリズム、およびキーボードパーカッションのアサインとセットアップは、ELシリーズのエレクトーンの初期設定に変換されます。

ELB→EL変換機能

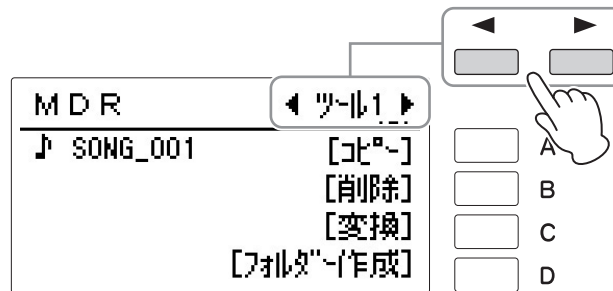
このエレクトーン用のソング(ELBソングと表記します)を、EL-900などのELシリーズのエレクトーンで使用できるソングに変換してUSBフラッシュメモリーに保存します。変換したソングの入ったUSBフラッシュメモリーを、ELシリーズ上で再生することができます。USBフラッシュメモリーの空き容量が足りない場合は、変換できません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)。あらかじめ空き容量が十分あることをご確認ください。また、市販のデータやインターネットから購入したデータなどのプロテクトソングは、ELB→EL変換できません。

1 ELシリーズの形式に変換したいソングが入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

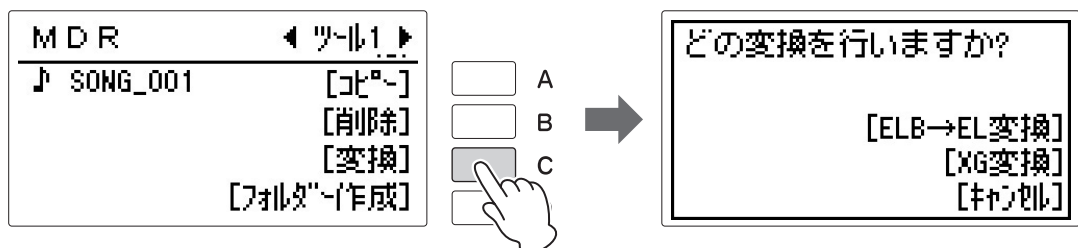
2 [MDR]ボタンを押してから、変換後のソングの保存先を作成します
USBフラッシュメモリーの中にフォルダーを1つ作成し、F01~F99のいずれかの名前を半角で付けます。MDR-5でソングを使用するには、ソングがF01~F99フォルダーに入っている必要があります。フォルダーの作成については165ページ、フォルダーの名前の付け方は144ページをご覧ください。

3 ELシリーズの形式に変換したいソングを選びます。
ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

4 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。




5 [C]「変換」ボタンを押します。
変換方法を選ぶ画面が表示されます。
[D]「キャンセル」ボタンを押すとソング変換を行わずに、元の画面に戻ります。



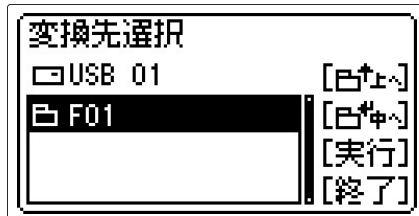
6 [B]「ELB→EL変換」ボタンを押します。

7 変換先選択画面が表示されるので、変換先としてルート上のF01～F99のいずれかを選択します

データコントロールダイヤルでUSBフラッシュメモリーを選んだら、[B]「」ボタンを押して中に入り、F01-F99のいずれかを選びます。

NOTE

変換後のソングをUSBフラッシュメモリーに保存する場合、F01～F99の各フォルダーに保存できるソングの最大数は、99ソングです。



8 [C]「実行」ボタンを押して、変換を実行します。

変換が終わると、選んだフォルダーの中に変換されたソングが保存されます。


EL→ELB変換機能

USBフラッシュメモリーに保存されているEL-900などのELシリーズ用のソングを、このエレクトーンで使用できるデータに変換します。

ただし、音やテンポなどがもとのデータと異なる場合や、ネクストソングがうまく変換されない場合があります。

メディアの空き容量が足りない場合は、EL→ELB変換はできません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)ので、あらかじめ空き容量が十分あることをご確認ください。

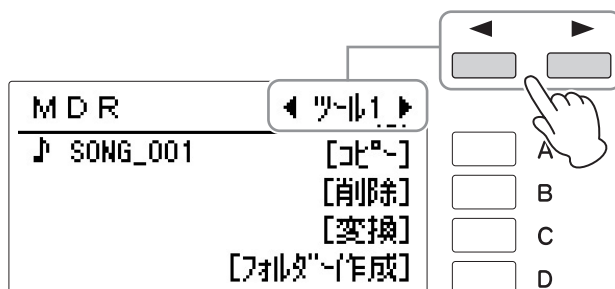
1 ELシリーズのソングが入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

 [関連ページ](#)
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

2 [MDR]ボタンを押して、ELBの形式に変換したいソングを選びます。

ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

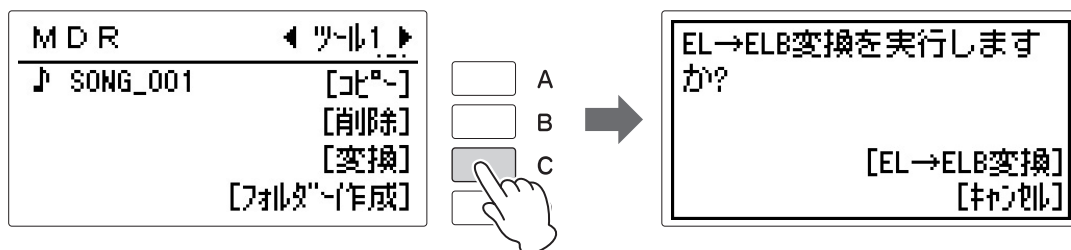
3 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。



4 [C] 「変換」 ボタンを押します。

EL→ELB変換を行なうかどうかの確認を求めるメッセージが表示されます。

[D] 「キャンセル」 ボタンを押すとソング変換を行わずに、元の画面に戻ります。



5 [C] 「EL→ELB変換」 ボタンを押します。

6 変換先選択画面が表示されるので、変換後のソングの保存先を選択します。

保存先はフォルダー / USBフラッシュメモリーです。選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。



7 [C] 「実行」 ボタンを押して、変換を実行します。

変換が終わると、ソングページに戻ります。

変換されたソングは、変換先選択画面で選んだ場所に保存されます。


XG変換機能

XG変換機能は、このエレクトーンで演奏したデータ(録音したソング)を、XG機器などで再生できるように変換する機能です。ただし、XGソングに変換した場合、音がもとのデータと異なって聞こえることがあります。

USBフラッシュメモリーの空き容量が足りない場合は、XG変換はできません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)ので、あらかじめ空き容量が十分あることをご確認ください。

プロテクトソングはXG変換できません。

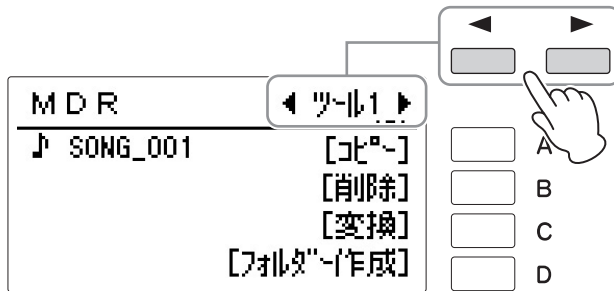
- 1 XG変換したいソングが入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

- 2 [MDR]ボタンを押して、XG変換したいソングを選びます。

ソング名の左に音符(♪)アイコンの付いたソングを選びます。ソングの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

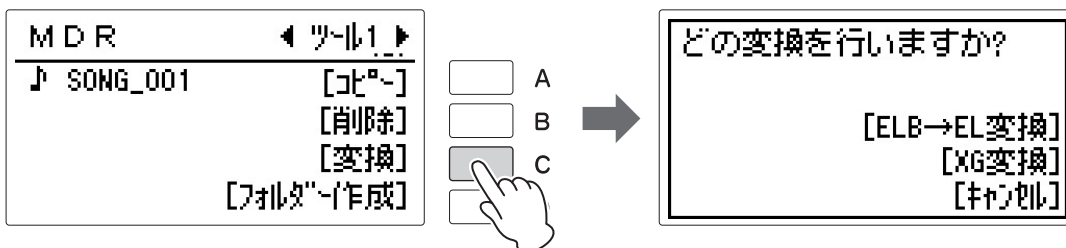
- 3 ページボタンを押して、ツール1ページを表示させます。



- 4 [C]「変換」ボタンを押します。

変換方法を選ぶ画面が表示されます。

[D]「キャンセル」ボタンを押すとソング変換を行わずに、元の画面に戻ります。



- 5 [C]「XG変換」ボタンを押します。

6 変換先選択画面が表示されるので、変換後のソングの保存先を選択します。

保存先はフォルダー / USBフラッシュメモリーです。選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。



7 [C]「実行」ボタンを押して、変換を実行します。

8 変換後のデータが再生されます。

NOTE

変換後のデータ確認中に鍵盤を弾いたり、パネルスイッチを押したりすると、それらの操作が変換後のXGソング内に記録されます。

画面に「変換後のデータを確認しています。」というメッセージが表示され、ソングの再生が始まります(エレクトーンのXG音源で再生します)。最後まで再生すると、ソングページに戻ります。


変換後のXGソングのファイル名は、XGSONG001などになります。ソング名を変更したい場合は、144ページをご覧ください。

XGソングについては、160ページの「XGソングデータの再生」をご覧ください。

ソングサイズ/USBフラッシュメモリーの残量の確認

USBフラッシュメモリーが選択されているときは空き容量(残量)を、ソングが選択されているときは容量やバンク数の合計、曲名、作曲者名などを表示します。表示される内容は、ソングによって異なります。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

 関連ページ

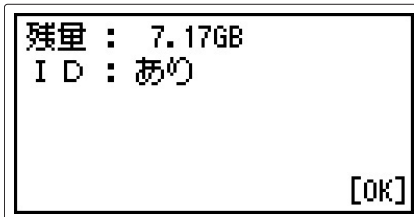
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (127ページ)

2 [MDR]ボタンを押して、ソングまたはUSBフラッシュメモリーを選択します。

ソング/USBフラッシュメモリーの選択については、135ページの手順2、3をご覧ください。

3 ページボタンを押して、ツール2ページを表示させます。

4 [C]「情報」ボタンを押すと、情報が表示されます。



USBフラッシュメモリー選択時

残量 :USBフラッシュメモリーの空き容量を表示。

ID :ELBシリーズやELSシリーズのプロテクトソングを扱える場合「あり」を、扱えない場合「なし」を表示。

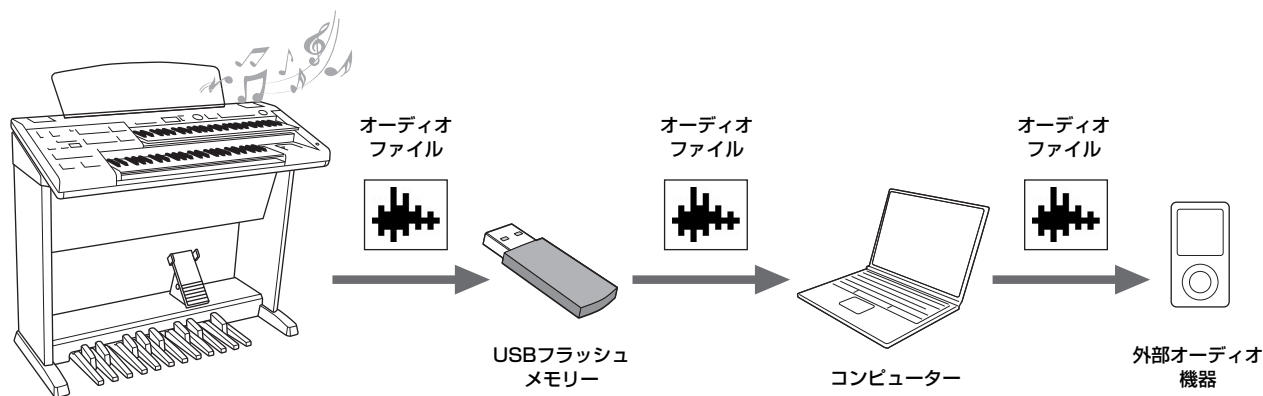
ソング選択時

容量 :ソングのサイズを表示。

バンク数 :バンク数の合計を表示。

7 オーディオ

[オーディオ]ボタンを使えば、ご自分の演奏をオーディオファイル(.WAV)としてUSBフラッシュメモリーに録音することができますので、コンピューターで再生したり、知り合いとお互いの演奏データをやりとりしたり、オリジナルのCDを制作したりするなど、さまざまな用途で楽しめます。USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイルを楽器で再生することもできます。



USBフラッシュメモリーは「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。

インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページ<<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>>に掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。それ以外のものを使うと、データの保存/呼び出しができない場合があります。また、ご使用前に132ページの注意事項をお読みください。

注記

データを保護し、オーディオファイルを安定してご使用いただくために、以下の点にご配慮ください。

- USBフラッシュメモリーは必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットし(133ページ)、オーディオファイルの録音/再生専用としてご使用いただくことをおすすめします。ソングと共用すると、ファイルの断片化により、空き領域やファイルの検索に時間がかかり、オーディオファイルの録音/再生が停止することがあります。
- USBフラッシュメモリーはしっかり挿入し、オーディオファイルの録音/再生中に、演奏などの振動によりUSBフラッシュメモリーの接触不良が起きないようにご注意ください。USBフラッシュメモリー内のデータが壊れるおそれがあります。

1 演奏を録音する

NOTE

[AUX IN]端子からの入力音をUSBフラッシュメモリーに録音する場合は、エレクトーン側で録音レベル調整はできません。外部オーディオ機器側で音量調整してください。

オーディオ録音

演奏をオーディオファイルとしてUSBフラッシュメモリーに録音します。演奏した音そのものを記録します。一般的なCD音質(44.1kHz/16bit)のステレオWAV形式で保存され、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送して再生できます。[AUX IN]端子からの入力音も録音されるので、オーディオ機器を接続してその再生音も録音したりできます。[オーディオ]ボタンを使った録音では、レジストレーションを保存することはできません。レジストレーションを保存したい場合は、6章「ミュージックデータレコーダー(MDR)」の138ページ「演奏を録音する」の方法で録音してください。

ご自分の演奏をオーディオファイルとしてUSBフラッシュメモリーに録音してみましょう。
1回の録音につき60分まで録音できます(USBフラッシュメモリーの容量によって異なります)。

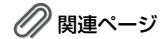
録音できるファイル形式

拡張子.wav、サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo

NOTE

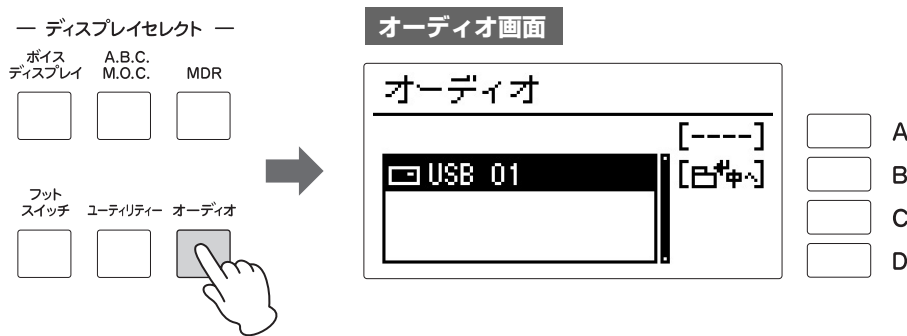
拡張子とは、コンピューターがファイル形式を識別するための識別子です。拡張子は、エレクトーンの画面上には表示されません。

1 動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを、[USB TO DEVICE]端子に接続します。



関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (172ページ)

2 パネル右上の[オーディオ]ボタンを押して、オーディオ画面を表示させます。



NOTE

USBフラッシュメモリーの中にソングが入っていても、オーディオ画面にソングは表示されません。

3 演奏を録音するための、何も入っていないオーディオファイル「新規オーディオ」を選びます。

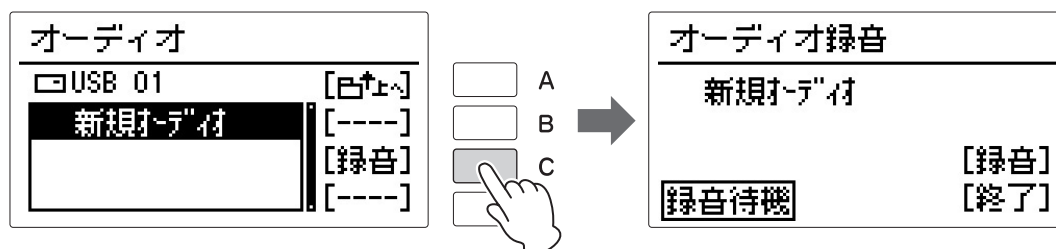
「新規オーディオ」は、手順2の画面で[B] ([B]) ボタンを押してUSBフラッシュメモリーの中に入り、データコントロールダイヤルを回すと見つかります。
オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方とまったく同じです。135ページの手順2、3をご参照ください。

NOTE

「新規オーディオ」は何もデータが入っていない空のオーディオ(入れもの)です。USBフラッシュメモリー内/フォルダー内のオーディオファイルの数が120個未満の場合、自動的に作られます。



4 [C]「録音」ボタンを押して録音待機状態にします。



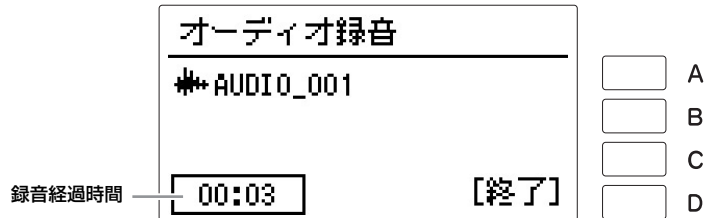
注記

録音中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

5 [C]「録音」ボタンを押して録音を開始します。演奏を始めましょう。

録音が始まると、画面に録音経過時間が表示されます。

録音経過時間が表示されたあと、MDR画面からレジストレーションやソングを再生することもできます。



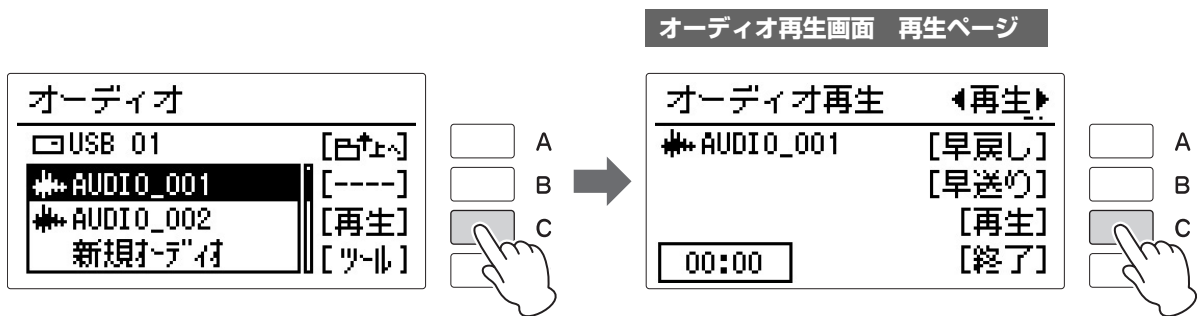
6 演奏が終わったら[D]「終了」ボタンを押して、録音を終了します。

録音したオーディオファイルに自動的に名前が付けられ、オーディオ画面で選択されます。

関連ページ

ファイルの削除、名前の変更 (179ページ)

7 [C](再生)ボタンを2回押して、録音した演奏を再生して聞いてみましょう。



ソングをオーディオ録音する

MDR機能を使ってソングとして録音したご自分の演奏を、そのソングを再生しながらオーディオ録音することができます。

- 1 ソングの入ったUSBフラッシュメモリーと、オーディオ録音用のUSBフラッシュメモリーをそれぞれ[USB TO DEVICE]端子に接続します。
- 2 オーディオ録音を開始します(上記の手順2～5)。
- 3 MDR画面でソングを選び、再生をします。
ソングの最後まで再生します。
- 4 オーディオの録音を終了します(上記の手順6～7)。

2 オーディオファイルを再生する

USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイルをこの楽器で再生してみましょう。

NOTE

DRM (デジタル著作権管理)付きファイルには非対応です。

再生できるファイル形式

拡張子.wav、サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo

- 1 再生したいオーディオファイルの入っている動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを、[USB TO DEVICE]端子に接続します。

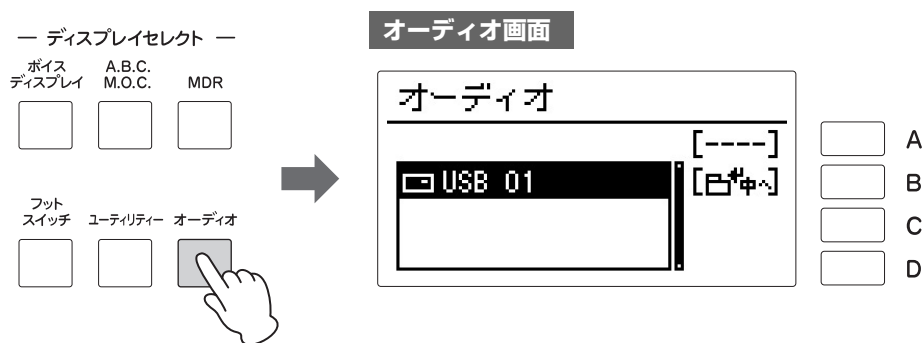
関連ページ

動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (172ページ)

- 2 パネル右上の[オーディオ]ボタンを押して、オーディオ画面を表示させます。

NOTE

USBフラッシュメモリーの中にソングが入っていても、オーディオ画面にソングは表示されません。

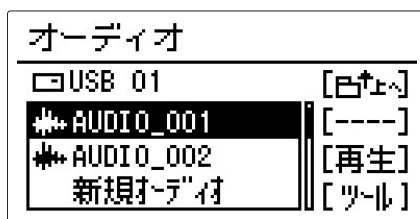


- 3 再生したいオーディオファイルを選びます。

データの入っているオーディオファイルを選びます。データの入っているオーディオファイルには、「#」のアイコンが付いています。オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方と同じです。135ページの手順2、3を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。

NOTE

「新規オーディオ」は何もデータが入っていない空のオーディオ(入れもの)です。USBフラッシュメモリー内/フォルダー内のオーディオファイルの数が120個未満の場合、自動的に作られます。

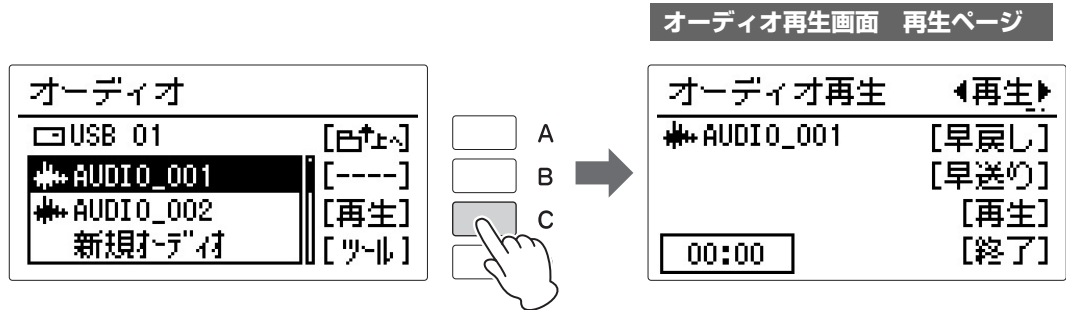


NOTE

オーディオ再生画面には、再生ページと設定ページがあります。オーディオ再生画面を表示させたときは、再生ページと設定ページのどちらかが表示されますので、目的に応じてページボタンで切り替えてください。

4 オーディオファイルが選ばれた状態で[C]「再生」ボタンを押すと、オーディオ再生画面の再生ページが表示されます。

再生ページが表示されない場合は、ページボタンで「再生」ページに切り替えてください。



5 [C]「再生」ボタンを押すと、再生が始まります。

再生中は画面の左下に再生時間が表示されます。

注記

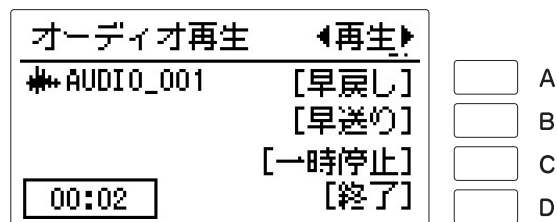
再生中はUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしたり、楽器の電源を切ったりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

6 再生をストップするには、[D]「終了」ボタンを押します。

オーディオ画面に戻ります。

早戻し/早送り/一時停止

オーディオファイルの再生中に、早戻しや早送り、一時停止などができます。



早戻し/早送りをするには:

早戻しは[A]ボタン、早送りは[B]ボタンを押します。オーディオファイルの再生は中断され、画面の時間表示も、早戻し/早送りに従って変化します。ボタンをはなしても、再生は中断されたままです。早戻し/早送りをしたところから再生をスタートするには、[C]ボタンを押してください。


一時停止するには:

オーディオファイルの再生中に、[C]「一時停止」ボタンを押すと、再生が一時停止します。[C]「再生」ボタンをもう一度押すと、一時停止したところから再生がスタートします。

音量、テンポ、ピッチの調節

オーディオファイルの再生音量、テンポ、ピッチ(再生音の高さ)を調節できます。

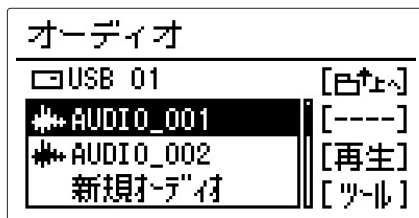
- 1 オーディオファイルの入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (172ページ)

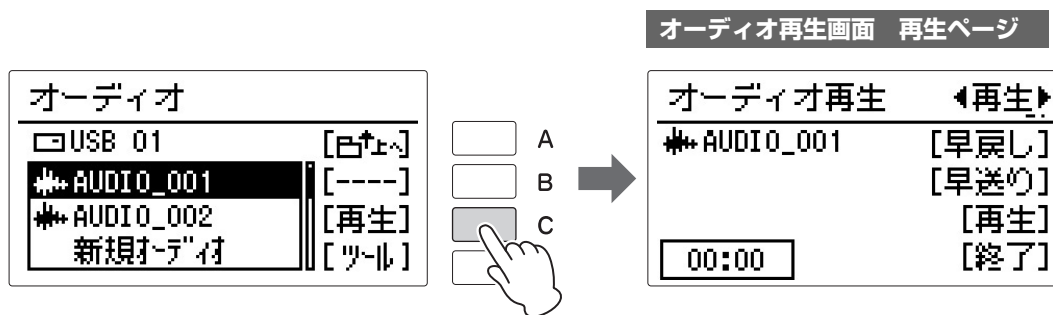
- 2 [オーディオ]ボタンを押します。

- 3 目的のオーディオファイルを選択します。

オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方とまったく同じです。135ページの手順2、3を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。



- 4 [C]「再生」ボタンを押して、オーディオ再生画面を表示させます。



- 5 ページボタンを押して、設定ページに切り替えます。



このページで各設定を行ないます。

NOTE

テンポやピッチを変更すると、曲によっては音質が変わることがあります。

NOTE

音量やテンポ、ピッチを変更をした場合、電源を入れなおすと変更した値は初期値に戻ります。

① 音量を変更するには：

[A]ボタンで「ボリューム」を選び、そのまま[A]ボタンを続けて押すか、データコントロールダイヤルを回して、ボリュームを変更します。

設定範囲：0～127

② テンポを変更するには：

[B]ボタンで「テンポ」を選び、そのまま[B]ボタンを続けて押すか、データコントロールダイヤルを回して、再生テンポを変更します。もとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。別のオーディオファイルを選ぶと、値は初期設定(100%)に戻ります。

設定範囲：75%～125%

③ ピッチを変更するには：

[C]ボタンで「ピッチ」を選び、そのまま[C]ボタンを続けて押すか、データコントロールダイヤルを回して、ピッチを変更します。半音単位(-12～+12)で調整できます。別のオーディオファイルを選ぶと、値は初期設定(0)に戻ります。

設定範囲：-12～+12

6 設定が終わったら、ページボタンで再生ページに戻り、再生して変更結果を確認しましょう。


7 設定が終わったら、[D]「終了」ボタンを押して終了します。

オーディオファイルが再生している場合は再生を停止し、オーディオ画面に戻ります。

ファイルの削除、名前の変更

オーディオファイルを削除したり、名前を変更したりできます。

- 1 オーディオファイルの入った、動作確認済みのUSBフラッシュメモリーを挿入します。

 関連ページ
動作確認済みのUSBフラッシュメモリー (172ページ)

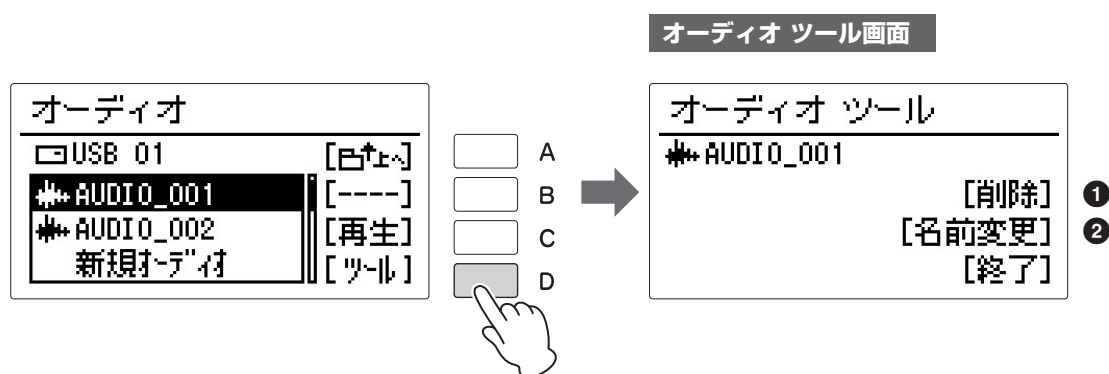
- 2 [オーディオ]ボタンを押します。

- 3 目的のオーディオファイルを選択します。

オーディオファイルの選び方は、ソングの選び方とまったく同じです。135ページの手順2、3を参考に、目的のオーディオファイルを選んでください。

- 4 [D]「ツール」ボタンを押して、オーディオ ツール画面を表示させます。

オーディオ ツール画面で削除、名前の変更を行います。




① ファイルを削除するには：

[B]「削除」ボタンを押すとオーディオファイルを削除するかどうか確認を求める画面が表示されます。[D]「キャンセル」ボタンを押すとオーディオファイルは削除されずにオーディオ ツール画面に戻り、[C]「削除」ボタンを押すとオーディオファイルは削除され、オーディオ画面に戻ります。

② 名前を変更するには：

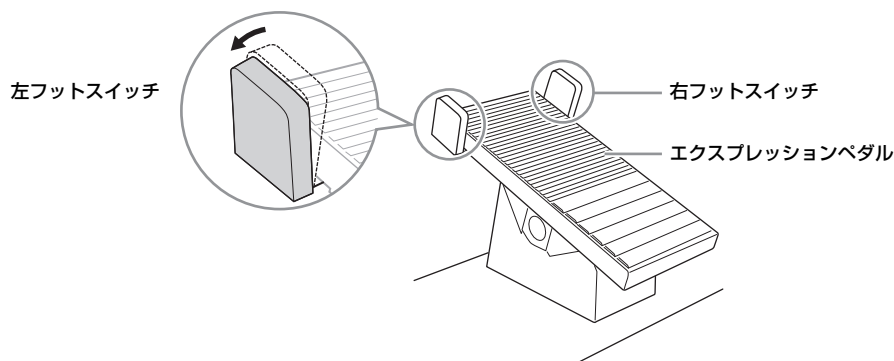
[C]「名前変更」ボタンを押すと名前変更画面が表示されますので、名前を入力します。入力方法は「ソング/フォルダーに名前を付ける」とまったく同じです。[D]「終了」ボタンを押すと名前を変更するかどうか確認を求める画面が表示されます。[D]「キャンセル」ボタンを押すと名前は変更されずにオーディオ ツール画面に戻り、[C]「変更」ボタンを押すと名前が変更され、オーディオ画面に戻ります。

 関連ページ
ソング/フォルダーに名前を付ける (144ページ)

オーディオ ツール画面からオーディオ画面に戻るには、[D]「終了」ボタンを押します。

8 フットスイッチ

フットスイッチを使用すると、演奏中に右足を使っていろいろな機能を操作したり、エフェクトのオン/オフを切り替えたりできます。手を使ってレジストレーションやリズムなどを切り替える必要がなくなるので、演奏に専念できます。フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左右にひとつずつあります。



1 右フットスイッチ

右フットスイッチは、レジストレーションシフトをコントロールするのに使用します。右フットスイッチの設定については、121ページの「演奏中にレジストレーションを切り替える:レジストレーションシフト」をご覧ください。

2 左フットスイッチ

左フットスイッチは、リズム、グライド、そしてロータリースピーカーのコントロールに使用します。左フットスイッチの設定は、フットスイッチ(レフト)画面で行ないます。

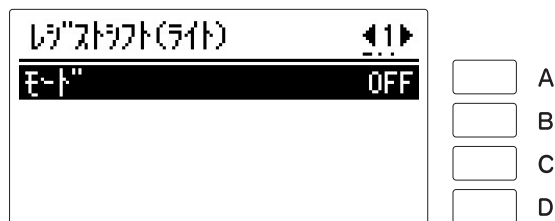
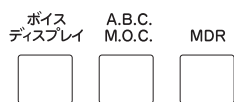
NOTE

[フットスイッチ]ボタンを押したとき表示される画面には、レジストシフト(ライト)画面とフットスイッチ(レフト)画面の2種類あり、前回表示されていたほうの画面が表示されます。ページボタンを使って、目的の画面を選ぶことができます。

1

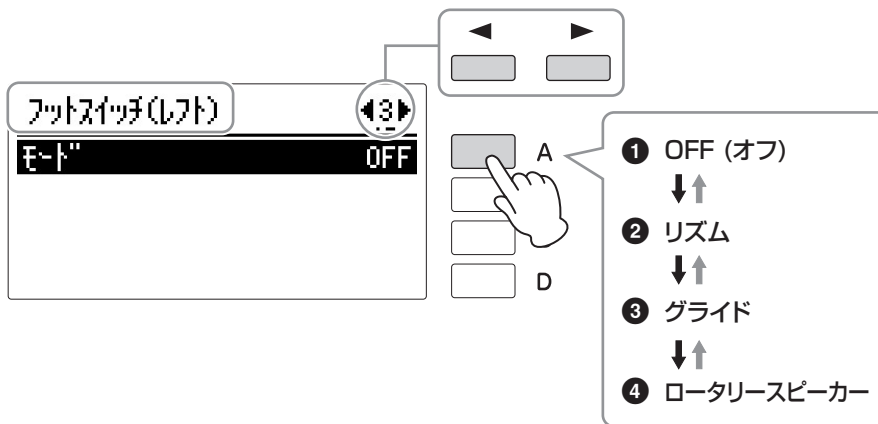
[フットスイッチ]ボタンを押します。

— ディスプレイセレクト —




2 フットスイッチ(レフト)画面を表示させます。

ページボタンを押して、ページ3を表示させます。



この画面で、左フットスイッチの機能を割り当てます。リズム、グライド、ロータリースピーカーのコントロールが選べます。[A]ボタンを押すたびに「オフ」→「リズム」→「グライド」→「ロータリースピーカー」→最初に戻って「オフ」...の順番で選べます。ここで「オフ」を選ぶと、左フットスイッチの機能をオフにし、左フットスイッチを押しても何も起こりません。

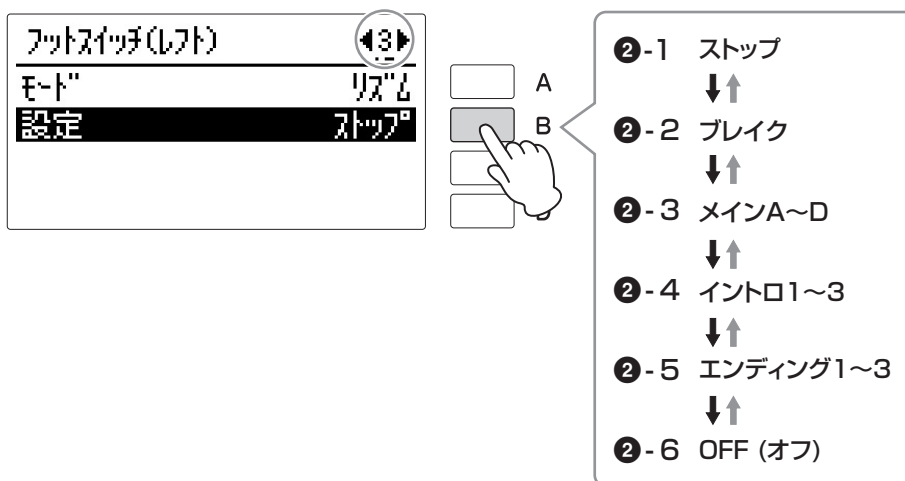
 **関連ページ**
リズムの構成(70ページ)

① OFF (オフ)

オフに設定すると左フットスイッチを押しても、何も効果がかかりません。

② リズム

左フットスイッチにリズムのコントロールを割り当てます。リズムを選択すると、その下にリズムコントロールの種類が表示されますので、Bボタンでコントロールしたい種類を選びます。実際にリズムを鳴らしながら左フットスイッチを押すと、効果がよくわかります。



②-1 ストップ

左フットスイッチを押すたびに、リズムがスタート/ストップします。

②-2 ブレイク

左フットスイッチを押すと、パネル上の[ブレイク]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。演奏中に、フットスイッチでリズムにブレイクを入れることができます。

②-3 メインA~D

左フットスイッチを押すと、パネル上のメイン/フィルイン[A]~[D]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。リズムパターン(A~D)を切り替えたり、フィルインを入れたいします。

②-4 イントロ1~3

左フットスイッチを押すと、パネル上のイントロ[1]~[3]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。

②-5 エンディング1~3

左フットスイッチを押すと、パネル上のエンディング[1]~[3]ボタンを押したときと同じ効果が得られます。

②-6 OFF (オフ)

オフに設定すると左フットスイッチを押しても、何も効果がかかりません。

③ グライド

左フットスイッチでグライド効果をコントロールします。鍵盤を押さえて音を出したまま、左フットスイッチを押すと、上鍵盤/下鍵盤のボイスセクションごとにボイスの音の高さを半音下げます。左フットスイッチから足をはなすと、ゆるやかに元の音の高さに戻ります。グライドを選択すると、ページ4が選べるようになります。グライドの画面はページ3とページ4で構成されており、それぞれのページでグライドをかけたいボイスセクションを選択できます。

ページボタンを押して設定したいページを表示させます。

フットスイッチ(レフト)画面

【グライド ページ3】

フットスイッチ(レフト)	◀3▶
モード	グライド
タイム	1
リード1	ON
リード2	OFF

③-1

【グライド ページ4】

フットスイッチ(レフト)	◀4▶
上鍵盤1	ON
上鍵盤2	ON
下鍵盤1	OFF
下鍵盤2	OFF

③-2

③-1 タイム

グライドをかけたとき、元の音の高さに戻る速さを設定します。設定値を大きくすると、元の音の高さに戻る速さは遅くなります。

設定範囲：1~5


③-2 リード1/リード2、上鍵盤1/上鍵盤2、下鍵盤1/下鍵盤2

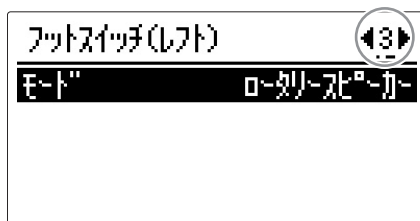
グライドをかけたいボイスセクションをオン(ON)にします。それぞれ、ボイスセクションの右横にあるボタンを押すたびにオン/オフを切り替えられます。複数のボイスセクションをオンにしておくこともできます。

④ ロータリースピーカー

左フットスイッチで、ロータリースピーカーのスピードコントロールのオン/オフを切り替えます。

このコントロール機能は、ロータリースピーカー画面のスピードコントロールをオン/オフしたときと同じ効果が得られます。この機能を使うためには、あらかじめ、それぞれのボイスセクションで、ロータリースピーカーが正しく設定されていることが必要です。詳しくは、60ページをご参照ください。

 **関連ページ**
(ロータリースピーカー (60ページ))

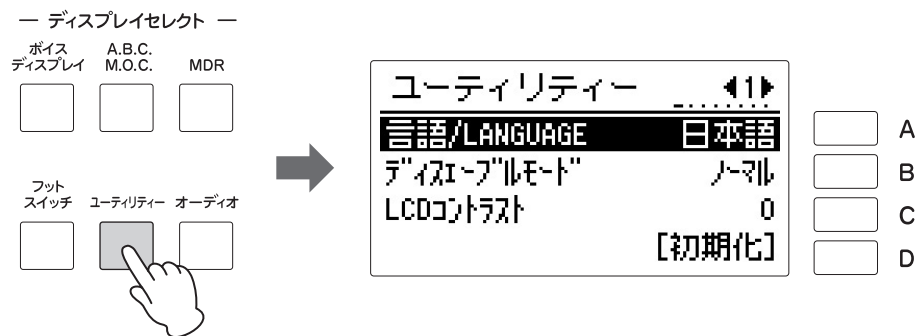


9 トランスポーズ/ピッチ

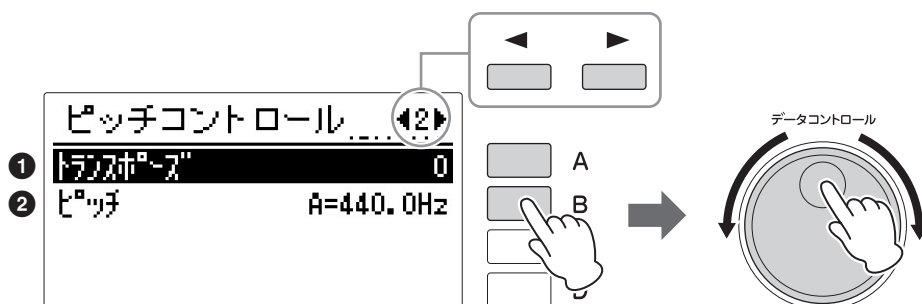
エレクトーンの音程を変更する機能として、半音ずつ移調するトランスポーズと、音程の微調整をするピッチがあります。ユーティリティー画面で、トランスポーズやピッチに関する設定を行ないます。

1 [ユーティリティー]ボタンを押します。

ユーティリティー画面が表示されます。



2 ページボタンを使ってページ2を表示させます。



[A]ボタンでトランスポーズ、[B]ボタンでピッチを変更します。[A]、[B]ボタンで選択したあと、データコントロールダイヤルを回して値を変更します。

NOTE

実際の音の高さは、ここでの設定とボイスセクションごとのトランスポーズ/ピッチの設定を足した値になります。たとえばトランスポーズの設定を、ここで「+1」に設定し、ボイスコンディション画面で上鍵盤ボイス1だけ「+1」に設定した場合、エレクトーン全体の音の高さは+1で、上鍵盤ボイス1の音の高さは+2に設定されます。

NOTE

XGソング(160ページ)にはトランスポーズは効果しません。

① トランスポーズ

1オクターブの範囲で、半音ずつ移調します。

設定範囲：-6～+6

② ピッチ

ピッチを微調整できます。0.2Hzずつ変化させます。初期設定はA3(ラの音)が440.0Hzとなっています。

設定範囲：427.2Hz～452.6Hz

ボイスセクションごとにトランスポーズやピッチを変えることもできます。

この場合は、ボイスコンディション画面で設定します。詳しくは、58ページをご覧ください。

10 外部機器との接続

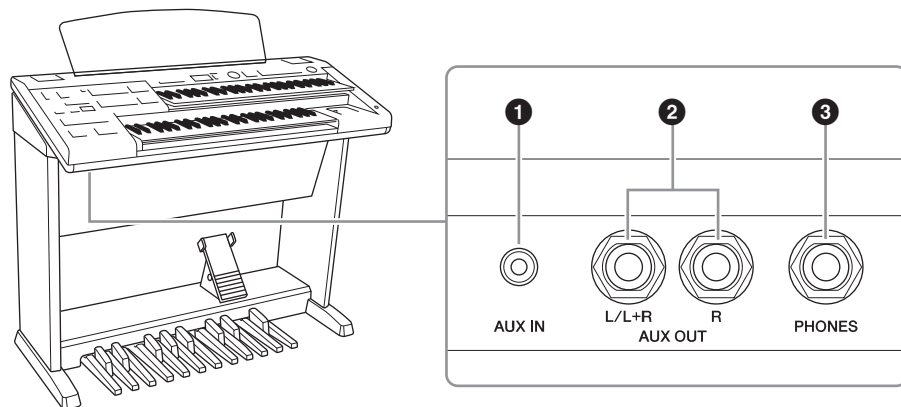
このエレクトーンには、鍵盤の右横や下側の左右に、いろいろな端子があります。

左側には入/出力端子があり、携帯プレーヤーなどの外部機器の再生音を入力したり、エレクトーンの音をヘッドフォンや外部のスピーカーやステレオ機器から出力したりできます。

鍵盤の右横と下側の右にはUSB端子やMIDI端子があり、エレクトーンとコンピューターをつないでデータをやり取りしたり、エレクトーンでほかの楽器をコントロールしたりできます。

1 付属端子の名称と機能

エレクトーンに付属している各端子についてご説明します。さまざまな機器の具体的な接続方法については、187ページをご覧ください。



① [AUX IN]ステレオミニ端子

外部機器からの音声信号をステレオ入力する端子です。入力された信号は、エレクトーンの音と一緒にエレクトーンのスピーカーから出力されます。

② AUX OUT [L/L+R]、[R]フォン端子

エレクトーンの音声信号をステレオ出力する端子です。音量ダイヤルで音量を調節できます。

③ [PHONES](ヘッドフォン)端子

ヘッドフォン専用の接続端子です。ステレオ標準ジャックです。

関連ページ

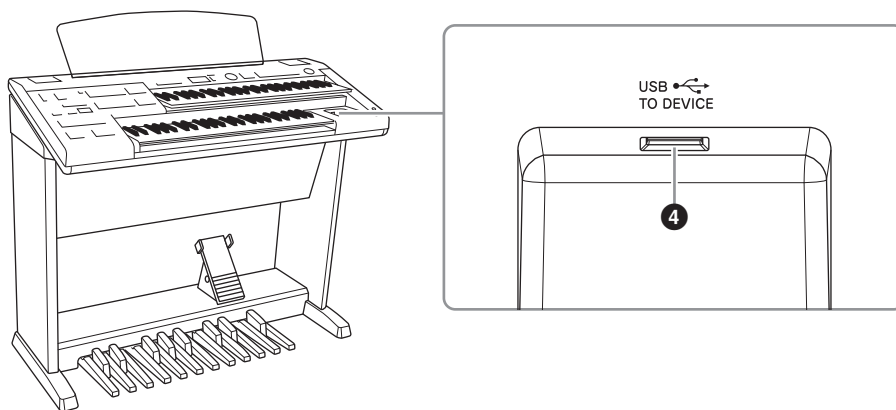
外部オーディオ機器の音をエレクトーンのスピーカーから流す(187ページ)

関連ページ

エレクトーンの音を外部スピーカーから出力する(187ページ)

関連ページ

ヘッドフォンを使う(19ページ)

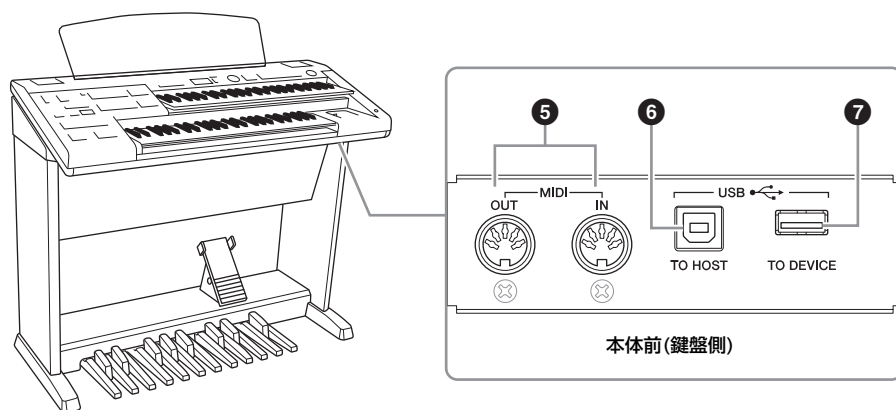


📎 関連ページ

- USB機器を接続する(132ページ)
- iPhone/iPadと接続する(195ページ)

④ [USB TO DEVICE]端子

USBフラッシュメモリーを接続するための端子です。自分の演奏や、楽器上で設定したデータをUSBフラッシュメモリーに保存できます。また、iPhone/iPadなどと無線通信する場合も、この端子を使います。



📎 関連ページ

- 外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする(188ページ)
- エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす(188ページ)
- MIDIに関する基礎知識(190ページ)
- コンピューターとの接続(189ページ)

⑤ MIDI [IN]/[OUT]端子

ほかのMIDI (Musical Instrument Digital Interface)規格の楽器と接続するための端子です。エレクトーンとほかの楽器との間でデータのやり取りをしたり、エレクトーンでその楽器をコントロールする場合に使用します。MIDIインターフェースを使用すると、コンピューターと接続することもできます。

⑥ [USB TO HOST]端子

コンピューターのUSB端子と接続するための端子です。USBケーブルを使って直接接続できます。(接続にはUSB-MIDIドライバーが必要です。)

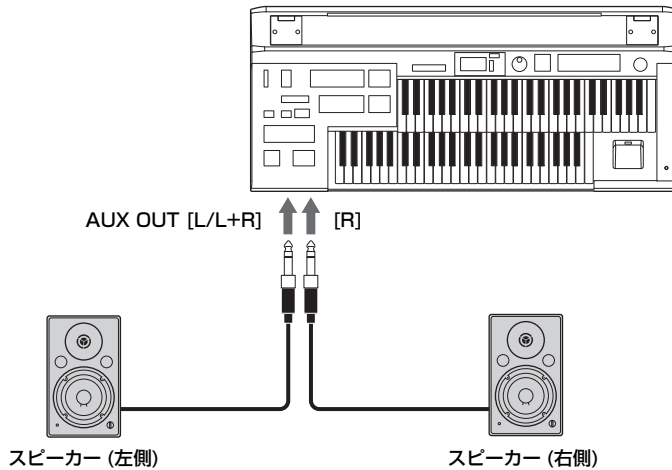
⑦ [USB TO DEVICE]端子

鍵盤の右横の④ [USB TO DEVICE]端子と同じです。

2 外部機器との接続

エレクトーンの音を外部スピーカーから出力する

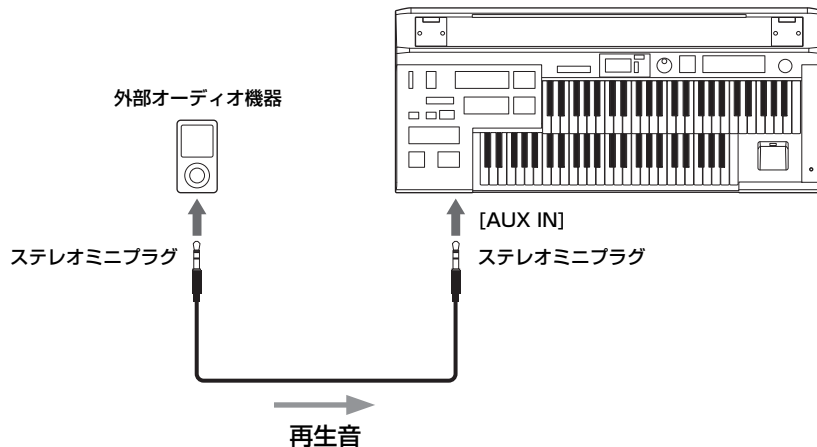
エレクトーンの音をアンプ内蔵の外部スピーカーから鳴らすことができます。AUX OUT端子を使用します。スピーカーを1台だけ使う場合は、AUX OUT [L/L+R]端子を使用します。



スピーカーのかわりに外部録音機器を接続すると、エレクトーンの演奏を外部録音機器に録音できます。

外部オーディオ機器の音をエレクトーンのスピーカーから流す

エレクトーンのアUX IN端子に外部オーディオ機器の出力端子からのケーブルを接続することで、外部オーディオ機器の再生音をエレクトーンのスピーカーで鳴らせます。



⚠ 注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切ったうえで行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷のおそれがあります。

注記

外部機器の損傷を防ぐため、楽器本体の音を外部機器から出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、最初に外部機器、次に楽器本体の順に行なってください。

注記

AUX OUT端子から出力した音を、[AUX IN]端子に戻さないでください(AUX OUT端子から外部オーディオ機器に接続した場合、その機器からふたたび楽器本体の[AUX IN]端子に接続しないでください)。楽器本体の[AUX IN]端子から入力された音はそのままAUX OUT端子から出力されますので、オーディオ系の発振が起こり、正常な再生がなされないばかりでなく、両機器の故障の原因になります。

NOTE

オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

注記

外部機器の損傷を防ぐため、外部機器の音を楽器本体から出力するときは、最初に外部機器、次に楽器本体の順に電源を入れてください。電源を切るときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に行なってください。

NOTE

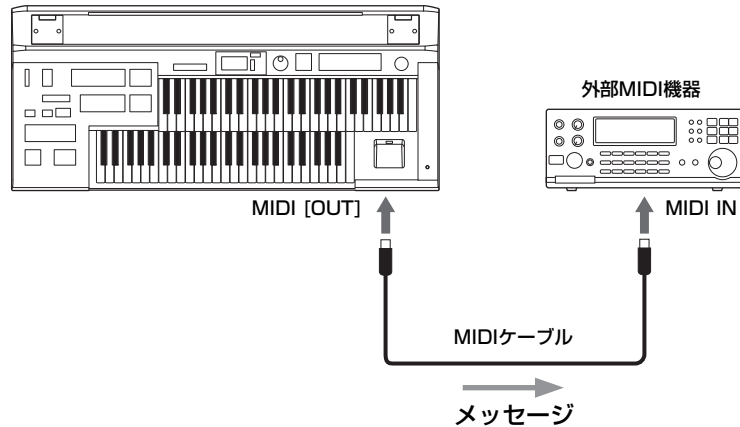
オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

エレクトーンから外部MIDI音源を鳴らす

NOTE

MDR使用時は、外部機器にMIDI信号を送信することはできません。

エレクトーンを演奏すると、接続先の機器もその機器の音色で同時に鳴らすことができます。音に厚みを出すときなど便利です。(ただし、外部MIDI機器の受信チャンネルがエレクトーンの送信チャンネルと一致している必要があります。)この他にもいろいろな演奏の動作や状態を「メッセージ」と呼ばれるデジタルデータ(数値に置き換えたデータ)として送信することができます。接続先がメッセージを受けてどう対応するかは、接続先のMIDI機能によって決まります。



[USB TO HOST]端子を使用している場合は、MIDI端子は使用できません。

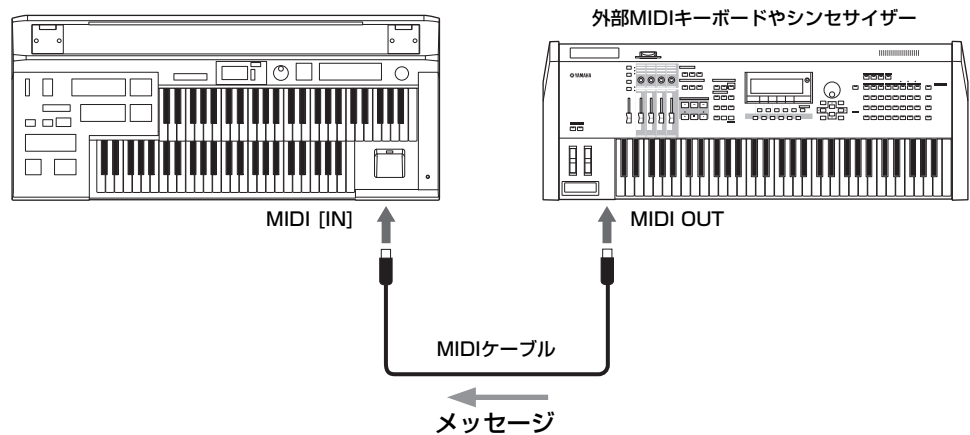
USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

外部MIDI機器からエレクトーンをコントロールする

NOTE

MDR使用時は、外部機器にMIDI信号を送信することはできません。

外部のMIDIキーボードを演奏してエレクトーンを同時に鳴らしたり、シーケンサーからエレクトーンにMIDI信号を送ってエレクトーンの音源を鳴らしたり、レジストレーションを切り替えたりできます。(ただし、外部MIDI機器の送信チャンネルがエレクトーンを受信チャンネルと一致している必要があります。)



[USB TO HOST]端子を使用している場合は、MIDI端子は使用できません。

USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

3 コンピューターとの接続

[USB TO HOST]端子、またはMIDI端子を使って、エレクトーンとコンピューターを接続できます。エレクトーンとコンピューター間で直接MIDI信号を送受信できます(MIDIについては、190ページをご覧ください)。実際にMIDI信号をやり取りするためには、お使いのコンピューターに合ったMIDIドライバーが必要になります。USB-MIDIドライバーについては、インターネット上のヤマハのホームページ<<http://download.yamaha.com/jp/>>からダウンロードできます。

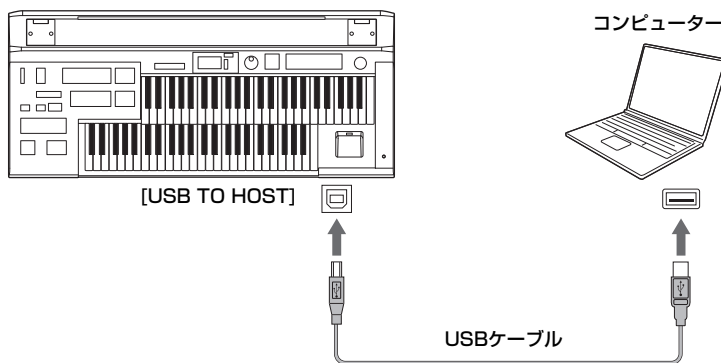
エレクトーンとコンピューターを接続すると、自分の演奏をコンピューターに保存して、楽譜を作ったり、Web(ウェブ)で公開したりできます。(楽譜作成ソフトやシーケンスソフトなどが必要です。)また、コンピューターのシーケンスソフトで再生したMIDIデータをエレクトーンを使って鳴らすこともできます。

NOTE

MDR使用時は、コンピューターとの間でMIDI信号を送受信することはできません。

[USB TO HOST]端子を使った接続

USBケーブルを使って、エレクトーンの[USB TO HOST]端子とコンピューターのUSB端子を接続します。



[USB TO HOST]端子を使用している場合は、MIDI端子は使用できません。
USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

[USB TO HOST]端子ご使用時の注意

[USB TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。

コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れ直してください。

注記

- USBケーブルは、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- [USB TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されません。)
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

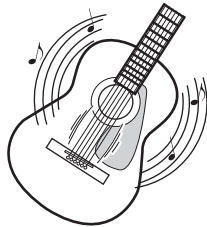
4 MIDIに関する基礎知識

ここでは、エレクトーンが音を出す仕組みや、エレクトーンがコンピューターやほかの楽器とどのようにデータをやり取りしているかについて説明します。

MIDIとは

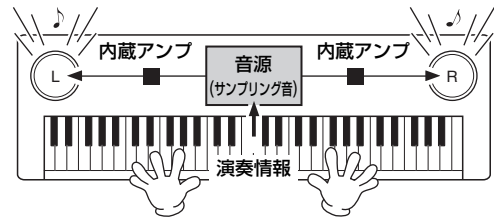
「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉を見たことがあるでしょうか？ 今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。アコースティック楽器の代表的なものにはグランドピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか？

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう？

たとえば、エレクトーンの鍵盤で、グランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どのボイスで」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつはなしたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るのです。

演奏情報の例

ボイスナンバー (どのボイスで)	1 (グランドピアノ)
ノートナンバー (どの鍵盤を)	60 (ド : C3)
ノートオン(いつ押さえたか) & ノートオフ(いつはなしたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ペロシティー (どのくらいの強さで)	120 (強く)

このようにエレクトーンでは、鍵盤演奏やボイス変更などのパネル操作のひとつひとつがMIDIデータとして処理されています。

MIDI (ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどで)演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

エレクトーンで扱えるMIDIメッセージ

MIDIメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。チャンネルメッセージは、おもに鍵盤で弾いたノート(音符)や演奏表現(エクスプレッションペダルやボリュームなど)に関するデータで、特定のMIDIチャンネルごとにそれらの情報を送受信できます。また、システムメッセージは、複数の楽器をリンクさせて1つのMIDIシステムとして機能させるために使われるデータです。

チャンネルメッセージ

● キー情報(ノートオン/ノートオフ/ベロシティ)

演奏に関わる最も重要な情報で、エレクトーンの鍵盤を弾いたときにこれらのメッセージが送信されます。また、ほかのキーボードやシーケンサーなどからこれらの情報を送信してエレクトーンを演奏させることができます。

ノートオン： このキーを押した、ということを示す情報です。弾いた音の高さを表すために半音ごとに割り当てられた0～127のノートナンバーが内部的には用いられています。演奏時にノートナンバーを意識する必要はありませんが、エレクトーンのC3の鍵盤を弾いたときにノートナンバー 60が送信されるようになっています。

ノートオフ： 鍵盤から指をはなした、ということを示す情報です。

ベロシティ： 鍵盤を弾いたときのタッチの強弱を示す情報です。

エレクトーンのキー情報や上鍵盤、下鍵盤に対応するノートナンバーについてはウェブサイト上(3ページ)の「MIDIリファレンス」をご覧ください。

NOTE

ウェブサイトのアドレスは本書の3ページに掲載されています。

● プログラムチェンジ

音色を切り替えるための情報です。コンピューターやシーケンサーなどからこれらのメッセージを送信して、エレクトーンのレジストレーションを切り替えることができます。エレクトーンのレジストレーションとプログラムチェンジナンバーの対応についてはウェブサイト上(3ページ)の「MIDIリファレンス」をご覧ください。

● コントロールチェンジ

エクスプレッションペダルなどの操作を伝えたり、エフェクトやボリュームなど、演奏表現を高めるために使われる情報です。各機能はコントロールナンバーによって区別され、それぞれのコントロール値を一般的に0～127の可変範囲で送信できます。

エレクトーンで扱えるコントロールチェンジについてはウェブサイト上(3ページ)の「MIDIリファレンス」をご覧ください。

システムメッセージ

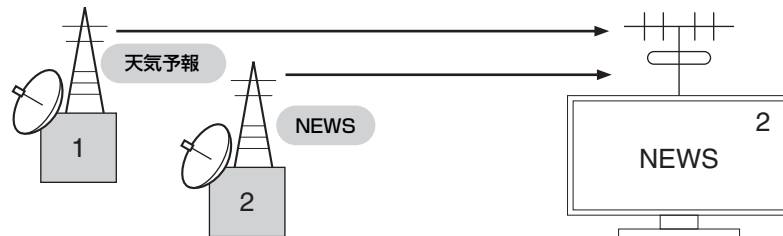
● システムエクスクルーシブメッセージ

エクスクルーシブメッセージとは、おもに機器固有のシステムや音色関係のデータをやり取りするために使われる情報です。

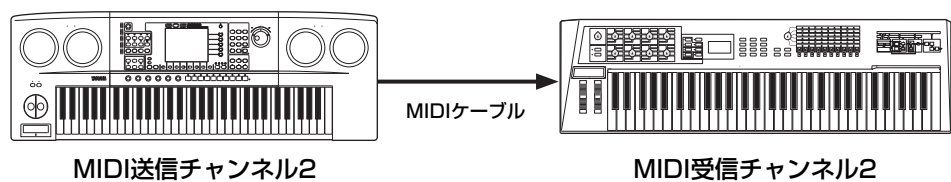
MIDIチャンネル

MIDIの情報には、MIDIチャンネルという1～16の番号が割り当てられています。このMIDIチャンネルを使って、1本のMIDIケーブルで同時に16パート用の情報を送るしくみになっています。

MIDIチャンネルは、テレビのチャンネルと同じようなものだと考えることができます。テレビの放送局は、あらかじめ割り当てられたチャンネルで情報を送信します。各家庭では複数の放送局から送られてきた情報を同時に受信した上で、特定のチャンネルを選択することで目的の放送局の情報(番組)をみることができるわけです。



MIDIチャンネルもこれと同じしくみです。MIDIメッセージは、送信側の楽器で設定されたMIDIチャンネル(MIDI送信チャンネル)によってMIDIケーブルを通り受信側の楽器に送られます。このとき、受信側の楽器で設定されるMIDIチャンネル(MIDI受信チャンネル)が、送信側のMIDIチャンネルと一致してはじめて音が鳴ります。



エレクトーンを受信チャンネルは、上鍵盤が1チャンネル、下鍵盤が2チャンネル、ペダル鍵盤が3チャンネルで固定になっています。したがって、ほかのMIDI機器を演奏してエレクトーンを鳴らすときは、接続するMIDI機器の送信チャンネルをエレクトーンを受信チャンネルに合わせる必要があります。なお、エレクトーンを送信チャンネルは、鍵盤ごとにチャンネル1～16の中から設定することができます。194ページをご覧ください。

5 MIDIコントロール

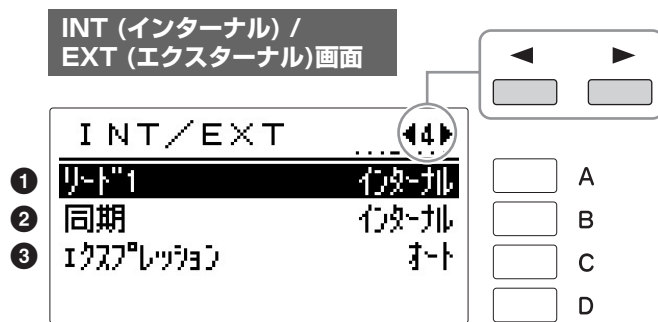
エレクトーンをほかのMIDI機器やコンピューターと接続したときに、外部機器からどのようにエレクトーンをコントロールするか、またはエレクトーンからどのように外部機器をコントロールするかを設定します。送信チャンネルを選択したり、外部機器との同期設定をしたりします。

MIDI機能を使用するには

1 [ユーティリティ]ボタンを押します。

ユーティリティ画面が表示されます。
ページ4～ページ5がMIDIに関するページです。

2 ページボタンを押して、ページ4のINT/EXT画面や、ページ5のMIDIアウト画面を表示させます。



インターナル/エクスターナル

表示された各項目のコントロールをエレクトーンで行なう(インターナル)か、外部機器で行なう(エクスターナル)かを切り替えます。

① リード1

リードボイス1の発音方法を設定します。

[A]ボタンを押すたびに、インターナルとエクスターナルを順番に選べます。通常はインターナルにします。

インターナル： リードボイス1は、上鍵盤([下鍵盤/ソロ]ボタンをオンにした場合は下鍵盤)で発音します。

エクスターナル： リードボイス1は、MIDIチャンネル4で外部から送信された演奏情報を受けて、発音します。

② 同期

リズムを同期させるためのタイミング決定を、どの機器で行なうかを設定します。

[B]ボタンを押すたびに、インターナルとエクスターナルを順番に選べます。通常はインターナルにします。

インターナル： エレクトーンのリズムの[スタート]ボタンや[シンクロスタート]ボタンを押すと、外部の接続機器(シーケンサーなど)のリズムがいっしょにスタートします。エレクトーンから外部機器をコントロールするための設定です。

エクスターナル：外部機器から送信された信号によって、エレクトーンのリズムをスタート/ストップします。外部機器からエレクトーンをコントロールするための設定です。

③ エクスプレッション

エクスプレッションペダルの機能をコントロールします。

[C]ボタンを押すたびに、オート、インターナル、エクスターナルを順番に選べます。通常はオートにします。

オート：インターナル/エクスターナルが自動的に切り替わります。

インターナル：エクスプレッションペダルを使ってエレクトーンのを調整できます。

エクスターナル：外部からMIDI信号を受信しているときやMDRでソングを再生している間は、受信したMIDI信号やMDRに記録されたデータによってエレクトーンのを音量がコントロールされ、エクスプレッションペダルでの音量調節はできません。

MIDIアウト画面



MIDIの送信チャンネルを変えることができます。上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のそれぞれについて、チャンネル1～16のいずれかを設定できます。ここで設定した送信チャンネルで各鍵盤の演奏情報を送信することができます。MIDIメッセージを送りたい機器(コンピューターやMIDI音源など)の受信チャンネルに合わせて、送信チャンネルを設定してください。

① 上鍵盤

上鍵盤の送信チャンネルをチャンネル1～16の中から設定します。

[A]ボタンを押して選択したあと、データコントロールダイヤルを回すとチャンネルが順番に選べます。

② 下鍵盤

下鍵盤の送信チャンネルをチャンネル1～16の中から設定します。

[B]ボタンを押して選択したあと、データコントロールダイヤルを回すとチャンネルが順番に選べます。

③ ペダル鍵盤

ペダル鍵盤の送信チャンネルをチャンネル1～16の中から設定します。

[C]ボタンを押して選択したあと、データコントロールダイヤルを回すとチャンネルが順番に選べます。

④ リズム

エレクトーンのを演奏によって出力されるMIDIデータのうち、特定のMIDIデータをカットし、出力されないようにします。カットできるMIDIデータは、リズムスタート/ストップ情報です。

[D]ボタンを押すたびに、リズムスタート/ストップ情報をMIDIに出力する(フィルター OFF)かしない(フィルター ON)かを選べます。フィルター ONに設定したMIDIデータはカットされ、外部機器には出力されません

6 iPhone/iPadと接続する

この楽器はiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続できます。楽器に対応のアプリケーションを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。

- 接続の方法については、ウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」(3ページ)をご覧ください。
- 対応のスマートデバイスやアプリケーションについて詳しくは、ウェブサイト上の下記ページでご確認ください。
<http://jp.yamaha.com/kbdapps/>

USB無線LANアダプター (別売品)を使った接続

USB無線LANアダプター (別売品)を使うと、この楽器をスマートデバイスに無線接続できます。USB無線LANアダプターは、インターネット上のピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページ<<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>>に掲載されている「USB動作確認済みリスト」のものをお使いください。基本的な接続方法はウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」にありますが、操作の途中で必要になる楽器側の設定については、本書の「無線LAN接続する」(195ページ)もあわせてお読みください。

無線LAN接続する

iPhone/iPad接続マニュアルの説明手順に沿って操作を始めると、途中で「WPSによる接続」、「ネットワーク一覧から選んで接続する」、「手動接続」、「アドホックモードによる接続」のいずれかの設定が楽器側で必要になります。本書の195～199ページをご覧ください。必要操作を行なってください。

ご自宅に使用できるアクセスポイントがない場合は、「アドホックモードによる接続」(199ページ参照)を行なってください。

WPSによる接続

- 1 無線モードをインフラストラクチャーモードに切り替えます。
200ページ「無線モードの切り替え」をご覧ください。

NOTE

ウェブサイトのアドレスは本書の3ページに掲載されています。

NOTE

USB無線LANアダプターを使用している場合は、[USB TO HOST]端子とMIDI端子は使用できません。

🔗 関連ページ

- ・無線LANの詳細設定(201ページ)
- ・無線LANの初期化(203ページ)

注記

iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPhone/iPadの機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

注記

iPhone/iPadを不安定な場所に置かないでください。iPhone/iPadが落下して破損するおそれがあります。

NOTE

[USB TO DEVICE]端子を使う前に、「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」(132ページ)をお読みください。

- 2 USB無線LANアダプターを接続し、無線LAN設定画面を表示させます。
[ユーティリティ]ボタンを押して、ページボタンを使ってページ6を表示させます。



- 3 [B] 「WPS」 ボタンを押します。
WPS接続を開始するかどうか確認を求めメッセージが表示されます。[D]ボタンを押すとキャンセルされます。

- 4 [C] 「OK」 ボタンを押すとWPSが開始されますので、2分以内にお使いのアクセスポイントのWPSボタンを押してください。

楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます。



- 5 楽器とネットワークの接続が完了したら、「iPhone/iPad接続マニュアル」に戻って、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

ネットワーク一覧から選んで接続する

1 無線モードをインフラストラクチャーモードに切り替えます。

200ページ「無線モードの切り替え」をご覧ください。

2 USB無線LANアダプターを接続し、無線LAN設定画面を表示させます。

[ユーティリティ]ボタンを押して、ページボタンを使ってページ6を表示させます。



3 [A]「更新」ボタンを押して、楽器近くにあるネットワーク一覧を画面に表示させます。

セキュリティが設定されているネットワークには鍵アイコン(🔒)が表示されます。

4 楽器本体をネットワークと接続します。

4-1 お使いになるネットワークをデータコントロールダイヤルで選択し、[C]「接続」ボタンを押します。

選んだネットワーク名全体が表示されますので、目的のネットワークであることを確認します。

4-2 [C]「接続」ボタンを押します。

- 鍵アイコンが付いていないネットワークの場合：

接続が開始されます。

- 鍵アイコン(🔒)が付いているネットワークの場合：

パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。文字の入力方法は、「ソング/フォルダーに名前を付ける」(144ページ)とまったく同じです。入力が終わったら[D]ボタンを押して確定します。すると接続が自動的に開始されます。

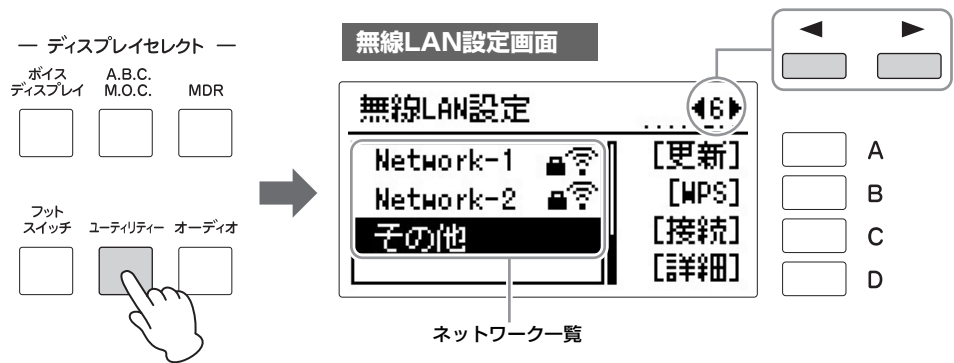
楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます。



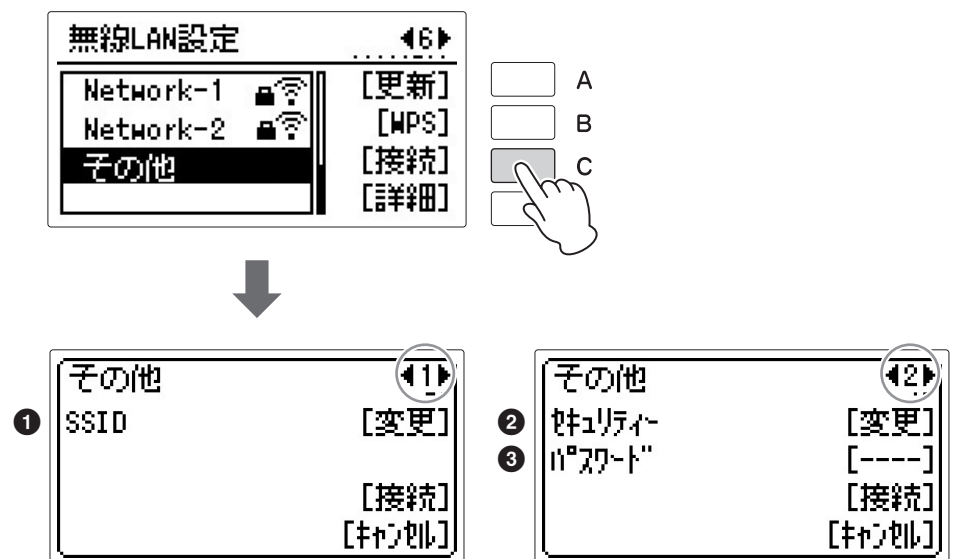
- 5 楽器とネットワークの接続が完了したら、「iPhone/iPad接続マニュアル」に戻って、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。

手動接続

- 1 無線モードをインフラストラクチャーモードに切り替えます。
200ページ「無線モードの切り替え」をご覧ください。
- 2 USB無線LANアダプターを接続し、無線LAN設定画面を表示させます。
[ユーティリティ]ボタンを押して、ページボタンを使ってページ6を表示させます。



- 3 ネットワーク一覧の一番下にある「その他」をデータコントロールダイヤルで選択し、[C]「接続」ボタンを押します。
「その他」画面が表示されます。「その他」画面は2ページあり、ページボタンで切り替えます。



4 SSID、セキュリティ、パスワードを順に設定します。

アクセスポイント側で設定している内容と同じに設定してください。

① SSID

ページ1で[A]ボタンを押すと、SSIDの入力画面が表示されますので、アクセスポイントとしてのSSIDを入力します。文字の入力方法は、「ソング/フォルダーに名前を付ける」(144ページ)とまったく同じです。半角の英数字と記号で最大32文字です。入力が終わったら、[D]「終了」ボタンを押します。

② セキュリティ

ページ2で[A]ボタンを押すと、「セキュリティ」のリストが表示されますので、データコントロールダイアルでセキュリティを選び、[C]「変更」ボタンを押します。

③ パスワード

ページ2で[B]ボタンを押すとパスワード入力画面が表示されますので、SSIDと同様の方法で入力します。入力が終わったら、[D]「終了」ボタンを押します。

NOTE

セキュリティで「なし」を選ぶと、パスワードの設定はできません。

5 [C]「接続」を押すと、接続を開始します。

楽器とネットワークの接続に成功すると表示されます。



6 楽器とネットワークの接続が完了したら、195ページ「iPhone/iPad接続マニュアル」に戻って、iPhone/iPadとネットワークを接続してください。


アドホックモードによる接続

1 無線モードをアドホックモードに切り替えます。

200ページ「無線モードの切り替え」をご覧ください。

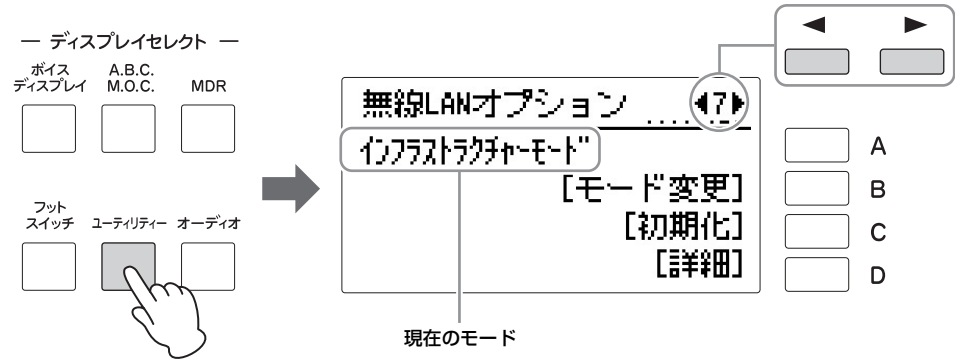
2 SSIDなどを変更する必要がなければ、これで楽器側の設定は完了しました。195ページ「iPhone/iPad接続マニュアル」に戻って、iPhone/iPadと楽器を接続してください。

SSIDやセキュリティを変更したい場合は、詳細設定画面で行ないます。

 **関連ページ**
無線LANの詳細設定(201ページ)

無線モードの切り替え

- 1 USB無線LANアダプターを接続し、無線LANオプション画面を表示させます。
[ユーティリティ]ボタンを押して、ページボタンを使ってページ7を表示させます。
現在のモードが表示されます。



- 2 モードを変更します。

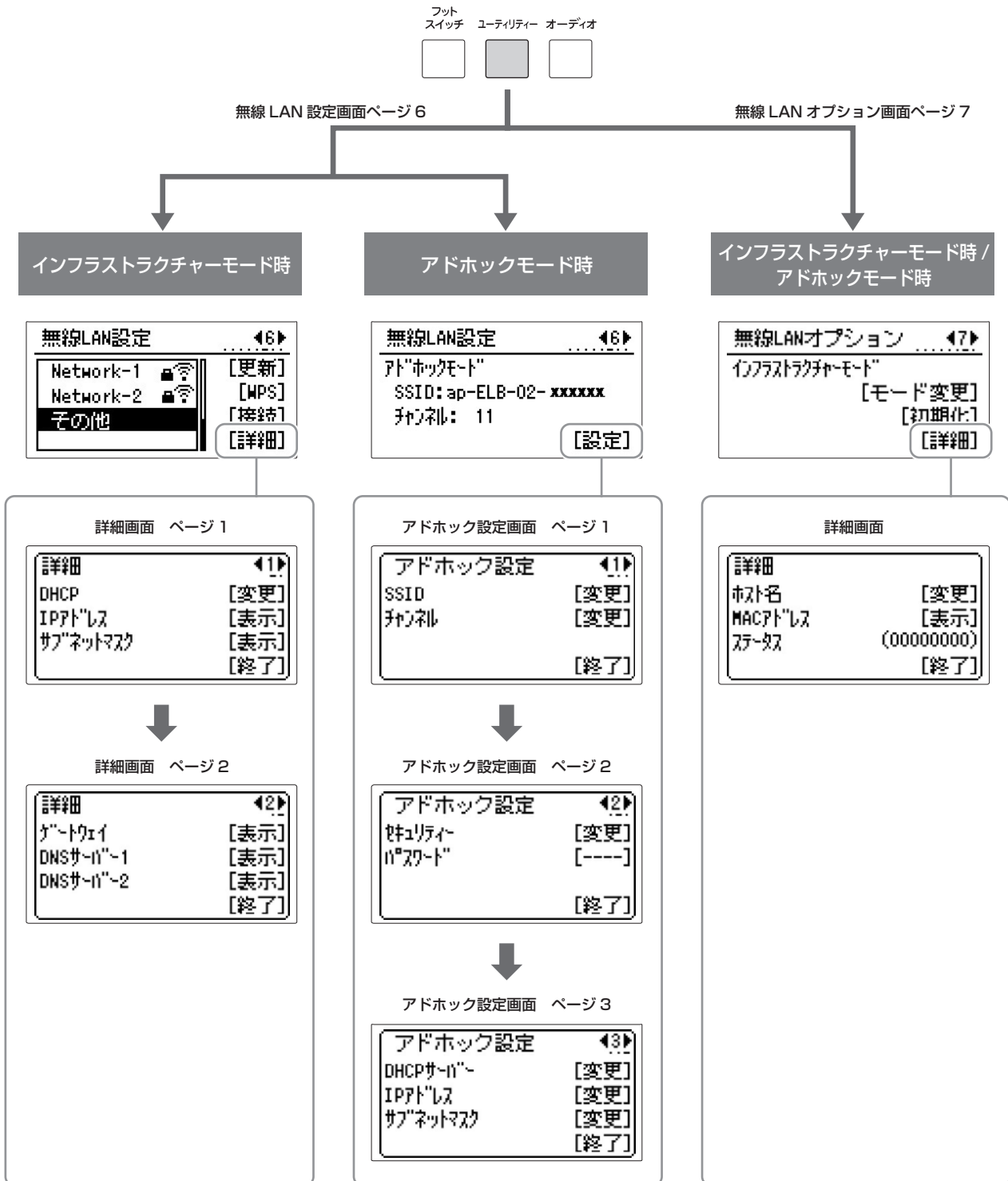
アドホックモードまたはインフラストラクチャーモードに変更できます。
[B]「モード変更」ボタンを押すと、モードを変更するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、変更する場合は[C]「OK」ボタンを押します。

無線LANの詳細設定

関連ページ
無線モードの切り替え(200ページ)

インフラストラクチャーモードと、アドホックモードそれぞれに詳細設定があります。
すでに楽器とiPhone/iPadが接続済みの場合、詳細設定は特に必要ありません。

- 無線モードを選んだあと、無線LAN設定画面ページ6、無線LANオプション画面ページ7の[D]ボタンを押して、詳細画面を表示させます。



2 必要に応じて設定します。

画面上の「変更」(または「表示」)と同じ位置にある[A]~[D]ボタンを押すと、設定/入力画面が表示されます。

無線モード	画面	項目名	初期値	設定/入力方法	
インフラストラクチャーモード時	詳細画面ページ1	DHCP	ON	DHCPを使用するか「ON」、使用しないか「OFF」を設定します。使用しているルーターがDHCPに対応している場合は、「ON」を選びます。 データコントロールダイアルでON/OFFを選び、[C]ボタンで変更します。	
		IPアドレス	0.0.0.0	DHCPを「OFF」に設定したときは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー 1、DNSサーバー 2の設定が必要です。設定内容については、ルーターの取扱説明書などをご確認ください。 入力方法は、「ソング/フォルダーに名前を付ける」(144ページ)のソング名の付け方と同じです。設定範囲は0.0.0.0~255.255.255.255です。	
		サブネットマスク	0.0.0.0		
	詳細画面ページ2	ゲートウェイ	0.0.0.0		
		DNSサーバー 1	0.0.0.0		
		DNSサーバー 2	0.0.0.0		
アドホックモード時	アドホック設定画面ページ1	SSID	ap-ELB-02-[MACアドレス下6桁] (MACアドレスが取得できない場合はap-ELB-02)	MACアドレスの確認方法はこの表の下にあります。 <ul style="list-style-type: none"> SSID、セキュリティー、パスワードは「手動接続」(198ページ)時と同じ方法で設定します。MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。 チャンネルはデータコントロールダイアルで値を選択し、「変更」と同じ位置にあるボタンを押します。 DHCP、IPアドレスは、インフラストラクチャーモード時と同じ方法で設定します。 サブネットマスクはリストから選択します。 	
		チャンネル	11		
	アドホック設定画面ページ2	セキュリティー	— (なし)		
		パスワード	— (なし)		
	アドホック設定画面ページ3	DHCP	ON		
		IPアドレス	192.168.0.1		
		サブネットマスク	255.255.255.0		
インフラストラクチャーモード時/ アドホックモード時	詳細画面	ホスト名	ELB-02-[MACアドレス下6桁] (MACアドレスが取得できない場合はELB-02)	MACアドレスの確認方法はこの表の下にあります ホスト名を設定します。最大57文字。半角英数字に加え「-」と「_」も設定可能です。 入力方法は、「ソング/フォルダーに名前を付ける」(144ページ)のソング名の付け方と同じです。入力が終わったら、[D]「終了」ボタンを押して確定します。 MACアドレス下6桁のアルファベットは小文字です。	
		MACアドレス	— (なし)		USB無線LANアダプターのMACアドレスを表示します。設定はできません。
		ステータス	00000000		ネットワーク機能のエラーコードを表示します。00000000はエラーなしです。

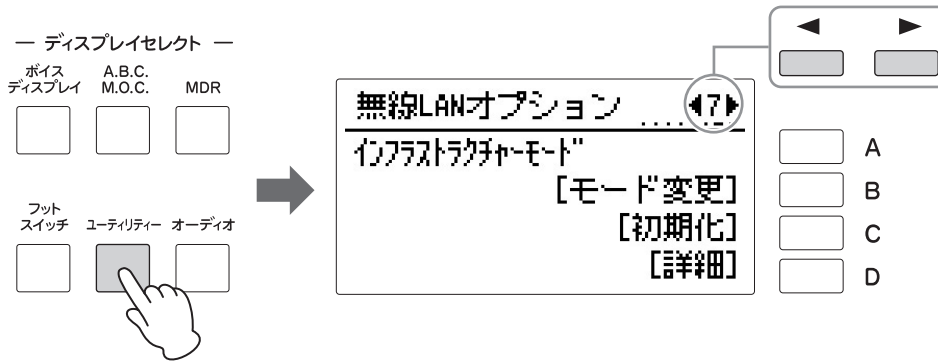
3 設定の変更を保存します。

詳細設定が終わったら、[D]「終了」ボタンを押します。設定に変更がある場合は、変更を保存するかどうか確認するメッセージが表示されますので、[C]「OK」ボタンを押して保存します。キャンセルしたい場合は[D]ボタンを押します。保存が終了すると、自動的に元の画面に戻ります。

無線LAN設定を初期化する

無線LAN設定は、エレクトーンの初期化(27ページ)では初期化されません。ここで説明する方法で初期化をする必要があります。初期化を実行すると、無線LAN設定画面で行なったすべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

- 1 [ユーティリティ]ボタンを押して、ページボタンを使ってページ7を表示させます。



- 2 初期化します。

[C]「初期化」ボタンを押すと、無線LAN設定を初期化するかどうか確認を求めるメッセージが表示されますので、初期化する場合は[C]「OK」ボタンを押します。

インターネット用語辞典

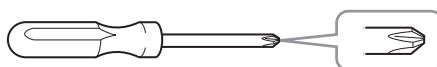
アクセスポイント	無線LANで電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。無線LANを有線LANにつなぐ役割も持つ。
アドホックモード	無線LANのアクセスポイントなどの中継機器を経由せずに直接、端末機器同士でデータ通信を行なう通信方式。
インフラストラクチャーモード	各端末が無線LANのアクセスポイントなどの中継機器を経由することによってデータ通信を行なう通信方式。
ゲートウェイ	ネットワーク上で、通信規格の異なるデータを相互に変換してやりとりするためのシステム。
サイト	正式には「ウェブサイト」という。ひとまとまりに公開されているウェブページ群。たとえば、 http://jp.yamaha.com/ で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼ぶ。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターのこと。
サブネットマスク	大規模なネットワークを、いくつかの小さなネットワークに分割するための設定。
無線LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をするLANのこと。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互接続するための機器。たとえば家庭などで複数のコンピューターを同時にインターネットに接続して、それぞれに異なるはたらきをさせたい場合に必要となる。一般的にはモデムとコンピューターの間に接続するが、モデム自体にルーター機能が内蔵されているものもある。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターにIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格。
DNS	ネットワークに接続されている各コンピューターの名前とIPアドレスを対応させるシステム。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューター 1台1台に割り振られた、ネットワーク上の所在を示す識別番号。
LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやり取りするネットワーク。Local Area Networkの略。
SSID	無線LANで特定のネットワークを指定するための識別名のこと。SSIDが一致した端末間でのみ通信できる。

ELB-02の組み立て方

⚠ 注意

- 硬くて平らな場所で組み立ててください。
- 部品をまちがえたり、向きをまちがえたりしないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは付属の指定サイズ以外のもは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

ネジのサイズに合ったプラス(+)⁺のドライバーを用意してください。

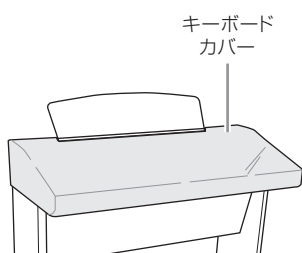


1 箱を開けて、両サイドのスチロールパッド2個を取り出し、その上に鍵盤ユニットを置きます。

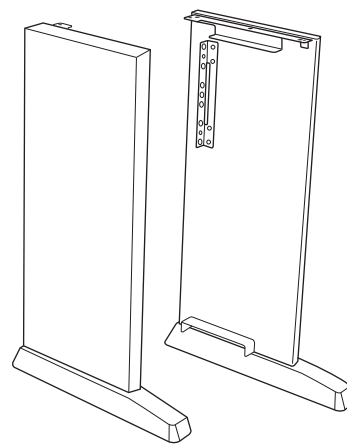
2 すべての部品を取り出します。

最初に、部品がすべてそろっていることをご確認ください。

スピーカーユニットを取り出すときは、スピーカーネットを持たずに、スピーカーユニットの底面を持つようにしてください。

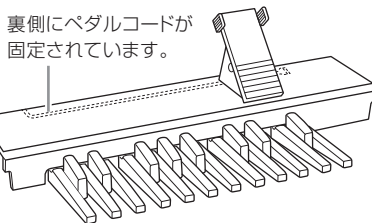
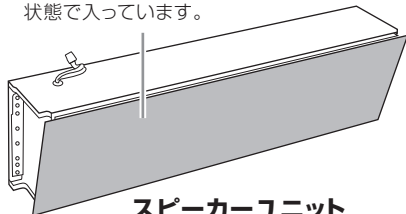


スチロールパッド
スチロールパッド2個を取り出し、その上に鍵盤ユニットを置きます。



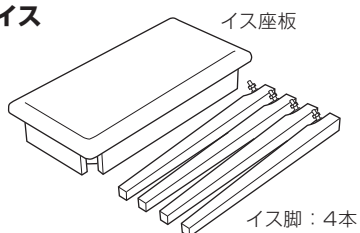
スピーカーネット

スピーカーユニットに取り付けられた状態で入っています。

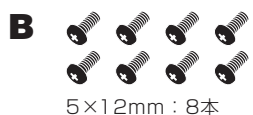


裏側にペダルコードが固定されています。

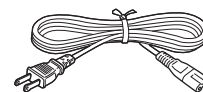
イス



ネジセット



電源コード



コードホルダー：4個



キャップ：4個

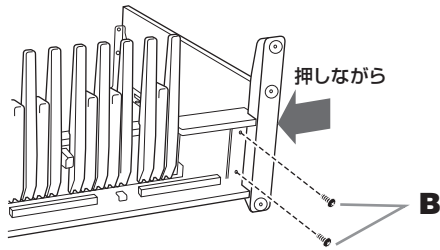


3 ペダル鍵盤ユニットに左右の側板を取り付けます。
側板の左右を間違えないようご注意ください。

3-1 ペダルコードを固定している3箇所のビニールひもを外します。

3-2 ペダル鍵盤ユニットの鍵盤側を上にします。

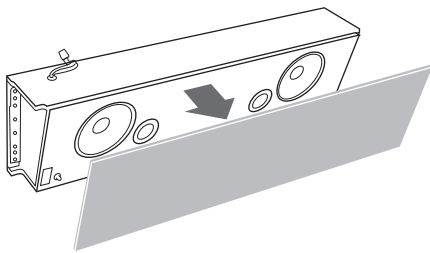
3-3 図のようにペダル鍵盤ユニットと側板の位置を合わせて、ネジB (4本)を使って固定します。



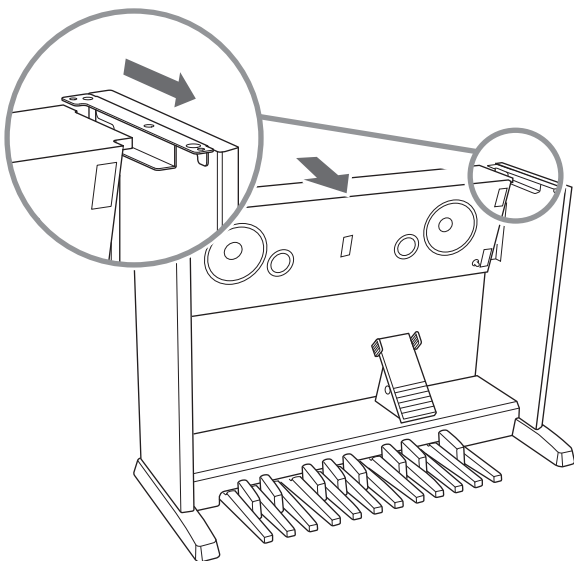
3-4 固定できたら、側板とペダル鍵盤ユニットを起こします。

4 スピーカーユニットを側板に取り付けます。

4-1 スピーカーユニットからスピーカーネットを外します。



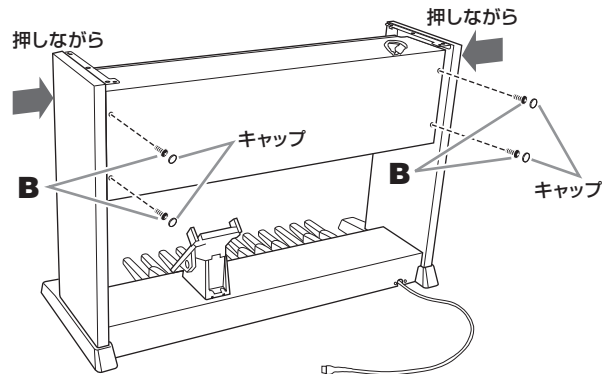
4-2 2人でスピーカーユニットを水平に持ったまま、背面から、図のように側板上部のガイドレールに沿ってスライドさせます。(止まるまで押し込みます。)



! 注意

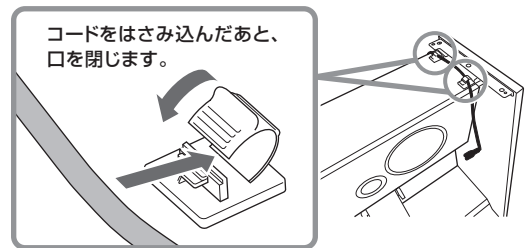
指をはさんだり、スピーカーユニットを落としたりしないようご注意ください。

4-3 側板をスピーカーユニットに押しつけながら(側板とスピーカーユニットの間にすき間が生じないようにして)、背面から、ネジB (4本)を使って図のように固定します。キャップをネジ穴に取り付けます。



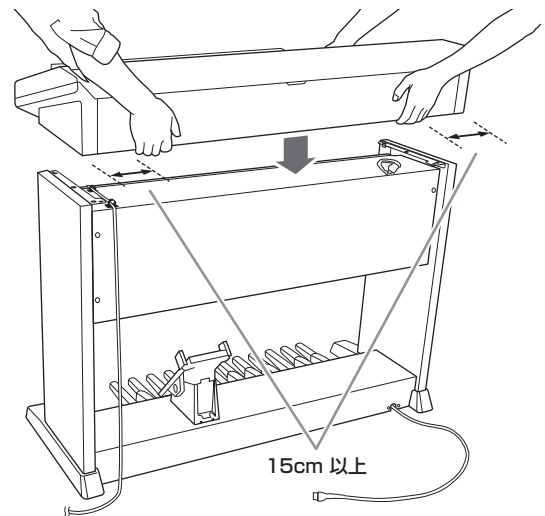
5 コードホルダー 2個を図のようにスピーカーユニットの上に貼り付け、電源コードを固定します。

電源コードの向きは、本体正面にコネクター、本体背面側に電源プラグがくるようにしてください。



6 鍵盤ユニットを取り付けます。

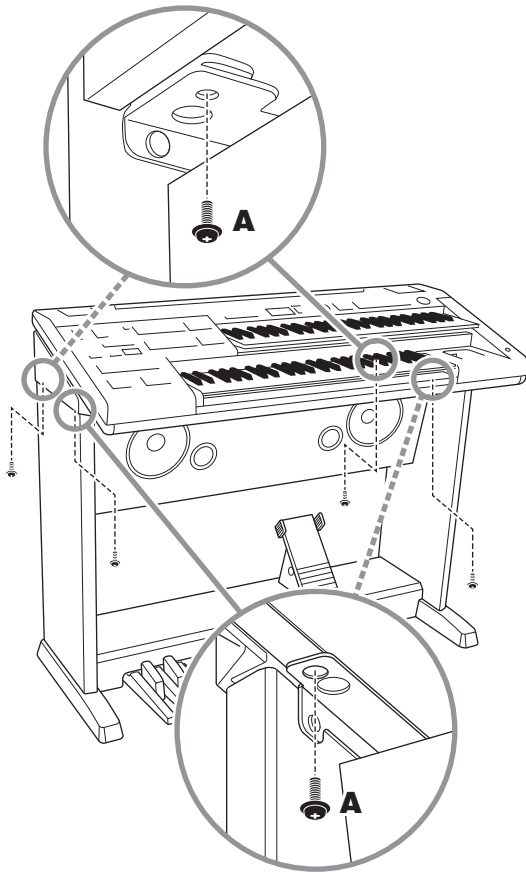
6-1 図のように2人で鍵盤ユニットを持ち、鍵盤ユニットを載せます。必ず本体底面の端から15cm以上内側を持って載せてください。



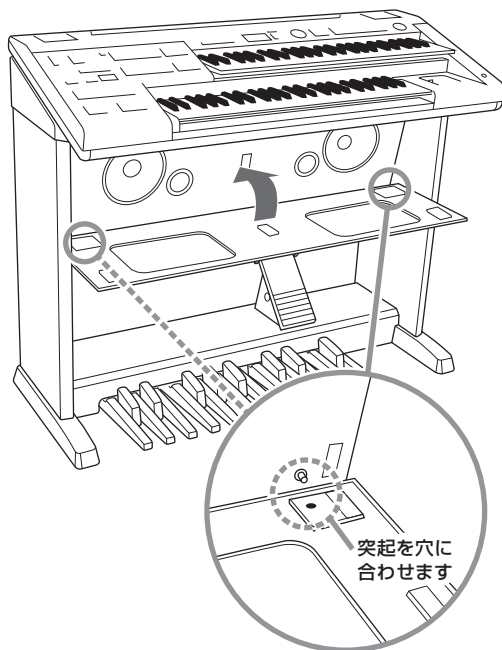
! 注意

指をはさんだり、鍵盤ユニットを落としたりしないようご注意ください。

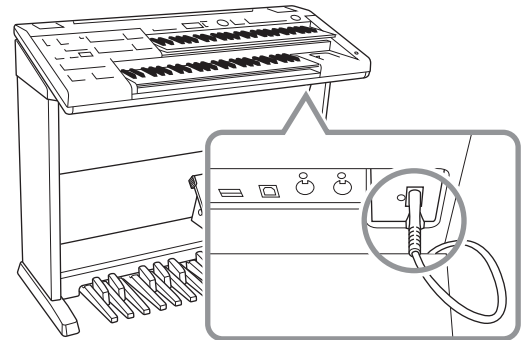
6-2 ネジA (4本)を使って鍵盤ユニットを固定します。



7 スピーカーネットをスピーカーに取り付けます。
図のように下の位置を合わせてから取り付けてください。

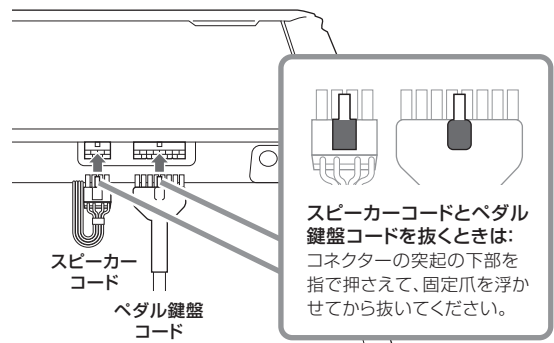


8 電源コネクタを、鍵盤ユニット底面のAC IN端子に接続します。

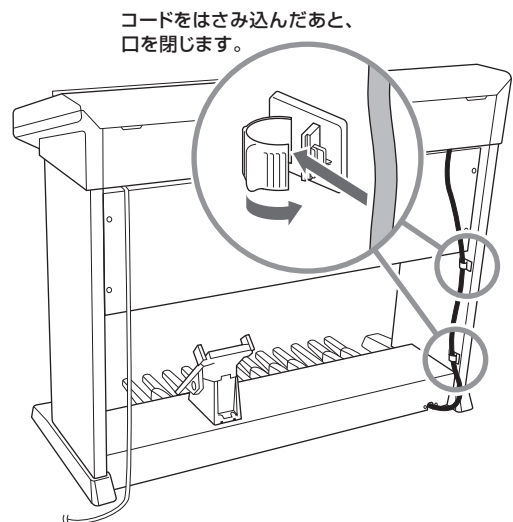


9 ペダル鍵盤コードとスピーカーコードを鍵盤ユニット背面に接続します。

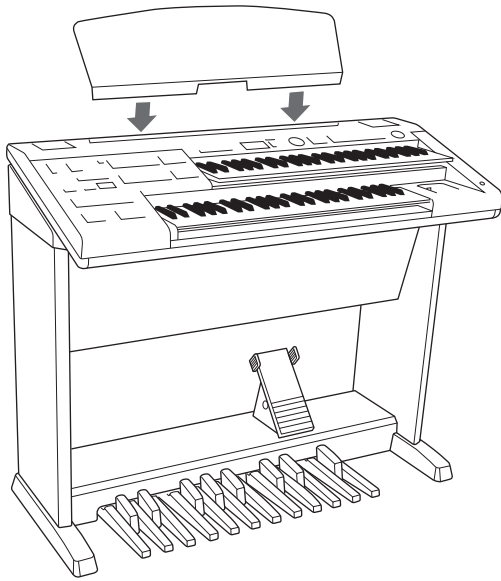
それぞれのコネクタのラミシートを外します。
ペダル鍵盤コードとスピーカーコードのコネクタの突起がある方を背面側にして、鍵盤ユニット側のそれぞれのソケットにしっかりと差し込みます。しっかりと差し込むと、突起上部の固定爪がかり、下に軽く引っ張っても抜けなくなります。しっかりと差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。



10 コードホルダー 2個を図のように、側板内側に貼り付け、ペダル鍵盤コードをホルダーにはさみ込みます。



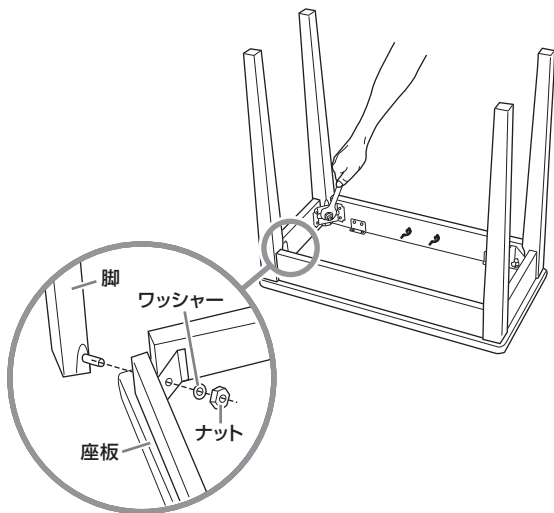
11 譜面板を取り付けます。



12 エレクトーンの電源を入れ、音が出ること(正しく接続されたこと)を確認します。

イスの組立

イス座板を裏返しに置き、イス座板にイス脚を図のように取り付け、付属のスパナを使って、ナットでしっかりと固定します。イス座板とナットの間にワッシャーをはさむのを忘れないようにしてください。
スパナは裏面の座板の内側に貼ってあります。



組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか？
→ 組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどが楽器にあたりませんか？
→ 楽器を移動してください。
- 楽器がぐらぐらしませんか？
→ ネジを確実に締めてください。
- 楽器の電源は入りますか？
→ 電源コードが確実に本体に差し込まれているかどうか確認してください。
- 楽器の音は出ますか？
→ 音の出し方は取扱説明書の「電源を入れる/切る」をご覧ください。スピーカーコードやペダル鍵盤コードが確実に本体に差し込まれているかどうか確認してください。

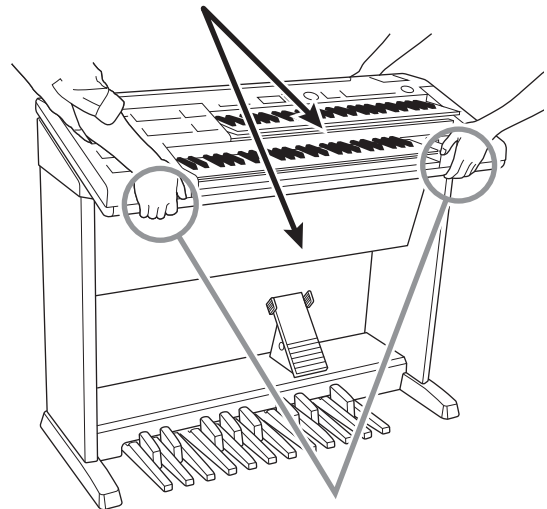
本体を移動するときは



注意

必ず本体の底面を持ってください。鍵盤やスピーカーネットは持たないようにご注意ください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

鍵盤やスピーカーネットを持たないでください。



ここを持ってください。

引越し時の運搬方法

通常の荷物と一緒に運べます。組み立てた状態でも、組み立て前の部品に解体した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。



注意

使用中に本体やイスがきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

困ったときは

現象	原因と対処
楽器全般	
電源を入れて10秒程度待たないと音が出ない。	システムの起動に時間がかかるためです。故障ではありません。
電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
時々ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をオン/オフしたり、電気ドリルなどを使用している場合は、雑音が入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントを使ってください。また、原因不明の場合は、サービスセンターまでご相談ください。
携帯電話や、ラジオ、テレビ、無線などの電波が入る。	近くで携帯電話を使用していたり、近くに放送局やアマチュア無線局があるためです。どうしても気になる場合は、サービスセンターまでご相談ください。
ラジオやテレビなどに雑音が入ることがある。	エレクトーンのすぐ近くにラジオやテレビを置くと、雑音が入ることがあります。できるかぎり離してご使用ください。
iPhone/iPadのアプリケーションと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
音が周囲のものを共鳴させてびりつく。	エレクトーンの音は持続音が多いため、周囲の戸棚やガラスなどの家具類を共鳴させることがあります。気になる場合は、家具類の配置を一工夫するか、エレクトーンの音量を小さくしてください。
ボリュームを最大にセットしても、音が小さすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量ダイヤルが最小近くになっています。時計回りに回してください(17ページ)。 ● エクスプレッションペダルが踏み込まれていません。ペダルを踏み込んでください(17ページ)。 ● スピーカーユニットと本体をつなぐケーブルが抜けています。正しく接続してください(207ページ)。
ペダル鍵盤、エクスプレッションペダルが反応しない。	ペダルユニットのペダル鍵盤コードが外れています。正しく接続してください(207ページ)。
画面に「USB機器に問題が生じたため、USB機器との通信を停止しました。」と表示される。また、USB機器が動作しない。	USB機器に問題が起こったため、USB機器との通信を停止しました。USB機器を[USB TO DEVICE]端子から抜き、本体の電源を入れ直してください。
コントロールパネルなどが正常に働かない。または、メモリーしていた情報が変わってしまう。	非常にまれなことですが、落雷などにより異常電圧が流れ、エレクトーンが正常に機能しなくなったり、メモリーしていた情報が変わったりすることがあります。このような場合は、いったん電源スイッチを切り、エンディング[1]ボタンを押しながら、電源スイッチをもう一度入れてください(初期化)。それでも正常に働かない場合は、サービスセンターまでご相談ください。
ボイス/リズム	
1つの鍵盤から複数の音が出る。	ボイスセクション2の音が鳴っています。[ボイスセクション2]のランプを点灯させたあと、ボイスセクション2のボリュームを一番下まで下げるか、ボイスディスプレイでボイスセクション2の音をオフに設定します(36ページ)。
選んだボイスによって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。	一般に電子楽器は、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量ばらつきをなくすことは非常に困難です。エレクトーンは、どのボイスでも演奏上問題のないように設計、調整されていますが、設置場所や聞く位置によって音量や音色が異なることがあります。どうしても気になる場合は、サービスセンターまでご相談ください。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上/下鍵盤の高音部ではピッチが低く感じられる。	特にピアノと比較した場合に感じることです。ピアノでは倍音構成が複雑なため、高音と低音の調律は実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律していますから、ピアノとエレクトーンでは、高音と低音の調律自体が本質的に違うわけです。

現象	原因と対処
割れるような感じや、ノイズが入るような感じのするボイスがある。	おもに管楽器の音色で感じることです。これは実際の楽器音の特長を再現するため、意図的に組み込まれた音色効果です。プラスの振動やプレスノイズなど、よりリアルな特徴をそなえた音色が得られます。
複数の鍵盤を押さえたとき、鳴らない音がある。	上鍵盤または下鍵盤では、上/下鍵盤合わせて最大10音まで同時に発音するようになっています。この同時発音数を超過して鍵盤を押さえた場合は、鳴らない音があります。
ペダル鍵盤またはリードボイスを同時に2音以上押さえても、1音しか発音しない。	通常、ペダル鍵盤では同時に1音しか発音しないようになっています。同時に2音以上押さえた場合は、高音が優先されます。また、リードボイスは、常に1音しか発音しないようになっています。
ボリュームをセットしても、ペダル鍵盤のボイスが発音しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● オートベースコードのシングルフィンガーまたはフィンガードコードがセットされています。A.B.C./M.O.C.画面でA.B.C.モードをオフにしてください(82ページ)。 ● ペダルボイスセクションの[下鍵盤▲]ボタンがオンになっています。ボタンをオフにしてください(38ページ)。
アカンパニメントを選んでリズムをスタートさせたが、アカンパニメントが鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アカンパニメントのボリュームが0に設定されています。リズムコンディション画面でアカンパニメントのボリュームを上げてください(81ページ)。 ● アカンパニメントのパートがすべてオフになっています。オンに設定してください(79ページ)。
鍵盤を押さえるとリズム楽器の音が一緒に発音する。	キーボードパーカッションがオンになっています。キーボードパーカッションを使用しないときはオフにしてください(88ページ)。
リズムのユーザーボタンを押してユーザーリズムをスタートしたが、リズムが発音されない。	ユーザーリズムは、ELSシリーズで作成したリズムを呼び出すセクションなので、最初はなにも入っていません。
エフェクト	
タッチコントロールがきかない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ボイスコンディション画面でのタッチのレベル設定がゼロになっています。ボイスコンディション画面を表示させ、タッチのレベルを上げてください(55ページ)。 ● ペダル鍵盤にタッチは効きません。
パネル左端のリバースボリュームを上げたが、かけたいボイスセクションにリバースがかからない。	かけたいボイスセクションのリバースが0に設定されています。まず、ボイスコンディション画面のページ1でかけたいボイスセクションのリバース量を上げてください(54ページ)。
ロータリースピーカー画面でスピードコントロールをオンに設定したが、ロータリースピーカーの効果がかからない。	ロータリースピーカーの効果を得るためには、まず、ボイスコンディション画面のページ4でエフェクトにロータリースピーカーを選択する必要があります(57ページ)。
A.B.C./アカンパニメント/ M.O.C.	
オートベースコード(A.B.C.)のシングルフィンガーで下鍵盤の高い方を押さえても、音程が変わらない。	シングルフィンガーでは定められた1オクターブの中の音が出るようになっています。同じコードまたは同じ音色であれば、下鍵盤のどの位置を押さえても同じ音程で和音が得られます。
イントロ/エンディングパターンが鳴っているとき、下鍵盤を弾いても発音しない。	イントロ/エンディングパターンの演奏中はアカンパニメントコードが自動的に選択演奏されるので、その他の音は発音しないようになっています。
アカンパニメントを選んでリズムをスタートさせたが、アカンパニメントが鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アカンパニメントのボリュームが0に設定されています。リズムコンディション画面でアカンパニメントのボリュームを上げてください(81ページ)。 ● アカンパニメントのパートがすべてオフになっています。オンに設定してください(79ページ)。
メロディーオンコード(M.O.C.)によるハーモニーの音が発音しない。	上鍵盤でリードボイスだけが発音するようになっています。上鍵盤ボイスをセットしてください。
レジストレーションメモリー	
レジストレーションメモリーに記録されない機能がある。	レジストレーションメモリーにはすべての設定が記録できるわけではありません。記録できない機能については112ページをご覧ください。
MDR	
楽器がUSBフラッシュメモリーを認識しない。	接続したUSBフラッシュメモリーが動作確認済みであるかどうかを、ピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページでご確認ください。 < http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/ >

現象	原因と対処
録音/再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● パートがオフになっていると、そのパートは録音/再生されません。パートページで、録音/再生したいパートを選択し、レコードまたはプレイにしてください。 ● 演奏データの容量が大きすぎます。録音/再生できる演奏データの容量は1MBまでです。 ● USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっています。ライトプロテクトのかかったUSBフラッシュメモリーには録音できません。ライトプロテクトを外してください。
演奏が終わる前に録音がストップしてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ● USBフラッシュメモリーの空き容量が不足しています。別のUSBフラッシュメモリーを使用してください。 ● すでに録音してあるソングに録音する場合、録音する曲の長さは前に録音した曲の長さになります。前に録音したソングを削除してから、録音しなおしてください(164ページ)。 ● 演奏データの容量が大きすぎます。容量が1MBを超える演奏は録音できません。
ソング名やフォルダー名をつけるときに、途中でエラーメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● ソング名/ファイル名が長すぎます。半角で50文字(全角で25文字)以下にしてください。 ● ソング名/フォルダー名に使用できない名前があります。146ページをご覧ください。 ● パス名が長すぎます。階層を減らしたり、フォルダー/ソング名を短くしてください(144ページ)。
録音開始時にリズムがスタートしなかったり、スタートさせたリズムがストップしてしまう。	録音開始時にリズムがスタートした場合、リズムをストップさせる仕様になっています。リズムを使用する場合は、画面の時間表示が「00:00」に切り替わったあとでスタートさせてください(138ページ)。
USBフラッシュメモリーをフォーマットしようとしても、メッセージが表示され、フォーマットできない。	フォーマットされていないUSBフラッシュメモリーの認識には時間がかかります。30秒程度待ってから、もう一度実行してください。
プロテクト編集ソングのデータを編集しようとすると、エラーメッセージが出る。	楽器上に、別のプロテクトソングのレジストレーションが残っています。レジストレーションメモリーの初期化(120ページ)を実行したあとで、編集したいプロテクトソングを選んでください。
自分で作ったソングにプロテクトがかかってしまう。	楽器上に、プロテクトソングのレジストレーションが残っています。レジストレーションメモリーの初期化(120ページ)を実行したあとで、レジストレーションの作成/保存や、演奏の録音をしてください。
オーディオ	
録音/再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっています。ライトプロテクトのかかったUSBフラッシュメモリーには録音できません。ライトプロテクトを外してください。 ● データが表示されないときは、拡張子が正しいか確認してください。(wav)
「データを正常に書き込めませんでした。」のメッセージ表示され、録音が中断された。	録音や削除を繰り返し行なったUSBフラッシュメモリーをお使いの場合に、表示されません。USBフラッシュメモリーに必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットし(133ページ)、操作をし直してください。

仕様

品名	DIGITAL ORGAN	
音源	AWM	
鍵盤	上鍵盤: 49鍵(C~C)、下鍵盤: 49鍵(C~C)、ペダル鍵盤: 20鍵(C~G)	
	鍵盤種	ベーシック鍵盤 (FSB鍵盤)
	イニシャルタッチ	上鍵盤、下鍵盤
	アフタータッチ	上鍵盤、下鍵盤
レジストレーション	レジストレーションメニュー	601
	レジストレーションメモリー	1ユニット 16×5 メモリー、1~16、ディスエーブル
	レジストレーションシフト	シフト、ジャンプ、ユーザー (1ユニット 400ステップ) ネクストユニット
音色	ボイスセクション	上鍵盤ボイス1/2、リードボイス1/2、下鍵盤ボイス1/2、 ペダルボイス1/2
	ボイスボタン	上/下鍵盤ボイス
		ストリングス、プラス、ウッドウィンド、トゥッティ、パッド、 シンセ、ピアノ、オルガン、パーカッション、ギター、クワイア、 ワールド、ユーザー 1、ユーザー 2
		リードボイス
		バイオリン、シンセ、フルート、トランペット、ユーザー 1、 トゥーロー (リード1)、ソロ (リード2)
		ペダルボイス
		コントラバス、エレクトリックベース、ティンパニ、シンセベース、 ユーザー 1、トゥーロー
	全プリセットボイス数	540
	ロータリースピーカースピードコントロール	2.69~39.7Hz、スロー、ストップ
効果	サステイン	上鍵盤1、2、下鍵盤1、2、ペダル鍵盤1、2
	リバーブ	タイプ
		ホール1、2、3、M、L、XGホール1、2、ルーム1、2、3、4、S、 M、L、XGRoom1、2、3、ステージ1、2、XGステージ1、2、 プレート1、2、XGプレート、GMプレート、ホワイトルーム、 アトモスフィアホール、アコースティックルーム、ドラムルーム、 パーカッションルーム、トンネル、キャニオン、ベースメント
		レベル設定
	ボイスセクションエフェクト	リバーブ、ディレイ、アーリー/カラオケ、コーラス、フランジャー、 フェーザー、トレモロ/オートパン、ロータリースピーカー、 ディストーション、ディストーション+、アンブシミュレーター、 ワウ、ダイナミック、EQ/エンハンサー、ピッチチェンジ、 ミスレーニアス、スルー
リズム	リズムボタン	マーチ、ワルツ、スイング&ジャズ、ポップス、リズム&ブルース、 ラテン、ワールドミュージック、バラード、ロック、ダンス、 ユーザー 1、ユーザー 2
	プリセットパターン数	368 (メトロノーム含む)
	パート	メインドラム、アドドラム
	セクション	イントロ1、2、3、エンディング1、2、3、メイン/フィルインA、B、 C、D、ブレイク、オートフィル
演奏補助機能	アカンパニメント	コード1、コード2、パッド、フレーズ1、フレーズ2
	オートベースコード	OFF、シングルフィンガー、フィンガードコード、カスタムA.B.C.、 メモリー: 下鍵盤、ペダル鍵盤
	メロディーオンコード	○

キーボード パーカッション	設定		1ユニット プリセット1、2、ユーザー 1~40	
	キット		ワンダーランドキット、EL キット、スタンダードキット 1、スタンダードキット 2、ヒット キット、ルーム キット、ロックキット、エレクトロキット、アナログキット、ダンスキット、ジャズキット、ブラッシュキット、シンフォニーキット、ライブ! スタジオキット、ハウスキット、SFX キット 1、SFX キット 2、ノイズキット、ポップラテンキット、アラビックキット、チャイナキット、オーケストラパーカッション	
	アサイン		○	
各種 コントロール	フットスイッチ	レフト(左)	[リズム] 停止、ブレイク、メインA、B、C、D、イントロ1、2、3、エンディング1、2、3 [グライド] 上鍵盤1、2、リード1、2、下鍵盤1、2、タイム設定 [ロータリースピーカー]	
		ライト(右)	レジストレーションシフト	
	エクスペッションペダル		○	
	トランスポーズ		-6~+6	
	ピッチ		A=427.2~452.6Hz、初期状態A=440Hz	
	MIDI設定		○	
	マスターボリューム		○	
	MDR		[ソング] 停止、再生、一時停止、早戻し、早送り、録音、カスタムプレイ、演奏設定(テンポ/パート)、ユニット編集 [ツール] フォルダー作成、名前変更、コピー、削除、変換(XG変換、ELB→EL変換、EL→ELB変換)、フォーマット、情報	
	オーディオ録音/再生		[再生] 停止、再生、一時停止、早戻し、早送り、ボリューム、テンポ、ピッチ [録音] 停止、録音 [ツール] 名前変更、削除 対応フォーマット: .wav (サンプリング周波数44.1kHz、量子化ビット数16bit、stereo)	
	ユーティリティ		言語(日本語/英語)、ディスエーブルモード(ノーマル/テンポ)、LCDコントラスト、初期化	
	ディスプレイセレクト		ボイスディスプレイ、A.B.C./M.O.C.、MDR、フットスイッチ、ユーティリティ、オーディオ	
機器仕様	液晶ディスプレイ		フルドットLCD (128 × 64 ドット)、モノクロ	
	サウンド	アンプ出力	(20W + 10W) × 2	
		スピーカー	(16cm + 5cm) × 2	
	ストレージ		USBフラッシュメモリー	
	端子		PHONES AUX OUT (VARIABLE、標準フォン): L/L+R、R AUX IN (ステレオミニフォン) MIDI IN/OUT USB TO HOST USB TO DEVICE × 2	
	消費電力 (※定格電圧・周波数は100V/50/60Hz)		23W	
	サイズ・質量	本体		幅 1113mm × 奥行き 493mm × 高さ 924mm (譜面板を立てたとき 奥行き509mm × 高さ1103mm) 質量 50kg
		イス		幅 596mm × 奥行き 296mm × 高さ 580mm 質量 6.2 kg
付属品		取扱説明書(本書)、活用ガイド、製品ユーザー登録のご案内、譜面板、キーボードカバー、電源コード、イス、保証書		

この取扱説明書では、印刷時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

エレクトーン用語辞典

ここでは、エレクトーンに特有の機能や、パネル上または画面上に出てくる難しい用語について掲載します。電子楽器全般に関する基本的な用語、ボイスエディットやエフェクトに関する各パラメーターの意味などは、インターネット上の下記ページにも掲載してありますので、参考にしてください。

■ エレクトーン用語検索

http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/el-organs/electone_station/
(URLやページタイトルは、予告なく変更される場合があります。)

用語	解説	ページ	
ア	アカンパニメント	リズムと連動して、多彩な装飾音を施した自動伴奏が得られる機能。コード1、コード2、パッド、フレーズ1、フレーズ2のパートで構成される。	79
	アサイン	キーボードパーカッションで打楽器音を鍵盤に割り当てること。(アサイン=割り当て)	101
	アフタータッチ	鍵盤を押さえたあとでさらに押さえつける演奏法。音量や音色、ピッチを変化させることができる。	55
イ	イニシャルタッチ	鍵盤を弾くときの強さ。このタッチの強弱で、音量を変化させることができる。	55
	イントロ	曲の前奏部分。また、前奏に適したリズムパターン。	70
ウ	上鍵盤ボイス	上鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	29
エ	エクスプレッションペダル	演奏中に楽器の音量をコントロールするためのペダル。	17
	エフェクト	音色を変化させる効果。	57
	演奏データ	USBフラッシュメモリーなどに記録した演奏のこと。	139
	エンディング	曲の終止部分。また、終止に適したリズムパターン。	70
オ	オートアーティキュレーション	スーパーアーティキュレーションボイスにだけ有効な設定です。鍵盤演奏にピッチバンドやグリッサンドなどの効果が自動的にかかる。	59
	オートフィル	リズムのセクションが切り替わるたびに、自動的にフィルインを入れる機能。	72
	オートベースコード(A.B.C.)	下鍵盤の演奏からベースの伴奏が自動的に得られる機能。	82
	音群	ボイスセクションのこと。	29
カ	カスタム(プレイ)	USBフラッシュメモリー内のソングを再生するときに、レジストレーションデータを読み込まずに演奏データだけを再生するためのボタン。	156
	カスタムA.B.C.	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で押さえた和音とペダル鍵盤で押さえた音を検出し、自動的に伴奏をつける。	83
キ	キーボードパーカッション	各キーに打楽器音を割り当てておき、鍵盤を弾くことで打楽器演奏ができる機能。	88
ク	グライド	ボイスの音程を一時的に半音下げ、徐々にもとの音程に戻す効果。左フットスイッチで操作する。	182
コ	コントロールデータ	USBフラッシュメモリーに保存するデータのうち、パネル操作やフットスイッチの操作など、演奏中のエレクトーン上の設定変更のこと。	139
サ	サステイン	鍵盤から手や足をはなしたあと、音に余韻を与える効果。	63
シ	シーケンス	あらかじめ順番にプログラムされたリズムパターン。	86
	下鍵盤ボイス	下鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	30
	下鍵盤(トゥーローワー)機能	リードボイス1やペダルボイスを、下鍵盤で演奏できる機能。	38
	シングルフィンガー	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で1~3つのキーを押さえただけで、和音を検出し、自動的に伴奏をつける。	83
	シンクロナスタート	下鍵盤またはペダル鍵盤の演奏と同時にリズムをスタートさせるリズム再生の方法。	71
ス	スーパーアーティキュレーションボイス	自然なアコースティック楽器の音を再現するため、鍵盤の弾き方や左フットスイッチの操作に応じて繊細な表情が付加されるボイス。	42
	スライド	リードスライドともいう。リードボイスの音程をなめらかに移動させる効果を持つ。	59
セ	セクション	リズムパターンのパリエーションのこと。イントロ、エンディング、メイン、フィルイン、ブレイクなどに分かれている。	70
ソ	ソロ機能	リードボイス2の音だけを上鍵盤で演奏することのできる機能。ニーレバーで操作する。(この楽器にはニーレバーはありません)	39
	ソング	MDRIに保存する1曲分のデータ。	134
タ	タッチ	鍵盤を押す力によって、音量や音色を変化させる機能。イニシャルタッチ。	55
チ	チューン	音群ごとに、ボイスのピッチを変更する機能。各音群のチューンをずらしておくことで、演奏に厚みを持たせることができる。	58
テ	データコントロールダイヤル	画面に表示されるボイス/リズムの切り替えや数値/設定の変更などを操作するためのダイヤル。	25

用語		解説	ページ
ト	トランスポーズ	移調の設定。ボイスセクションごとでも楽器全体でも変更できる。	58, 184
ネ	ネクストユニット	1つのソング内に複数のレジストレーションデータを保存した場合に、フットスイッチ操作でそれらを次々に読み込む機能。	153
ハ	パート再生/録音	MDR機能で演奏データを録音する場合に、鍵盤ごとに録音や再生を行なうこと。リードボイス1だけ、キーボードパーカッションだけを別に録音することもできる。	140, 157
	バー/ビート	小節数/拍のこと。	73
	バンク	レジストレーションメモリーのナンバーボタン[1]~[16]に記録された16個のレジストレーションのまとめ。本体には最大5バンク(A~E)まで記録できる。	116
	パンチイン録音	MDR機能で録音した演奏の一部分だけを再録音する録音方法。	143
ヒ	ピッチ	音の高さのこと。	58, 184
	ビブラート	音をふるわせ、音色にうろおいを持たせる効果。	
フ	フィート	ボイスのオクターブを表す単位。パイプオルガンのパイプの長さ由来している。数字が大きくなるほど音程は低くなる。	54
	フィルイン	リズムのパリエーションとして、リズムにアクセントをつけたパターン。	72
	フィンガードコード	オートベースコードのモードの1つ。下鍵盤で押さえた和音をもとに、自動的にベース音と伴奏をつける。	83
	フットスイッチ(レフト:左)	エクスプレッションペダルの左についているスイッチのこと。リズム、グライド、ロータリースピーカーをコントロールする。	180
	フットスイッチ(ライト:右)	エクスプレッションペダルの右についているスイッチのこと。レジストレーションシフトをコントロールする。	121
	プライオリティー	リードボイス2で上鍵盤を2音以上押さえたとき、あとから弾いた音だけを鳴らすか、高い方の音だけを鳴らすか設定する機能。	59
	プリリアンス	音色を明るくしたり暗くしたりする効果。	55
	ブレイク	リズムのパリエーションとして、一瞬の空白を入れることで、リズムに変化を持たせるパターン。	70
	プロテクトソング	市販データの著作権を保護する(=プロテクト)ため、コピーや編集などの操作に制限がかかっているソング。	163
ヘ	ペダルボイス	ペダル鍵盤で発音させることのできる楽器音色。	30
ホ	ボイス	各鍵盤で鳴らすことのできる楽器音色。	29
	ボイスセクション	ボイスを選ぶときに使用するひとかたまりのボタン群。ボイスボタンとユーザーボタン、ボリュームボタンで構成される。	29
	ボイスコンディション	ボイスの発音状態(=コンディション)を設定する画面の名称。ボイスボタンを2回押すと表示される。	53
	ボイスディスプレイ	現在選ばれているボイスの状態を表示する画面。	31
	ボイスメニュー	ボイスボタンを押したときに表示される画面。	35
ミ	ミュージックデータレコーダー(MDR)	USBフラッシュメモリーなどに演奏やレジストレーションなどのデータを録音できる機能。	127
メ	メイン	基本のリズムパターンのセクション。	70
	メロディーオンコード(M.O.C.)	上鍵盤で演奏している音に、下鍵盤の演奏情報にもとづいて自動的にハーモニーをつける機能。	85
ユ	ユーザーボタン	各ボイスセクションのボイスボタンや、リズムボタンの右端にある、数字の書いてあるボタン。ユーザーリズムを選ぶときに使うだけでなく、全カテゴリーのボイス/リズムを選ぶことができる。	39, 75
	ユニット	本体に記録されたレジストレーション(16×最大5バンク)やユーザー音色、ユーザーリズム、シーケンス、KBPアサインキットセットアップなどをまとめて、ソングに保存したデータ。	119
リ	リズムコンディション	リズムの発音状態(=コンディション)を設定する画面の名称。リズムボタンを2度押すと表示される。	74
	リズムメニュー	リズムボタンを押したときに表示される画面。	68
	リードボイス	上鍵盤で演奏できるリードパート用の音群。単音で発音する。	29
	リバーブ	音に残響をつけ、広いホールなどで演奏しているような響きを与えるエフェクト。	61
レ	レジストレーション	上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤のボイスや、エフェクト、リズム、アカンパニメントなどの設定情報のこと。	111
	レジストレーションシフト	フットスイッチ(ライト)を使って、記録してあるレジストレーションを順番に呼び出す機能。呼び出す順番はあらかじめ設定しておくことができる。	121
	レジストレーションデータ	USBフラッシュメモリーに保存したレジストレーションのこと。	147
	レジストレーションメニュー	エレクトーンに内蔵されているレジストレーションのセット。ジャンルごとに分類されていて、レジストレーションメニュー [0]~[5]のボタンで呼び出す。	20
	レジストレーションメモリー	レジストレーションを記録しておく機能。また、記録したレジストレーションを呼び出すボタン。	111
ロ	ロータリースピーカー	音に回転感(トレモロ効果)を持たせるエフェクト。	60

索引

数字

- 1~16 (レジストレーションメモリー) 111
- 9~16 (レジストレーションメモリー) 112

A

- [A]~[D]ボタン 25
- A.B.C.(オートベースコード) 82
- AEM 42
- AUX IN 185
- AUX OUT 185

E

- ELB→EL変換 166
- EL→ELB変換 167
- EQ/エンハンサー 57, 67

G

- GM 11
- GS 11

I

- ID 171

M

- M.O.C.(メロディーオンコード) 85
- MDR 127
- MDR画面 128
- MDR録音 138
- MIDI 186, 190

P

- PHONES 185

U

- USB TO DEVICE 186
- USB TO HOST 186
- [USB TO DEVICE]端子 132
- USB機器 132
- USBフラッシュメモリー 132
- USBフラッシュメモリーの残量の確認 171
- USB無線LANアダプター 195

W

- WPSによる接続 195

X

- XG 11
- XGソング 160
- XG変換 169

ア

- アーティキュレーション 59
- アーリー/カラオケ 57, 64
- アイコン 130
- アカンパニメント 79
- アサイン(割り当て) 102
- アドドラム 80

- アドホックモードによる接続 199
- アフタータッチ 55
- アンブ シミュレーター 57, 66

イ

- 一時停止(オーディオ) 176
- 一時停止(ソング) 157
- 移調(楽器全体) 184
- 移調(ボイスセクション) 58
- 移動 162
- イニシャルタッチ 55
- インターナル 193
- イントロ 70
- インフラストラクチャーモード 200

ウ

- 上鍵盤 29
- 上鍵盤ボイス 29

エ

- エクスターナル 193
- エクスペリションペダル 17, 180
- エフェクト 52, 57
- エフェクトリスト 64
- エンディング 70

オ

- オーディオ 172
- オーディオ録音 172
- オートアーティキュレーション 42, 59
- オートベースコード 82
- 音の高さ(オーディオ) 177
- 音の高さ(楽器全体) 184
- 音量 → ボリューム 17

カ

- 外部機器 185
- カスタムABC 83
- カスタムプレイ 156
- 画面のコントラスト(明暗) 18
- 画面の操作 25
- 画面の表示言語 27

キ

- キーボードパーカッション 68
- キーボードパーカッション(打楽器) 88
- キットアサインリスト 105

ク

- 組み立て 205
- ガイド 182
- 繰り返し再生 159

ケ

- 言語 27
- 鍵盤 29

コ

- コード1/コード2 80
- コーラス 57, 64
- コピー 161
- コントロール 52
- コンピューター 189

サ

- 再生(オーディオ) 175
- 再生(ソング) 155
- 再生(ソングパート) 157
- 削除(オーディオ) 179
- 削除(ソング/フォルダー) 164
- サステイン 63

シ

- シーケンス 86
- システムメッセージ 192
- 下鍵盤 30
- 下鍵盤(トゥーロー)機能 38
- 下鍵盤ボイス 30
- 自動伴奏 68, 79
- シフト 122
- シフトエンド 126
- ジャンプ 123
- 手動接続 198
- 初期化(USBフラッシュメモリー) 133
- 初期化(エレクトーン) 27
- 初期化(無線LAN設定) 203
- 初期化(レジストレーションメモリー) 120
- シングルフィンガー 83
- シンクロスタート 71

ス

- スーパーアーティキュレーション 42
- スクロールバー 25
- スタート(リズム) 71
- ストップ(シフトエンド) 126
- スピード(ビブラート) 56
- スピード(ロータリースピーカー) 60
- スピードコントロール 60
- スライド 59
- スルー 57, 67

セ

- 接続 185

ソ

- ソロ機能 39
- ソング 155
- ソングサイズ 171
- ソングページ 129
- ソング名 144
- ソングを選ぶ 134

タ

- ダイナミック 57, 67
- タイプ(リバーブ) 62
- タイム(リバーブ) 62

打楽器	88
タッチビブラート	55
端子	185

チ

チャンネルメッセージ	191
チューン	58

テ

データコントロールダイヤル	25
ディスエーブルボタン	114
ディスエーブルモード	114
ディストーション	57, 65
ディストーション+	57, 65
ディスプレイ	25
ディスプレイセレクト	15
ディレイ	57, 64
ディレイ(ビブラート)	56
デプス(ビブラート)	56
デプス(リバーブ)	62
電源	16
テンポ(MDR)	158
テンポ(オーディオ)	177
テンポ(リズム)	73

ト

同期	193
トップ(シフトエンド)	126
トランスポーズ(楽器全体)	184
トランスポーズ(ボイスセクション)	58
トレモロ/オートパン	57, 65

ナ

名前	144
名前(オーディオ)	179
ナンバーボタン(レジストレーションメモリー)	111

ネ

ネクストユニット	126, 153
ネットワーク一覧から選んで接続する	197

ハ

バージョン	28
パート(リズム)	79
パート録音(MDR)	140
ハーモニー(メロディーオンコード)	85
パッド	80
早送り(オーディオ)	176
早送り(ソング)	157
早戻し(オーディオ)	176
早戻し(ソング)	157
パン	54
バンク	113, 116
伴奏	68
パンチイン録音	143

ヒ

左フットスイッチ	180
ピッチチェンジ	57, 67
ピッチ(オーディオ)	177
ピッチ(楽器全体)	184
ビブラート	56

フ

ファイル	131
フィート	54
フィルイン	70
フィンガードコード	83
フェーザー	57, 65
フォーマット	11
フォーマット(USBフラッシュメモリー)	133
フォルダー	131
フォルダーの作成	165
フットスイッチ	180
プライオリティ	59
フランジャー	57, 64
プリセット	57
プリセット(ビブラート)	56
プリセットキーボードパーカッション	88
プリセットキーボードパーカッションリスト	90
ブリリアンス	55
フレーズ1/フレーズ2	80
ブレイク	70
プロテクトオリジナルソング	163
プロテクトソング	162
プロテクト編集ソング	163

ヘ

ページ(MDR画面)	128
ページを切り替える	26
ベースパターン	82
ペダル鍵盤	30
ペダルボイス	30
ヘッドフォン	19
変換	166, 167, 169

ホ

ボイス(楽器音色)	29
ボイスコンディション	53
ボイスセクション	29
ボイスセクション1	33
ボイスセクション2	36
[ボイスセクション2]ボタン	33, 36
ボイスディスプレイ	31
ボイスのオン/オフ設定	31
ボイスボタン	33
ボイスリスト	42
保存(レジストレーションメモリー)	118
ボリューム → 音量	34
ボリューム(オーディオ)	177
ボリューム(キーボードパーカッション)	89
ボリューム(ボイス)	34, 54
ボリューム(リズムのアカンパニメント)	81
ボリューム(リズムのパーカッション)	69, 74

ミ

右フットスイッチ	180
ミスレーニアス	57, 67
ミュージックデータレコーダー	127

ム

無線LAN接続	195
無線モード	200

メ

メイン	70
メインドラム	80
メトロノーム	75, 78

メモリー	84
メモリーできない機能	112
メロディーオンコード	85

モ

モード(ロータリースピーカー)	60
文字入力	144

ユ

ユーザー(ビブラート)	56
ユーザー(レジストレーションシフト)	123
ユーザーキーボードパーカッション	101
ユーザーボタン(ボイス)	39
ユーザーボタン(リズム)	75
ユーザーリズム	76
ユーティリティ	18
ユニット	119, 147

ラ

ランダム	159
------	-----

リ

リードボイス	29
リズム	68
リズムコンディション	74, 79
リズムシーケンス	86
リズムボタン	68
リズムリスト	77
リバーブ	57, 64
リバーブ(楽器全体)	61
リバーブ(キーボードパーカッション)	89
リバーブ(ボイス)	54
リバーブ(リズムのアカンパニメント)	81
リバーブ(リズムのパーカッション)	74
リピート再生	159

レ

レジストレーション	
(USBフラッシュメモリーから読み込み)	154
レジストレーション	
(USBフラッシュメモリーに保存)	118, 147
レジストレーション(記録)	111
レジストレーション(呼び出し)	113
レジストレーションシフト	121
レジストレーションメニュー	20
レジストレーションメニューリスト	22
レジストレーションメモリー	111

ロ

ロータリースピーカー	57, 60, 65
ロータリースピーカー(フットスイッチ)	183
録音(MDR)	138
録音(オーディオ)	172

ワ

ワウ	57, 66
----	--------

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件にもとづき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2009, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is dual-licensed under both the GPL version 2 and BSD license. Either license may be used at your option.

License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

XySSL

Copyright © 2006-2008, Christophe Devine.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of XySSL nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。


●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

 **0570-012-808**
ナビダイヤル® ※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830
へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX **東日本** (北海道/東北/関東/甲信越/東海)
03-5762-2125
西日本 (北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆エレクトーンの様子や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター エレクトーン・D-DECKご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-005-808

※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合はTEL 053-460-4836へおかけください。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ
<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハエレクトーンホームページ
<http://jp.yamaha.com/electone/>

ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ZS53030

Manual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

2016年4月 改訂 MWAP*. * - **C0
Printed in Vietnam

ZS53030